ナイトメア　TRIBAL ARIVALL Vol.100　Lc5　SuG　THE KIDDIE　ViViD　ギルガメッシュ

平成9年12月5日第三郵便物認可平成22年8月1日発行第210号(毎月1回1日発

蝴蝶网
hudie.com

SHOXX

8月号 Vol.210
2010 月刊 980YEN

ナイトメア2大特典

特別付録
特大ポスター

応募者全員サービス#001
オリジナル・フォトカード

Nightmare

Special Front 20pages Edition

TRIBAL ARIVALL Vol.100　長谷川正 × コースケ　Lc5
12012　Mix Speaker's,Inc.　boogieman　ギルガメッシュ
DaizyStripper　SuG　THE KIDDIE　ViViD

SHOXX Start 20th Anniversary

応募者全員サービス#002
TOON-FACTORY
オリジナル・フォトカード

蝴蝶网
hudie.com

BORN

刺激に餓えたブラックポピュラー集団。
最凶にヤバすぎる狂気の告発

Mini Album 3ヶ月連続 Release

2010.08.18 (WED) Release
BLACK BORN MARKET

01. THE ANTHEM
02. MY SWEET BLACK
03. more Deep
04. 涙彩の花
05. 乱刺℃

PSIS-30028 / ¥2,100 (tax-in)

2010.09.15 (WED) Release
BLACK THEORY MANIA

[CD] 5曲収録
PSIS-30029 / ¥2,625 (tax-in)

2010.10.13 (WED) Release
BLACK DEAD MUZIC

[CD] 4曲収録
[DVD] MUSIC CLIP 収録
PSIS-30030 / ¥2,625 (tax-in)

【特典対象】CD1枚ご購入の方に直筆サイン入り写真 A・B・C type 各5種類の中から1枚を差し上げます。
08.18 発売 (A type)・09.15 発売 (B type)・10.13 発売 (C type)
こちらの特典は数に限りがございますので先着順となります。無くなり次第終了となりますのでご了承下さい。
【申込方法】インターネット通信販売サイト「Indie PSC. ONLINE SHOP」http://shop2.pscompany.co.jp よりお申込み下さい。
「Indie PSC. ONLINE SHOP」は PC・携帯電話にてご利用いただけます。

PS COMPANY PRESENTS BORN ONEMAN LIVE
-NATIONAL BLACK PRODIGY-

11.07 (SUN) Shibuya O-WEST
OPEN 17:00 / START 17:30
スタンディング / 前売¥3,500 当日¥4,000 (税込) / Drink 代別¥500
09.04 (SAT) よりチケットぴあ / ローソンチケット / e+にて全国一斉発売開始
Info. DISK GARAGE 03-5436-9600

【チケット先行受付方法】
郵便局に備付の青い振込用紙にてお申込みください。(電信・現金書留・為替・速達不可)
■口座番号：00140-0-465378
■加入者名：Indie PSC.
■金　　額：チケット代金(1枚¥3,500、2枚¥7,000、3枚¥10,500、4枚¥14,000)×希望枚数＋送料¥700
■通 信 欄：①BORN 11.07 Shibuya O-WEST ②希望枚数【枚数制限4枚まで】③氏名 ④住所 ⑤電話番号または携帯番号
■受付期間：06.21 (MON) ~ 07.05 (MON) 当日消印有効
■注意事項：通信欄の記入漏れ、送料不足などは返金いたしますのでお間違いないようお振込みください。
Info.PS COMPANY Co.,Ltd./Indie PSC. 03-5355-3822

-LIVE SCHEDULE-
06.30 (WED) 池袋 Black Hole [VS: SKULL]
07.05 (MON) 高田馬場 AREA
07.20 (TUE) 高田馬場 AREA
07.25 (SUN) 高田馬場 AREA
08.01 (SUN) 高田馬場 AREA
08.28 (SAT) 高田馬場 AREA
08.29 (SUN) 池袋 Black Hole [VS:【_Vani;lla】]
09.25 (SAT) 高田馬場 AREA

-IN STORE EVENT SCHEDULE-

「BLACK BORN MARKET」購入者対象
08.22 (SUN) 新宿 ZEAL LINK 03-5379-7155
08.22 (SUN) 渋谷 ZEAL LINK 03-5784-9666
※ZEAL LINK 2店舗同日開催
09.03 (FRI) BRAND X 03-3980-6780
09.12 (SUN) 自主盤倶楽部 03-3371-3851

「BLACK THEORY MANIA」購入者対象
09.20 (MON) 新宿 ZEAL LINK 03-5379-7155
09.20 (MON) 渋谷 ZEAL LINK 03-5784-9666
※ZEAL LINK 2店舗同日開催
10.03 (SUN) BRAND X 03-3980-6780
10.10 (SUN) 自主盤倶楽部 03-3371-3851

「BLACK DEAD MUZIC」購入者対象
10.17 (SUN) 新宿 ZEAL LINK 03-5379-7155
10.17 (SUN) 渋谷 ZEAL LINK 03-5784-9666
※ZEAL LINK 2店舗同日開催
10.30 (SAT) 自主盤倶楽部 03-3371-3851
11.03 (WED) BRAND X 03-3980-6780

インターネットラジオ LIVECAST
「ブラック セオリー レディオスター」 第3火曜 20:30 ~ 21:00 ON AIR http://livecast.jp/

[TOTAL INFORMATION]
PS COMPANY Co.,Ltd. / Indie PSC. 〒168-0064 東京都杉並区永福
TEL: 03-5355-3822 (平日 12:00 ~ 18:00)
※ファンレターにはメンバー名を必ず明記の上お送り下さい。
また、その他お問合せはお電話でお願いします。

PS COMPANY OFFICIAL MOBILE SITE
PSmobile
着うた・待ち受け画像配信中！
会員限定コンテンツ。
BORNメルマガ配信登録希望の方はコチラ

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com
states
1st Maxi Single
「フレーバー」
2010.8.25(水)On Sale!!
DISCOGRAPHY
1st Mini Album
NOVELTY HUNTER
Now On Sale!
【初回盤】CD4曲入+特典DVD WARPM-001¥2800 (tax in)
DVD "spiv file #1" / DIGEST LIVE映像"SPIV STATES"を収録
【通常盤】CD5曲入 WARPM-002 / ¥2400 (tax in)
トレーディングカード1種類封入(全5種類)
WARP
SPST

蝴蝶网
hudie.com

LIVE DVD 7/7(水) ON SALE
もココロも笑顔も満開！2年ぶりにKraがLIVE DVDをリリース！！
UR 2010 FINAL
日本全国満開宣言～咲きまくり警報発令～
野音開きだよ全員集合!!Part2」
定盤】
PS-8001/¥7,140(tax in)
野音LIVE映像<開きまくりver.>
野音出しまくりオフ映像
c2枚トータル120分＋豪華48Pブックレット
【通常盤】
YZPS-8002/¥3,990(tax in)
①野音LIVE映像<咲きまくりver.>
＆地方TOUR油断オフ映像
Disc 1枚トータル90分
New Single 8/18(水) ON SALE
010年夏にKraが贈るラブソングは、電脳系へと誘う?!
「デンノヲ空想理論」
ロボックル限定ライブPIXY 7
♂ to ♀～エロボックル再び～」
/11(土) Shibuya O-EAST
a TOUR 2010
Hands to Hands～伸ばす手の温もり～」
9/13(月) HEAVEN'S ROCKさいたま新都心VJ-3
9/15(水) SUNPHONIX HALL in YOKOHAMA ARENA
9/19(日) 名古屋Electric Lady Land
9/20(月・祝) 松阪M'AXA
9/23(木・祝) 高松DIME
9/25(土) 神戸VARIT.
9/26(日) KYOTO MUSE
0/2(土) 郡山CLUB #9
0/3(日) 仙台MACANA
0/5(火) 盛岡ClubChange
0/8(金) 札幌cube garden
0/11(月・祝) 金沢AZ
0/13(水) 岡山IMAGE
0/15(金) 福岡DRUM Be-1
0/17(日) 熊本DRUM Be-9
0/19(火) OSAKA MUSE
0/21(木) 静岡SUNASH
チケット一般発売日：8/14(土)
a TOUR 2010 FINAL
eart to Heart～感情の輪郭～」
2/28(火)渋谷C.C.Lemonホール
チケット一般発売日：11/27(土)
Kra
FICIAL FAN CLUB「コロボックル」
会希望の方は、80円切手を貼付し、宛名にご自身の住所・氏名を明記
封筒を同封の上、PS COMPANY「コロボックル入会振込用紙希望」係
お送りください。
FORMATION
168-0064 東京都杉並区永福4-19-17 1F PS COMPANY
L:03-5305-3813[平日12:00~18:00]
FICIAL HP http://www.pscompany.co.jp/kra/
Space http://www.myspace.com/kraofficial
PSmobile
hudie.com

アヲイ初セレクションアルバム！

「葵」

2010.07.07 ON SALE！

代表曲「鈴虫」「哀しい歌」「声」を含み、入手不可音源「夕焼けカラス」「生きる痛み、君へ」等の名曲が
全曲リマスタリングで完全復活！
BRA-007　14曲 ¥2.520--(tax in)
発売元：BRAND'S RECORDS　/　発売元：DAIKI SOUND co.,ltd.

〜復活の夜〜
『BLACK SHOW CASE #2』

2010/07/17 sat OSAKA MUSE

7/18 sun　TAKADANOBABA AREA
8/14 sat　NAGOYA DIAMOND HALL
8/26 thu　KUMAMOTO DRUM Be-9
8/27 fri　HAKATA DRUM LOGOS
8/28 sat　OSAKA MUSE

BRAND'S RECORDS　FACE MUSIC

蝴蝶网
hudie.com

大佑と黒の隠者達
2nd Single
嫌
2010年7月21日
溢れ出す自己顕示欲と共にリリース
1. 嫌　2. 愚の消滅
VKD-002 ¥1,260(tax in)　発売元：亡国の騎士団　販売元：FWD Inc.
1st Single 翻弄
NOW ON SALE
1. 翻弄　2. ザッヘル　VKD-001 ¥1,260(tax in)
OFFICIAL WEB SITE
http://www.the-studs.com/daisuke/
蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

CONTENTS

066 ダウト

068 EXTRA-TERRITORIAL
エクストラ・テリトリアル

071 BugLug × DOG in The パラレルワールドオーケストラ
バグラグ×ドッグ・イン・ザ・パラレルワールドオーケストラ

078 ギルガメッシュ

082 少女-ロリヰタ-23区
ロリータ・ニジュウサンク

086 HERO
ヒーロー

088 「東京指定」
トウキョウシテイ

098 BORN
ボーン

100 DaizyStripper
ディジーストリッパー

102 9GOATS BLACK OUT
ナインゴーツ・ブラックアウト

104 DELUHI
デルヒ

106 spiv states
スピブ ステイツ

108 摩天楼オペラ
マテンロウオペラ

110 jealkb
ジュアルケービー

112 LOOP ASH
ループアッシュ

114 SHOCK WAVEアポロ

>> マークの説明 <<

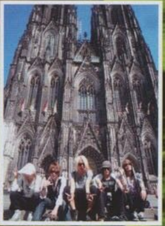
●マークがついているアーティストは
携帯サイト「音楽せんか？」とリンクしています。

■アクセス方法

>>i-mode「メニューリスト」→「音楽／映画／芸能」→「音楽情報」→「音楽せんか？」

>>EZweb「トップメニュー」→「カテゴリーで探す」→「エンターテイメント」→「音楽」→「音楽せんか？」

>>vodafone「メニューリスト」→「芸能・映画・音楽」→「映画・音楽」→「音楽」→「音楽せんか？」



116 SHOXX MODE
厳選してお届けする最新情報!!
R指定 アールシテイ
Sel'm セルム
exist † trace イグジスト トレイス
キャンセル
ジュリィー
ヒトツメ
NightingeiL ナイチンゲール
カル・ヴァリ

127 ぽっくんの早耳情報
129 エクスペクトラッシュ
ベルベット
amber gris アンバーグリス
リルト
A&D エー・アンド・デイ
Jack Rose ジャックローズ
142 ぽっくんの主張
143 アーティストBOX
148 Mission in ぽっくん
150 プレコン WORLD
153 大島暁美のロックン-ロール日記

Editorial in chief／Kuniaki "B" Suzuki
Editors／Misako Shida, Junko Arasawa

Art Director／Noriaki Ishimatsu
(Keisyo Office)
Design Stuff／Yoichirou Fujii,
Maki (mam) Yoshikawa, Hitomi Ikeuchi
(Bakery37.1), Nakane (amulet label),
Yukako Takayama, Noriaki Ishimatsu,
Youki Maenohama,
T.O.MAMMOTH graphics

VISUAL & HARD SHOCK MAGAZINE
Vol.211は2010年7月21日(水)発売
http://www.ongakusenkasha.co.jp
発行所／株式会社音楽専科社
104-8228 東京都中央区銀座6-2-3ダヴィンチ銀座アネックス5F
TEL／03-3574-0201(代表)
発行人／荒井敏行
編集人／鈴木邦昭
製版・印刷／株式会社プロスト/凸版印刷株式会社
発行日／2010年8月1日
特別定価／980円本体933円

SHOXX

2010
8月号
Aug Vol.210
Cover Model:ナイトメア
Photo :Sususmu Miyawaki(PROGRESS-M
Design :Noriaki Ishimatsu(Keisyo Offic

012 **ナイトメア**
Part 1:最新パーソナル・インタビュー
Part 2:「a:FANTASIA」に込めた想い

035 **TRIBAL ARIVALL Vol.100**
トライバル・アライヴァル
PS COMPANY所属のバンドによる豪華絢爛なイベント

038 **Kagrra,**
カグラ
10周年を祝う宴、速報

040 **Kra**
ケラ
Kraの素顔に迫るDVDリリース

042 **Lc5**
エル・シー・ファイブ
miku、遂に始動!!

044 **THE KIDDIE**
キディー

048 **SuG**
サグ

051 **長谷川正×コースケ**
(Plastic Tree) (heidi.)
ハセガワタダシ×コースケ

054 **Over the Edge@OSAK**
オーバー・ジ・エッジ・アット・オオサカ

058 **12012**
イチ・ニー・ゼロ・イチ・ニ

060 **boogieman**
ブギーマン

062 **Mix Speakear's,Inc.**
ミックス・スピーカーズ・インク

064 **マコト×ユウ(ドレミ團)**
ドレミダン

154 **vistlip**
ヴィストリップ

156 **ViViD**
ヴィヴィット

162 **TOON-FACTORY**
トゥーンファクトリー

蝴蝶図
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

a:FANTASIA

6月23日にリリースされるNEW SINGLE「a:FANTASIA」は、
先月号で咲人が語ってくれた様に、
各曲それぞれ、作詞・作曲者の人間性が色濃く出た、
3曲3様の世界観を感じられる面白みのある作品に仕上がっている。
今回は、そんな「a:FANTASIA」の制作秘話を
5人にたっぷり語って貰った集合インタビューの他、
それぞれの今に迫るパーソナル・インタビューも収録。
結成10周年のアニバーサリー・イヤーの只中にいる彼等が、
今感じている事とは?

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

——最近のYOMIさん、何か日常に変化はありましたか?

「実はね、おばあちゃんが倒れちゃって、何日か実家に帰ってたんだよね。脳梗塞だったんだけど。俺、おばあちゃん子だったから、居ても立ってもいられなくて。でも、歩けるし、しゃべるし、麻痺は少し残ってるみたいだけど、リハビリで回復できるみたいだし。ひとまず、安心はしたかな」

——大事に至らなくて良かったです。そういうことがあると、あらためて、生きていることとか命の大切さ、考えますよね。

「うん、考えるよね。親とかおばあちゃんって、〝元気で当たり前でしょ〟って、いつもは思ってたからさ、そうやって何かあると、〝いつかは別れが訪れるんだよな〟って思ったりして、あらためて大切さを知るっていうか。だから、おばあちゃん孝行とか親孝行は、ちゃんとしないとダメだなって。あとね、実家に帰ると、東京も好きだけど、やっぱり実家のほうがいいなって思う。そう考えると、東京に出て来たときの自分と、気持ちは変わってないんだなって。良い感じでリセットされるっていうか、フラットにしてもらえるんだよね。だから、今年はナイトメア10周年の年だし、俺の地元の古川でライヴをやりたいなって思って」

——ライヴができる会場はあるんですか?

「市民会館はあるんだけど、演歌とか座って観るような造りらしくて、ロックはちょっと難しいみたいで。でも、もし実現できたら、俺たちがX-JAPANやLUNA SEAに影響を与えてもらったように、地元でバンドやってるやつらにも何かしら刺激を与えられるんじゃないかなって」

——せっかくのアニバーサリーイヤーですし、実現できることを祈ります。という今、ヴォーカリストとしてはどんなテンションですか。

「うーん…高くもないし、低くもないし、中間かな。他のバンドと対バンしても負ける気はしないけど、かといって先輩とやらせてもらうと、自分はまだまだだなって痛感させられるし」

——実に冷静に見ているんですね。

「天狗になるっていうことは、自分に満足してるからじゃないですか。だから、いつも応援してくれてるファンのみんなもそうだし、陰で支えてくれてる事務所やレコード会社、雑誌社の人たちに、〝まだまだナイトメアは成長できる〟って思ってもらいたいし、そう思わせないとダメだと思うんだよね。俺がもし観る側だったら、そう思えないバンドってイヤだし」

——何でも天井知らずなほど、面白いですもんね。ただ、そこに向かうのは決して簡単なことではないと思うんですが…YOMIさん自身はどうあるべきだと?

「最近はね、自分はどう見られててもいいんですよ。それより、ナイトメアがどう見られるかを意識してる。ま、俺のマイナスなイメージによって、バンドの見え方が悪く変わってくることはあるかもしれないんだけど(苦笑)。もちろん、YOMIとしてもっと歌がウマくならないとダメだとか、フロントマンとしてもっと引っ張っていく存在じゃなきゃダメだと思ってはいるけど、それよりもバンド優先というか…ナイトメアがカッコよく見えるほうが大事なんじゃないかなって。小さい話をすると…たとえば、後輩とご飯食べに行ったら、先輩の俺が飯代を出すじゃないですか。YOMIとしては割り勘でもいいけど、そうなったときに〝ナイトメアってあんまり稼いでないのかな〟って思われるのがイヤだし(笑)」

——素晴らしい自己犠牲、そしてバンド愛です。とはいえ、〝俺が俺が〟って思う瞬間は、ないんですか?

「いや、それはそれで、時にはある。同世代でもいろんなアーティストがいるし、その誰にも負けたくないなとは思うかな」

——何と言っても、ヴォーカリストはフロントマンですから、周りからの期待やプレッシャーも大きいでしょうし。

「うん。それに応えられるかどうかはわからないけど、応えられるような努力はしていきたいしね」

——その中でも、最近特に励んでいるのは?

YOMI

ナイトメア自体が"FANTASIA"

「最近は、ボイトレ。ホント、真面目に行ってるよ。最低でも2週間に1回は通ってるから。そうやって自分が頑張った成果は、ライヴでもレコーディングでも活かされてる気がするし。そうなると、もっと頑張ろうって思うし」

——確かに、この間のツアー【Request of "GIANIZM"】では、それが証明されましたもんね。

「うん。その手応えが、自分の自信に繋がってるから。バンドもカッコよくなれてるし、自分としても理想のヴォーカリストに近づけてるとは思うし。あとは、もっと広い会場にファンのみんなを連れて行ってあげたいし、ランキングでいいところに食い込んで事務所やレコード会社の人たちを喜ばせたいなって。ただ、前はそこに行くためにすごく急いでたし、焦ってたけど、今は〝頑張ってればそのうち辿り着けるよ〟って思えるようになった」

——3ヶ月前のパーソナルインタヴューでは、そこに対しての葛藤が見えましたけど…吹っ切れました?

「うん、吹っ切れたんだと思う。それも、良い吹っ切れ方だとは思うよ。最近のライヴ映像を観ても、自分たちでカッコよくなったと思うし」

——MCでも、それを堂々と言えるじゃないですか。というのは、素晴らしいことだと思います。

「ホントは、自分たちで自分たちのことをカッコイイって言うのって変なのかもしれないけどね(笑)。ま、そう言えるっていうことは、状況的に悪くないと思うし。さっきの話じゃないけど、自分たち自身で、自分たちの可能性をまだまだ感じられるから。誰と対バンしても〝やっぱりナイトメアってカッコイイよね〟って言われたいし、たとえばフェスに出させてもらう機会があったら、違うジャンルのアーティストやファンからも、〝意外とカッコイイじゃん〟って言われるように、もっともっと成長したいなって思うよ」

——その成長は、Ni~yaさんの曲「Rover」でYOMIさんが書いた歌詞にも見てとれるんですが…ズバリ、恋愛の真理を突いてきたなと。

「人って、信じようと思って人を信じるわけじゃなくて、自然と信じるようになるじゃないですか。だから、変に信じようとか信じてって思わずに、もっとナチュラルにいれればいいのになって思って」

——何かがあってそう思いました? それとも、常々思っていること?

「いや、それはずっと前から思ってる。恋人関係になると、束縛したりすることもあるでしょ? でも、お互いに信じていればそんなことする必要なんてないしね。で、今回はNi~yaから恋愛の歌詞にしてほしいって言われてたから、自分的に疑問に思っていたことを素直に書こうかなって」

——これまで、恋愛絡みの話になると悪い男オーラを出していただけに、ちょっと驚きました。

「はは、悪いですよ! 今は恋愛を重要視してないから、いい加減にしてるっていうかね。でもこの間、地元の先輩から運命の人に出会ったっていう話を聞いて、羨ましいなって思ったし…いずれは、そう思えるようになりたい。自分自身が納得できるヴォーカリストになるまでは、おあずけだけどね。ま、ホントはピュアなんですよ、俺」

——普段ピュアそうで実はワルってイヤですけど、普段ワルそうで実はピュアって、ちょっとズルイ。

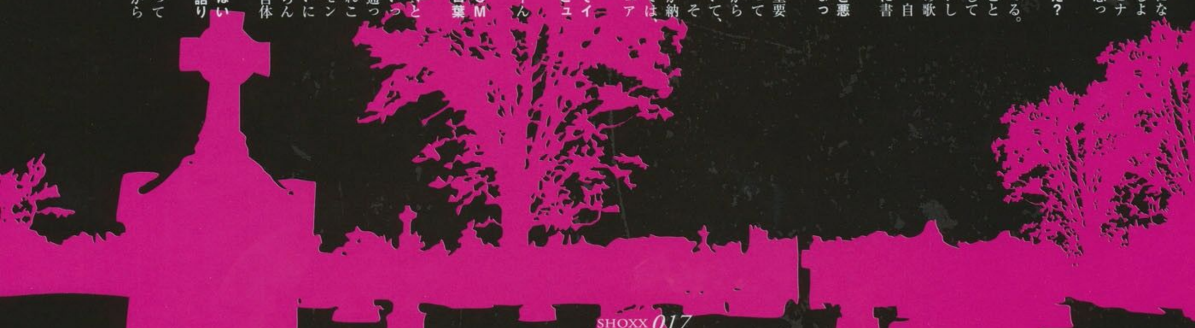
「なるほどね! じゃあ俺、オイシイんだ(笑)」

——そんな実はピュアボーイ・YOMIさんが、〝FANTASIA〟という言葉から、理想の世界を空想するなら?

「ライヴかな。ずっとX-JAPANとかLUNA SEAみたいになりたいって思ってたし、そういう先人たちが通った道を俺らも通りたいからね。それこそ、海外ツアーなんかもやって、〝モンスターバンド〟って言われるぐらいになって…っていう妄想は、かなり膨らんでるから。俺の中では、ナイトメア自体が〝FANTASIA〟ですよ」

——なんだか…今回のパーソナルはいつにも増して、アーティストっぽい語り口じゃないですか!

「最近、つくづく思うんだよね。〝俺ってこれしかできないんだな〟って。だから…今後真面目にやります!(笑)」



蝴蝶网 hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

――ツアー【Request of "GIANIZM"】最終日、東京国際フォーラムでのライヴは、熱量、集中力共に高く臨めていたように見えましたが…あらためて振り返ると、枢さん的にはどんな印象ですか？

「ホントそのまんまですね。男っぽいライヴができて良かったなって。今までが女々しかったとかいうわけではないけど、気持ちの面でもすごく、男っぽく臨めたと思うし」

――しかも、あの攻めなセットリストにして、最後までテンションを保ったことにも驚きました。

「ツアー初日はね、本編終わったぐらいはみんなぐったりしてたの。でも、ツアー中盤ぐらいからは大丈夫になっていって。たぶん、ペース配分がわかったんだろうね」

――というツアーで、枢さん的に得られたものは何だったと思いますか？

「激しい曲で、動いて見せるとかじゃなくて、聴かせることができたっていうことかな」

――確かに、それは観ていて思いました。いたずらに動き回らなくても、どっしりとした存在感でグイグイ惹き込まれましたから。

「それはたぶん、今までできていなかったことだけど、今回はできたんじゃないかなって思う。あのセットリストでやる以上、激しい曲でも聴かせないとダメだしね。立ち位置を大事にするっていうことも、すごく意識した。今までは、咲人やNi～yaが動いて下手が空いたら行かなきゃ、って思ってたけど、今は自分の行きたいタイミングでしか行かないし。ヴォーカルはいいんだけど、楽器陣があんまりあっち行ったりこっち行ったりするのは、あんまりカッコよくないかなって。あらためて、自分の立ち位置を考え直すタイミングでもあった」

――それが手応えある結果に結びついて、ホント良かったです。

「インディーズ時代からずっと観てもらってる関係者の人にも、〝今日のライヴが一番カッコかったよ。やりたいことができるようになってきたんじゃないの？〟って言ってもらえたしね。すごく嬉しかった」

――それっていうのは、本質が磨かれてきたことに対しての率直な賛辞ですしね。

「うん。俺は美男子になりたいわけじゃないけど、その上でカッコイイって思ってもらえるっていうのは、一番大事なことだなと思うし」

――髪を思い切って短くしたというのも、そういったことと関係しているんですか？

「最近も、長さは変えずにいろいろ髪型を変えてはいたんだけど、それだと自分的にあんまり刺激がなくて。だったら、バッサリ切って、思いっ切り変化したいなって。「シアン」（2004年リリースのシングル）を出したときにも短く切ったことがあるんだけど、そのときは黒髪っぽかったからね。今回は、赤でちょっと変わったおサルさんみたいにしてみようかなって（笑）」

――おサルさんどころか…今日会った瞬間、ロンドンパンクの人かと見紛うほど、インパクトありました。

「はは、ホント？　最初は坊主ぐらいまでしようと思ったの。でも、担当してくれてるヘアメイクさんが、〝そこは徐々にいったほうがいいんじゃないですか〟って言ってくれて。ま、これでも伸びてきたんだけどね。切った当初は、短いところはスポーツ刈りみたいになってたもん。もうね、前がどのくらい長かった忘れるぐらい、サッパリしてる。自分的には、今のほうが好き。今後ずっとではないけど、今は男っぽくいたいんだよね」

――そう思ったきっかけはあるんですか？

「どうだろう…きっかけは特にないのかもしれない。もともと男っぽい服が好きだし、前から髪を短くしたいとは言ってて。それこそ、去年か一昨年ぐらいにも、坊主にしたいって思ってたもん」

――何年か周期で髪切りたい熱が高まるとか？

「そうなのかもね」

――そういうときって、やっぱりアグレッシヴモードだったりするんでしょうか。

「っていうのもあるだろうし、ナイト

枢

“俺”にしか出来ない事を

メアっていうバンドの中で俺しかできないことをやりたいっていう意志に、より火がついていたりするのかな。それに、俺って化粧濃いじゃないですか。それで短髪って、あんまりいなくないですか？」

――それこそ、日本ではあまり見かけないですよね。

「でしょ？　実際、俺の周りにもいないし」

――だから、余計新鮮に映るんでしょうね。

「化粧してればまだいいけど、普段なんかホント、何やってる人かわかんないけどね。想像つくのはパンク兄ちゃんぐらいかな（笑）」

――高円寺あたりにいそうです、確かに。

「ね（笑）。」

――というニュースタイルについて、ファンの方からはどのようなリアクションが？

「この髪でまだほとんど露出してないから、これからかな」

――いつでもそうでしょうけど、賛否両論、いろいろと声をいただくことになるかもしれませんね。

「うん、そうだね。〝長いほうが良かった〟とか、言われるのは覚悟してる。それに、髪が長いと頭や顔の大きさってある程度隠せるけど、短髪にすると隠せないじゃない？　でも、隠してても意味ないからさ」

――潔いっ。でも、たとえば女子の場合でも、変に気にして足を隠すより、どんどんミニスカート履いちゃった者勝ちだと思いますもん。

「体のパーツが大きいとか小さいとか、太いとか細いとか…そんなことで誰かに迷惑かけないからね。とは言っても、一時は、いろんなコンプレックスで悩んだこともあったけどね。でも、それを気にすることで、俺たちの音楽とかライヴを好きでいてくれる人たちを裏切ることに繋がっちゃいそうだったから。ま、単純に長い髪だから好きでいてくれた人がいたら申し訳ないけど[illegible]髪は伸びるから」

――[illegible]もって言う人には、しばらく待っていただきましょう。

「そうそう。半年ぐらい待ってもらえれば、何とかなるんで（笑）」

――でも、そうやって躊躇なく自分をさらけ出せるってカッコイイと思うし、それは紛れもなく、精神的成長の証ですよね。

「もちろん、歳を重ねるとプレッシャーだったり責任感は増えるけど、反面、気持ちの面では軽くなってるからね。ついてきてくれてるファンのみんなや周りで支えてくれてる人たちを、何の疑いもなく、すごく信用できてるし。だから、今はすごく気持ち的にラク。フラットな状態で、いろんな人と接することができてるから」

――という理想的な精神状態で、シングル「a:FANTASIA」のレコーディングにも臨めたわけですか。

「うん。表題曲を聴いてまず、テンション上がったもん。歌詞がない時点から、〝ここが大事なんだな〟っていうのがすごくわかりやすくて。他のアーティストの曲を聴くときでも、その曲の意図を汲み取って聴きたい人なんだけど、それがすごく伝わってきたから。すごくシンプルでいてカッコイイっていうところを突けたかなって思う」

――そんな枢さんが、〝FANTASIA〟という言葉から、理想の世界を空想するとしたら、どのような世界を描きます？

「害のない、変な生き物たちと普通に生活してる空間かなぁ。動物とかもしゃべるし、みたいな。現状、動物のほうが人間より下の扱いになってるけど、そうじゃなくて、対等でね」

――それ、動物好きにはたまらないです！

「はは、でしょ？　建物とかは今のままでいいけど、植物とかもちょっと変な形だったりしてね。あ、でも植物はしゃべんないよ!?」

――安心しました。植物まで参戦したら、ちょっと収拾つかないんで。

「人混み好きじゃないし、あんまり騒がしいのはイヤだからね。あとは…宇宙にも自由に行けて、1日が80時間とかあったらいいかな。でも、寝る時間は今まで通りでいいの。そうしたら、もっといろんなことができるし、いろんなところに行けるじゃない？　そういうの、理想だな」

蝴蝶网
hudie.com

咲人

誰かの心に届いてナンボだと思うから

――3ヶ月ほど前に聞いたときは、心身共に良いコンディションであることが窺えましたが…最近はいかがですか？

「今はまた、レコーディングに入ってて忙しかったりはするから…肉体面はちょっと辛いかな。やりたいことがあるのに、それができないのがしんどいなって思ったりとかするし。時間が足りないなって、すごく思う」

――やりたいことがなくて時間を持て余すよりは、良いことなんでしょうけどね。

「確かにね。今、曲をどんどん作りたい気持ちがすごくあるし。レコーディングしている曲のアレンジを考えるのが優先なんだけど、新しい曲を作れば確実に手応えを感じられそうだからね」

――音像にしろ、歌詞にしろ、研ぎ澄まされた鋭さを感じるシングル表題曲「a:FANTASIA」も、そういう良い流れの中で生まれたんですか？

「曲を作ったのは2月ぐらいなんだけど…確かに、悩んで絞り出したっていうよりは、導かれるようにできていった感じではあるかな」

――そういうとき、自分でも神がかり的なものを感じたりしませんか？

「うん、たまに感じるときはある。それが聴き手にどう伝わるかは置いておいて、〝このフレーズ、マジで神がかってるな〟って。「a:FANTASIA」に関しても、そこまで神がかってるって感じはしなかったけど、手応えはすごくあった」

――結成10周年であり、さいたまスーパーアリーナとその後のツアーでバンドの凄まじい底力を見せつけた後だけに、周りの期待値はものすごく上昇している中で、軽々とハードルを越えたなと思わされました。

「だといいんだけどね。ハードルを越えたいっていう気持ちはあるけど、そういうことを気にせずに、ポンって跳べるようでありたいは思ってるから。気にしすぎると、そのぶん視野が狭くなってダメな気がするしね。あとは、今回のシングルに対してどんな反応があるか…そこは、不安ではあるけど」

――それ、いつも言いますよね。

「それは変わらないね。普通に考えたら、レコーディングを終えて、マスタリングも終えて、後はパッケージングするだけってなったら制作は終わりなのかもしれないけど、俺はそれが聴いてくれる人の元に届くまでが制作期間だと思ってるから。誰かに聴かれることで、やっと出来上がるというかね」

――咲人さんにとっては、たとえばチャート1位より、聴く人の心に深く響くほうが喜びは大きいですか。

「そこは比べられないけど、一過性のものとして捉えられるよりは、聴く人の心に根付いたほうがいいかな。もちろん、売れれば売れたほうが良いと思うし、キレイ事ばっかり言うつもりはないけど、音楽を作ってる人間としては、誰かの心に届いてナンボだと思うから。そこは大事にしたいし、変わらないでいたいなって」

――自分たちの挑戦欲と、周りから求められるキャッチーさと…その調合もまた、難しそうですけどね。

「うん、それも確かにある。ま、「a:FANTASIA」に関しては、俺はわりと展開が複雑な曲を作りがちだけど、自分なりにストレートな曲を書こうかなって。最終目標は、誰もが聴ける、ホントのポップソングを作ることだから。ただのポップではなく、ポピュラリティがあるという意味でね。それを踏まえた上で、この曲は俺の中ではストレートに向かっている曲だと思う」

――歌詞に関しても、辛辣な言葉がズバズバと刺さってきますけど…こういう歌詞を書くことになった源は？

「それは…いろんなことに対してイライラしてただけっていうか（笑）。ま、表に出さないように努めてるけど、元々イライラしてる人間だからね」

――思春期って誰でもイライラしますけど、オトナになるに従って、諦めたりして折り合いをつけていくじゃないですか。咲人さんは、ある意味純粋なんでしょうね。

「頭では理解していても、心の部分で受け入れきれない部分があるっていうか…根が子供なんだろうね。オトナになりたくないとかではないけど、やっぱり自分は子供だなって思う。それこそ、ホメられれば調子に乗っちゃうし」

――ホメ言葉には何か裏があるんじゃないか!?　的な邪推はしないですか。

「そういうの、あんまりしない。言葉をそのまま受け取るから、ちょっと否定的なことを言われれば、それはそれでヘコむし」

――そういうときに、強引にでも自分の中でポジティヴ変換できるとラクなんですけどね。

「そういうのできないんだよね。そこは、良くも悪くもあると思うんだけど」

――そういう人って、友人関係でも、恋愛関係でも、仕事絡みでも、騙されやすい側面もあると思うんですけど…。

「うん…騙されたことはあるね。自分が好意を持った人のことは、どういう関係であってもわりと全面的に信頼しちゃうから。だから、みんなが推測してウワサしていることでも、俺だけ信じてたりするし」

――みんなが当たり前に〝あれはウソだろ〟と思っていることでも、疑いもしなかったりするわけですね。

「そうそう。よく考えたら〝おかしいな〟って思うのかもしれないけど、そういう考えが最初にはまず出てこない」

――しかし、重度であれ軽度であれ、何回か人に裏切られると、次第に学習して疑うことを覚えそうですけど、そうならないのはどうしてなんでしょう。

「学習はしてるよ。〝俺は人にこういうことはしないようにしよう〟って。それに、俺はされたことも何かしらの因果だと思ってしまうから」

――起こることには全て意味があると。

「うん。良いことも悪いことも、すべて自分を形作ってると思うし。どんなにムカつくことがあっても、そう思うようにはしてる。ただ、そうやって自分なりにろ過作業的なことをするけど、絞りカスみたいなものはどんどん溜まっていくのね。だから…心の掃除をしたら、こういう歌詞になった（笑）」

――でも、どんな目に遭っても、人を信じていたいという気持ちは失わないですか。

「うん、信じたいのかな。俺は、相手を疑って、〝やっぱりそうだった、これ以上踏み込まなくて良かった〟って思うよりも、とりあえず信じて裏切られたほうが、まだいい。もちろん、それって辛いことだけど、信じてあげることで、その人の中の何かがちょっとでも変わる可能性はあるでしょ？　だから、すごく騙されてるとしても、こっちはその人と嘘偽りなく、真剣に向き合っていないとダメかなって」

――それは器用な生き方とは言い難いし…正直、疲れませんか。

「確かに、疲れるのかもしれない。俺自身、〝何で俺はこんなに損な役回りなんだろう〟って思うことはあるから。でも、こういう生き方しかできないからね」

――そういう中でしか見えないもの、得られないこともあるでしょうしね。

「そうそう。正直、ウマく立ち回れる人のことが羨ましかったりはするけど、俺にはどう頑張ってもできないことだし。それをすごく不幸なことだと思ってないしね。感受性が豊かなんだと思うようにはしてる（笑）」

――間違いないです。だからこそ、モノ作りの感性が鋭くあれるのでしょうけど。

「まぁ…結果的に、そこに結び付けばいいんだけどね」

――そんな咲人さんが、〝FANTASIA〟という言葉から、理想の世界を空想するなら？

「今、音楽を取り巻く状況って、決して良いとは言えないと思うけど…音楽が、娯楽のひとつではなく、人間を形作るひとつの要素として扱われればいいなって。それこそ、本気で作っている人たちは、みんな売れればいいと思う。もしくは、レコード会社は存在しなくて、みんながインディーズとか」

――頼りは己の実力のみ、まさに戦乱状態になりますね。

「そうそう、群雄割拠。ネットがまだまだ発達すると思うし、リスナーがもっと自分で選べる時代が来るんじゃないかなって。何十年かしたら、CDがなくなるかもしれないし」

――そういう過渡期を生きる中で、自分だけの何かを残していけたらいいですよね。

「うん。時代を動かす歯車がたくさんあったとして、自分の作るものが、その中のひとつにでも働きかけることができればいいなとは思うよ」

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

——まずは、ツアー【Request of "GIANIZM"】最終日、東京国際フォーラムでの手応えをお訊きしたいなと。観ているほうとしては、だいぶ研ぎ澄まされた底力を感じましたけども。

「〝ウチらってこういうセットリストでもライヴを成立させられるんだ〟っていう達成感みたいなものは、すごくあった。年明けのさいたまスーパーアリーナでまずやってみて、俺、正直ムリだと思ってたからさ。ツアー5か所なんて、1か所1か所が地獄だろうなって」

——そりゃ誰でも思いますよね。とにかく攻めの一手で、息つく間がないですから。

「そうそう。でも始まってみれば、ツアー初日から〝体力を温存して前半はトバしすぎないようにしよう〟とか、そういう考えはまったくなかったから、頭から全力でいって、アンコールもやり切って。ホント、ホテルに帰ったらぐったりで、珍しくあんまり呑み歩かなかったけどね（笑）。体力面でもメンタル面でも、すごく鍛えられたツアーだった。そういうツアーで、RUKAさんが叩ききれたっていうのも、自分のことのように嬉しいしね（笑）」

——そんなこんなで、バンド力がよりいっそう向上してしまいましたね。

「そうだといいんだけど。ウチら意外と、こういうセットリストのほうが向いているのかも、って思ったし。ゾジーさん（YOMI）のキャラに合ってるっていうか」

——しかも、ただ一本調子にアグレッシヴだと観ているほうも飽きそうですけど、こちらとしても集中力高く楽しめましたから。

「そう言ってもらえたら、一番嬉しい。ライヴが終わった後も、いろんな関係者の方に〝良かったよ〟って言ってもらって、〝またいつものか〟って一瞬思ったんだけど…いろいろ具体的にホメてもらえたから。ホント、やってる側としても、一瞬もだれなかったからね」

——そういうことができたというのは、大きな自信につながりますよね。

「うん。もちろん、他にヘヴィなナンバーばっかりやってるバンドもたくさんいると思うけど、ウチらにとっては初めての試みだったし、すごく新鮮な手応えがあったから」

——記念すべき10周年ですが、さいたまスーパーアリーナに始まり、すごくパンチのある幕開けを飾れたのではないかなと。という良い流れに続くのが、ニューシングル「a:FANTASIA」なんですが…Ni~yaさんが作曲した「Rover」、感動的ですごく良い曲じゃないですか。

「ホント？ ありがとう、すげぇ嬉しい」

——何しろ、先月のYOMIさん&咲人さんインタヴューのとき、咲人さんも〝Ni~yaを高く評価したい〟って言ってましたから。

「はは、そうなんだ。それも嬉しいね」

——アルバム『majestical parade』収録の「Nothing you lose」然り、とっておきの爪を隠していたんだなぁと思いました。

「そんな良いもんじゃないけどね（笑）。でも、今までやらなかっただけで、やればできるんだなって、自分で思ったよ」

——ちなみに、最初にできたのはどこの部分なんですか？

「サビのコード進行かな」

——そこが浮かんだとき、〝いいかも〟って直感で思えました？

「うん、思った。で、そこから呼ばれるようにどんどん見えていって。明るい曲調でバラードっていうのは、ある程度意識してたけど…その場の閃きで作っていった感じかな」

——それは歌詞にも言えるんですけど、〝温もり〟に癒されるし…切ないバラードもいいですけど、こういう包容力のあるバラードって素敵だなと思いました。

「確かに温かいよね。こういう気持ちが温かくなれるような曲、今まであんまりなかったし。だからこそ、そういう曲を書いてみたかったっていうのもあるね」

——Ni~yaさん自身、今、温かい気持ちで満たされていたりもするんですか？

Ni~ya

未来が謎に包まれているから楽しい

「どうなんだろう、そう言われるとちょっとわかんないけど…確かに、コールドではないかな。っていうか、わかったんだよね。なんか、季節によってテンションが変わるの。俺、ゾジーと一緒で、秋がダメ（笑）」

——季節の問題!?

「いや、ホントに！ 昔から、なんだか秋になると良いことないんだよね。夏が終わるとドヨーンとしちゃうっていうか。でも、「Rover」を作ったのはそういう時期を過ぎてからだし…あと、さいたま（スーパーアリーナ）のライヴっていうのも、自分の中では大きいかな」

——そこで感じた何かしらの想いが、自らを動かしたんですか。

「うん。ウチらの曲ってテンポ的に激しい曲が多いし、ライヴでやる曲もある程度決まってきてるじゃない？ だったら、激しくもないし、マイナーでもない曲がいいなって」

——ある種の反動ですね。

「そうだね、まさに反動。アツいライヴやったから、その勢いでヘヴィな曲作るぜ、って感じではなかった。それにね、激しい曲って好きなんだけど、自分で作るには向いてないなって思うんだよね。だったら、ムリしてそういう曲を作るより、得意な部分を伸ばしていこうかなって思うし」

——プレイヤーとしての特性とコンポーザーとしての特性、必ずしも一致しないところが、また面白いのかもしれません。

「そうかもね。ホント、全然脳の使い方が違うから。だからこそ、自分でもやってて楽しい。あとね、〝このメンバーすげぇ面白い〟って、最近すごく思う。一緒に音楽もできるし、遊べるし。すごい仲だなぁって思う」

——10年一緒にやってきて今そう思えるって、すごく幸せな関係ですよ。

「うん、そうだよね。メンバーがつまらなかったら、絶対やめてるもん、俺。一緒に音出してても楽しいし、一緒にいても楽しいと思えるからこそ、10年も続けられたのかなって。ただね、解散とかではないけど、正直、この先に対して不安がないわけではなくて。それこそ、何が起こるかなんて誰にもわからないし。そうなったときにバンドが存続していけるかどうか、考えるようにはなった」

——バンドを始めたときには考えもしなかったようなことですよね、それって。

「ホントに。でも、未来が謎に包まれてるから楽しいのかなとは思うのね。わかりきってたら面白くないし、いつどうなるかわからないっていう危機感の中でも楽しくやれてるっていうことが、一番幸せだなと思う」

——どういう状況であれ、ポジティヴに向かう。常にそういう姿勢であれば、結果は自ずとついてくるのかもしれませんね。

「俺はね、常に自分にそう言い聞かせてる。何かイヤなことがあっても、それを全部プラスに捉えようって。じゃなきゃ、前には進めないし。さっき言ってたみたいに、季節によって変動するところはあるんだけど。でも、基本的にはそこはずっと思ってるよ。ま、俺のテンションが落ちそうな秋から年末ぐらいにかけては、ツアーやるのが一番いいかな。9月とか10月にレコーディングするのは、もっとも危険（苦笑）」

——そこは今後、周りの方々に十分に加味していただきましょう。それでは最後にですね、〝FANTASIA〟という言葉から、Ni~yaさんが空想する理想の世界というのを教えていただけますか？

「今、パっと思い浮かんだのは、ライヴ」

——すごい…ゾジーさんと一緒ですっ。

「うわっ、マジで!?」

——2人の感性、ひょっとして近いのかもしれません。

「そうなのかなぁ!? でも、ライヴって一番居心地が良い場所だからね。俺が生きている中で、一番輝けてる瞬間だと思うもん。ステージに立てるっていうのが純粋に嬉しいし、たくさんのお客さんの前でベースを弾けてる自分を…あんまり言いたくないけど、誇りに思うし。ホント、こればっかりはやめれないから。自分らしく、良い形で続けていきたいね」

——観る側としては、バンドの底力に圧倒されたなという印象のツアー【Request of "GIANIZM"】最終日、東京国際フォーラムでのライヴなんですが、RUKAさんとしてはどんな手応えでした？

「さいたま（スーパーアリーナ）と比べるとさ、良かったんじゃないの？ さいたまは、俺の中では消したい過去だから」

——それは、機材トラブルに見舞われたから、ですよね。

「いや、それがなくても、俺はイヤだな。フォーラムのほうが100倍良かったもん」

——でも、〝前のほうが良かった〟と後戻りするのではなく、〝前より良かった〟と思えるのであれば、それは確実にアップデートできている証ですもんね。

「まぁな。俺、基本的に1発モノのライヴはやっぱり苦手なんだよ。あと、ツアーの1発目も。そういう意味では、最終日はまぁ、納得はしてる」

——柩さんが、MCで〝RUKAさんがツアーの最初はへばってたけど、途中からへばらなくなった〟と言っていましたけど…何か秘策はあったんですか？

「もうね、あれは慣れだね。駅まで10分とか、最初は遠いと思うじゃん。でも、何回か歩いてると慣れてくるでしょ？ ホント、それと同じ感覚。特に何をしたっていうわけじゃないよ。何回も通ってれば、裏道も覚えていくじゃない？ だから、最初はそれこそ死んじゃうかと思ったけど、最後のほうは全然しんどくなかった」

——あの凄まじいセットリストにしてそう思えれば、かなり無敵です。

「でも、ああいうセットリストだとさ、無心で叩けるからラクかもしれない、ひょっとして」

——それもあんまり過ぎると、そのうち解脱しちゃいそうですけど。

「ま、リハーサルスタジオとかレコーディングで、叩きながら寝そうになるときはあるよ（笑）」

——そんなことあり得ます!?

「いや、それがあるんだよ。だってさ、何回も同じこと繰り返すと、眠くなってこない？ 何十回、何百回って叩いてる曲とかさ、飽きるもん」

——そんなこと言い始めたら…毎日新曲作らないとダメっていうことになります。

「そうなんだよ。でも、それもしんどいからね」

——しかし、同じ曲であっても、演奏するたびに育っていく楽しみというのはあるんじゃないですか？

「いやぁ…それ、難しい質問だね。ま、曲が出来立てのときの良さもあるし、もちろん今の良さもあるよね。それこそ、曲が育ってるのかもしれないし、退化してるのかもしれないし」

——退化することもありますか。

「うん、あるね。1曲通してじゃなくても、何小節か〝前の雰囲気のほうが良かった〟って思ったりとか。自分のドラムフレーズにしても、バンド全体のアレンジとしても、そう思うものはあるよ。だから、曲がすべて、成長して良くなっていくとは限らないんじゃないかな。もちろん、演奏面では、ウマくなっていってるとは思うけどね」

——人も曲も、そうやって移ろいゆくから面白いし、だからこそ、その一瞬一瞬を大切にしたいと思うのかもしれないですね。さて、最近のRUKAさんはいかがお過ごしですか？

「最近ね、iPhoneとか、ipadとか、Android（アンドロイド。Googleが携帯電話用に開発したOS）とかが好きすぎて破産しそうだ。1日中パソコンの前に座っていじってるのが、幸せでしょうがない。俺、メカ好きだからね。機械のツマミがあるとドキドキするもん」

——かなりマニアック…しかしその観点でいくなら、ドラムだとあまりドキドキできないですよね。

「そうそう、そうなんだよ。だからさ、ホント、ギターとかは羨ましい。アンプとかエフェクターとか、あんなにツマミいっぱいあったら最高だろうな」

——とかなんとか言いつつ、ドラマー歴10年を超えているわけじゃないですか。実は、だんだん楽しくなってきたりしていませんか？

RUKA

男は騙される生き物なんだよ

「ならないね。俺さ、ほんっとにドラムに関してはどうでもいいんだよね。惰性だよ、惰性」

——ただ、曲や詞を書きたいという想いは、途切れないわけですよね。

「それがさ、最近なくなってきた（笑）。だからさ、昔の人が生きるために狩りを行なってたみたいな、そんな感じだもん。でもね、商業音楽だったら、意外とこういう人っていると思うよ。みんながみんな、アツい人じゃないって、絶対。それを正直に表に出すか出さないかの違いでさ。バンドが楽しいなっていう時期を過ぎたら、倦怠期的な時期も訪れるし…もかしたら、俺はその倦怠期がたまたま長いだけかもしれない。現に、最初は楽しくてバンドをやってたからね」

——でも、楽しさの質が変わってきているだけで、今だって楽しくないわけではないですよね。

「いやぁ…純粋に楽しいなと思ってたのは、最初何もわからずにコピーしてたころだよ。その後は、バンドで音出してるときより、みんなで機材車で移動してるときのほうが楽しかったし。俺はそういう感じ。それこそさ、アツすぎる5人だったらイヤじゃない？ （松岡）修造×5とかさ」

——それはそれで、熱量高すぎます、確かに。でも、そういうどこか醒めた自分自身と他のメンバーとで、温度差を感じることはないんですか？

「あるある、あるよ。でも、俺は冷静な人でいいと思ってるからさ」

——しかも、それで居心地が悪いわけではないんですもんね。

「うん、全然。ごく自然な感じだよね」

——そう考えると…奇跡的なバランスのバンドですよね、ナイトメア。

「そうだね。ホント、俺もそう思うよ。たぶんさ、場合によったら、俺みたいなメンバーってクビだもん（笑）。でもね、もしかしたらさ、自分では楽しめてないと思いつつ、実は結構楽しめてるのかもしれないし」

——でも、素直になれない的な？ ま、この期に及んでRUKAさんにアツく語られても、驚くと思いますけど。

「でしょ？ 俺、アツい人すごい苦手だからね。でも、なんだかんだいいバランスの5人だとは思うよ」

——ですね。さて、ニューシングル「a:FANTASIA」で「Romeo」を作詞・作曲したRUKAさんですが…インダストリアルなアプローチに加え、サイケデリックなテイストが印象的ですね。

「たぶん、こういうなんちゃってサイケデリックが好きなんだよね、俺。だから、作っててもすごい楽しかった。で、詞を書くのにすごくいい題材が近くにあったから、それを基に歌詞を書いて」

——歌詞で描かれている歪な愛、あれはRUKAさん自身の体験が根っこではないんですね。

「うん、すごく近しい人を題材にして書いただけだからね（笑）。『ロミオとジュリエット』からとって「Romeo」なんだけど…ま、騙され続ける男の話だよ。ロミオも、ジュリエットが死んでるって騙されて自殺するわけじゃない？ 男は騙される生き物なんだよ。そういうのって、羨ましくもあるからね。騙されるのって楽しいかもしれないもん」

——騙されている間は幸せですからね。RUKAさんは、騙されたことはないんですか。

「どうだろうな…そこも定義が難しくてさ、向こうに騙してるっていう気持ちがあるかどうかによるし、そのつもりはなかったのに、結果的に騙されることになったりもするし。そう考えると、わからんな」

——RUKAさんであっても、いつでも優位であるとは限らないわけでね。

「もちろん。最近は、虎王くんに騙される。お菓子あげたのに、その後でまるでもらってないような素振りで近づいてくるんだよね、笑顔で。でも、あげちゃうんだよなぁ…かわいすぎる」

——翻弄されてますね、はは。では、最後に…〝FANTASIA〟という言葉から、RUKAさんが空想する理想の世界を教えてください。

「平和。やっぱり平和が一番だろ？ 世界はわからないけど、最近、自分的には平和でいいなぁって思ってるからさ。それを保っていきたいよね」

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

―シングル「a:FANTASIA」について、今回はそれぞれから見た曲の魅力、作曲者から見て各プレイヤーがどう彩ってくれたかなど（笑）、お互いに讃え合っていただこうかなと。まずは、研ぎ澄まされたバンド感が鋭く刺さる表題曲に対して、各々が感じたことは？

柩：俺は、サビ。個人的にも好きだし、第三者が聴いても聴きやすいし、ノリやすいなって。最初聴いたときは、まだ歌詞が入っていなくてメロディは鍵盤で入ってる状態だったけど、〝良い曲だな〟ってそのサビで強く思えたから。

RUKA：この曲に限らず、（咲人は）良い意味で昔使ったものをどこかに入れるのがウマいなって、いつも思うのね、俺。「メビウスの憂鬱」の最後の「惰性ブギー」のフレーズとか、「ジャイアニズム天」にジャイアニズムシリーズの漢数字を全部入れてたりとかさ。今回も、歌詞に〝自称少年テロリスト〟っていう言葉が入ってるでしょ。そういうの、感心する。

咲人：……これさ、みんなの話聞いていくほどにどんどん恥ずかしくなっていくんだけど（笑）。

―せっかくの機会なんで、なんとか耐えてくださいっ。

Ni~ya：はは、確かにメンバーに言われるのは恥ずかしいね。でもね、この曲、デモの段階からカッコよくて。実際、RUKAさんがレコーディングで叩いたら余計カッコよくなって…。

RUKA：ここで俺⁉

―巻き添え的なことみたいです。

Ni~ya：で、俺がベース弾いたら余計カッコよくなって…。

柩：そういうノリでいくの⁉

Ni~ya：いや、やっぱりやめた（笑）。でもホント、デモ段階からカッコよかったけど、さらにトラックダウンのときには衝撃だったね。〝きた！〟って思ったもん。これまでいろんな曲を作ってきて、今までも何回かそういう瞬間はあったけど、その中でもズバ抜けた手応えがあったよ。

YOMI：アツい曲だからね。それだけに、10周年1発目のシングルでこの曲が使われたら嬉しいなって、そう思ってた。

―と、曲を高く評価してくれたメンバーですが、咲人さんの目から見て、それぞれにどう曲の魅力を高めてくれたと思いますか？

咲人：デモを作ってる段階から、〝このドラムはしんどいだろうな〟とは思いつつも、そのまま持っていってみたんだけど…それを叩ききったRUKAさんは、よくやってくれたなって。

―実際、しんどかったですか？

RUKA：しんどい！　とにかく速いんだよ、テンポが。でも、いつもレコーディングはしんどいんだけど、ライヴでやっていくうちに慣れていくけどね。だから、とりあえず〝ここだけ乗り切ろう〟と思って叩いてた。

咲人：あと、サビの後のDメロのドラムパターンがいいなと思った。

Ni~ya：あそこ、デモはどうだったんだっけ？

咲人：デモは普通だった気がする。

RUKA：何の気なしに変えただけなんだけど。いつも、バレないようにちょっとずつ変えるんだけど（笑）。

Ni~ya：ま、バレてるけどね！

咲人：Ni~yaは、Aメロがいい。敢えて何っぽいとは言わないけど。

Ni~ya：俺、咲人に言われて、その〝ぽさ〟に気付いたんだけどね。

咲人：でも、ハマってるから、全然いいかなって。あれがクセになる。柩は、タテのラインをしっかりいったなって。

柩：…どういうこと⁉

咲人：あ、リズムの部分で、きっちり支えてくれたなって。さっき言ってたDメロのあたりとか、コードでいってフレーズが入ってっていうフワっとした感じだけど、そこでリフで土台をがっちり固めてるからさ。

―それは、柩さん的にも意識していたところ？

柩：うん。俺の場合は、フレーズよりも、リズムをすっごい大事にしてるからね。今回も、そこはすごく意識してた。

―だからこそ、ギター2人のバランスが絶妙に保たれているんでしょうね。YOMIさんの歌に関しては？

咲人：ゾジーさんは、よく歌ったなって。ハモリとか、たぶんキツいのもわかってるんだけど…頑張るときは過剰なぐらい頑張り屋さんな気がする、ゾジーさんは。あ、あくまでも頑張るときはね。

―と、咲人さんはおっしゃっていますけど…。

YOMI：なんかね、RUKAさんの曲は、すんなりいけることが多いの。つまづくところもたまにあるけど、俺の中ではスムーズっていうか。ただ、咲人の曲で歌うと、ヘコむんだよね。

Ni~ya：はは！　ヘコむんだ。

YOMI：うん。箇所箇所でトラップがあるっていうか…ホント、ヘコむ。

咲人：人間的にもヘコまされて、曲でもヘコまされてね。

YOMI：だから、そういうもがいてる感が、良い感じで出せたんじゃないかなって！（笑）。

咲人：確かにもがいてる感は出たね。サビの真ん中とか特に良い。

―ある種の切迫感の根っこが、そんなところにあったとは。では、RUKAさん作詞・作曲のサイケデリックに攻める「Romeo」に対して、みなさんが感じている一番の魅力は？

咲人：本人はどう思ってるかわからないけど…この曲に限らず、RUKAさんの曲には、デモの段階でいつも、〝何かやらなければならない使命感〟みたいなものを与えられる気がする。

―実際、RUKAさん的には、そういう意図を含めていたりするんですか？

RUKA：いやぁ…どうなんだろうね。何かやってほしいなって思うときもあるし、完全に丸投げのときもあるけど…今回は、どっちでもない気がする。

咲人：ま、俺的には、良い意味でケツ叩かれるみたいな感覚はある。

―だから、シンセ同様、ギターも一クセある音像だったりするわけですか。

咲人：うん。たとえば自分の曲だったら、そういう風にしようっていう思考に出てこないし、Ni~yaの曲でも出てこないし、それはRUKAさんの曲の持ち味なのかなって。

柩：俺も、「Romeo」はRUKAさんらしさがすごく出てる曲だと思った。歌詞が乗る前から、〝アンチテーゼ（反立）的な曲になるんだろうな〟って曲調でわかったし。

―それがわかりやすく出ていると、曲へのアプローチも見えやすいでしょうね。

柩：そうそう。ホント、そういうの大事だなって思う。

Ni~ya：デモの段階からシンセがバンバン入ってたんだけど、最初から入ってると、アレンジしやすいね、確かに。そうなると、自分的にもアイデアがいろいろ出てくるし。

―RUKAさんとしては、そこまで考えて、ある程度作り込んでいるんですか。

RUKA：いや、なんかさ…俺、ベースとギターはほとんど弾けないから、曲を作るときは鍵盤で作るのね。でも、それだとスーパーで流れてるような感じの音になっちゃうんだよ。

Ni~ya：それわかる！　俺も、最初はギター弾けなくて打ち込んでたけど、それだとショボいんだよね。

RUKA：でしょ？　Ni~yaは自分でギターも弾くし、フレーズも入れてくるから、それだけでカッコよくなるんだけど、俺のはどうしてもそうならないわけ。だから、飾り立ててないと聴いてられないなって。かなり小っ恥ずかしい。

―やっぱり、最初に与える印象って大事ですしね。

RUKA：そうそう。たとえばさ、ちょっと微妙かなっていう曲でも、1本シンセのラインが決まったら、すごい良く聴こえたりもするから。だから、ちゃんと入れるようにしてるんだよね、俺は。

YOMI：あとはね、いつも、俺が感情込めやすいような歌詞を書いてくれるんで…そこはすごいなって。

―その歌詞は、YOMIさんにも近しい方を題材に書かれたそうなんですが…YOMIさんはこの人物像を客観的に見て、どう思います？

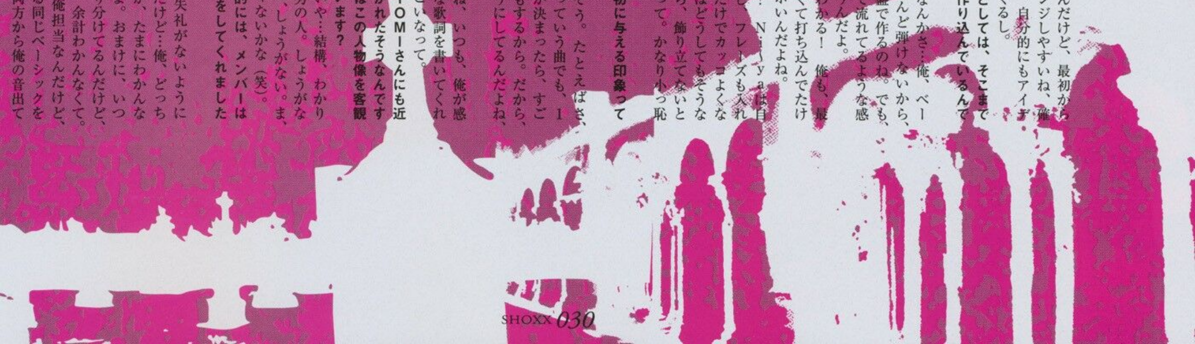
YOMI：え⁉　いや…結構、わかりますよ、こういう男の人。しょうがないですからね。うん、しょうがない。ま、結構生々しいんじゃないかな（笑）。

―RUKAさん的には、メンバーはどんな素敵な働きをしてくれましたか？

RUKA：まず、失礼がないように言っておきたいんだけど…俺、どっちがどっちのギターか、たまにわかんないときがあるんだよ。おまけに、いつもはステレオで振り分けてるんだけど、今回は違ったから、余計わかんなくて。

柩：あぁ、リフは俺担当なんだけど、今回は1曲まるまる同じベーシックを2本入れて、LR両方から俺の音出て

それぞれの人間性が色濃く出た作品に



るからね。で、咲人のウワモノはわりとセンター寄りで出して。

——どうしてまた、そういうことに？

咲人：今までのフォーマット的なものから、少しずつ何かを変えたいなと思ったから。そのことで、少しでも新鮮な聴こえ方をしたらいいなって。

RUKA：っていうので、俺としては前よりもどっちがどっちを弾いてるのかわかんないっていうのは大前提なんだけど…まず、右と左で同じことを弾いてる柩はすごいなって。俺が2回、同じドラムを叩こうとしても、全部ズレズレだと思うもん、はは。

咲人：ま、誰でもズレるけど、そのズレがウネリになるからね。

柩：だから、完全にズレてるのはマズいけど、ちょっとしたズレが、面白い効果になったりはするよね。

RUKA：ほぉ〜…俺なんか、同じ曲叩いても毎回違うからね。やっぱり柩はすごいなって思う。咲人は、シャレオツフレーズじゃない？

柩：シャレオツって（笑）！

RUKA：いや、咲人のギターのことを“オシャレなギター”って言ってるファンの人がいて、それがツボだったからさ。でも、この曲で“サイケデリック”な感じを醸し出す一番の大きな要因は、咲人のギターだからね。Ni〜yaは…元々、イントロのベースはなかったんだけど、入れてみたらグイグイくるよね。

Ni〜ya：…俺、それだけ!?

RUKA：はは、うん。でも、自分の曲だとグイグイいかないところが面白いんだけど。ゾジーさんは、最近1人で歌って終わらせてくれるからラクだな。前はジャッジをしてたんだけど、最近セルフジャッジなんだよね。チャンネー連れて来るからな。

YOMI：チャンネーじゃなくて、ボイトレの先生だって！　ボイトレの先生と1回録って、それをRUKAさんに聴いてもらってたんですよ。

RUKA：でもさ、楽しそうだよね。俺が入る隙間がないぐらいに（笑）。ま、俺はヴォーカルのことはよくわかんないし、そういうプロの人がいたほうが、自分がどうしたいとか、どうしたらいいのかっていうことがわかるんじゃないのかな。

YOMI：ま、ノビノビとは歌えました！

——そして、Ni〜yaさん作曲の「Rover」なんですが…温かくてすごく良い曲ですよね。

RUKA：まず、意外ではあったな。育った環境のおかげかなって思った。穏やかな環境で育ったのかなぁって。

YOMI：確かに、次男っぽさは出てる気がする。

RUKA：長男はもっとガツガツするよな。長男には書けない曲かもしれない。

——曲の持つ包容力は、そんなところに起因していましたか。

RUKA：うん、絶対そうだな。包容力あるもん、この曲。ネイチャーだね。

YOMI：ホント、優しさが伝わってくるもん。癒される。

咲人：俺は、デモの段階で“これシングルでいいじゃん”って思った。あと、曲を作ってくる度に、曲作りの面で確実にスキルアップしてることがわかる。

——それは、どういう部分で強く感じました？

咲人：「Nothing you lose」のときは、メロディがガンガン入ってて、“ブレスどうするんだ？”っていう問題があったのね。でも今回は、ちゃんと整頓されてたから。

Ni〜ya：そうそう、「Nothing you lose」で、“このメロディだとゾジーさんが歌えないよ”って咲人に言ってもらって。そこは、すげぇ考えたからね。

YOMI：でもさ、そんなこと言っておいて、咲人自身は俺が歌えない曲作ってくるって…すごくない!?

——それはきっと…愛のムチかも。

YOMI：そういうこと!?　ま、感謝はしてますけどね。

Ni〜ya：で、今回はサビだけ咲人にアレンジしてもらって。

咲人：自分で曲を作ってないと、わかんないことっていっぱいあるからね。

Ni〜ya：自分が歌ってたらわかるんだろうけど、なかなかね。

咲人：俺も、昔はギターソロ感覚でメロディを作ってたからわかるんだけど…ヴォーカリストにしてみたら、歌いにくいことこの上ない曲を作りがちなんだよね、楽器を弾く人間は。

柩：その点、「Rover」はシンプルで、スッと入れる曲だよね。だから、プレイをする上でも悩みなく臨めたし。

Nightmare

咲人：アレンジも呼ばれるからね。次々フレーズが出てきたし。ま、Ni〜yaにはこれからさらに期待してますよ。

——と言ってもらったNi〜yaさんから、それぞれに言ってあげたいことは？

Ni〜ya：RUKAさんは、ああいうゆったりしたテンポは苦手だって知ってたけど…テンポとかアレンジに関して、あんまり文句言わなかった（笑）。自分の曲を初めてスタジオで合わせる時って、すごいビビってるもん。でも、なんだかんだウマくアレンジしてくれるあたりは、やっぱりさすがだなって思う。

RUKA：叩いてみたら難しかったけどね。ま、たまにはいいかなって。

Ni〜ya：ギターは、2人にほぼ丸投げしたんだけど…安心して任せられたからね。思っていた以上のアレンジにしてくれたから、何も言うことなかった。特に、イントロの後ろで柩が弾いてるフレーズが、すごく好き。

柩：ゆったりしたほうがいいのかなと思って。弾いてても心地良かった。

Ni〜ya：そのイントロで、耳に残るフレーズを弾いてくれてる咲人も…ホント、良い仕事してくれるなって。

YOMI：最初、アウトロに歌を入れようかって思ってたんだけど、そのギターフレーズが入ってたから、変にジャマしないほうがいいなと思って、入れないことにして。ホント、あのギターいいよね。

咲人：そこ、まさに呼ばれたんだけど…呼ばれたフレーズは強いね、やっぱり。

Ni〜ya：変に考えるより、そうかもね。あと、ゾジーの歌もすごい良かったし。グッとくる歌を入れてくれたからね。改めて、みんなで音楽をやるって面白いって思った。自分だけじゃ、行き詰っちゃうだろうし…5人で力を出し合うと、こんなに良くなるんだって。感動があった、ホントに。

——という曲に対して、恋愛の真理を突いたYOMIさんのピュアな歌詞は、みなさんの目にどう映っていますか？

柩：これ、ホントに思ってることなの？

Ni〜ya：これがゾジーの本心だとしたら、悪いことしててもホントは純粋なんだって思うけど、もしウソだとしたら…かなりショックだね。

YOMI：いやいや、ウソじゃないって！

RUKA：ま、フィクションも混ざってるだろうしね。

Ni〜ya：あと、書き直してるんで。最初は、もっとやさぐれてる歌詞だったよね。

YOMI：そうそう。“優しい感じにしてくれ”ってNi〜yaに言われたから。

咲人：最初の歌詞には、根暗感がすごい出てたしね（笑）。でも、結果的にはウマい具合にまとまったかな。

——ちなみにですね、“FANTASIA”という言葉にかけて、もしファンタジーな世界があったとしたら、5人それぞれ、どんなキャラだと思いますか？

YOMI：Ni〜yaは戦士って感じがする。

咲人：確かに、盾と斧を持ってそう。

柩：剣じゃなくてごつい斧ね。わかる！

咲人：RUKAさんは…最後のボス。

柩：それか、ガンダルフ（『ロード・オブ・ザ・リング』に登場する魔法使い）。仙人的な感じかな。

RUKA：柩はゴブリン（邪悪な精霊）。

Ni〜ya：なるほどね。それか、ストツー（ストリートファイターII）で言うと、ブランカ（ブラジルの戦士）。

咲人：あ、わかる！

柩：じゃ、咲人はダルシム（同じく『ストリートファイターII』に登場するインドの戦士）かな。

RUKA：それか、賢者じゃない？　あと、スナフキンとか。ハープ吹いてそう。

咲人：物理攻撃しないのね。

柩：そうそう。音で殺すみたいな。

咲人：ゾジーさんは、ダメ勇者。遊び人から転職したてみたいな。

柩：あ、スキルはまだ遊び人でね。

RUKA：って感じだけどいい？

——それぞれな感じでありがとうございます。さて、7月からはツアーがありまして、着地点は3度目の日本武道館ですが…今、思うところは？

咲人：ま、不安要素はないかな。

柩：前を越えていければね。

Ni〜ya：確かに！

RUKA：どうにかなるよ。

YOMI：うん。より、武道館似合うねっていうバンドにはなりたいかな。

(問)<伊達漢>〒162-0831 東京都新宿区横寺町32　TR神楽坂Bld.　TEL:03-3268-7213(受付時間・平日12:00〜18:00)
teotoko@nightmare-web.com

hudie.com

Loop Ash RECORDS

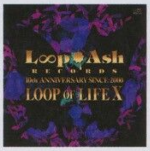
10th ANNIVERSARY SINCE 2000

LOOP OF LIFE X

2010.6.30(Wed)

CD&DVD同時発売決定!

「LOOP OF LIFE X」~CD ver.~

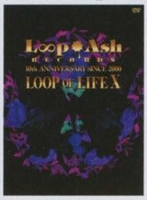


【収録】

01. ν[NEU]「エコー」
02. Zip.er「butterfly」
03. ALiBi「キラ☆メキ未来」
04. -OZ-「DETOX」
05. Annie's Black「花詞-2010-」

全5曲入/¥1,260(税込)/PCLP-001
【発売元】LOOP ASH RECORDS 【販売元】PCI MUSIC

「LOOP OF LIFE X」~DVD ver.~



【収録】

01. -OZ-
02. ν[NEU]
03. ALiBi
04. Zip.er

★通販予約はコチラ⇒ http://shop.banz.jp/
通信販売限定商品/全120分
完全限定1000枚/¥7,350(税込)/MBDV-015
【発売元】バンズエイド/【販売元】バンズエイド

LOOP ASH 10th ANNIVERSARY 「ループ開き-2010-」

7.02(Fri) さいたま新都心HR VJ-3
(問)DISK GARAGE/TEL:03-5436-9600

7.03(Sat) 新潟JNUK BOX
(問)リスキー/TEL:025-243-0799

7.09(Fri) 大阪MUSE
(問)大阪MUSE/TEL:06-6245-5389

7.10(Sat) 名古屋BOTTOM LINE
(問)SWEET LOGIC/TEL:052-979-7047

7.18(Sun) 渋谷O-EAST
(問)DISK GARAGE/TEL:03-5436-9600

LOOP ASH 10th ANNIVERSARY 「ループ開き-2010-」後夜祭

7.19(Mon) 渋谷BOXX
(問)DISK GARAGE/TEL:03-5436-9600

7.22(Thu) 札幌ペニーレーン24
(問)IBSP/TEL:011-876-8061

7.23(Fri) 札幌mole
(問)IBSP/TEL:011-876-8061

全公演共通
【チケット】6/5(土)より全国一斉発売!

蝴蝶网
hudie.com

Knowledge Alliance　PCI MUSIC INC.　Loop Ash RECORDS　Bands@id http://www.banz.jp

http://www.loopash.com/

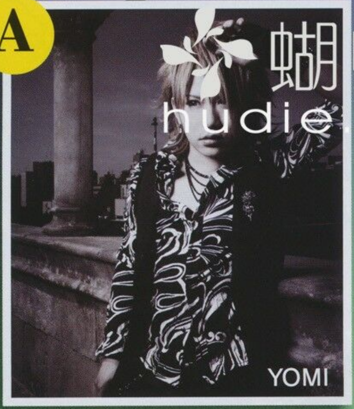
Nightmare

ナイトメア

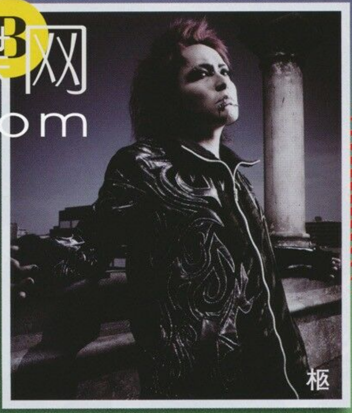
オリジナルフォト応募者全員サービス!!

蝴蝶网
hudie.com

A



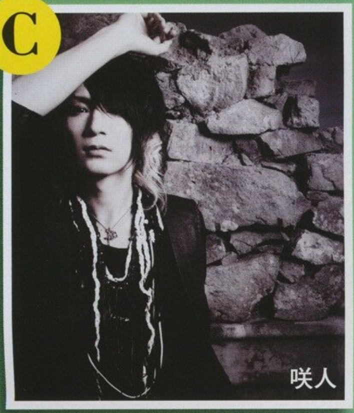
B



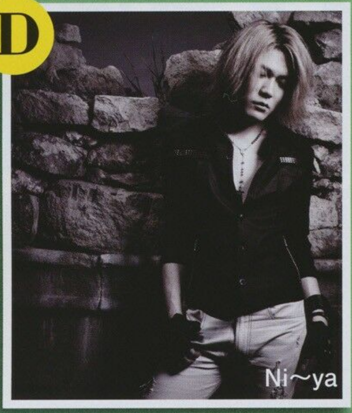
オリジナルフォトを応募者全員にサービスしちゃいます

タイプは5パターン（個人各1点）。
応募券1枚でお好きな1枚をあなたのお手元に!!

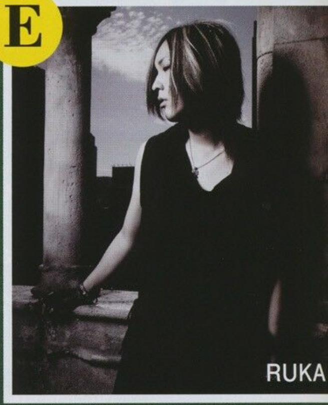
C



D



E



●応募に必要なもの

- ·80円切手2枚（申し込み用の封筒に貼るものと返信用の封筒に貼るもの）
- ·20円分の切手（手数料用）
- ·定型封筒2枚
- ·応募券（このページの右下にあり）

【応募方法】

① 生写真（9×13cm）が入る大きさの定型封筒（定形外の大きな封筒での応募は無効になります。ご注意下さい）2通と、80円切手を2枚、手数料の20円分の切手を用意します。

② 1通の封筒に80円切手を貼り、表にあなたの住所、氏名を記入。封筒の裏には希望の生写真のアルファベット（A～E）のいずれか1つを大きく書いてください。この封筒は、編集部から応募者に写真をお送りする返信用封筒になります。

③ ②の返信用封筒とも手数料の20円分の切手をもう一通の封筒に入れ、あて先のヨコに応募券がはがれないようにしっかり貼って、下記の住所まで送ってください。

【あて先】

〒104-8228　東京都中央区銀座6-2-3　ダヴィンチ銀座アネックス5F
株式会社　音楽専科社　ナイトメア·オリジナルフォトプレゼント●係
※●の中には返信用封筒に書いた希望写真（A～E）のアルファベットを書いてください。

【締め切り】

2010年7月20日（当日消印有効）

【発送】

2010年9月中旬からになります。9月末になっても届かない場合はご連絡ください。
（03-3574-0205／月～金　11:00～18:00）。

【お願い】

- · 希望のアルファベットが未記入の場合は、ランダムに送らせていただきます。
- · 応募券のコピーは不可です。コピーの場合は無効になります。
- · 応募券1枚につき一通のご応募でお願いします。複数お申し込みのお客様はその数分応募でお願いします。

SHOXX VOL.210
ナイトメア
応募券

蝴蝶网
hudie.com

New Maxi Single 二ヶ月連続 Release!!

2010.7.7 [wed] Release

「陽炎」「蒼炎」

◇TRCL-0069 ◇¥1,260 ◇収録曲 :1. 陽炎 2. 蒼炎

2010.8.8 [sun] Release

Nancy

◇TRCL-0070 ◇¥1,260 ◇収録曲 :1.Nancy 2.JUMPIT

【In Store Event】 8.13 [fri] 仙台 little HEARTS. / 8.21[sat] ライカエジソン東京店 / 8.22 [sun] 池袋 Brand X

Tour10 Final Onemanlive

闇を裂く陽炎と鼓動

8.27 [fri] 池袋 Black Hall

Tour10 闇を裂く陽炎と鼓動

7.10[sat] 高田馬場 AREA / 7.11[sun] 高崎 CLUB FLEEZ / 7.18[sun] 柏 PALOOZA / 7.23[fri] 青森 QUARTER / 7.25[sun] 札幌ペニーレーン / 7.29[thu] 金沢 AZ
7.31[sat] 京都 MUSE / 8.8[sun] 池袋 Black Hall(SKULL VS -OZ- 2マン) / 8.9[mon] 池袋 Black Hall(SKULL VS -OZ- 2マン) / 8.11[wed] 仙台 HooK(SKULL VS -OZ- 2マン)
8.12[thu] 仙台 HooK(SKULL VS -OZ- 2マン) / 8.14[sat] 新潟 CLUB JUNK BOX mini(SKULL VS -OZ-2マン) / 8.15[sun] 新潟 CLUB JUNK BOX mini(SKULL VS -OZ-2マン)

www.skull-web.com

Photography:SAWAE HA
Report:ERI MIZUTANI

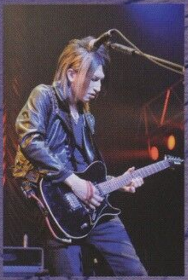
PS COMPANY PRESENTS TRIBAL ARIVALL Vol.100

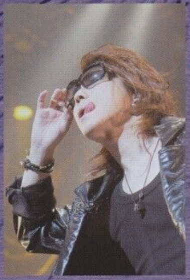
2010.5.30
LIVE AT
SHIBUYA-AX

100回目のパーティーは超プレミアムな夜!!

**PS COMPANY PRESENTS［TRIBAL ARIVALL］も、今回で何と、100回目。
その記念すべき日にSHIBUYA-AXに集まったのは、Kra,Alice Nineを始めとする、今を代表するバンドばかり。
それぞれが、個性的なパフォーマンスで会場を熱気に包み込む中、
スペシャルゲストも登場した夢の宴の様子を、余すことなくお伝えしていこう。**

ACT1





M1:もっと強く抱きしめたなら「WANDSカバー曲」
M2:嫉妬でSHIT…(照笑)
M3:夢見る力(仮)

[illegible]鋭(!?)のバンド、THE 東京 HIGH BLACK。ディープパープルの曲に乗せやってきたメンバーは、どこを見ても個性派揃い。ヴォーカルのムササビとマダオは、互いの特性を活かした歌い方でその場を盛り上げ、ギターの門マーシーは、そんな2人を影で支えながらも、主役級の目立ち方をしていく。カバー曲を含みながら、新曲「嫉妬でSHIT…(照笑)」と「夢見る力(仮)」を爽やかに披露すると、凄まじい速さでステージを後にした。ちなみに、この度めでたくデビューが決まったとのことで、会場からは大きな歓声が沸き起こっていたのも補足しておきたい。今年度の台風の目となるか、乞うご期待!である。

続いては、SCREW。ベースにルイが加入してからというもの、今まで以上に音が厚みを増したわけだが、それは、今日もいかんなく発揮された。まずは「VEGAS」で周りを一網打尽にしていく。勢いのついた楽器陣とは対照的に、鋲の声はどこか刹那的であり、聴く者の心を打つ。"頭とばしてくれよ!"と煽った「スカーレット」では、明るいサビとバックの激しさが絶妙であった。[illegible]残念なことに、この後に機材ト[illegible]見舞われるという非常事態が彼[illegible]た。結果、時間の都合上、泣く泣[illegible]カットするはめになってしまっ[illegible]そこに慌てることなく、冷静に[illegible]最後の「S=r&b」でフロアを興奮の渦に巻き込んだ彼らには、大きな[illegible]りたい。

登場した瞬間から、何か惹き付[illegible]るものを感じたのは、人気急上昇中のViViD。SHIBUYA-AXと[illegible]大きな会場でのライヴは初め[illegible]だが、「Distance of mind」からし[illegible]りと見せてくれた。デジタル音と生音の融合、新感覚ロックともいえる音楽が散りばめられているだけに、観客もあっという間に彼らの楽曲のトリコになっていたようだ。「キミコイ」「PRECIOUS」「Dear」の4曲を演奏すると、"ありがとう、最高です!"と満面の笑みを浮かべてその場を立ち去っていった。約2ヶ月後、もう一度この場所で彼らはライヴを行う。今度はイベントではなくワンマ

蝴蝶网
hudie.com

ACT2

M1: VEGAS
M2:スカーレット
M3:Cursed Hurricane
M4:S=r&b

蝴蝶网
hudie.com

ACT3

M1:Distance of mind
M2:キミコイ
M3:PRECIOUS
M4:Dear

ACT4

M1:L.E.D Ghosty
M2:gr8 story
M3:小悪魔Sparkling
M4:LOVE SCREAM PARTY
M5:39GalaxyZ

ンという形で。そのときは、今日より一層、魅力的なバンドへと変貌を遂げているはずだ。

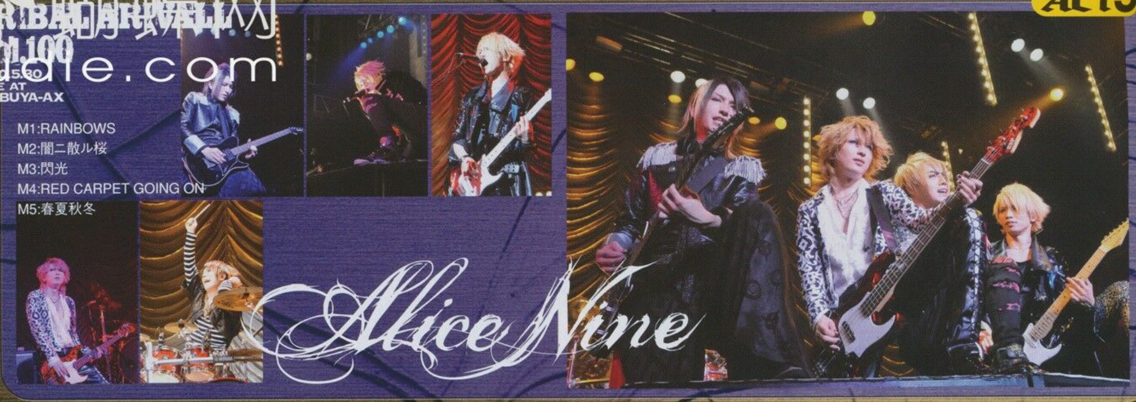
いつでも、どんな場所でも、自分流。それをさらりとできてしまうのが、このバンドの最大の魅力だろう。他とは異なる演出で我々を楽しませてくれたのは、SuG。Heavy Positive Rockという冠が付いているだけあって、彼らの楽曲はみんなに勇気を与える。また、どの曲も、視覚面でも楽しめてしまうというのが彼らの音楽の特長だろう。この日も、幕が開いたと同時に、武瑠がダンサーを率いて踊りながら歌うという斬新なアイデアに度肝を抜かれてしまった。その「L.E.D Ghosty」を始め、「小悪魔Sparkling」「39GalaxyZ」など、本当に、見ていて楽しい、面白い、と思えるライヴを繰り広げてくれた。8月には、渋谷CCレモンホールでワンマンを敢行するだけに、今日見せてくれた以上のものを見せてくれることに期待したい。

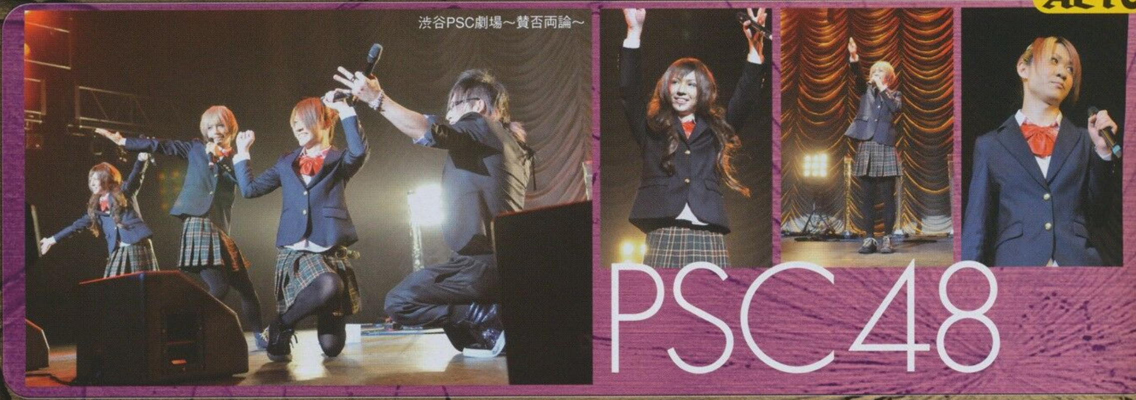
今や、このシーンで最も成長著しいと言われているAlice Nine。ほんの少し前までは、PS COMPANYの1番末っ子だった彼らが、いつの間にか、後輩から慕われるお兄さんバンドに成長していた。その勇姿を見届けようと、場内は、たちどころに多くの人で溢れ返ることに。そして、ライヴの始まりを告げる一声とともに、重厚な音色が場内に響き渡った。それを聴き、観客も火が付いたのか、自発的に拳を突き上げる。熱さ全開の中、演奏された「RAINBOWS」は、ソリッドな弦楽器とパワフルなドラムがロックバンドの呼び名に相応しく、女性ファンはもちろん、男性ファンの心までをも掴んで離さない。さらに、新曲の「閃光」は、イントロ部分から観客のテンションが振り切ってしまうほど、かっこいい曲に仕上がっていた。ギターキッズであろう少年が、この曲で飛び跳ねていたのも、実に、微笑ましかった。まさに、この日は、イベントとは思えないほど、クオリティが高いライヴだったと言えよう。

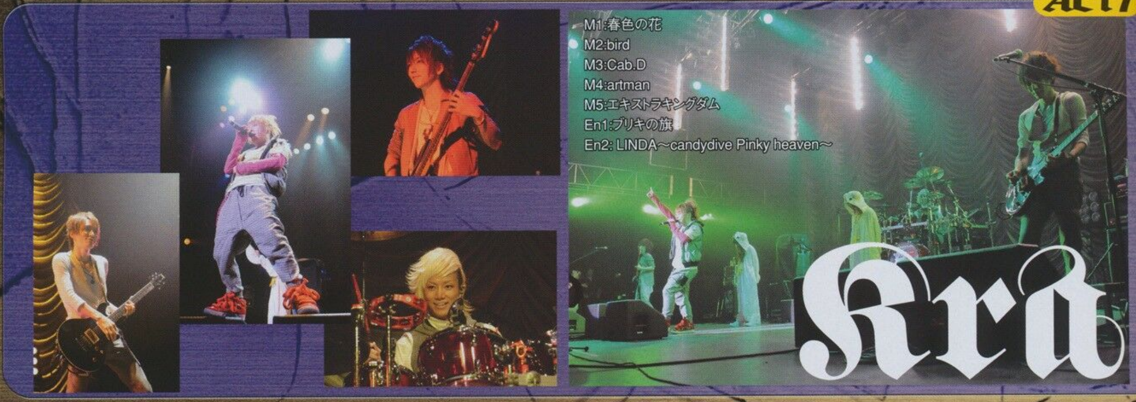
ラストに近付いた頃、ほんの小さなコーナーが設けられていた。その名も、〝PSC48による、渋谷PSC劇場～賛否両論～〟どこかで聞いたことのあるよ

蝴蝶网
hudie.com

PS COMPANY PRESENTS
TRIBAL ARIVALL vol.100
2010.5.30
LIVE AT
SHIBUYA-AX







れたのは、武瑠、yuji、イヴ、Chiyuの4人。彼らは完璧なまでに、某アイドルをパロディってくれたのだった。踊りからコントまで、スムーズにこなしてしまう芸達者ぶりに、観客は腹を抱えて笑いつつも、感心した表情でステージを眺めていたのだった。それにしても、アーティストがここまでやってくれるとは。ほんと、お見逸れしました！

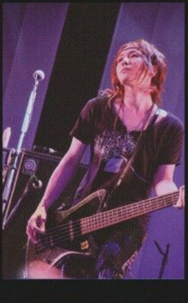
ラストはこの人たちしかいないだろう。PS COMPANYが主催するイベントには皆勤賞と言っていいほど参加しているバンドと言ったら、そう、Kraだ。真のエンターテイナーというのは、彼らのことを指すのかもしれない。1曲目の「春色の花」では、景夕が歌いながら踊るという画期的試みに出た。ポップな曲だからこそ栄える演出。もちろん、これには、観客もメンバーもノリノリで応えていた。…のだが、〝みんなの言いたいことはわかります、何事か!?と。頑張ったんです！ 100回目だから！〟と、必死に訴える景夕。どうやら、PSC48に負けないよう、陰でひっそりと練習したらしい。さらに、舞までもが〝ムササビ先輩とサッカーをやっていたから、動きはバッチリ〟という気合いの入りよう。〝ここから飛ばしていくかっ！〟と威勢良く煽った後には、「Cab.D」と「artman」で会場を揺らしていく。そして、「エキストラキングダム」で締めくくると〝今日は特別ですからもっといきましょう！〟と予定にはなかった曲を演奏し始めた。すると、そこには明らかにKra以外の音が混ざっていた。それこそ、何事か!?と思った瞬間、スペシャルゲストが登場。その人物とは、theGazetteのギタリスト・葵。彼を迎えて演奏された「ブリキの旗」と「LINDA〜candydive Pinky heaven〜」は、双方のファンから見ても、新鮮に映ったはずだ。

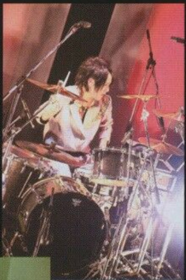
こうして、【TRIBAL ARIVALL】100回目の記念すべき公演は大成功に終わった。全バンド、やっている音楽は違えども、切磋琢磨して新たな道を切り開いていこうという強い意志は共通しているはずだ。なので、これからも、同じ事務所に所属する者同士、このシーンを大いに盛り上げていってもらいたい。

蝴蝶网
hudie.com

10th Anniversary

Kagrra,





蝴蝶网
hudie.com

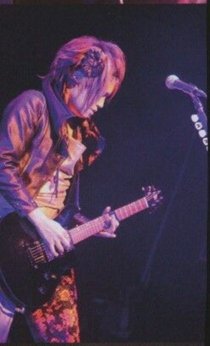
Kagrra,10th Anniversary～百鬼夜行～第二弾

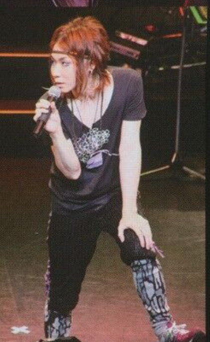
「鬼咆」

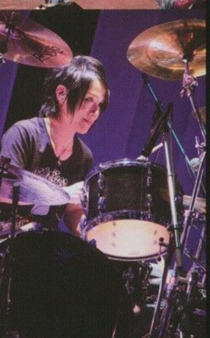
2010.6.3 SHIBUYA O-EAST

年輪を増せば増すほど、樹は大きな花を咲かせ、多くの実をつける。最新シングル『月に斑雲　紫陽花に雨』の発売を前にして、Kagrra,は6月3日に結成10周年記念公演[鬼咆]を行なった。夏には上海万博への参加や、ツアー[行脚　百鬼夜行～陰～]も予定されているほか、8月14日には次作『白ゐ嘘』も発表するという。日本の夏、Kagrra,の夏は、もうすぐそこだ。

Photography:MASAKAZU KOBAYASHI(SHOXX)
Report:YUKI SUGI







時を重ね、手間を施し、心を込めてそれに向き合うことで、ようやく醸し出される味わい深さというものが世の中にはある。むろん、それは何も酒やパンなどに限った話ではない。

本来、衝動と激情の瞬間爆発装置としての性格を持つはずのロックバンドもまた、長い歳月を経て、様々な経験値を増やしていくことにより、いつしか〝ぽっと出〟の小童（こわっぱ）には絶対出せない貫録と、他を寄せつけぬ確固たる特性を持つことになるのだ。

さて、そこでKagrra,の話といいなるわけだが…彼らはこのたび、10回目の結成記念日となる6月3日に、渋谷O-EASTにて［10th Anniversary～百鬼夜行～第二弾「鬼咆」］というワンマン・ライヴを行なった。5人編成のロックバンドであるということを大前提にしながらも、始動以来ずっと日本ならではの美意識や、繊細な和の心、そのうえ時には妖怪や鬼といった我が国における土着的幻想世界までをも表現してきたKagrra,は、この場で我々に自らの心髄と真髄を、余すところなく提示してみせたのである。

しかも、今回はいきなり冒頭から新たな手法も取り入れられており、紗幕ごしに眼鏡をかけた一志が椅子に腰掛けながら、鬼にまつわる散文詩を朗読した導入部分を受けての「鬼遊の唄」は、Kagrra,のライヴでなければありえないオープニングシーンとして、観衆の脳裡に深く灼きついたことだろう。

記念すべき一夜に相応しく、これ以降も彼らが10年の歳月をかけて紡いできた、様々な楽曲が目白押し状態で演奏されていったこのライヴだが、敢えて抽出するならば、前半戦については「戯曲　かごめ謡」と「戯曲　華一匁」という、戯曲シリーズが揃い踏みとなったあたりから、「鵺の哭く頃」までの濃密で風韻のある流れが、聴き応えと見応えの両面で非常にKagrra,らしさを堪能できたような気がする。日本に多くのバンドはあれども、ここまで日本人らしく趣深い幽玄の世界を体現できるのは、きっと彼らくらいのものだ。

真の操る雅びやかな箏の音と鮮やかなギターワーク、楓弥の頼もしくエモーショナルなプレイ、女雅の自在で伸びやかな5弦ベースの弾きっぷり、白水の生む凛とした律動、そして一志のシアトリカルな色さえ滲む、表情豊かなヴォーカリゼイション。それらが渾然一体となった時、Kagrra,は他の追随を許さぬ唯一無二の存在へと化す。それはとりもなおさず、一朝一夕ではままならない、修練と鍛練の成果でもある。

そのことは、最新シングル曲「月に斑雲　紫陽花に雨」が演奏された場面でも、いかんなく発揮されていたと言っていい。新曲にして、寸分の隙もなく完成された世界がそこには在った。

一方で、かつてラストインディーズ・シングルとして発表された「夢イズル地」と、メジャー・デビュー曲「愁」で本編を締め括った後、この日はアンコールにて過去10年を振り返りながら、各メンバーが思い出を語っていくというコーナーが設けられており、ここでは逆に少しばかり隙のあるメンバーの素顔を垣間見ることも出来た。

ON AIR EAST（現O-EAST）での初ライヴで真を筆頭にメンバーほぼ全員が感動して泣いたという話や、女雅がまだツアー中に機材車の運転をしていた頃、疲れと眠さのあまりに高速道路で幻影をみたという話（笑）など、今思えば懐かしい話の数々を並べた後、こう付け加えたのは一志だ。

未来へと続く、10周年の宴

「こ……い……今があるんだと思います。そう考えると、みんなにはありがとうしか言えないです。これからもずっとずっと俺たちは、Kagrra,だし、みんなも俺たちについて来てくれると信じてます。Kagrra,のいる場所が、みんなのいるべき場所です！」

そう言い切ってから、結成直後からことあるごとに演奏してきた「桜舞い散るあの丘で」を彼らが最後に演奏し始めた時、そこから感じたのは懐古の念というよりも、彼らの胸中に灯っているのであろう、新たな10年に向けての決意だった。

未来への途は、すでに彼らの目前に拡がっている。そこを走るも歩くも転がるも、あとは彼ら次第だ。そんなKagrra,の行く手に、これからより加護の光が溢れることを心から願いたい。

【set list】
1.鬼遊の唄
2.ぱらいぞ
3.魔笛
4.斬帝
5.神風
6.戯曲　かごめ謡
7.戯曲　花一匁
8.妖祭
9.咒葬
10.蓮
11.鵺の哭く頃
12.月に斑雲　紫陽花に雨
13.四季
14.賽
15.神謌
16.恋綴魂
17.徒然謌
18.夢イズル地
19.愁
<encore>
20.し、み、め、ゆ、き、さ、あ
21.奇祭
22.日ノ本
23.凛
24.桜舞い散るあの丘で

蝴蝶网
hudie.com

Kra

春の思い出はどんな色…？
ライヴDVDリリース!!

――ライヴの模様を収録したDVDが発売になりますが、4月の野音は振り返ってみていかがでしたか。

景夕：やっぱり楽しかったなって。野音は2回目ですし、みんなちょっと余裕があったんじゃないかと思いますね。

舞：入りから帰りまで楽しめました（笑）。景夕が言ったみたいに、前回で会場の感覚とかもある程度分かってたし、自分たちの中にも余裕が出てたと思うし。たこ焼き20人前ジャンケンとかも余裕持って出来て、楽しかったです（笑）。

――そういう楽しかったところが伝わる映像になってますね。

靖乃：空気が入ってると思います。

景夕：ライヴ自体もそうですし、オフショット的な特典映像もついてるんで、こういう感じだったんだなっていうのが伝わると思います。

靖乃：舞ちょが、本番までに楽屋でいかにくつろいでるかが分かってもらえると思います（笑）。

舞：すっごいですよ。自分でビックリしましたもん。俺、こんなんしてたんだ!?って（苦笑）。

――結良さんはどうでした？

結良：すごく寒かったんですけど、それでもお客さんが盛り上がってくれたから、楽しめたと思います。お客さんにすごい助けられたと思います。そこは映像で見ても分かるかもしれないですね。

――雨が降るとか、予測していなかった事態でしたからね。

景夕：朝はすごく晴れてたんで、絶対降ることはないと思ってましたね。途中で、何となく空を見上げた時に、〝こんなに雲あったかな…明日は雨かな〟と思ってたら、明日どころか数分後でしたね（苦笑）。でも、あの雨があったから開き直れたと言うか。トラブルがあるとワクワクするタイプなんで、これみんなどう反応するかなって、ちょっと楽しみでした。

靖乃：メンバーもそうやけど、客席もしょうがないか、って開き直った感じがすごいあったかな。その結果、臨場感があるって言うか、緩急がついてる感じに映像が演出されてるのは、雨があったせいという気もしますね。その辺がハイライト的にDVDでも進行していくので。特典映像の、ものすごく晴れてるお花見

す。野音に来られなかった子たちにも雰囲気をつかんでもらえるものになった気はしてますね。

――特典映像では、オフの顔もたくさん見られますね。

景夕：通常盤には、ツアー中の楽屋裏とかも入ってるんですね。だから、ツアーが始まる時からカメラを回して、そういう一連を見せて行こうっていう話で撮ってはいましたね。

靖乃：限定盤と通常盤で収録曲が若干違う以外に、特典映像のテイストが全く違ってたりするんです。各々を独立して楽しんでもらえると思います。

――通常盤では、ライヴハウスを廻るツアーをやっている雰囲気が、よく出ていますね。

景夕：あと、舞ちょの問題発言と…。

――カットされなかったんですね。

舞：カットされなかったです（苦笑）。

靖乃：限定／通常を通して、舞ちょがやらかしてます（笑）。

舞：トラブルメイカーです！（笑）いろんなことが起こって、楽しんでもらえると思います（笑）。

景夕：これからDVDが出るたびにね、舞ちょの全てが分かって来ると。そういう作品に仕上げていこうかな。

結良：僕は、オフショットのチェックはしてないんです。マネージャー判断のOKが出てるならOKだよということで。僕、大丈夫だった？

景夕：大丈夫とかそういうんじゃない。オフショットはみんなバカだから。

結良：…（苦笑）。

靖乃：スタッフとかしか体験できないような距離感で撮ってもらってるんでね。特に野音に入ってもらってたDVDのクルーは、僕らの最初の映像からの付き合いだったりもするし、臨場感のある感じで撮ってもらえてると思います。

――ナチュラルな表情なので、ライヴ映像も含めて楽しんでもらえそうですね。そして、野音のライヴが終わった後は、シングルの制作に取り掛かっていたんですか？

景夕：ずっとレコーディングでしたね。

靖乃：4月の終わりに韓国へのFC旅行があって。それから引き続き曲作り期間だったり。先日、事務所のイベントがあっ

蝴蝶网
hudie.com

Kraの2度目の日比谷野外大音楽堂公演の模様を収録したDVDが、7月7日にリリースされる。突然の大雨に見舞われるという不測の事態もありながらも、Kraらしくハジけた一夜となったライヴだったが、そんな1日やツアーの舞台裏も収めたDVDで、彼らの素顔を深く知ることが出来るかも。8月にリリースが決定しているシングルについても併せて、彼らの近況を探るインタビュー。

Interview:MIYUKI MURAYAMA

は踊った

景夕：踊って、歌詞が飛んで。お客さんから踊らないほうがよかったって言われ…。

一同：(笑)

靖乃：新しい試みでステージでクマが踊ったりとかしつつ。それの仕込みもやってたよね。メンバー全員、エクササイズも兼ねて、ダンスレッスンに行ったり。

景夕：この先もダンスをやるかどうかは別に、楽しいなって思いましたね。全く何も知らなかった状態から、少しずつ先に進めるとやっぱり楽しいんですよね。

靖乃：達成感がちょっとずつあると、次は何が出来るかって思うからね。

——あとは、個々に曲作りしたり？

結良：曲作り頑張りました。

舞：そういう時期でした。

——何か今後の展開について考えたりはしましたか。野音のMCで、ファンシー&メルヘンロック色を出して行きたいと話してましたよね。

景夕：昔の歌詞で言ったら、物語調だったり、ちょっと設定が変な感じだったり、そういうほうがみんな好きなんだなと思って、そういう濃い部分をもう少しやりたくて言ったんですよ。

靖乃：今までね、キーワードとしてはあっても、近づいたり離れたりしてたんで。せっかくだから、武器として使えばいいのかなっていうのもありつつ。

——曲作りの方向として、考えたことはありました？

結良：サラッと聴ける難しいことを入れていきたいと思ってるんですよね。楽器やってる人とかが聴いたら、難しいことをやってるなって分かるんだけど、聴きやすいみたいな。聴きやすい難しさを出していきたいでね。個人的には、この4人以外の音を学びたいなって思ってます。シンセの音だったりとか。ピコピコ系のものとかは、僕の中には一切ないものなんで。

——それをKraに取り入れていく？

結良：何でも入れていきたいですよね。和楽器だったりとか、近代的な電子音だったり。

——舞さんはいかがです？

舞：出来る限り、今までやってない形の曲とか試みをしたくて。似たような曲を聴いてる人もつまんないと思うから。出来るだけ自分たちになかったものを取り入れてやっていきたいですね。

——靖乃さんも曲作りはしていました？

靖乃：曲数的にはそんなにないですけど、自分が出来る範囲でやってました。メインのソングライターは結良であり、舞ちょなので、その二人とは違う切り口のものが出せたらいいのかなっていうイメージでしたね。

これからDVDが出るたびに、全てが分かって来る…かも!?

——そういうみなさんの作業の結果、出来たのが、8月リリースのシングル『デンノヲ空想理論』ですね。

景夕：制作する時に、もうちょっと遊びの部分が欲しいと思ったりしてましたね。すでにアルバムの制作も頭の中にあるんで、シングルとアルバムがセットになってる感覚で考えてました。

結良：僕は、〝激しい曲〟っていうコンセプトで作ったつもりなんですけどね。バラードがもうイヤなんです。今までで、緩やかな曲とかバラードが激しいのより多いんですよ。だからライヴの後半とか前半の入り口で盛り上がれる曲で行きたかったですね。

——収録曲全部そう行きたいと？

結良：メジャーデビュー・シングルが全部バラードだったから、今度は全部激しくてもいいんじゃないの？って。

——詳しくは次号でお伺いしますね。さらに今後の予定として、ライヴもかなり決まっていますね。

景夕：アルバムが11月リリース予定なんで、またレコーディングです。レコーディングを終えて、楽しくツアーを廻りたいですね。ある程度は録ってしまって、ツアーの合間に残りの作業をする予定ではいますけど、たぶん歌録りとかは遅れるんじゃないですかね…(苦笑)。

靖乃：景夕さん、やれば出来る子なんで。

景夕：でも、やらない子なんです(笑)。

——そこは頑張って下さい！(笑)

靖乃：この春に久々に全国ツアーを廻って、みんなと触れ合いつつライヴをやっていくことで、バンドに勢い感も増すよなって思ったんですね。なので、それが繋がっていくと、作品もいいものになるだろうと思ってます。ツアーで加速して、制作も進めていけたらいいですね。

[Lc5]

NEW WORLD

mikuが放つ、新たな世界

2010年1月4日に活動休止したアンティック-珈琲店-のヴォーカリストみく。現在、"修行"としてそれぞれの道を歩んでいるアンティック-珈琲店-だが、活動休止から約6ヶ月の沈黙を破り、いよいよ、みくが動き出した。

その名は"Lc5"。

2010年6月8日、ついに情報解禁となったLc5とは？　気になるメンバー、音楽性、そして初のステージの様子をいち早く報告するとしよう。

Text:NAOKO TAKEICHI

2010年1月4日。初の日本武道館公演にて、活動休止を発表したアンティック-珈琲店-。"原宿系ダンスロック"というジャンルを確立し、バンドシーンに新たな流れを注ぎ込んだ彼らの功績は、高く評価されるべきものであると言っても過言ではないだろう。それを証拠に、彼らが切り開いた、シーケンスを大胆に取り入れたキャッチーなロックや、カラフルで、ファッション性の高い衣裳やエンタテイメント性の高いライヴステージは、彼ら以降に結成されたバンドにも大きな影響を与え、"アンカフェ系"なる流れを作ったように思う。

しかし。彼らは絶頂の時期、自らを向上させるためという理由で、突然の活動休止を発表したのだ…。

活動を止める最後のライヴと[illegible]日本武道館のライヴから約半年。いよいよ、ヴォーカルのみくが動き出した。ステージネームはmiku。バンドメンバーは、ギター夢時と[illegible]eo、ベースSato、ドラムA[illegible]。カラフルなヴィジュアルだった[illegible]ティック-珈琲店-とは対照的に、[illegible]トーンの衣裳で落ち着いた印象。確[illegible]に、アンティック-珈琲店-の主流となっていた"原宿系ダンスロック"ではな[illegible]王道のJ-ROCKとでも言お[illegible]生音を前面に押出した、荒々しいまでの音色と、声量のあるmikuの声が、ダイレクトに聴き手に届けられるのだ。

まだマスタリング前の4曲入りのラフ音源を資料として貰った。ゆったりと流れるドラマティックなイントロ。振り向いてはもらえない歳上の男性に想いを寄せる女性目線の歌詞が、切なく曲を引っ張って行く。疾走感のあるメロディアスなロックも中には存在し

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

刹那的なバラードも、歌を押出したメロウさが特徴的である。

アンティック-珈琲店-の中にも、メロウな歌モノ曲は存在していたが、またそことは違った景色が描き出される不思議があった。

そして、サウンド面。ｔａｋｕｙａ・カノン・ゆうき・輝喜の４人が奏でるバンドサウンドとは、また一味違った空気感を持っている。ｔａｋｕｙａ・カノン・ゆうき・輝喜、そして、みくの５人で届けられる音は、やはり〝原宿系ダンスロック〟が基盤となったエンタテイメント性の高いロックであったが、Ｒｅｏ・夢時・Ｓａｔｏ・Ａｋｉ、そしてｍｉｋｕといったメンバーで届けられるＬｃ５の音は、鍵盤の同期が入るも、いまのところ、ダンスロックを感じさせるリズミックスさはない。地を行くロックといったところだろうか。４つ打ちや、シーケンスを取り入れたダンス系のロックが注目されている今、まさに時代を逆走しているかのような強さを感じる。そんな楽曲面も、今後、どんな変化が見られるか、とても楽しみなところ。

何ごとも、〝らしさ〟を作り上げるのは容易なことではない。しかし、もちろん、メンバーあってのことではあるが、ひとつの〝らしさ〟を作り出し、シーンに送り込んだｍｉｋｕだからこそ、また新しいロックの形を見せてくれることだろう。

７月７日の心斎橋クラブクアトロを皮切りに、８日名古屋クラブクアトロ、14日渋谷クラブクアトロをまわる初の主催イベントツアーを行なうという彼ら。

Ｌｃ５———。

今後の展開に期待したい。

(問) http://www.lc5.jp

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

THE KIDDIE

smile.

迷える時こそ　自分らしくあれ

3月24日に『SINGLE COLLECTION』をリリースし､7月14日に「smile.」で、念願のメジャーデビューを果たすTHE KIDDIE。耳に残るサビ。何度も口ずさんでしまうメロディアスな歌メロのTHE KIDDIEらしさが健在の1曲。サウンドプロデューサーに、元JUDY AND MARYの恩田快人氏を迎えて挑む勝負曲。カップリングで見せる変化球も彼ら色がしっかりと感じられる1枚だ。

Photography:TAKEHIRO SUGANUMA
Interview:NAOKO TAKEICHI
Hair&Make-up:kumi.
Styling:TOMOMI OOBUCHI

――今回、サウンドプロデューサーに、元JUDY AND MARYの恩田快人氏を迎えたのはメンバーの意向?

揺紗：そう。JUDY AND MARYって僕らの世代的にはど真ん中だし、当時、1番新しいことをやってた人たちだし。今、僕らがメジャーシーンに羽ばたく作品を、一緒に手掛けてもらえたら嬉しいなって。僕自身、恩田さんの作る曲がすごく好きだったってこともあって、お願い出来たらなと。

――私たちの世代は、恩田さんといえば、PRESENCEだからね。恩田さんの言葉を借りて言うなれば、ストリートロッカーからメジャーシーンに羽ばたいた流れは、THE KIDDIEと同じかも。

揺紗：うん。すごく僕らの音とか個性を理解して制作に携わってくれましたね。

ユウダイ：今回の曲は、『SINGLE COLLECTION』を作り終えた去年の年末あたりから、新たにメジャーというシーンを意識して曲を作って持ち寄った15、6曲の中にあった曲たちでしたね。

佑聖：自分がイメージしてたメジャーデビュー曲って、まさに「smile.」みたいな曲だったんで、今回、揺紗くんがこの曲を選曲会に持ってきてくれたときは、めちゃめちゃテンション上がりましたね。

そらお：メジャーの一発目ということを意識して持って来た曲が集まった選曲会だったところは、いつもとちょっと違いましたね。でも、何曲かあった中で、特に「smile.」と「shooting star」は立ってた感じだったんですよ。

淳：「smile.」の方はちょっとサビが違っていたんですけど、みんなで理想の形にしていくうちに、やっぱこれだね！って思いました。

――たしかに、「smile.」のサビはいままで以上に立ってるもんね。「shooting star」はバンド感がすごく引き立ってる曲だし。恩田さんはどの段階で?

揺紗：レコーディングに入ってからです。そこからいろいろとニュアンスも含め、曲をよりいい方向に導いてくれた感じで。

――恩田さんがベーシストであるからか、今回、そらおのベースがすごく引き立ってる感じがしたんだけど。

そらお：そうですね。フレーズというより、音の面で、すごくいいアドバイスをたくさん頂きましたね。

――「smile.」の歌詞に込めた想いは?

揺紗：THE KIDDIEってこういう歌詞、みたいな総まとめみたいな歌詞を書きたくて書いた歌詞だったんですよ。嫌な事いっぱいあるけど、笑ってた方が良くない? みたいな。一番基盤となる部分が歌詞になってます。

そらお：歌詞もすごく前向きだったし、ベースとしてもメジャーを意識しながら、2パターンくらい考えて、そこから更に絞り込んで行く形でまとめていきましたね。結果、いい感じで主張出来ていながら、曲の一部として歌詞を押出したベースが弾けたんじゃないかなと思ってます。

ユウダイ：ドラム的には、リズムはシンプルなんですけど、恩田さんがすごく細かくアドバイスしてくれたこともあって、歌詞の一言一言をしっかりと感じ取ったドラミングが出来ました。歌詞を一言一言感じ取ってドラムを叩いていくという作業はいままでしたことがなかったんで、自分が目指す理想のドラミングよりも、より上を目指すことが出来ましたね。

揺紗：そう。歌を大事にするって基本だとは思っていたんですけど、ここまで歌や歌詞をみんなで大事にしようっていう意識を持って向き合ってる人なんだって、すごく感動しましたね。そういう過程を見てると、歌う側としても気持ちの入り方が違ってきて、自分自身、もっと歌を大事にしなくちゃって思ったというか。

ユウダイ：言葉一個一個に対してフィル一個、っていうくらい細かかったから、ここまで!?って思いましたからね。

――間奏のギターの掛け合いも、すごく曲のイメージを膨らませるモノだよね。

佑聖：あ。そこ俺が作りました！　そこには、ある想いが込められているんです！　やっぱりデビュー曲って、ずっと弾き続けるモノにもなると思ったんで、何年後かに、大きな会場で弾くときが来たら、カッコ良く弾けたらいいなと思って、そんなステージを想像しながら熱いギターソロを考えたんです！　ソロのライトハンドの部分は、前半が僕で後半が淳くんなんですけど、ツインギターの1番カッコイイ見せ方を意識して、2人でステージの中央に出てって弾き倒せるような、そんなソロになってます。

蝴蝶网
hudie.com

淳：そんな熱い想いがそこにあったってことは、僕はレコーディングし終わった後に聞かされたんですけどね（笑）。でも、ツインギターである意味をすごく感じられる1曲になったと思います。恩田さんからは、歌はもちろん、ピッチも重要ってことを教わりました。

──「shooting star」はBメロにすごくフックがあるよね。そこまで明るくないフレーズと重みのある演奏が、よりサビを引き立たせてる感じがする。

揺紗：全体的にバンド押しの曲にしたかったんで、Bメロとかは特にそんな感じを押出してるというか。自分たちが影響を受けて来たバンドの音で、カッコイイと思った衝撃を、そのまま自分たち色で表現した感じ。だから、歌詞の内容も、僕から尊敬してるモノに対しての感情と、ファンの人たちから僕たちに向けての感情を、ちょっとわかり辛く書いたんです。

そらお：原曲から疾走感のあるバンドサウンドだったんで、いままで自分たちが培ってきた全てを吐き出すつもりで向き合った曲でしたね。ベースはシンプルだけど、ガツガツと引っ張っていくベースを弾いたつもりなので、それが伝わってくれたら嬉しいですね。

ユウダイ：これは個人的に得意なドラムパターンでしたね。なので、レコーディングもすごく早かったです。これは本当に早くライヴでやってみたい曲です。バンドを始めた頃を思い出した1曲でした。

佑聖：僕もライヴで早くやりたいですね。こういうガツガツしてる感じの曲は絶対ライヴで栄えるんで、楽しみです。

淳：ロックっていう曲調を軸にしつつも、切なさのあるギターを弾きたいなと思って弾いた1曲でもあったんで、それがライヴでも出せたらいいなと思ってます。

──「HERO」は？

揺紗：「HERO」は1年くらい前にあった曲。当時は、まだ早いかなって思ってたんですが、今回なんとなく選曲会に持ってったら、みんながいいって言ってくれて。バラードじゃないゆっくりした曲が作りたくて作った曲だったんですよ。

──ほわんとした雰囲気の中に、ふとした感情が歌詞として乗ってるところも、すごく入ってくるよね。〃いっそミサイルの雨でも降れ〃って、たしか

(問) 〒162-0831東京都新宿区横寺町32 TR神楽坂Bld
☎03-3268-8804(平日 12〜18時)　http://kiddie.jp/

に不謹慎だけど、〃ホント、地球なんか壊れちゃえばいい〃って思うことあるもんね。

揺紗：うん。誰でも一回はあると思うんだよね。そんなことがゆっくりと伝わってくれたらいいなと思って。「smile.」とかは、スパッと、もう自分の気持ちは決まってるっていう前向きさがあるんだけど、この曲では、迷いがある心情を描きたかったんですよね。いろんなことを考えながらも時間はゆっくりと動いているっていうね。それを時間の浪費を業界風に変換してタイトルにしたんです。

――は？　業界風に浪費を変換？

揺紗：そう（笑）。逆さ読み（笑）。つまり、〃ローヒ〃＝〃ヒーロ〃。

――あ、でも、ただそれだけだった、なんとも……な感じだけど、歌詞がちゃんとHEROになりたくてもがく自分と繋がってるからね。そこはすごい。

揺紗：でしょ！　そこのシフトチェンジはすごいんですよ！　自分でもよく書けた歌詞だったなって感心してるんで、じっくり聴いてほしいですね（笑）。

ユウダイ：これは難しかったですね。こういう曲調はありそうでなかったんで、音作りから苦戦しました。スネアひとつの音を決めるのにもすごく時間をかけました。

そらお：これは本当にグループ感が難しい曲でしたね。まさに、〃こんなところにもこんな細かいフレーズ叩いてる！〃っていうドラムだったんで、ニュアンスを出すのにすごく苦労した曲だけど、雰囲気が出せた曲だと思います。

佑聖：人生初の試みなんですが、ギターは音色をひとつしか使ってないんです！　歪ませたい部分はピッキングで歪ませたっていう、なかなかマニアックな奏法を試みました。サビ前のあたりではそれが感じてもらえるんじゃないかな。

――アコギは？

淳：アコギ部分は僕です。まずアコギでベーシックなフレーズを録って、その後で、12弦ギターの響きが欲しいってことになって加えていったんですけど、2本のギターに12弦ギターの弦を6本ずつ張って、それで重ねていったんです。今回はじめて知ったし、本当にいろいろと勉強になったし、THE KIDDIEの振り幅をひとつ広げられた1曲にもなったと思うので、音を噛み締めながら聴いてもらえたら嬉しいなと思います。

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

SuG

Heavy Positive Rock

小悪魔 Sparkling

武瑠

masato

これぞSuGの中心線

5月9日に行われた、自身初の赤坂BLITZ公演を大成功のうちに収めたSuG。そんな彼等が、6月30日にリリースする最新作は、その名も「小悪魔 Sparkling」！今回も、おもちゃ箱をひっくり返したかのように、次々と、思いもしなかった遊び心満点の楽曲が飛び出してくる。今回は、そんな「小悪魔Sparkling」の制作秘話を、メンバー5人にたっぷり語って貰いました。武瑠先生も（？）登場した今回のインタビューは、必読です！

Interview:YUKA SUGIE

――まずは、5月9日の赤坂ブリッツ公演の感想から訊きたいのですが…観ている側としては、とてもいいライヴだと思ったのですが、みなさんの手応え的には？

masato：慣れない映像収録もあったんで、最初はかなりガチガチでしたね。

Chiyu：いつも勢いで弾くようなところも、ちゃんと弾かなアカンとか。

shinpei：演奏する技術と、見せる部分でのパフォーマンス、そのバランスっていうのは難しかったし…たぶん、そこはみんな考えてたと思いますね。

yuji：俺も前半はそういう気持ちだったんですけど…途中からどうでもよくなっちゃいました（笑）。

武瑠：でも、言ってもらったみたいに〝これまでのライヴで一番良かった〟っていう意見はものすごく多くて。昔みたいに、ただがむしゃらに暴れるだけのライヴじゃなくて、いろんな見せ方をしたから

蝴蝶网
hudie.com

そう思ってもらえたのかなとは思うけど。細かい段取りも踏まえた上で、前とは違うヒリヒリした楽しさはあった。

――武瑠さんのダンスにしても、前にも増して堂に入ってましたし。

武瑠：ドヤ顔だからかな。

Chiyu：はは、それやな。

yuji：うん、俺もそう思う。

武瑠：ただ、〝ダンス結構できるんでしょ？〟みたいなプレッシャーがあるけど、実際、練習自体そんなできてなかったんで。とにかく型だけ覚える、そんな感じでした。ま、帽子の被り方とか、いかにもできそうな感じにしてるんで！（笑）。

――でも、それってパフォーマーとして大事なことです。さて、そのライヴでも披露していた「小悪魔Sparkling」がシングルとしてリリースされるわけですが…だいぶハジけたサマーチューンだなと。

武瑠：これは、ＳｕＧの中心線にいく曲だなと思って、去年から温存してたんですよ。いつかシングルで出そうと思って。

――作曲段階から、完成図のヴィジョンは見えていましたか。

yuji：見えてましたね。夏フェスの映像を観て、こういうノリいいなと思って。

Chiyu：そこに同期を入れたら、さらに夏感とＳｕＧっぽさが増したよな。

masato：そうそう、面白さとか賑やかな感じがすごく出てね。

shinpei：で、これって自分が加入してから初めて共同作業した曲なんですよ。すごくテンション高く作れて、ホント楽しかったですね。

yuji：shinpeiさんのお父さんの職場に、ドラムセットやアンプを広げて、音を出しながら作っていったんで。

――…どういう状況ですかね!?

shinpei：寛大な父が、事務所の一角を貸してくれてたんですよ。なので、社員さんが仕事してる横で武瑠が仮歌を歌ったりして。スタジオと違って時間制限もなく、ノビノビ作れました（笑）。

武瑠：いいよね、ガレージでバンドやってるって。

――ガレージロックを地でいってるってこと!?

yuji：マジ、そういうノリです。

shinpei：ま、今は打ち込みのデータをやりとりしてるけど、ホントはそういう作り方が理想かもしれないです。

――あと、歌い方とか言葉遣いがすごくキッチュなのも、面白いところですよね。

武瑠：〝恋愛不景気〟っていう言葉を思いついたら、仕事に絡めて結婚は〝永久就職〟って言うよなとか、〝婚活〟って言葉があったなとか…聞いたことある言葉をはめていって。ソッコーで書きましたよ。

――中でも、個々好きなフレーズは？

yuji：…〝しっかし〟ですかね。そのブロックで〝なりたい！〟とか〝食べたい！〟ってコーラスしてるんですけど、めっちゃ楽しいです。

Chiyu：うん、テンション上がる。

shinpei：僕は〝Love Love ずっきゅん！〟ですね。[illegible]ド会社の方2人に声を入れてもらってるんですけど、耳から離れないです。

masato：1人の声がやたら聴こえてきて、顔が浮か[illegible]よ。

――セリフがセリフだけに[illegible]そのうち好きになっちゃったり[illegible]

武瑠：はは、サブリミナルでね。

yuji：〝Love Love ずっきゅん！〟だからね。気を[illegible]

――で、「Five Starz[illegible]5枚目[illegible]俳優～」がまた、すごい曲で[illegible]…ま[illegible]の全員

的に当初から目論んでいたことなですか？

yuji：元々は思ってなかったですけど、メイキング映像を撮ることになって、だったら全員がラップしたら面白いだろうと。で、みんなでリリックを書いて。

――しかし、いきなり課される側としてはハードルは高くなかったですか？

shinpei：僕は、まず最低限の情報として、〝韻を踏む〟っていうことしか知らなかったんで…とりあえず、韻を踏みまくってみました。あとは、ドラムにかけたような言葉がないかなと思って。

――ラストの〝ボブ・サップ〟なんかは、線の細いshinpeiさんとのギャップにびっくりしましたけど。

shinpei：はは、そうですよね。それまでが真面目すぎたんで、最後はちょっと面白い感じにしてみました。

Chiyu：俺は、とりあえず東京に来るまでの過程を書こうと思って。

yuji：でもこれ、おかしいですよね。

――急に〝yujiは適当〟ですからね。

Chiyu：そこは、韻踏みたかっただけっていうか…俺にはそれしか思いつかへんかったっていうのが本音（笑）。

masato：僕は、早口にやるのがラップだと思ったんで…自分のことを並べて、ひたすら早口に言ってみました。

shinpei：滑舌は良かったけどね。

武瑠：ただ、どこも韻は踏んでなかった。唯一踏んでる〝今日から決断！「MCまーたん」〟は俺が考えたからね。

――という中で、yujiさんのリリック、歌い方はかなりそれっぽいです。

yuji：〝myhommy〟ってよくラッパーが使うんですけど、TEEBRA（以前武瑠とyujiが組んだヒップホップユニット）で歌詞を書いたときに調べた知識が役立ちました。声の感じは、完全にI○MARI意識です（笑）。

――そんな4人のリリックやラップぶり、武瑠先生としてはどう評価します？

武瑠：あぁ…shinpeiくんは、よく周りから小さいって言われてるけど、先生は好きだよ。それも個性だね。

Chiyu：うわ、そういう感じか！

武瑠：yujiくんは、みんなを引っ張っていくリーダーシップがあるね。ただ、先生はお金だけじゃなくて、もっと

yuji：ははは、先生っぽい！

武瑠：masatoくんは、自分に似合わないことでも挑戦する勇気がすごいね。ただ、もう少しだけ心もオトナになって欲しいな。Chiyuくんは、もう少し人に優しくなりましょう。友達をDISらない（けなさない）ようにね、以上！

――確かに、友達をDISっちゃいけません。一転、通常盤のみに収録の「夏音-kanon-」では叙情が紡がれているんですが…前2曲と同じくyujiさん作曲で、そのコントラストに驚きました。

武瑠：かなり多重人格ですよね。

yuji：でも、曲作ってるときのテンションは変わらないからね。

――感傷的な思い出が根っこにあったりしないですか。

yuji：ないですね（←即答）。雰囲気自体はコードが作ってるんで…。

shinpei：そういう意味では理論派だよね、yujiくんは。

武瑠：そうだね。俺は感情先行型だけど。

yuji：僕は本とかまったく読まないから、感情の幅はせまいと思うよ。

武瑠：それで「夏音-kanon-」みたいな曲が出てくるのが、すごいよね。

masato：独特の響きのコードだけど、リズムとの兼ね合いが気持ちいいし。

shinpei：僕は、特にサビ頭の開けた感じが好きですね。

Chiyu：俺は、歌詞を読んで自分自身の思い出が蘇ったんですけど…特に、〝愛言葉〟と〝哀言葉〟っていう2つの言葉はすごく気に入ってますね。

――という歌詞は、武瑠さん自身の体験も孕んでいるんですか？

武瑠：近い感情はあるかもしれないけど…妄想ですね。結局は、自分のことだけ考えて、まだ相手のことを考えられないころの恋愛の話だけど…日本語の奥ゆかしさみたいなものは表現できたかなって。

――ともあれ、曲にしろ詞にしろ、3曲ともにSuGの貪欲すぎる表現欲をあらためて確認できました。さて、8月29日、渋谷C.C.Lemonホールでの単独公演に向けて、考えていることは？

武瑠：ホール云々は置いておいても、「小悪魔Sparkling」ノリの賑やかな感じにしたいなと。赤坂ブリッツでの達成感とか反省点を活かしてどこまで行けるか、

蝴蝶网
hudie.com

Bassist meets Bassist!!

コースケからの熱いラヴコールが実り、今回、Plastic Tree・正とheidi.・コースケとの、先輩後輩対談が実現。バンドの先輩として、ベーシストとして、人間として、正からいろいろと教わることが多かった様子のコースケ。"バンド少年"に戻ったコースケと、自らの歴史を改めて振り返りながらコースケの話を受け止めていた正の、記念すべき初対談をじっくりとご覧ください！

Photography:SHINJI TANAKA(Luz-p.o.)
Hair & Make-up:KAOLU ASANUMA(Tadashi)
Interview:NAOKO TAKEICHI

蝴蝶网
hudie.com

Plastic Tree 長谷川 正×コースケ heidi.

コースケ：よろしくお願いします！（正面に正が座っているため、真っ直ぐに前を向くことが出来ないコースケ）…緊張しますよね、こういうの…（笑）。

――こっち向かないで、正くんのほうを真っ直ぐに向いてもらえます？（笑）

コースケ：（チャレンジするも）…恥ずかしいんすよマジで！　すみません。

正：いえいえ。お招きいただきましてありがとうございます（笑）。じゃあ、ここにおにぎりを置くので、このおにぎりを僕だと思って、ここ見て話したら？（笑）

コースケ：（正の前に置いてくれたおにぎりに視線を向けて）あ、はい！

――（笑）二人は今日が本当の初対面？

コースケ：僕は一方的に存じ上げておりました。〝Over The Edge〟とかでお見かけは何度も。でも、声もかけられず。

正：ちゃんとこうやってお話するのは初めてなんですよ。ずいぶん前から、長い付き合いになるSHOXXの担当者から、〝きっと好きなバンドだと思うよ〟って、heidi．の名前は聞かされてたんですけど、今回このお話をいただいて、初めてちゃんと音源聴いたんだけど、なるほど、いいバンドだなって思いましたね。

コースケ：嬉しいです！　だって、僕のベースの音チェックは「絶望の丘」ですからね！　俺が最初にPlastic Treeを聴いたのは、高校生の頃でしたね。「リラの樹」（1996年9月リリース）を初めて聴いて、『Hide and Seek』で、〝ヤバい、やっぱいいわ～！〟って。そ

蝴蝶図
hudie.com

ベースって、良くも悪くも逃げ道がない楽器 —— 正

こからハマったのは、ライヴ映像を観てからなんですよね。俺、シャムシェイドが大好きだったんですけど、シャムシェイドがPlastic Treeと名古屋で対バンした時の映像を観たのがキッカケで、「ブランコから」をやっていて、そこから本格的にCDを買い集めるようになっていって。「ブランコから」は正さんの曲だったと思うんですけど…。

正：うん、そう（笑）。

コースケ：ちなみに、俺がいちばん好きな曲も、正さんの曲なんですよ！「プラネタリウム」！ 実は、今日もずっと「プラネタリウム」聴いてきたんです！

正：ありがとう。あの曲、あんまりライヴでやんないからね、ごめんね（笑）。でも最初、ライヴですごく好きになってくれたっていうのは嬉しいな。音源聴いていいねって言ってくれるのも嬉しいけど、やっぱりライヴがいいって言ってもらえるのが何よりも嬉しいですからね。

――正くんのどこが好き？

コースケ：そんな直球な質問しちゃいます？ ご本人を目の前に（笑）。ベースですよ。音がめちゃめちゃ好きなんです。動と静がすごくハッキリしたベースを弾く人なので、僕の理想なんです。すいません、俺がこんな生意気なこと言って！

正：いやいや、嬉しいよ、純粋に（笑）。

コースケ：本当に、正さんのベースはメリハリがついてるんですよ。ルートを弾いてても存在感があるって、あんまりないんですよ。本当に尊敬できるなって。

正：俺はhe-i-di-の音源を聴かせてもらって思ったのは、シンプルだけど、どっしりとしてて、ロック・バンドのベースだなって感じる、重さのあるベースを弾く人だなって思ったよ。

コースケ：ありがとうございます！ お手本は正さんなんですよ！ 俺、本当に行き詰まった時とか、絶対に正さんのベース聴いて心を落ち着かせてますからね。…あ、パクッてはないですよ⁉

正：あははは。そんなこと思ってないから大丈夫だよ（笑）。

コースケ：やっぱり大好きなベーシストなんで、僕の好きなモノがいっぱい詰まってるんですよ。ヒントになるというか。それに、温かいんです、正さんのベース。表面的にはすごく歪んでるんだけど、温かい。理想なんです、正さんの音。

正：ベースってそういうニュアンスがいちばん出せる楽器だと思うんだよね。ウチのバンドも最近は打ち込みを入れるようになったから、余計にベースはそういうところを大事にしようって思うようになったんだよね。それに、ライヴになるとベースって、いちばん責任が重いというかね。

――バンド内でのベーシストの役目も、そんな感じかもしれないですよね。支える楽器でもありながら表に立つ楽器でもあるという。

正：そうだね。サッカーで言うところのボランチだよね。攻めにも行けるし、守りにも行けるっていうね。僕もそういうところが面白い楽器だなって思いながら、ずっとベースとは付き合ってるよ。ここ最近は支える面白さに興味がある。そっちの気持ちが強いかな。昔はやっぱ主張したいって思った時期もあったからね。

コースケ：僕もありました、そういう時期。隙間があると、何か入れないと…って思っちゃうんですよね。ルートだけだと音の一部になっちゃって、普通に聴いてると耳に残らないから、わざとウネらせたり、目立つフレーズを弾いて派手に動いて主張したくなる。でも、長くやっていくうちに、ルートがいかに難しいか、重要かってことに気づくんですよね。

正：うん。そうだね。何か周期みたいなのがあって、またいつか攻めのベースが弾きたくなる時が来るのかもしれないんだけどね（笑）。

コースケ：僕は今、若干攻めに行きたいかなぁ～モードですけどね（笑）。

正：でも、その攻めの形がだんだん変化していってるよね。楽曲のほうにシフトされてるというか。螺旋状に回ってて、ちゃんと登りながら、形の違う攻め方になってる気がしない？ 昔は、曲がどうあれ、とにかくベースの音を目立たせたいっていうところの攻めで、ベーシストのエゴだったけど、今は楽曲を立てることを第一に考えつつ、その中でどう攻めようか考えるようになった。ベースって、やり始めてからさらに奥深さを知る楽器だよね。ギターは自分が弾けるようになったらそこで完結しちゃうけど、ベースはバンドで合わせることの楽しさを教えてくれた楽器でもあったから。

コースケ：解ります解ります。まさに、ボランチですよね。バンドを支える位置にもあるし、壊しちゃう位置にもいる。

正：そうだね。自分次第でね。すごく難しい楽器だと思ったんだよね。良くも悪くも逃げ道がない楽器というか。最初はさ、ちょっとくらい間違っても平気な楽器なんじゃないかって思ってたけど、実はベースって、ライヴで間違うとめちゃめちゃ目立つんだよね（笑）。ライヴ中に間違って、メンバーと目が合うと、思わず〝ごめんなさい〟って目を反らしちゃうもんね（笑）。

コースケ：激しい曲だったら、まだスライドとかしてごまかせるんですけどね。ちょっと世界観ある曲とかでやっちゃったらアウトですよね（笑）。

正：そうそう。もう視線が痛いよね。国

正さんのベース聴いて心落ち着かせてます —— コースケ

Bassist meets Bassist!!

に帰ろう……って思うよね（笑）。

コースケ：良かった。正さんも間違うことあるんだ。安心しちゃった（笑）。

正：いやいや、間違わないのがいちばんなんだけどね（笑）。

コースケ：Plastic Treeは結成16年ですよね？ 長くやっていけてる秘訣って何なんですか？

正：メンバーがPlastic Treeっていうバンドを好きなんだと思う。Plastic Treeでしか出来ない何かがある、って思えてるんだと思うな。バンドに対する好奇心がなくならないんだよね。こういうことを俺たちがやったらどうなるのかな？って常に楽しめてる感じなんだよね。すぐに〝やってみようぜ！〟って、形に出来ちゃうメンバーだし、それがまた楽しくて。それがただの実験に終わらず、自分たちでもちゃんと認めてあげられてるっていうのがね、すごくいいなって思ってる。決して器用なバンドではないと思うけど、ちゃんとひとつずつのチャレンジを自分たちのモノにしていけてるのが、長く続けていられる秘訣なんじゃないかな。

コースケ：それ、すごくいいですね。でも、それってなかなか出来ないことですよね。向上心を持ち続けて向き合うのも簡単なところではないと思うし。すごいな。でも、ホントにそうですよね、全部がPlastic Treeになってる。

正：毎回発明してる感じなんだよね。ビーカーとフラスコ持ってね（笑）。毎回楽しみながら発明品を作り出してる感じかな。もちろん、長くやってきてる中で、精神的にツラいなって思った時期もあったりしたよ。でも、そういう時は絶対にライヴでお客さんの顔を見たら、立ち直れてた。この人たちに支えられてるんだなって思えるというかね。それくらいパワーがあるんだよね、ライヴって。

コースケ：俺、ウチのバンドのギターとは小学校5年生の頃からの同級生なんですよ。だから、ずっと同じバンドでやっていくっていう上では、すごく参考になるというか。まだまだ10年を超える活動の先には何があるのか未知なんですけど、ファンのみんなに支えられてるなって思う気持ちはすごく解りますからね。俺、結構、こう見えてもネガティヴな人間なんで（笑）、きっとこの先も挫折をいっぱい味わうと思うんですけどね。

正：いや、俺もだよ。ついクヨクヨしちゃう性格なんだよね。でも、ベース持ってステージに立つと、その気持ちが浄化するっていうかね。救ってくれるのはいつも音楽な気がするんだよね。ここからは一生逃れられないんじゃないかなって思うよ。今まででいちばんツラかったのは、メジャー・デビューした頃かな。『Hide and Seek』っていうアルバムを作った頃。自分たちが見慣れない環境に来ちゃったから、バランス崩しちゃったっていうかね。あの時はすごく悩んだよ。音楽以外のことで翻弄されてしまった感じになっちゃって。

コースケ：おぉ。まさに、今の俺たちと同じ時期の話ですね。メジャー・デビュー一発目が出たっていう時期ですから。

正：そうだね。でもやっぱり、そこから脱出できたキッカケをくれたのは、ライヴだったからね。（ここで編集担当者が当時のツアーのセットリストを持ってくる）うわぁ、こんなのまだ取っておいてくれたんですか⁉ まさにこの頃のツアーの時ですよ、苦しんでたの。自分たちも、過敏になりすぎてたんだと思うんだよね。自分たちらしい曲を作って、それを届けるっていうところは変わらないのに、変に〝こうならなくちゃいけないんだ〟って意識しすぎちゃっておかしくなっちゃってたとこもあると思うし。今となっては懐かしいですけどね（笑）。逆に、そういう時期があったこともよかったなって思えてるしね。

コースケ：やっぱ長く続けてると、いろいろと葛藤があったりするんですね。

正：そうだね。でも、それをいかに楽しめるかだと思うよ。それに、こうしてちゃんと古いセットリストは取っておいたほうがいいよ。それを見返すだけでも、いろいろと思い返せる材料になるからね。

コースケ：はい！ 頑張ります！ 感動です！ 今日はありがとうございました。あの…（さりげなく握手）。

――あ。さりげなく握手してる（笑）。

コースケ：あ。バレました？（笑）

正：あはは。こちらこそ、本当にありがとうございました。お互い頑張ろうね。

コースケ：そんな嬉しいこと言ってもらえて感動です！ ありがとうございました！

蝴蝶网
hudie.com

@OSAKA 2010.5.23 なんばHatch
西の都が燃えた夜

蝴蝶网 hudie.com

達郷セッション
★★

SE(ホムラウタ) 1.サイクロン 2.迷彩 3.evolution

ヴィドール
★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

1.Hot cage mix
2.舞夢
3.…サンガコロンダ!!
4.IKAROS
5.Cryptic Tokyo

★

凛
★★★

凛 2.Fake Dance 3.Freedom 4.Foolish

ドレミ團
★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

1.ナミダ雲
2.ザ・ファウスト
3.彼岸花
4.夢幻洋灯
～まぼろしらんぷ～
5.黒イ華箋ト一縷ノ望ミ
6.タイムマシン

年、大晦日の恒例行事となりつつある一大イベント“Over the Edge”。
のイベントが大阪に初上陸した。5月23日・なんばハッチに、セッション・バンドを含めた
13アーティストが大集合。メジャーからインディーズまで幅広い顔ぶれが、
々の個性をぶつけ合い、さらにセッションでは意外なメンバーが思いがけない曲をプレイ、
客をおおいに楽しませた。9時間に及んだイベントの模様をお届けしよう。

tography:MAKOTO KANEHARA(except★)/ Report:MIYUKI MURAYAMA

開演時間は午後1時。そんな日曜日の昼下がりに、会場へは続々と観客が詰め掛け、楽屋にはこのイベントならではの?様々な差し入れが詰まれていた。いよいよ大阪では初となる“Over the Edge”がスタートする――

先陣を切って現れたのはヴィドール。豊かな歌声を聴かせるジュイを筆頭に、メンバー各々の存在感が際立つステージが展開される。MCではなぜか微妙に空回りして、失笑を買いつつも、ありのままをさらけ出すとの言葉どおり、「…サンガコロンダ!!」を勢いよく攻め立て、曲に合わせて激しくも美しく、そして切なく、たくみに表情を変化させて、短い時間に今持てる力を発揮した。堂々とイベントのトップを飾り、その実力を見せつけるライヴとなった。

大きな歓声を受けて続いて登場したのはドレミ團。「ザ・ファウスト」といったライヴではおなじみの曲の変化に、バンドの進化を感じた。さらに、切々と歌い上げた「彼岸花」、世界観を作り出した「夢幻洋灯」と、ドレミ團らしさが目の前に次々と現れていく。最後は元気いっぱいに締め括ったが、彼らの安定感あるステージに、着実に活動を重ねて来たバンドの実力を感じた。

ムックのライヴでおなじみのSEが流れ出し、会場中が色めきたったところで、始まったのは達瑯率いるセッション・バンド。メンバーは、達瑯の他、弐(ギルガメッシュ)、美月(Sadie)、塩谷(12012)、川内(12012)。各々のバンドのオリジナル3曲をプレイして、一気に会場全体のテンションを爆発させた。MCでも笑いをさらい、さらに他のバンドの曲を自分のものにして歌い上げる達瑯の手腕が光った。

次に、この日が初ライヴとなる凛がいよいよ登場。会場全体に期待感が満ちる。バンド名をタイトルに冠した「凛」から、5人は気合いの入ったプレイで迫り、観客も次第にそのノリについて行く。特にRIKUらしい独特の振りは健在で、さらに説得力が増した声で、凛のヴォーカリストとしてその可能性をにじませ、今後の活躍に期待が高まった。最後「Foolish」では、激しい煽りで、バン

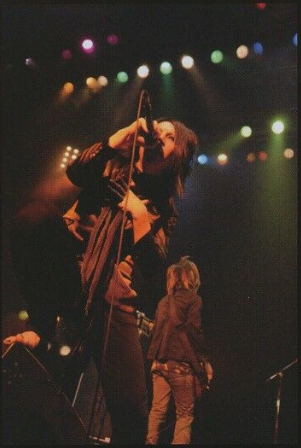
Over the Edge'10

蝴蝶网
hudie.com

ジュイセッション

★★

1.New Born 2.静夢-Silent Dream- 3.MIND BREAKER



heidi.

★★★★★★★★★★★★★★★

1.泡沫
2.蜃気楼
3.おまえさん
4.センチメンタル
5.チャールズ

ダウト

★★★★★★★★★★★★★★

1.シャングリラ
2.SUNRISE
3.野良猫と♪
4.下剋上
5.鬼門
6.フェンダー

Sadie

★★★★★★★★★★★★★★

1.ドレス
2.Greiving the dead soul
3.ever
4.心眼
5.迷彩

12012

★★★★★★★★★★★★★★★

1.vomit
2.罠
3.サイクロン
4.As
5.浸色

AKIの打ち鳴らす銅鑼が鳴り響き、最後は混沌へと飲み込まれるように激しく初ステージの幕を下ろした。

続くheidi.は、自分たちの魅力を最大限に発揮するようなセットリストで、大きなインパクトを残した。「泡沫」からノリよく始まると、義彦のイキイキ、ノビノビとした様が印象に残る。楽器隊も思い切りのいいプレイで、会場全体の空気を大きく動かしていく。アップテンポの曲を立て続けにプレイしたところで、最後は一転「チャールズ」。暗い動きのない静かな世界が広がり、緊張感が辺りを支配し、モノクロに染め上げる。イベントという短時間のステージで、圧倒的な世界を描き切った。メジャー・デビュー作品の発売日を直後に控えていた彼らは、この日がインディーズラストのステージとなった。

昨年末の本誌での企画で誕生したヴァーチャル・バンド〝un SCARNERVE〟がその姿を現した。メンバーは、ジュイ（ヴィドール）、酒井（12012）、玲央（lynch.）、愁（ギルガメッシュ）、桐（heidi.）の5人。事前の取材でもジュイが本気でやると言っていただけに、クールな装いで決めた彼らは、もちろんプレイも真剣そのものだ。タイトなプレイから繰り出されるどっしりとしたサウンドに、ジュイの艶のある歌声が響く。MUSEの「NEW BORN」から、D≒SIREの「静夢」、黒夢の「MIND BREAKER」と幅広い選曲を見事にプレイ。なかなか興味深いバンドの誕生となったが、さて2度目のライヴはあるのか…？

ファンファーレのSEで、一気にダウトの世界に踏み入れたような感覚になる。前半はひたすら突き進んでいくようなプレイだったものの、幸樹が拡声器を手にした「下剋上」からは、少し余裕も出たのか、積極的に動き出し、自由に楽しみ始めていたよう。続く「鬼門」では、満足の行く反応を求め、繰り返し激しく煽り続ける幸樹。その熱さが観客にも少しずつ伝わっていっていたようだ。熱い空気が溢れると、最後は全員で歌って明るく「フェンダー」で締め括った。曲が終わると、全員で三三七拍子。最初から最後まで力の入ったステージで、懸命な姿

蝴蝶网
hudie.com

ギルガメッシュ

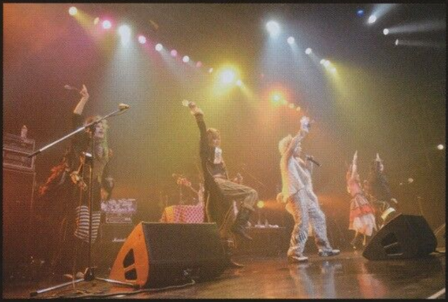
1.Break Down
2.CRAZY-FLAG
3.BEAST
4.DIRTY STORY
5.driving time
6.evolution
7.arrow

幸也セッション

1.inlandempire 2.BLUE 3.speed

真緒セッション

ピンクスパイダー 2.Beauty&Stupid 3.everfree



Mix Speaker's,Inc.

1.ANIMAL ZOMBIE ZOO 2.Happyyy!! Land 3.Friday Night Busters
4.MONSTIME 5.YOU♪愛♪メッセージ 6.BIG BANG MUSIC!

勢が印象的なライヴとなった。

イベントも中盤に差し掛かり、登場したのは12012。「vomit」が鋭利な刃物を突き立てるかのように鋭く始まった途端、楽器隊のグルーヴがガツンと体に襲い掛かって来る。無駄のないタイトなプレイは、「サイクロン」でさらにグイグイと前へ進むような疾走感を生み出していく。怒声のようなシャウトに、コーラスが重なり、生々しい感情が溢れる。辺りに広がるのは、神経に触れてヒリヒリするような、そんな空気感。サウンドそのもののカッコよさと相まって、彼らならではの感覚を堪能することが出来た。

地元大阪のシーンを支えるSadieがここで登場。「ドレス」からいきなりスピードを上げてトバし、そのままの勢いで突っ走っていく。音をひたすら積み上げるように構築されたサウンドの上に、真緒の歌声は生々しく響く。感情がむき出しになったかのようなその声は、真実味を帯びている。襲い掛かって来るような迫力がありつつも、メロディを聴かせ、そして心に訴える。強力な武器をいくつも駆使するかのようなステージに、バンドの充実ぶりを感じた。おなじみの「迷彩」までの5曲、常に真剣勝負を挑みかかるような姿勢で、歌と、観客と対峙した真緒と、あくまで冷静に隙のないプレイをした楽器隊が、一瞬たりとも気の抜けないようなライヴを作り上げた。

次の幸也率いるセッション・バンドには、意外なメンバーが揃った。SANA（ex.MASK）、一朗（Kα-i-n）、ATSUSHI（ex.WAI-L）、チェロの青月泰山、さらにそこへKISAKI（凛）と伶希（ex.KuRt）を迎えた。懐かしいD≠SIREの曲を始め、幸也ならではの選曲で聴かせたが、それ以上にMCで暴走。出演者をイジリ倒して、会場を爆笑の渦に引きずり込む。UNDER CODE PRODUCTIONのバンドの面々もステージに登場し、予定時間はかなりオーバーしたが（苦笑）、にぎにぎしく盛り上げていた。

イベント開始から7時間以上が経過する中、観客はまだまだ疲れを見せない。そこへギルガメッシュが現れると、さらに観客はパワフルに反応を示す。もちろ

駆け回る。意気揚々といった表情を浮かべる左迅を始め、音を楽しんでいる様子が手に取るように伝わるメンバーの様子が頼もしい。激しいノリと小気味いいリズム、力強い歌、曲ごとに個性を見せつつも、一気に7曲を駆け抜けるように聴かせた。MCでは、いつもイジられている先輩の達瑯に対して、〝負けねえぞ〟との力強い言葉も飛び出す。ただ力を込めるだけでなく、楽しみながらも余裕のあるところもうかがわせたステージに、バンドとしての留まるところを知らない成長の跡がはっきりと見て取れた。

変わった動物たちがステージに現れ、一見不思議な光景が広がったのは、Mix Speaker's,Inc.のライヴ。ツイン・ヴォーカルを活かしたハモりと、伸びやかなメロディ、見せることを意識した踊りと、盛りだくさんの内容で、ステージはまるで夢の世界のよう。タオルを振り回し、観客も気合い十分なところを見せた「MONSTIME」、メンバーも観客もみんなで同じ動きをして、一緒に盛り上がれる工夫が満載の「YOU♪愛♪メッセージ」と、明るく楽しい空気がいっぱいに。「BIG BANG MUSIC!」では、6人がみんなで歌って踊り、底抜けの明るさを振りまくと、たくさんの笑顔でライヴを締め括った。

イベントのトリを飾ったのは、真緒によるセッション・バンド。一緒にステージに立ちたかったと、真緒自身が集めたメンバーは、HIRO（ex.L'acryma Christi、Librian）、MASATO（ex.the UNDERNEATH）、黒柳（SOPHIA）、晁直（lynch.）。13回忌を迎えた、天国のhideへ向けて、彼の曲をプレイ。大人の風格を漂わせて、安定感あるサウンドを聴かせる楽器陣に対し、真緒はSadieで歌っている時とはまるで別人のような、高揚した表情を見せた。そこへ最後の「ever free」では、いきなり達瑯が乱入！ 一気にどよめく会場。心地よい疲労感と興奮の中、全てのステージが終了した。

これだけの大型イベントだけに、大阪の観客にとっては貴重な機会となったことだろう。今後、このイベントをめぐってたくさんのバンドがしのぎを削るほど、

NEW ALBUM
SEVEN
2010.7.14 RELEASE
【初回限定盤】(13曲収録CD+DVD)UPCH-29053 ¥3,500(tax in) 【通常盤】(14曲収録CD)UPCH-20203 (tax in)
初回限定盤には新作を含むMusic Clip集が付属され
『未発表音源』が応募者全員にプレゼントされる連動パス・ステッカ 封入！
詳しくはOFFICIAL WEB SITEへ！
蝴蝶网
hudie.com
イチニーゼロイチニ
12012
2010 SUMMER TOUR
SEVEN -Footsteps to steal up on-
追加公演決定！
8/28(sat) 渋谷WOMB
OPEN 17:00 / START 17:30
前売 ¥3,500 / 当日 ¥4,000(税込・D代別) 一般発売 7/17(sat)開始
(問)FLIP SIDE 03-3466-1100
12012ONLINE 先行予約
6/21(mon)～6/30(wed)
7/24 (sat) HEAVEN'S ROCKさいたま新都心 VJ-3 (問)FLIP SIDE 03-3466-1100
7/25 (sun) 高崎CLUB FLEEZ (問)FLIP SIDE宇都宮 028-633-1009
8/07 (sat) 名古屋ell.FITS ALL (問)サンデーフォーク・プロモーション 052-320-9100
8/09 (mon) 松山SALONKITTY (問)DUKE 089-947-3535
8/11 (wed) 福岡Live House CB (問)B.I.C. 092-713-6085
8/13 (fri) 岡山IMAGE (問)CANDY PROMOTION 086-221-8151
8/14 (sat) 大阪ESAKA MUSE (問)サウンドクリエーター 06-6357-4400
8/16 (mon) 金沢vanvan V4 (問)FOB 076-232-2424
8/17 (tue) 新潟CLUB RIVERST (問)FOB 025-229-5000
8/19 (thu) 札幌cube garden (問)SMASH EAST 011-261-5569
8/21 (sat) 仙台Hook (問)GIP 022-222-9999
8/22 (sun) HEAVEN'S ROCK宇都宮 VJ-2 (問)FLIP SIDE宇都宮 028-633-1009
8/27 (fri) 渋谷WOMB (問)FLIP SIDE 03-3466-1100
OPEN 18:00 / START 18:30 ※8/27のみ OPEN 17:30 / START 18:00
前売 ¥3,500 / 当日 ¥4,000 (税込・D代別) チケット発売中
http://12012.jp

12012

蝴蝶网
hudie.com

12012の“ライヴ”にふさわしい、アルバム『SEVEN』完成

――『SEVEN』は、どんなテーマの元に作られたのでしょう？

宮脇：今回は、いろんなことを取っ払って、やりたいことをやろうと全員が思っていました。そうすることで、本当の自分たちが分かるんじゃないか…というのがあって。今までの作品は、いろんなことを考えて作った感じがあったんです。でも、今年の初めから、頭で考えるのはもうやめようということになって。『SEVEN』も、そういう姿勢で作りました。

須賀：これまで試行錯誤しながら、いろんなものを出してきて、それに対して良くも悪くも、いろいろな結果がついてきて。そういうことを踏まえて、みんなで深く話し合って辿り着いたのが、「TATTOO」という曲だったんです。だから、『SEVEN』のレコーディングに入る前は、全く迷いはありませんでした。

塩谷：「TATTOO」を作った時点で、自分たちの前にある道は見えていたんです。そこを突き詰めた結果、出来たアルバムが『SEVEN』という感じですね。結果的に、自分たちのライヴにふさわしいアルバムになったなと思います。今まで感じていた、音源とライヴの温度差を縮められたんじゃないかな。

酒井：いつもは、どんなアルバムにするかで迷う部分があったんです。何でも出来るな…という感じで。でも今回は、〝もう、これしかない！〟という感覚が強くあって。もう、迷うことなく、完成まで突き進みました。

川内：アルバムの制作に入る前、俺は頑固にいこうと思っていました。自分たちに似合わない曲は叩きたくなかったんです。それに、ライヴでやらなくなる曲は録りたくないというのもありましたね。ライヴでやらないということは、似合ってないからだろう…ということで。それくらい強い想いを抱いていました。

――みなさんの意思が伝わってくる1枚になっています。歌詞の面で、アルバムを通したテーマなどはありましたか？

宮脇：なかったです。最近は、以前とは思考が変わってて。もう、歌詞は何でもいいんですよ。もちろん歌詞で伝えられるものもあって、『SEVEN』にも散りばめてはいますけど。でも今回は、作詞能力や技巧よりも、〝生き方を見てくれ！〟という想いのほうが強かったですね。楽曲を聴いた時に見えたものに、自分の気持ちだけを乗せる方向に行っています。

――それぞれレコーディングするうえで心掛けたことは？

川内：今回は、ドラムの音色に関して宮脇くんからリクエストがあったんです。作り込んだパーカッシヴな音ではなくて、素直なドラム・サウンドにしてほしいということで。そういう方向でチューニングを詰めていくと、ちゃんと叩かないと鳴らなくなるんです。適当には叩いてないけど、適当に叩いたら絶対に鳴らないし、ゴマカシの効かない音になって。なので、かなり鍛えられました（笑）。

――そういう音にしていながら、凝ったプレイが多くなっていませんか？

川内：今までは、あまり頭で考えずに叩いていたんですけど、引き出しが少ないなと思って、今回は結構頭で考えました。だから、今までとは違ったアプローチが多くなっているし、レベルアップできたなと思っています。その一方で、ほとんど自分でドラムを考えていない曲もあるんですよ。「mayakashi」のドラムは、ほとんど宮脇くんが考えたんです。今までは変なプライドがあって、〝ドラムは、俺が考えるんだ！〟と頑なになっていたけど、それだと融通が効かないなと思って。そういうところで、「mayakashi」は印象に残っていますね。

塩谷：ドラムが今まで以上にメリハリが効いていたり、感情が伝わるものになっていたので、そういうドラムと自分のベースで、一つ上のグルーヴを作れたかなと思っています。

――ベースのウネりや、しなやかさが増していることを感じました。

塩谷：もう、うっとうしいくらい、いちいちグリスとかを入れたりしているので（笑）。より心地好い音のピークの位置を意識した結果、そういうプレイになったんです。印象に残ってる曲を挙げるとしたら、「瑠璃」かな。いつもはドラムに合わせてベースを考えるんですけど、「瑠璃」はベース・ライン先行で、それに合わせて亨がドラムを叩いたんです。今までにあまりないパターンで、こういうのも面白いなと思いました。

須賀：今回のギターは、自分が出来るこ

蝴蝶网
hudie.com

“表現したいもの”を理想的な形でパッケージできた

“いろんなことを取っ払い、やりたいことをやることで本当の自分たちが見えるんじゃないか”――新たな決意とも取れる姿勢で制作に取り掛かっていたアルバム『SEVEN』が、7月14日にリリースされる。アタマではなくココロで突き進んだ今作は、彼ら自身が12012にかける強い想いを感じられる作品に仕上がっている。このリリース後、彼らは怒濤の全国ツアーに突入。12012の新たなる戦いは、ここから始まる――

Interview:TAKAYUKI MURAKAMI

とが10あったら、そのうちの2くらいをチョイスして、その四隅をすごく細かく突いた…みたいな（笑）。そういう印象があります。“あまりギターを入れるな”というお触れがみんなから出てて。本当に必要なものだけで成立させるためには、フレーズや音色を厳選する必要があったんです。ギターの面で印象に残ってる曲は、「M」とか。この曲は、ギターでスラップをしているんです。

――クラビネットみたいな音ですね？

須賀：そういう風に聴こえたなら嬉しいです（笑）。軽い気持ちでやってみたんですけど、予想以上に効果的でしたね。楽曲面では、「CONFFESION」が印象に残っています。俺が作った原曲はヘヴィだったんですけど、酒井先生が“これは、バラードにしよう”って。それで、テイストが全く変わったという。この曲をアレンジするのは面白かったし、いろいろ刺激も受けました。

酒井：今回は、自分の中で思っている自分のフレーズを詰め込みました。俺以外のものは、一切入ってないという感じですね。12012の楽曲はメタル色が強いというか、ギターはリフで攻めたり、コードも1コードが多かったりするんですけど、そこに俺流を入れ込みたいなと思って。そういう意識で、1曲1曲取り組んでいきました。楽曲面でいちばん気に入ってるのは、「JUST THE WAY YOU ARE...」です。原曲を作ったのは塩谷くんだったんですけど、これもメンバーが集まったら全く違った曲に仕上がって。今回は、そういうことが多かったですね。

宮脇：歌は、“自分に泣けて、自分に怒れて、自分に浸れて、自分に狂える”ということをテーマに掲げて取り組みました。最低限のラインとして、そこまで行かないと意味がないなと思ったので。でも、歌録りは全体的にスムーズでした。「M」とかは、3回くらいしか歌わなかったし。チャチャッと歌って、“あと、よろしく”みたいな（笑）。

――「M」の歌は、狂気を感じさせる仕上がりになっています。

宮脇：もう、歌ではないですよね（笑）。ニュアンスだけというか。この曲は明確なイメージがあって、それをみんなに伝えたんです。ムンクの『叫び』という絵があるじゃないですか。あれが飛び出して、動き出したような気持ち悪い感じが欲しいと言って。それをみんなで表現してて。「M」は、全部の要素がいい感じにハマったなと思っています。

――『SEVEN』は、本当にやりたいことを追求すると同時に、バンド感を詰め込んだ作品という印象も受けました。

川内：そうですね。バンド感と、ライヴ感をパッケージしたアルバムです。『SEVEN』は、12012のライヴの熱さを伝える1枚であり、今後のライヴに向けて新しい扉を開いた作品でもあって。今は、早くライヴがしたいですね。ライヴ感のある作品でいながら、ライヴは絶対に音源を超えたものになるので。だから、今後のライヴはすごいことになると思うので、楽しみにしててください（笑）。

須賀：俺も今、頭にあるのは今後のライヴです。『SEVEN』の曲を生かすも殺すも、俺ら次第なので。『SEVEN』の楽曲が持ってる方向だったり、ポテンシャルをちゃんと表現することが出来れば、いい夏のツアーになるんじゃないかなと思っています。『SEVEN』に関しては、ドライヴしながら聴くことを薦めたいですね。俺は、ロックはドライヴ・ミュージックだと思っているので、高速道路を飛ばしながら『SEVEN』を聴いたら、最高に気持ちいいと思います（笑）。

酒井：バンドとして誇りを持てる作品を作ることが出来て良かったです。それに、『SEVEN』の曲は、全曲ライヴでやりたいと思ってて。夏のツアーは12012のいろんな顔を見せることになると思うので、期待しててください。

塩谷：今思うのは、ライヴをじっくりやりたいということですね。今までは、リリースがあっても少しライヴをしたら、またレコーディングに入る感じだったので、今回はライヴに集中して、『SEVEN』の世界観を生でしっかり届けていきたいと思っています。

宮脇：『SEVEN』は、上っ面な意味ではなく、血と汗と涙の入ったアルバムです。全身全霊で取り組むことで、今表現したいものを理想的な形でパッケージすることが出来たから。俺らの“ロックバンドを、したいんや！”という気持ちを、全身で受け止めてください。

蝴蝶図
hudie.com

5人で一緒にブレて、一緒に探した『boogieman』

蝴蝶网
hudie.com

boogieman

――『boogieman』を作るにあたって、どんなことを考えていましたか?

ジュンノ:boogiemanの楽曲は、ループ・リズムや同期が乗ったものが多いじゃないですか。今回は、生の部分を活かしていこう…というテーマが最初にあったんです。でも、途中で方向転換をすることになって。結果的に、よりシーケンスを活かした曲もあれば、逆に一切使っていない曲もあるという形になりました。

晃:テーマを変えるといっても、妥協の方向修正はしたくなかったので。方向を変えるなら変えるで、それを突き詰めたいと思って。作り始めた時に考えていたものとは違う形になりましたけど、仕上がりには納得しています。

万作:今回のレコーディングは、本当に長かったですね。二転三転しながら進んでいって、答えが分からなくなった時期もあったし。ただ、紆余曲折はあったけど、バンドがバラバラだった感じはなくて。5人で一緒にブレて、一緒に探して…みたいな感じでした。

ユアナ:方向性が変わっても、それぞれの曲にベストなものを注入することに変わりはないので。新しい方向性が決まってからは、それ以外のことは考えずに、集中して取り組みました。

ユウイチロー:方向性が二転三転したことは、今後の課題としてクリアしていこうと思っています。全体的には、今まで以上にバンド感のあるサウンドになっているので。そこを楽しんでもらえたら…と思っています。

――音を聴いて、紆余曲折があったことは感じませんでした。歌詞の面でテーマなどはありましたか?

ジュンノ:全体を通したテーマはありません。ただ、歌詞に関しては、今回は詞を書くのに、ものすごく時間が掛かりました。同じことを繰り返していても面白くないし、作詞者として、どう進んでいくべきかということを悩んだ時期でもあったし。もう、結構ギリギリまで書いてましたね。

――ビジュアルも含めて、個性を確立すると同時に、boogiemanに最適なものを提供している印象を受けました。

ジュンノ:本当ですか? 俺は、バンドの看板を担うべきヴォーカリストという立場ですけど、boogiemanというパズルの中の面白い1ピースでありたいと思っているので、そう感じてもらえたなら、すごく嬉しいです。

――レコーディングはどうでした?

ユウイチロー:ドラムの面で印象に残っているのは、「紙赤、ヌラ要」と「故に自壊」です。「紙赤、ヌラ要」は、ジャジーな味を出したいということで、人間味のあるドラムを叩くことを意識しました。音的にも生のドラムが目の前で鳴っているような感じになって満足しています。「故に自壊」は、こういう3連のズッシリしたリズムはすごく好きなので、重たくてスケール感のあるドラムが叩けたかなと思っています。

万作:ベースに関しては、アルバムを通して統一感のある耳触わりにこだわりました。全体的に、低いところでウネるベースになっていますね。今回は、ドラムがカッチリしているじゃないですか。でも、僕の中では、最初に言った〝生っぽさ〟というのがずっとあって。人間らしさを出したかったので、ウネりだったり、しなやかさを重視したんです。無機質なベースも好きなんですけど、カッチリしたドラムに対してそういうベースを弾くとすごく機械的になってしまうので、それは避けたかったんです。

――さすがです。「assembler」という曲も提供していますね。

万作:「assembler」は、特に深い意味があるわけではなくて。ちょっと変わった感じで、アルバムのフックになるものを入れたいなと思って作りました。後半の歌が入ってくるところのイメージは、〝寺〟です(笑)。寺と言っても日本ではなくて、アジアの寺院ですけど(笑)。

ユアナ:ギターに関しては、自分で考えるだけじゃなくて、作曲者の意見も聞いて。〝じゃあ、こんなのはどうかな?〟とか〝面白いけど、これは違うな〟という風に、いろいろ考えながらギター・パートを作っていきました。

――引き出しの広さを、改めて感じましたよ。中でも、「紙赤、ヌラ要」のジャジーなプレイは要チェックです。

ユアナ:「紙赤、ヌラ要」は、曲調的に渋い感じが合うだろうなと思って。ただ、気持ち的には、ガツガツしています(笑)。レイドバックしたわけではなくて、boogiemanとしてのジャズ・テイストを提示したかったので。

晃:今まで出してきた曲では、ギター・パートを曲中のブロックごとに考えていたんです。でも、「キジョウノ空論」から、そういう考え方はやめて、1曲を通したギターを意識するようになったんです。それこそ、気持ちよければ1曲通してオクターヴ・メロでいってもいいんじゃないか…みたいな。今回は、そういうギターを弾いています。

――その分、フレーズや音色の選択に、こだわった印象を受けました。

晃:そうですね。もちろん、それは以前からこだわっていましたけど、今回は今まで以上に意識しました。

ユアナ:お互いが、どういうプレイをするかを、今まで以上にしっかり確認し合ったりもしたよね?

晃:そう。だから、今回のアルバムで、ツイン・ギターの精度がさらに上がった印象はありますね。音色に関しては、僕はフレーズを考える時に音色も同時に出てくるので、それをそのまま活かしているだけです。その結果、やたらとフェイザー(音に回転感を与えるエフェクター)が多いという(笑)。

ジュンノ:今回の歌録りに関しては、「キジョウノ空論」が、自分の中では大きかったです。「キジョウノ空論」は、曲が出来た段階では明確な着地点が見えてなくて。それが見えて、歌録りが終わったあたりから加速していけた感じだったんですよ。ただ、「故に自壊」と「ヒステリシス」は大変でした。特に「ヒステリシス」は、作曲者の晃が思う世界観に、きっちりダイヴ出来るか/出来ないか…というのがあって。歌の表情や温度感、ビブラートといった、いろんなことを晃と相談しながら決め込んでいきました。だから、この曲は苦労したというよりは、印象に残った曲と言うべきかな。

――印象的と言えば、煌びやか&ストレートな「揶揄されど…。」は、今までのboogiemanにはなかったテイストです。

ジュンノ:最初にも言ったように、ウチのバンドは、シーケンスが入ってる曲が多いじゃないですか。そうじゃないところで、5人で集中して緊張感を持ってやれる曲が欲しいなと思って作った曲です。でも、みんなに聴かせるには、勇気がいりました(笑)。ちょっとビクビクしながらデモを聴かせたんですけど、〝ダメじゃねぇ?〟みたいな声はなくて。ホッとした記憶があります(笑)。

――よかったですね(笑)。紆余曲折もあったようですが、『boogieman』は聴き応えのあるアルバムで楽しめました。

万作:ありがとうございます(笑)。二転三転しましたけど、決して妥協の産物ではなくて。自分たちが出せる最良のものを…という意識で取り組んだので。後ろ向きなところは微塵もないし、先に繋がる作品になっている自信はあります。

晃:結果的に、boogiemanを結成した時に目指していた方向性の一つの完成形に行き着けて良かったなと思います。そういうアプローチは、このアルバムで完結したし、今後はまた新しいところに進むことになると思うので、それも楽しみにしててください。

ユアナ:今回は、本当に制作期間が長かったので、〝やっと出来た!〟というのが正直な気持ちです(笑)。次は、ライヴですね。ちょうど、このアルバムをリリースした頃からツアーが始まるんですけど、このアルバムの曲が加わることで、ライヴの在り方も変わると思うし。ライヴがどんなものになるのかを、自分たちでも楽しみにしています。

ユウイチロー:『boogieman』は、今までになかった曲が結構入ってて。すごく聴き応えのあるアルバムになった手応えを感じています。ライヴも期待しててほしいですね。この作り込まれたサウンドを再現できるように頑張るので、アルバムを聴いて、ぜひライヴにも足を運んでほしいと思っています。

ジュンノ:個人的に、アルバムを作るのは、人生初の経験だったんです。制作を通して、〝身を削る〟という言葉の意味を、思い知らされました。覚悟はしていたんですけど、〝こんなに精神力と体力がいるものなんだ〟と思って。いい経験をさせてもらったし、改めて感じたこともたくさんあって。今回のレコーディングで得た全てのものを、今後の活動に反映させていきたいと思っています。

結成した時に目指していた方向性の、一つの完成形に行き着けた。

待望の1stフル・アルバム『boogieman』が、いよいよ6月23日にリリースされる。バンド始動から約2年を経て完成に至った初のアルバムは、紆余曲折がありながらの制作だったそうで、5人が"boogieman"というバンドにしっかりと対峙しながら完成させた作品となったようだ。制作過程での出来事や想いを語ってもらった。

Interview:TAKAYUKI MURAKAMI

蝴蝶网
hudie.com

Gt.AYA

Vo.MIKI

Vo.YUKI

Mix Speakers,Inc.

シンデレラ

6月16日に初のベストアルバム『NEVER ENDING STORY』をリリースし、現在までのさまざまなストーリーをおさらいさせてくれたMix Speaker's,Inc.。ライヴ必須アイテムも整い、後は、7月3日の日比谷野外音楽堂でのワンマンライヴに突き進むだけである。"夢のテーマパーク"が具現化される当日、彼らは会場限定で新たな音源をリリースするという。その名は「シンデレラ」。6人ヴォーカル第2弾となる今作についてじっくり語ってもらいましょう。

Interview:NAOKO TAKEICHI

――7月3日に行なわれる日比谷野外音楽堂でのライヴで、会場限定でリリースされるSg「シンデレラ」は、〝夢のテーマパーク〟のテーマソング的な感じなの？

seek：そう。第3のコンセプトのテーマソング的な感じっていうんですかね。

――じゃぁ、シンデレラはファンのみんなってことね？

AYA：そう。今回はお城がテーマだから、ファンのみんなが姫な訳。

――〝バンギャお化け〟って言われてみたり、〝バンギャ星人〟って言われてみたり、いろいろとファンのみんなも大変だね。

seek：なんか、今、姫扱いされることに抵抗があるらしいけど（笑）。

keiji：〝私が姫なんて……〟って、ちょっと恥ずかしさもあるみたいですよ。内気な子が多いんでね、ウチのファンは。

――そうだね、女の子は姫願望ってあると思うから、姫って呼ばれたら嬉しいもんだと思うけどね。

AYA：女の子って絶対に誰でも姫願望あると思うんですよね。だから姫にしたのに、一部からブーイング。なんでしょ（笑）？　せっかく我らの姫になってもらえたらっていう意味なのに。

seek：ま、たしかに、俺らもちっちゃい頃、王子願望あったもんな。

一同：（顔を見合わす）。

MIKI：あったか？　俺は無かったぞ、王子願望……（苦笑）。

AYA：俺あったよ！っていうか、むしろ、今もバリバリある（笑）。

一同：（大爆笑）。

YUKI：あははは。と、まぁ、そんな夢のあるバンドなんでね、夢を歌っていこうじゃないかと。今回の3rdストーリーのテーマは『Mix Land～夢を忘れていませんか？～』なんですよ。だからね、そのコンセプトに基づき、日比谷野外音楽堂のライヴでは、Mix Landに遊びに来てくれたみんなを、姫として招こうと。そういうことなんですよ！

AYA：そう。でもな、楽しい時間には終わりがあるんですよ、残念ながら。シンデレラも12時に帰らなければいけないように、みんなもライヴの終わりと共に、またいつもの生活に戻らなくてはいけない。そんな楽しいひとときと、その終わりをね、ドラマティックに「シンデレラ」に詰め込んだ訳です。

seek：野音は夜の9時で音止めやからね。完全撤収せなあかんからな。

YUKI：そんな現実的なこと言わないのっ（笑）！　夢を届けるバンドなんだから！　ライヴ中はね、みんな魔法がかかってるんですよ。

――「シンデレラ」は、「BIG BANG MUSIC!～青春ウォーカー～」で見せた6人ヴォーカルの第2弾でもあるでしょ？

seek：そうですね。みんなライヴで楽しんでくれてるし、じゃぁ、Mix Landでも一緒に楽しめたらいいねってことで作ってみました。でも、エンジニアさんには、すっごい嫌だってごねられましたけどね（笑）。

――どうして？

YUKI：レコーディングが大変やから。

AYA：そう。ヴォーカルの2人以外はド素人やからね（笑）、下手くそすぎて、ヴォーカル録りにめちゃめちゃ時間かかるんですよ！

――基本楽器隊は打込みでしょ？

keiji：まぁ、一応生でレコーディングもしてるんですけど、そこじゃなく、歌録りに時間かかるんですよ！

――そんなに？

S：半端ないですよ（笑）。

――そんなに何テイクも重ねたようには思えないけどね（笑）。

seek：あ。今、けなしたでしょ。

――いやいや、けなしてないよ（笑）。この一発録りのような、キャラの活きたヴォーカルがいいなと思ったの。Sさんなんて、キャラのままで、わざと歌じゃなく、台詞っぽく歌ってるでしょ。

S：それ……しかたなく、ですからね。

一同：（爆笑）。

seek：[illegible]

みんなに魔法をかけて

ころを褒められるっていう（笑）。

S：何回やってもOKが出ず、最終的にパニックになって、もう歌えないってなって。台詞にしてもらったんです（笑）。

MIKI：ホントに何回歌ってもちゃんと歌えなかったですからね（笑）。

YUKI：後半でキャラを押出して台詞っぽく見せて行くから、前半部分ではちゃんとメロを歌って欲しかったんですけどね……無理やった……（苦笑）。でも、今言ってくれたみたいに、結果的にキャラが立ったし、面白くなったんじゃないかなとは思いますけどね。

AYA：でもね、たしかにこの曲、歌メロは歌うと分かるんだけど、結構難しいんすよ。歌い辛い音階であることは確かなんですよね。

YUKI：歌録りはMIKIくん以外、seekさんが1番早かったんじゃないかな？　その次はkeijiかな？

keiji：うん。俺そうやって褒められた気がする。なかなかすんなりといったかな。

MIKI：歌的にはね、1番keijiが声作ってる感じかな。

seek：ちょっと、そのうちソロデビューとか、狙ってるんちゃいます？

keiji：まぁ、悪くない（笑）。

——（笑）。原曲はAYA？

AYA：そう。今回は、ちょっとデジロックな感じにしてみました。ギターは生で録ったんだけど、それをデジタル加工してみたりして。前作がダンスメインで考えたポップでパーティなサウンドだったからね、今回はロックな6人を見せて行こうかなと。

——イントロはゴリゴリなロックだもんね。6人の声が入るとポップな色も入って来るけど。

AYA：うん。打込みでこういう曲っていうのがありそうでなかったから、ライヴでどうなっていくのかなって、自分的にも楽しみ。振り付けももちろんあるんやけど、もっとフリーなライヴ感というかね、そういうのが出していけたらいいなと思って。打込みだけど、めちゃめちゃ熱いライヴ感っていうのを目指してる感じかな。

YUKI：ライヴでどうなるかはホント興味あるなぁ～。前回は揃いのダンスもあったから、本当にダンスできっちり見せる感じだったけど、今回の方がある意味難しいかも。

MIKI：また違った6人ヴォーカルの見せ方が加わると思うね。

keiji：うん。決まった振りがない分、それぞれの個性が出た見せ方になると思うし。

seek：たしかに。ノセ方が難しいかもね。ヴォーカル陣は慣れてると思うけど、そういうアドリブ的なノリを出していくのが、楽器陣はたしかに難しいかも。

——Sさんはライヴ中の劇でも、すごく器用に演じているし、ダンスもすごく表情豊かだし、上手そうだけどね。

S：マジっすか？　褒めてくれるんですか！　嬉しいです（笑）。僕はドラムというパートだから、いつも後ろに居てフロントに出ることがないので、前に出た時はおもいっきりはっちゃけようと思っているので、その精神が現れてるんじゃないですかね（笑）。そこは今回もおもいっきりはっちゃけようと思っているので、楽しみにしてほしいですね。

——歌詞は？

YUKI：今回の歌詞は僕ひとりで書きました。シンデレラっていう題名を貰っていたこともあったんで、そこを軸にしながら、シンデレラにとっての舞踏会が、ファンのみんなにとってのライヴという場所になればいいなという思いを込めて書きましたね。だから、7月3日は、舞踏会に来[illegible]感覚[illegible]日比谷の野音に来てもらえたら嬉しいなと思います！　みんながおもいっきり楽しめる魔法を、僕たちが精一杯の力でかけたいと思ってますんで、期待してて下さい！

seek：ここ最近ね、自分たち主催の対バンライヴも重ねてきたことで、自分たちらしさとは何なのか？　を見つめ直せてる気がするので、そんな成果が、7月3日のステージで見せられたらいいなと思ってます！

（問）Mix Speaker's,Inc.　〒102-8366　東京都千代田区五番町5-1　JS市ヶ谷ビル7F　http://www.mixspeakersinc.com/

蝴蝶网
hudie.com

絆

マコト×ユウ(ドレミ團)

可愛い弟であり、頼しきベーシスト

2010年1月23日に、正式メンバーとして、ベーシストのユウを迎え入れたドレミ團。そんなユウの正式加入から早くも約5ヶ月が過ぎようとしている。1月23日に恵比寿リキッドルームで行なわれた『東京姫始メ5』(年初めライヴ)から現メンバーでの活動を開始し、現メンバーでのツアー『晩春パラフレニア』(全国6カ所6公演)を無事終了させた今、マコトとユウに話を訊いた。

Photorgaphy:MASAKAZU KOBAYASHI (SHOXX)
Interview:NAOKO TAKEICHI
Hair&Make-up:YUU MAWATARI
Styling:HIROMI KOYAMA
Costum : [illegible]

蝴蝶网
hudie.com

マコト：ちょっとっ（笑）！　苛められてなんかいないですよ！
——ユウに聞いてるの。
マコト：苛めてないよね～（笑）。
ユウ：あははは。はい。苛められてないですよ（笑）。
——（ノートで壁を作り）ホントは？
ユウ：あははは。本当に楽しいですよ（笑）。ツアーも楽しかったですし。
マコト：ホントにね、ツアーもすごくいい感じで廻れた訳ですよ、これが！
編集担当者：マコっちゃん、さっきトイレ行きたいって言ってなかった？　行ってきていいよ（笑）。
——ついに人払いされたよマコト（笑）。
マコト：本当だよ、酷いよ（笑）！　いや、絶対ユウも楽しんでますって！　でもね、本当は、もっとツアーに対して、楽しい思い出を作ってあげたかったんですけどね、5月の半月間で集中的に廻ったツアーでもあったから、かなり移動が大変で、移動とか体力的にしんどかったんじゃないかなって思うんですよね。
ユウ：いえいえ。あ、でも、はい（笑）。たしかに、移動は結構疲れちゃったりしたんですけど（笑）、ライヴ自体はすごくいいライヴが出来ているんですよ。初めてのツアーだし、初めて僕を見てくれるお客さんが集まってるライヴだし、緊張しちゃうかな？って思ったんですけど、そんなことまったくなくって、固くならず、いいライヴが出来たんです。
マコト：ユウが加入してからツアーまでの3ヶ月間が比較的ゆったりした時間を持ててたのもあったし、その間、ユウも頑張ってドレミ團に早く馴染む努力をしてくれてたと思うんで、それがすごく活かされてたツアーだったと思うんです。
ユウ：いや、でも、メンバーのみんなもすごく良くしてくれたし、本当にまったくストレスのない状況の中で頑張れたのが、すごく大きかったと思います。
——ユウ自身、ツアーって始めて？
ユウ：東名阪の3カ所のツアーは経験あるんですけど、全国ツアーは経験がなかったんで、やっぱり移動は相当疲れましたね。福岡と大阪のライヴが連日だったんで、大阪で爆睡しちゃいました（笑）。
マコト：あのスケジュールはたしかに

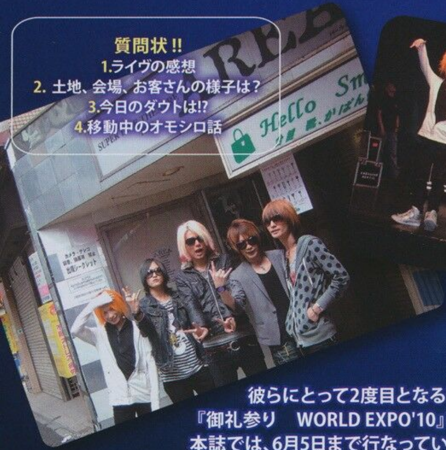
蝴蝶网
hudie.com

日着な感じで移動して、福岡のライヴが終わった後、すぐに大阪に移動したんですよ。だからめちゃめちゃしんどくて、オマケに次の日、大阪でイベントライヴにも出させてもらったんで、メンバー全員ホテルで爆睡してましたからね（笑）。ツアー慣れしてる他のメンバーも、結構疲れてたんで、初めてであれを経験させちゃったのは可哀相だった。でもやっぱ若いんで、回復早かったですけどね（笑）。
——（笑）。でも、バンドって、ツアーをしてみて初めて一つになれるよね。
マコト：それはすごくありますよね。でもね、ユウに関しては、なんか、すっごく不思議なんですけど、昔っからメンバーだったみたいな感覚があって、新しく加わった感がなかったんですよ（笑）。
ユウ：あ、それ、よく言われますよね（笑）。でも、僕自身も、ずっと昔から一緒にやってきてるメンバーみたいな感覚で、すごく居心地が良くて。
マコト：新鮮じゃない訳じゃないんだけど、すぐに馴染んじゃってて、なんか、不思議だなぁ～って。ツアーやって思ったけど、ユウにはいっぱいツアーやライヴを経験させたいなって思いましたね。やっぱり、今回のツアーで彼が得たモノってすごく大きかったと思うし、もっともっとたくさんのことを経験させてあげたいって思いましたからね。
——ユウはツアーをやる上で、また楽曲をガッツリ覚えたりしたんでしょ？
ユウ：はい。たくさん覚えましたね。
マコト：大変だったと思いますよ。『東京姫始メ5』のステージまでに何十曲と覚えて、ツアーで新たに何十曲と覚えてもらってますからね。すごく大変だったと思います。そこは僕らには想像出来ない努力があったと思いますからね。本当によく頑張ってくれてると思います。
——アンティック-珈琲店-の輝喜が言ってたけど、今、自分がサポートドラマーを経験してみて、はじめてその大変さを知ったって。takuyaとゆうきがどれだけの思いをして頑張って曲を覚えてくれていたかと思うと、本当に感謝しても感謝しきれないって言ってたのが、すごく印象的だったの。ユウも同じだよね。
マコト：うん。本当にそう思うよ。本当に頑張ってくれてると思いますから

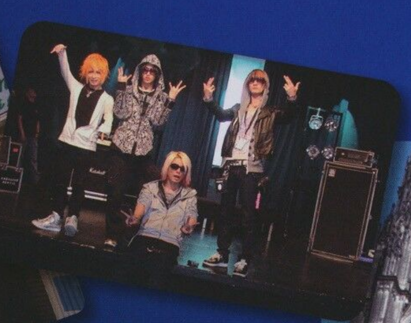
ユウ：いやいや、やっぱり、ドレミ團を待っててくれる人が居るから、僕が頑張らないとって思うんです。もちろん、自分自身も、すごく頑張りたいって思えてるし。それに、このツアーで感じたのは、曲によってステージングにも変化を付けて行くべきなんだなって。最初は、とにかく演奏に集中してることが多かったんですけど、ツアーをやっていくうちに、その曲その曲に対してのお客さんのノリ方を見てると、だんだんイメージが変化していくんですよ。これまでの曲を覚えながら感じたことでもあったんですけど、ここに至るまでのドレミ團の音にも変化を感じるし、曲をより良くしていくためにはどうしたらいいんだろう？って常に考えながらベース弾いてますね。
マコト：ツアー中も、暇さえあれば練習してましたからね、ベース。ツアー先のホテルでも、移動してホテル着いたらもう朝なんですよ。朝チェックインして、もう昼にはチェックアウトして会場に向かわなくちゃいけないんで、もう寝るだけなんですよね、ホテルでは。ほんの数時間。だから、基本、機材って車の中に入れっぱなしなんですけど、ユウは絶対にベースを降ろすんですよ！　すごいベースを大事にしてるし、ちょっとでも時間があれば練習してるんです！
——ところで、お客さんの反応はどうだった？
ユウ：すごく温かかったんです！　〝ベースを弾いてくれてありがとう〟ってアンケートやお手紙がすごく多くて。ドレミ團って、本当に愛されてるバンドなんだなって実感したし、頑張らなくちゃって、改めて思いました。
——メンバー的には？
マコト：すごいですよ、大人気（笑）。零華くんはドラムなんで、リズム隊としてベースって重要なポジションだと思うんですけど、最初に合わせたときから、すごくやりやすかったって言ってたし。
ユウ：いや、僕も零華さんのドラム、すごくやりやすかったんです！　ニュアンスとか空気感とかタイミングがすごく合うんです。キックとベースがピッタリ合ってる感じがするし。すごく気持ちいい。
マコト：ライヴ中もユウは、メンバーのことちゃんと見てるんですよ。それ

ンの人からも、〝ユウくんは本当にいつもしっかりメンバーのこと見てますね〟って。メンバーと同じ目線でユウのこと温かく見ててくれるのが、僕たちとしてもすごく嬉しいんですよね。それにね、ユウはメンバー全員にアドバイスを求めてたりするんで、メンバー的にもすごい可愛いと思うんですよ。
——誰にどんな相談してるの？
ユウ：マコトさんにはバンドの総合的な面を教えて貰う事が多くて、零華さんにはやっぱリズムですね。
マコト：零華くんなんて、ここまで人から頼りにされたことないから、嬉しくてしょうがないと思いますよ（笑）。
ユウ：零華さんのドラムはすごく勉強になるし、すごく分かりやすく教えてくれるんですよ。で、KENさんには曲作り面のいろいろを教えてもらって、龍さんには人生を教えてもらってます！
——龍さんに人生!?
マコト：あははは。そんなに驚かなくても（笑）。龍さんって普段おとなしいんだけど、その分、いろいろと考えてたりする人なんで、そういう面をね。ユウは学んでるみたいですよ（笑）。きっとファンのみんなも、可愛い弟みたいに思ってくれてたりもするんでしょね。でも、可愛いだけじゃなく、しっかりとドレミ團の音を支えてくれてるからこそ、こんなにも受け入れてくれてると思うんですけどね。だから今、すごくいい状態でバンドが動いてる感じがしますね。ユウが入ってくれたおかげで、今、すごく積極的になれてるんです。もっともっとライヴして、今よりも、もっと多くの人にドレミ團を知ってもらいたいって、また、ここにきて、意欲的になれているんです。だから、ここから先は、イベントにもいっぱい参加していこうと思ってるし、積極的にワンマンライヴやツアー活動をしていこうと思っているんで、ぜひ、新しく生まれ変わったドレミ團を知ってもらえると嬉しいです！
ユウ：本当に、メンバーにもファンのみなさんにも感謝していますし、もっともっとたくさんの人たちにドレミ團を見てもらいたいので、よりいっそう頑張っていこうと思ってます。これからも、ドレミ團のベーシストとして、たくさんの人に出逢えることを願っています！

(問)〒150-0002東京都渋谷区渋谷3-26-15日通渋谷ビル
「青空倶楽部」 http://www.doremidan.co



質問状!!
1.ライヴの感想
2. 土地、会場、お客さんの様子は?
3.今日のダウトは!?
4.移動中のオモシロ話



彼らにとって2度目となるワールド・ツアー
『御礼参り WORLD EXPO'10』を敢行していたダウト。
本誌では、6月5日まで行なっていたヨーロッパ編6公演を
セルフ・レポートしてもらいました!!
(パリ公演は機材トラブルのため中止になったそう)

ワールド・ツアー、セルフレポート!!

ダウト

長期自作ツアー㊦巻

蝴蝶网 hudie.com

『御礼参りWORLD EXPO'10』

Photography & Text : D=OUT

0529 @Ucho (Poland)

Text:威吹

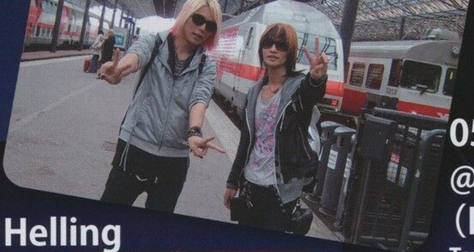
1.今日のライヴは超熱かったし暑かった…
お客さんも素直な反応で楽しんでくれて最高のライヴになった!
2.ポーランドの子も可愛かった(笑)。そして熱狂的!
3.今日のミナセさんは一生懸命だった。
4.ご飯食べにレストランに行った時に、外人の子供にミナセさんと一緒に品定めするかのように見られた(笑)。

TVレポートが入りました(笑)

0528 @Gloria (Finland)

Text:幸樹

1.あっという間の2時間やったけど、フィンランドのみんなが熱狂的すぎて初日から大成功となりました☆
2.街並みがすごく綺麗でまるでディズニーランドの世界!フィンランドのファンのみんなは開演20分前からもうダウトコールで熱狂的だった☆
3.ミナセさんはオラオラ系でした! あっ今日もミナセさんはか…
4.ヒカチュー(※)が、漢字一文字で「夢」って書いてるピンクのTシャツを着てて髪がオレンジで服がピンク…どんだけ派手やねん!
(※ひかるのこと)



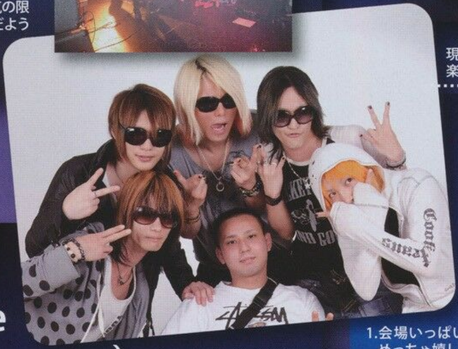
蝴蝶网
hudie.com

0601
@Tivoli de Helling（Netherlands）
Text：玲夏

1.去年と同じく、とても熱く迎えてもらえました。入り待ちと出待ちの人数はこのツアーで1番だったかも。ライヴ中、MCで敢えて難しい日本語を喋ったりしてお客さんをシーンとさせてしまったけど（笑）。それと、かめはめ波は世界共通だという事を実感しました。
2.ライヴハウス自体は落ち着いた街並みの中にある感じ。地面が綺麗な印象がありました。ライヴハウスもとても綺麗で、キャパ的には400～500くらいの凄いやりやすいステージでした。お客さんは、ヨーロッパはどこの国も熱狂的で素敵です。ライヴの最後にお客さんに手を引っ張られて、足も引っ張られてなかなかピンチな瞬間はあったけど（笑）
3.メンバーはいつも通りな感じ。この日は特に何も起こらなかったかも。
4.ライヴが終わって、次の国へ向かうバスの中でお酒を飲んで、眠気の限界が来るまで喋ってて、死んだように眠るのが日課です。

0530
@Knust（Hamburg/Germany）
Text：ひヵる

1.やっぱり熱狂的！　表現がダイレクトで、日本語もよく知ってて、日本を愛してくれてるんだなって感じました！
2.休日ともあって、お休みのお店が多かったです。街も穏やかな感じで和みました！　あいにくの雨だけど、来てくれたたくさんのファンの方に感謝！
3.みんな元気そうです！
4.メガホンを持って飛行機に乗ったら、スチュワーデスさん達に絡まれまくった。メガホンボーイ！



現地の撮影スタジオで、楽器スタッフとノリで撮影！（笑）

0602
@Underground（Cologne/Germany）
Text：ミナセ

1.会場いっぱいにお客さんが入ってくれてめっちゃ嬉しかったし、このツアーでいちばんコミュニケーションがとれてたと思う。お客さんとの距離も近くて目で会話するっていう感じ？　言葉の壁なんて関係ないって実感できた（笑）。みんなテンション高くてアツくて途中倒れちゃう人が出たりしたけどすごく盛り上がった!!
2.田舎街っていう感じですごくのんびりとして落ち着いてた。ライヴハウスが、ライヴが終わったあとにクラブに変わるから、クラブ目当てのお客さんやスタッフの人も陽気でいい人ばかりで、その場にいるだけで楽しい気分になれた。お客さんもライヴハウスに着いた朝からもう並んで待っててくれて嬉しかったし、ライヴ中もサイン会でもずっと笑顔だった。ありがとうやお疲れ様ですって日本語で言ってくれたりしたのも嬉しかった。
3.この日はメンバーの誰とかじゃなく全員が壊れてた（笑）。ライヴ終わった後にクラブに変わったから全員でクラブで踊り明かした!!　踊ってる時にひヵるが地元男性に担がれるっていうおもしろハプニングもあった（笑）。
4.ケルンでオフ日だったんで観光してきた！　大聖堂に行ったんだけど、すごくでかくてあれほどまでの建築美を生で見ることってそうないから圧倒された。夜御飯で行ったレストランでは定員が無理矢理ビールを継ぎ足してくるっていう悪ノリがすぎるレストランで、思いの外酔ってしまった（笑）。

0605
@Backstage（Munich/Germany）
Text：幸樹

1.ファイナルらしい忘れられないライヴになりました。涙のSUNRISE忘れません（笑）。
2.別れを惜しんで泣いてくれてる人もいて思わず俺も泣いた！　ヨーロッパではかめはめ波が流行語に??
3.ひヵる…早朝からのメンバーの顔落書きに久しぶりのマジギレ（笑）。
4.やっぱりひヵる…早朝からのメンバーの顔落書きに久しぶりのマジギレ（笑）。

最高のヨーロッパツアーでした☆

蝴蝶网
hudie.com

EXTRA-TERRITORIAL
2010.5.5 SHIBUYA-AX

個性派バンドの本気のバトル、最終決戦!!

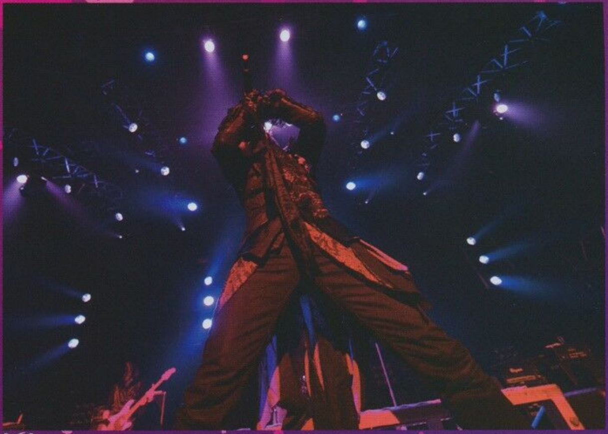
系列の会社に所属する6組——kannivalism、12012、大佑と黒の隠者達、boogieman、BugLug、DOG inTheパラレルワールドオーケストラが
大集結して東名阪を廻った一大イベント・ツアー"EXTRA-TERRITORIAL"が、5月5日・渋谷AXをもって終結した。
個性派バンドたちがガチでぶつかり合った"闘い"は、観る者に様々な想いを改めて感じさせたイベントとなったのだった。

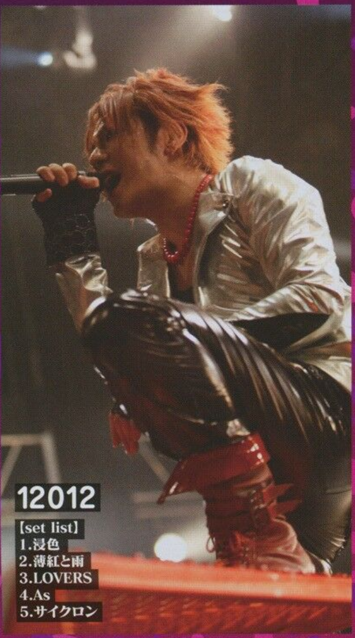
Photography:SUSUMU MIYAWAKI (PROGRESS-M) ,HIROE YAMAUCHI (PROGRESS-M) Report:TAKAYUKI MURAKAMI

FWD系列の6アーティストが顔を揃えて東名阪で行なわれた〝EXTRA-TERRITORIAL〟。この言葉だけを聞くと、〝あぁ、よくあるイベントですね〟と思うかもしれないが、〝EXTRA-TERRITORIAL〟は、かなり特異なイベントと言える。今回参加したアーティストたちは、それぞれが独自の世界を持っていて、音楽性やキャラクターの共通点はほぼないに等しい。逆に、他のアーティストとの慣れ合いを良しとせず、イベント等に積極的に参加するタイプではないというところが唯一の共通点となっている。つまり、他のイベントではあり得ない面々が一同に会したわけだ。そんな特別な成り立ちにふさわしく、〝EXTRA-TERRITORIAL〟は、実に観応えのあるイベントだった。

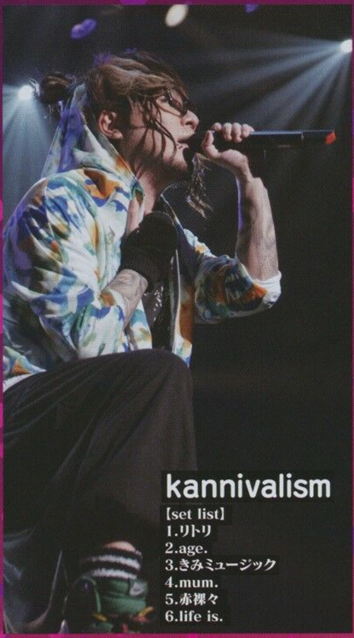
ライヴに先立って、ステージには今回のイベント・ツアーの発起人となった12012の宮脇とkannivalismの圭が、紋付き袴姿で挨拶に登場。場内は早くも騒然となり、こういう趣向で華を添えるのも心憎いな…と思わずにいられなかった。そんなサプライズに続いて、まずステージに立ったのは、DOG inTheパラレルワールドオーケストラ。ダンサブルかつアッパーな「ハルシオンキャンディー」でライヴをスタートさせた彼らは、激しくシャウトして客席に煽りを入れる春を中心に、メンバー全員がエネルギーを炸裂させるアグレッシヴなステージを展開。ハイ・テンションなナンバーを並べたセットリストも功を奏して、オーディエンスのボルテージは一気に高まった。ショート・ライヴにも拘わらず、イベントの火付け役を上々の形で果たしたのはさすがと言える。

続いて登場したBugLugは、オープニングSEの後、いきなり客席とのコール&レスポンスに突入するという意表を突いた形からスタート。その後は「Mr.アリゲーター」でフル加速して、ファンキーな「Hu.Mor.Box」でたたみかける流れとなっていた。歌の合間に、〝もっと遊ぼうぜ!〟とアジテートする一聖と、余裕の表情でステージを行き来しつつ安定したサウンドを聴かせるメンバーたち。明るいムードで客席を巻き込んでいくBugLugのステージは実に魅力的で、爽





12012
【set list】
1.浸色
2.薄紅と雨
3.LOVERS
4.As
5.サイクロン



kannivalism
【set list】
1.リトリ
2.age.
3.きみミュージック
4.mum.
5.赤裸々
6.life is.

大佑と黒の隠者達
【set list】
1.葬送
2.嫌
3.翻弄
4.朦朧エピローグ
5.ザッヘル

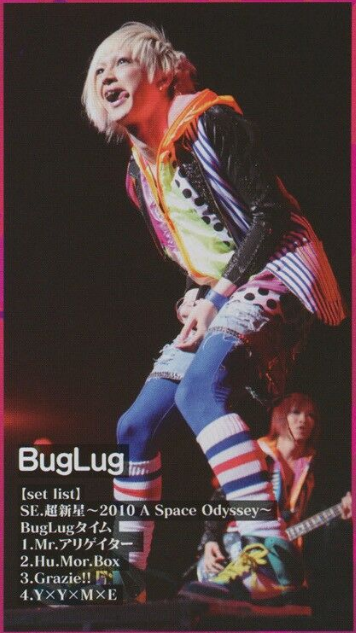
大佑と黒の隠者達の登場を告げる荘厳かつ陰鬱なオープニングSEが流れると同時に一変した。大歓声が湧きあがる中、「葬送」のイントロが鳴り響き、大佑と黒の隠者達のライヴが始まった。突き抜けた表現力を誇る歌声を聴かせつつ、シアトリカルなパフォーマンスを展開する大佑の存在感は圧倒的で、ライヴが始まると同時に〝ググッ!〟とステージに引き寄せられた。メロディアスな「嫌」や、爽やかな「翻弄」、ヘヴィな「朦朧エピローグ」といったナンバーで多彩さを発揮した後、「ザッヘル」で、大佑は客席にダイヴ。ダイヴしながらしっかり歌い続けたことには、本当に驚かされた。わずか5曲で目指す世界を完璧に作り上げたあたりは実に見事で、彼のアーティスト・パワーが光るステージだった。

続くboogiemanのライヴが始まると場内のムードは再び変わって、退廃的なムードと猥雑さに染まった。ヒステリックな立ち居振る舞いでステージ上を行き来して、瞬発力を活かした歌声を聴かせるジュンノ。ガーリィな姿で、キュートさとアブナさを振りまくユアナ。クールな表情が凄みを感じさせる晃。パンキッシュなオーラを発しつつ、ファットな重低音を響かせる万作。全身を使ってスケールの大きなビートを叩きだすユウイチロー。強力な個性を備えた5人が並び立ったステージは観応えがあるし、〝硬質さと毒々しさ〟という相反する要素を併せ持ったサウンドも実にいい。狂騒感に満ちたナンバーをメインとしつつ、中盤で煌びやかな「キジョウノ空論」を聴かせたセットリストや、斬新な場面転換や凝ったアレンジを違和感なく聴かせる高い演奏力も見事で、boogiemanの魅力を凝縮したライヴとなっていた。

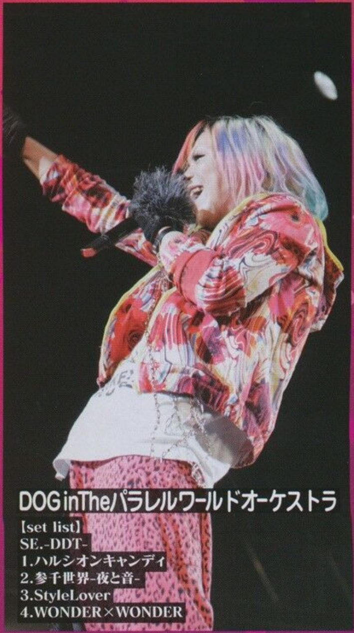
12012は、〝硬派かつ華麗〟という独自の持ち味を遺憾なく発揮したステージを披露。ダイナミクスを活かしたサウンドと、曲中のパートによって表情を変えるヴォーカルは1曲目の「浸色」から完璧と言えるものだったし、ステージに〝ピン!〟と糸が張ったような緊張感が漂っているのも心地好かった。メロディアスかつハードな「薄紅と雨」でさらに

boogieman
【set list】
1.[illegible] world
2.[illegible]CHILD
3.キジョウ[illegible]
4.パラダイムシフト
5.極彩[illegible]

蝴蝶网
hudie.com



BugLug
【set list】
SE.超新星～2010 A Space Odyssey～
BugLugタイム
1.Mr.アリゲイター
2.Hu.Mor.Box
3.Grazie!!
4.Y×Y×M×E



DOG inTheパラレルワールドオーケストラ
【set list】
SE.-DDT-
1.ハルシオンキャンディ
2.参千世界-夜と音-
3.StyleLover
4.WONDER×WONDER

EXTRA-TERRITORIAL
2010.5.5 SHIBU

蝴蝶网
hudie.com

東京は宮脇（12012）を中心としたセッション。演奏曲は、1.Basket Case（Green Day） 2.CHILD PREY（DIR EN GREY）

の日の進行役を務めた、圭（kannivalism）と宮脇（12012）、
して某CDショップのY氏。

オープニングアクトとして東京ミカエル。も登場！

8月25日にDVDとしてリリース決定!!

圭と宮脇が発起人となり、"大人の"都合とは関係なく、自分たちだけの本気を発露するイベント・ツアーとして開催されれた今回。そのファイナル公演である5月5日・渋谷AXの模様を収録したDVD『EXTRA-TERRITORIAL 2010.05.05 at SHIBUYA-AX』が、8月25日に発売決定！　各バンドのライヴ映像はもちろん、出演バンドが入り乱れた楽屋風景を含むオフショットを収録。熱いバンドたちで作り上げたロック・イベント、ぜひDVDでも感じ取ってください！

場内のボルテージを上げた後は趣を変えて、スロー・チューンの「LOVERS」が演奏された。情熱的に歌い上げる宮脇のヴォーカルやエモーショナルな須賀のギター・ソロは聴き応えがあって、場内を埋めたオーディンスが、惹き込まれるように聴き入っている姿が印象的だった。ライヴ後半では再びアグレッシヴ・モードにシフトして、「As」と「サイクロン」をプレイ。勢いと安定感を兼ね備えた上質なサウンドに、オーディンスは熱い盛り上がりを見せていた。

場内が暗転した瞬間に大歓声が湧き上がったkannivalismのライヴは、「リトリ」で幕を開けた。ステージ中央に立って、一言一言を噛みしめるように歌う怜。膝のあたりにギターを構えて、透明感に溢れたギター・サウンドを奏でる圭。視線を惹きつけられる存在感を発しながら、力強く粘るグルーヴを生み出す裕地。音楽を丁寧に紡いでいく感覚に満ちた彼らのライヴは、ホットに炸裂するパターンとは違った魅力に満ちている。「age.」や「きみミュージック」といったナンバーで徐々にテンションを上げていった後、力強さと浮遊感を融合させた「mum.」に至る構成も"さすが！"の一言で、場内は完全にkannivalismの世界に染まった。その後は、煌びやかな「赤裸々」と「life is.」を続けてプレイ。ハードな側面を見せていながら暴力的な雰囲気はなく、ステージが光に溢れているように感じられることが心に残った。

イベントの最後には、スペシャル・セッションも行なわれて、宮脇と圭、ユアナ、燕、大佑（Drで参加！）というメンバーで、Green Dayの「Basket Case」と、DIR EN GREYの「CHILD PREY」をプレイ。セッションとは思えない気合いの入った演奏に、場内はイベントのラストにふさわしい盛大な盛り上がりを見せた。

"EXTRA-TERRITORIAL"は、独自の世界観を持ったアーティストが揃ったことで、音楽の多彩さや様々な楽しみ方、音楽が持つ力といった様々なことを、改めて感じさせてくれた。密度の濃いイベントだっただけに、今後も引き続き開催

蝴蝶网
hudie.com
BugLug
バグラグ
http://www.buglug.jp/
×
DOG in The PWO
パラレルワールドオーケストラ
PLAY AFTER THE BATTLE!!!!!

レーベル兼マネージメント・オフィスFWDの系列会社に所属する、
kannivalism/12012/大佑と黒の隠者達/boogieman/BugLug/DOG inTheパラレルワールドオーケストラという
6組のアーティストが集結するイベント・ツアー"EXTRA-TERRITORIAL"が、4～5月にかけて東名阪にて開催された。
"怒濤の闘い"を終えた今、先輩たちに囲まれながら"新人"たちはどんなことを思っているのだろうか。
BugLugから一聖と燕、DOGから春と準々に集まってもらい、
このツアーで得たことをじっくりと語り合ってもらった！

Photography:MASAKAZU KOBAYASHI(SHOXX)
Hair & Make-up:AZUSA KOBAYASHI
Interview:TAKAYUKI MURAKAMI

――最初にイベント〝EXTRA-TERRITORIAL〟の話を聞いた時の印象は？

一聖：もう、〝待ってました！〟という感じでした。アーティスト発信のイベントだったし、普通では絶対に揃わない顔触れだったし。新人バンドのBugLuGが、そんな場所に組み込んでもらえて。驚きつつも、〝やった！〟という嬉しさがいちばん大きかったです。

春：僕は、子供の頃から、いわゆる〝フーウィルっ子〟というか（笑）。フリーウィルに所属しているアーティストで好きな方が本当に多くて。だから今回の

ただ、今はもうファンだった頃とは違うので。負けたくないよね…という話を、メンバーでしていました。

燕：事務所の先輩方と一緒にイベントが出来るということが、楽しみで仕方なかったです。ただ、イベントの前に全体ミーティングが行なわれて、その時に東京のセッションのメンバーに選ばれたので、その瞬間から、ものすごい緊張の日々が始まりました（笑）。

準々：先輩たちにDOG inTheパラレルワールドオーケストラが、どういうバンドなのかを知ってもらえる機会ということで、すごく嬉しかったです。と

DOGは自信のカタマリなので（笑）。

――いや、いいことです（笑）。どんなライヴにしようと思って臨みました？

春：出演順を決める時に、DOGは全会場とも1バンド目にしてもらいました。僕らは、存在としては、チャレンジャーなわけで。お客さんにとっても、〝何だろう、このバンド？　名前長いな〟みたいな（笑）、それくらいのレベルだと思ってて。そういう感覚の人たちに、自分たちの音楽をぶつけるいい機会だなと思って、敢えて最初にやらせてもらうことにしたんです。

一聖：短い時間の中でBugLugとい

てて。そういうことを4人で話し合って、やる曲を厳選したし、いちばん盛り上がる流れを、みんなで考えたよね？

燕：うん。今回は、作戦会議をたくさんやった（笑）。名古屋と大阪の後に、より盛り上げるにはどうしたらいいかを話し合って。ファイナルの渋谷AXは、すごくいいライヴが出来たと思ってる。

春：3日間やれたのは、良かったね。僕らはいちばん気合いを入れて作ったシングルの曲をやろうと決めて、初日の4月29日を迎えたんだけど…そこで事件が起きたという（笑）。

一聖&燕：事件？

ん男だな〟と思ったんだ（笑）。〝いちばんの若手なのに、何を優等生ぶってるんだろう？〟と。先輩たちのライヴは、本当にカッコよくて、そういう人を好きなファンはカッコいい音楽が好きに決まってる。だから〝よろしくお願いします！〟みたいな音楽には、絶対興味ないなと思って。それで、名古屋から大阪まで移動する間に、〝やるべきことをやるんじゃなくて、やりたいことを、やるべきことに変えられるモチベーションでライヴをやろう〟と話し合ったんだよね？

準々：うん。29日をやって、〝何だ、僕らのライヴは？　守るものなんかないのに〟と自問自答して。気合いを入れ直して30日のライヴをやったら、今までにない感じのライヴが出来たんだよね。

一聖：DOGは、すごく勢いがあったね。DOGのライヴを観て、BugLugも火が点いた部分はあったよ。

燕：俺、実は普段からDOGを聴いているんだ（笑）。

春&準々：えっ、そうなの？

燕：うん（笑）。曲がいいなと思って。だから、ライヴも楽しめたよ。

準々：BugLugは、一聖くんが可愛いくて好き…（笑）。もう、それに尽きる（笑）。食べちゃいたい…（笑）。

一聖：……あのね（笑）。

一同：アハハ!!

――3公演廻って、印象に残った出来事もたくさんあったでしょうね。

一聖：ありました（笑）。名古屋は、全員で前乗り（ライヴ前日に現地入り）だったんです。僕の中では、このイベントは〝戦い！〟みたいな感覚があったんですけど、前乗りの日に早速負けてしまいました（笑）。メンバーがホテルにいないので電話したら、飲んでいると。〝おいでよ〟と言われたので笑顔で行ったら、先輩方がいて（笑）。〝待ってたぞ〟と（笑）。で、座るなり一気飲み…という（笑）。そんな流れで、バグりまくりで（笑）。BugLugは、本当にバグラグになってしまいました（笑）。

春：それぞれのバンドから1～2人が集まって、ホテルの部屋で朝まで話したこともあって。その時に感じたんだけど、先輩は僕らのことを、ちゃんと後輩として認めてくれているよね。〝あそこは、こうしたほうがいい〟とか〝今日はこうだった〟とか言ってくれて。〝えっ、

hudie.com

hudie.com

（笑）。それに、僕は緊張するとすごく猫を被るんだ。犬にもかかわらず（笑）。そんな姿を見て、〝オマエは、そんな髪の色をして、ああいう曲を歌って、ここの事務所に所属していて、なぜ猫を被るのか分からない〟と。〝オマエは、ちゃんとハートがあるんだろう？　それを見せてみろよ〟って真剣に言ってくれた人もいて。そのとおりだなと思いつつ、悔しくて。夜、枕を濡らした日もあった…（笑）。

準々：僕は、ライヴが終わった後に、すぐに寝たいタイプだから、ホテルの部屋に帰って、シャワーを浴びていたんだよね。そうしたらベースのメイメイが来て、部屋のドアをドンドン叩いてて。しょうがないから全裸のまま外に出たら、そこに王さんもいて（笑）。恥ずかしいカッコを見られてしまって（笑）。次の日に会ったら、〝全裸よりも、オールバックのほうがキツかった〟と言われて（笑）。その日の夜、俺も枕を濡らしました…（笑）。

燕：いちばん印象に残っているのは、セッションだな。セッションは、もうバンドを始めてからいちばん緊張した（笑）。セッションが始まるまで、ずっと行ったり来たりして、〝どうしよう？　どうしよう？〟って、ずっと言ってて（笑）。でも、優しい先輩たちと音を合わ

楽屋で先輩方を見て、“生粋のアーティストだな”って思っ

…んとご本人さんたちにも挨拶できたし、本当にいい機会をもらえたな。

春：今回は広い楽屋で、全員一緒で。その楽屋で先輩たちを見て思ったのは、全員が生粋のアーティストだな…ということ。みんな、ライヴの本当に直前まで、あまり変わらなくて。もう精神的な部分の準備が出来た状態で、会場に来ているんだよね。特にそれはヴォーカリストが多かったけど、〝余裕だなぁ〟という印象が強くて。あれは参考になったな。

準々：個人的には、宮脇さんが印象的だった。ライヴの直前になると、ボクサーが試合に向かう時みたいなオーラが出て…すごく圧倒されたから

燕：みんな、ステージに立ってる時は近寄りがたい雰囲気があって。逆に言うと、ステージに立っている時が、本当の姿なんじゃないかとも思ったし。何て言うか……音楽がちゃんと出来る人は、例えば、お客さんがどれだけ少なくてもステージで輝くことが出来るよね。先輩たちは、みんなそういう雰囲気がある。今回は毎回盛況だったけど、あの人たちはたとえ客席がガラガラだったとしても、ああいうオーラを出したと思う。そういうところは、見習いたいね。

一同：そうだね。

――〝EXTRA-TERRITORIAL〟で受…い形で反映されそうですね。

一聖：それは、もう確実にあると思います。今後のBugLugは、8月18日にシングルをリリースすることが決まって、それに関連したイベントとして、東名阪でBugLug主催のライヴをやります。そのツアーではBugLugの面白さを目いっぱい伝えたいと思っているので、期待してください。あとは、まだ言えないんですけど、夏ならではの楽しみな企画もあって。今年の夏からBugLugの本格的な活動が始まるので、ぜひ遊びにきてほしいです。

春：DOG inThe パラレルワールド…末までで、24本のライヴをやっています。〝イベント集中砲火〟ということで、来たブッキングをほぼ全部受けたので（笑）。その集大成として、7月2日に渋谷O-WESTで『犬小屋#3』という主催ライヴをやります。そのライヴは、すごくいいものにする自信があるし、そこでドドーン！と重大告知をするので。度肝を抜かれないように、気をつけてください（笑）。その後、8～9月にかけては、またバァーッ！とイベントに出ることになってて。また一味違ったDOGとして、イベントを喰い散らかしてやろうと思っています（笑）。

蝴蝶网
hudie.com
BugLug
バグラグ
http://www.buglug.jp/
君を解く方程式。
[EVENT]
6月25日(金) 高田馬場AREA
7月 2 日(金) Shibuya O-WEST
7月 6 日(火) OSAKA MUSE
9月 4 日(土) 大阪RUIDO
9月 5 日(日) 名古屋ell.FITS ALL
9月23日(木) 高田馬場AREA
Official Site http://www.buglug.jp/
RESISTAR RECORDS

蝴蝶网
hudie.com

SPEED DISK PRESENTS

Shinrabanshow tour 10#3

7/30(金) 渋谷 O-EAST
Cast：ダウト / R指定
Special Guest：Kra
Guest：アンド / VIDOLL / SCREW

8/1(日) 郡山 #9
Cast：R指定
Special Guest：Kra
Guest：SCREW / DuelJewel / 少女-ロリヰタ-23区

8/2(月) 仙台 darwin
Cast：ダウト / R指定
Special Guest：Kra
Guest：SCREW / DuelJewel / 少女-ロリヰタ-23区

8/4(水) 札幌 KRAPSHALL
Cast：ダウト / R指定
Special Guest：Kra
Guest：SCREW

8/5(木) 札幌 KRAPSHALL
Cast：ダウト / R指定
Special Guest：Kra
Guest：SCREW

8/10(火) 長野 CLUB JUNK BOX
Cast：R指定
Special Guest：Kra
Guest：アンド / SCREW / 少女-ロリヰタ-23区

8/11(水) 新潟 CLUB JUNK BOX
Cast：R指定
Special Guest：Kra
Guest：アンド / SCREW / 少女-ロリヰタ-23区

8/12(木) 金沢 AZ
Cast：R指定
Special Guest：Kra
Guest：アンド / SCREW / 少女-ロリヰタ-23区

8/14(土) 京都 FANJ
Cast：ダウト / R指定
Special Guest：Kra
Guest：アンド / SCREW

8/15(日) 岡山 CRAZYMAMA KINGDOM
Cast：ダウト / R指定
Special Guest：Kra
Guest：アンド / SCREW

8/17(火) 鹿児島 CAPARVO HALL
Cast：ダウト / R指定
Special Guest：Kra
Guest：アンド / vistlip / SCREW

8/18(水) 博多 DRUM LOGOS
Cast：ダウト / R指定
Special Guest：Kra
Guest：アンド / vistlip / SCREW

8/20(金) 高松 DIME
Cast：ダウト / R指定
Special Guest：Kra
Guest：アンド / vistlip / SCREW

8/21(土) 大阪 BIGCAT
Cast：ダウト / R指定
Special Guest：Kra
Guest：アンド / vistlip / SCREW / DuelJewel

8/22(日) 名古屋 E.L.L
Cast：ダウト / R指定
Special Guest：Kra
Guest：vistlip / SCREW / DuelJewel

蝴蝶网 hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

What "COLOR" can you see!?

girugämesh

蝴蝶网
hudie.com

持ちは強かったですか？

Яyo：今回に関しては、いつにもない挑戦なのかなと思います。歌を立たせた曲も欲しいというのは前から思っていて、『NOW』のツアーを終わって感じたものを、そこに詰め込んだ感じですね。

——歌の立ったタイトル曲も、他の曲に関しても、すごく意欲的だなと思いました。

愁：『NOW』のツアーでのメイン曲だった「arrow」の延長線上の、もっと突き詰めた形が「COLOR」なのかなと思います。カップリングに関しても、楽しいって言うか、ファニーな感じの曲を求めたから、みんながセレクトしたのかなとも思うし。

——「COLOR」は、歌を立たせるというのが、選曲の理由だったんですか。

愁：Яyoがメインになりそうな曲を4〜5曲持って来たんです。そこから、敢えて王道を外して「COLOR」を選んだんですよ。他にも、王道な曲はあったんですよ。ヘヴィなリフがあって、サビがガーッて開けるような。

——ギルガメッシュらしい曲ですね。

愁：〝これ、ギルガメッシュっぽいね〟〝じゃあ、外そう〟みたいな（笑）。

弐：歌で引っ張っていくのもいいねって。そこまで考えたわけじゃないですけど、前ならこういう、歌で引っ張っていくような明るい曲は出来なかったじゃないですか。でも今なら、ライヴの流れとか雰囲気的に、あってもおかしくないと思うし。聴いた時に、抵抗もなくこれにしよ

い気持ちも出て来てたり？

左迅：アルバムを出して、ツアー廻って、1回気持ちがリセットされて、新しさを感じるのはこういうものなんだろうなと思いましたね。歌がこれだけ引き立って、歌で引っ張っていく曲は今までなかったし。歌が出ることによって、ヴォーカルとしての技量とかニュアンスで持って行ったり、そういうのを意識して作った作品です。

——となると、楽器陣も今までと変わって来ますよね。

Яyo：いつもより何もしてないんで、これでいいのかなって不安があって（苦笑）。

愁：早く終わりすぎて不安でした。左迅くんの仮の歌が乗った時に歌しか耳に残んなかったんで、これでいいんだなって。だったら、邪魔しないように最低限のことをやろうと。

——歌が耳に入るんですけど、ただポップなだけじゃないところが、ギルガメッシュらしいと思いました。

Яyo：これで、昔のファンからギルガメッシュ変わっちゃったねって思われるのがイヤなんですよ。でもこの曲でギルガメッシュを知った子から、こういうポップなバンドなんだって思われるのもイヤなんです。その間をぬってるんです。リフではやっぱり男らしさを感じたいし、だからちょっとゴリってるし。

——ギターも歌を立たせつつ、主張しつつ。

弐：そこまであんまり考えてないですけ

笑顔で踊ってるファンの存在は、俺らの武器だから

ギルガメッシュの夏を彩るニュー・シングル『COLOR』が、7月7日にリリースされる。
"夏"を意識したという収録の計3曲で、7月からスタートする"SUMMER TOUR 2010"も、熱く盛り上がること必至である。
意図的に、それでいて無意識に新境地へと足を踏み入れている彼らの新作について、じっくりと語ってもらった。

Interview:MIYUKI MURAYAMA

ど（苦笑）。歌があるところは、聴いてる限り何もないような感じがするんですね。でも、ブレイクみたいなところはゴリゴリに行って。ギルガメッシュと言えばリフだろうというところもあるんで、そこもちゃんと織り交ぜながらですかね。

——アウトロのギター・ソロもいいですね。

弐：そうですね〜。エンディングっぽい感じのフレーズが欲しいねと言われて。それでソロを入れました。

——同期で入ってる音色も、今までにない明るい音で新鮮ですよね。

Яyo：華やかすぎるかなって思ったんですけど、そうしたほうが左迅の歌が引き立つんで、敢えて入れました。きらびやかすぎるシンセと、リフに入った時のゴリゴリ感のギャップが大丈夫かな？と思ったんですけど、意外に大丈夫でしたね。こういうシンセも合うと思ったんで、今後は使って行こうと思いますね。

——歌は、歌い方が柔らかいと言うか優しいところが、これまでと違いますね。

左迅：まずЯyoと話し合って、俺に合ったキーを見つめ直して、全体的にちょい下げたんですよ。ラクに、自分の気持ちいい部分で歌ってるから、たぶん印象も違って来たんじゃないかなと思います。

——キーを下げてみるというのは、歌を出すために必要なことだったんでしょうか。

Яyo：まず、自分がカラオケに行って、ギルガメッシュの曲を歌ってみたんですよ（笑）。キーの再確認もしつつ。それから左迅とカラオケ行って、好きな曲をたくさん歌ってくれと。キーを一段階下げて、ニュアンスのつけた歌がすごい上手かったんで、こういう歌も歌えるんだなと思ったんです。

——カラオケで研究するんですね。

Яyo：カラオケは便利ですよ〜、最高に（笑）。また次も行くと思います。

——歌詞に関しても、これまでと違う爽やかさがあります。

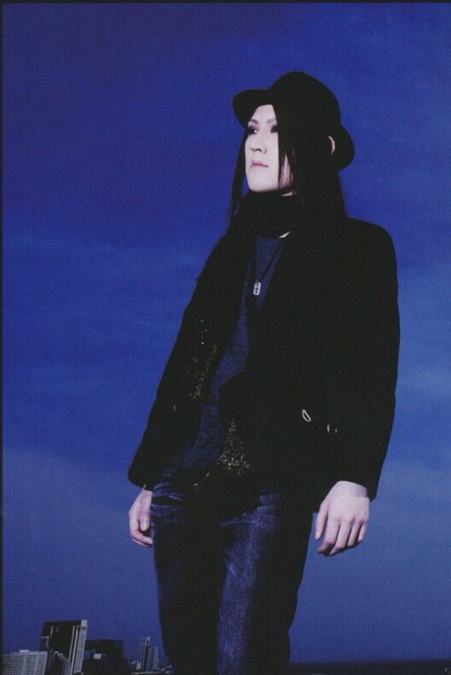
左迅：『NOW』のツアーが終わって、今までの歌詞の世界とは違うものを書きたくて。最初に曲を聴いた時に、どこまでも澄んだ青い空みたいなのが思い浮かんだんで、最初のサビの2行を書いて、そこから膨らませて行きました。

——温かい感情みたいなのがありますね。

左迅：大切な人がいるからこそ自分が強くなれる、みたいな感情を書きたかったんです。曲から、そういう温かさみたいなものを感じられたんで、そこは大事にしたかったですね。

——それも新しい挑戦かと思いますが、仕上がりについてはいかがですか。

愁：挑戦って、僕も含めみんな言うん



蝴蝶网 hudie.com

ですけど、意外とそこまで思ってないと思うんですよ、実際は。自然にやって来て、結果的に、これは挑戦なのかなって。前回のツアーで、客が笑ってることが多かったので、それがいちばんこの曲のメジャー感にも繋がったんだと思います。アニメから依頼もされてなくて、タイアップもないのに、ここまでやるのはすげえと思うし、我ながら（笑）。本当に自然ですかね。

——なるほど。カップリングの「sunrise」は、リズムがポイントの曲ですね。

Яyo：ポコポコ言ってますからね。このデモの原型を作ったのが愁さんで、一緒に頑張っちゃいました。

愁：僕の個人の引き出しに、民族音楽があって、Яyoの引き出しにインダストリアルの、機械的なものがあるんです。だから民族音楽のリズムをそれに置き換えてもいいのかなっていう発想の転換から、Яyoがさらに広げてくれたんです。ツアーでお客さんが笑顔になって歌ってる姿が多かったんで、それって俺らの武器だなと思って、それをやりたいなぁと。

弐：愁に民族音楽の引き出しがあるのは知ってたんですけど、ここまで振り切ったのが来たかと思いました。でも、そこにデジタルなものが入って、左迅くんが歌えば、俺たちに合うだろうって思って。

——そこからイメージを膨らませて？

Яyo：民族楽器だけじゃ、ギルガメッシュからかけ離れちゃうんで、そこにギルガメッシュのパワフルさをどんどん足していって、明るく笑顔になれるようなサビのコードだったりを付け足したんですね。ライヴがすげぇ浮かびますもん。

——ライヴでみんなで踊ってる感じですね。

Яyo：〝JACK IN THE BOX〟とか、ああいうイベントで、全員持って行けるんじゃないかなって。分かりやすいし。曲を知らなくても雰囲気で盛り上がれるなぁって思うんです。それが見えたんで、この曲をやることになりました。

——歌はライヴで騒いでるような感覚で歌ったんですか。

左迅：曲の勢いに負けじと、歌詞と歌で持って行きたかったですね。最初のサンバ的なリズムが聴こえて来た時に、夏と言うか、海しかねえなって。それを全面に歌詞にして、ライヴでみんなでバカ騒ぎできたらいいんじゃないかなって思いました。〝ザ・夏〟ですね。

——〝潮風〟なんて言葉をギルガメッシュの歌詞で見るとは。

左迅：そうですね（照笑）。潮風、感じちゃいましたね。

——通常盤に収録される「フラワー」もリズムがポイントで、シャッフルの曲です。

Яyo：難しかったですね。大昔に一回だけシャッフルの曲はやったんですけど、俺ら苦手だなって思って避けてたんですよ。そこを今やったらどうなんのかなと思って作ってみたら、難しかったです。リズムが速いんで。でも、速いシャッフルが好きなんです。

左迅：この間、スタジオで合わせせたら、楽器隊は難しい難しいって言ってました（笑）。

Яyo：難しいですけど、これで新たな成長が出来るんじゃないかなと思います。

——レコーディングはいかがでした？

愁：唯一、この曲はギターとベースのソロを録り直しました。すごい厳密にやろうと思ったんで、時間がかかりましたね。

——珍しいですね。

弐：いつも3テイクぐらいで終わるのに。人一倍リズム感が悪いんで、すごい苦労しましたね。でも、Яyoが言ったとおり、苦手だからって避けるのもイヤだなと思って、ここは自分のためにもやろう！と。

——ベース・ソロもありますね。

愁：この曲、ちょっと特種ですよね。楽しいけれど、いろんな要素が含まれてるし、その1場面の切り替えとして、デモからスペースをいただいてたんで、そこで遊びたいなと思って、今回は取り組みました。

——そこで入るフェイクも面白いです。

左迅：俺も急にЯyoに何かやってってって言われて、こういう遊びも楽しいかなと思ってやりました。

下がって、気持ちいいところで歌ってる感じがいちばん伝わる曲じゃないかと思います。この曲が、歌ってていちばん気持ち良かったですね。

——「フラワー」の歌詞からは、夏のイメージ性も感じられますね。

左迅：3曲とも夏に絡めたかったんで、〝花火〟なんですね。この曲の華やかさとか切なさを表現できるのは花火がピッタリかなと思って、最初に花火をテーマにキーワードを考えてから歌詞を書いてきました。そこに、何かを手にするためには何かを差し出すものがあるんじゃないかっていうメッセージを込めてます。

——そんな夏の作品を引っ提げて、7月2日から夏のツアーが始まります。夏のお祭り騒ぎ的ライヴが期待できそうですね。

愁：ただ、お客さんの入りもそうですけど、内容的にもリベンジするというか、当時叶わなかったO-WESTを、今の曲でパンパンにすることに意味があるのかなと思ってます。『NOW』の曲を中心に、ちょいちょい昔の曲もつまんで出来たらいいなと。前回のツアーを廻ったお客さんも、新鮮に見られるツアーにしたいですね。

弐：『NOW』のツアーだけじゃ足りないんで、楽しみですね。お客さんもメンバーも楽しみましょうってことです。

Яyo：楽しめればいいかな。『COLOR』の曲もやっていこうと思うんで、そいつの成長ツアーでもありますね。

左迅：これだけ狭いハコをまわるんで、

What "COLOR" can you see!?

girugämesh

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网 hudie.com

アンド
-ECCENTRIC AGENT-

アンド生誕祭「AGENT 総決起集会」開催決定 !!

8月7日(土) 高田馬場 AREA　8月8日(日) 高田馬場 AREA (2回公演)

アンド平成22年7大任務発令!!

Mission.1 「任務報告録」LIVE DVD 発売中 !!

Mission.2 3月10日 (水) 発売「煉獄」発売中 !!

Mission.3 都内某所限定 AGENT VIP ROOM 2010 「強化任務」- 任務完了 !!-

Mission.4 5月26日 (水) 発売「兇」発売中 !!

Mission.5 初・五大都市単独公演巡業任務「地獄轟」決定 !!

6月13日(日) 東京・原宿アストロホール SOLD OUT!!
6月16日(水) 宮城・仙台 MACANA - 残少 -
6月23日(水) 愛知・名古屋 ell FITS ALL - 残少 -
6月25日(金) 大阪・心斎橋ルイード SOLD OUT!!
6月27日(日) 福岡・博多 Drum SON SOLD OUT!!

※各プレイガイドにて絶賛好評発売中 !! ※詳しくは ECCENTRIC AGENT 本部をご覧くださ

Mission.6 9月29日 (水) NEW SINGLE 2タイトル同時リリース決

EAR-015A【CD(2曲) +DVD】¥1,890- (tax in) / EAR-015B【CD(3曲)】¥1,575-(tax in) / EAR-016A【CD(2曲) +DVD】¥1,890-(tax in) / EAR-016B【CD(3曲)】¥1,575-(

※初回出荷特典：AGENT バトルカード ※CDに関するお問い合わせは ONG DISTRIBUTION (TEL:03-5784-9662)

<INSTORE EVENT> ※詳細は ECCENTRIC AGENT 本部にて近日発表 !!

10月18日(月) 仙台 HMV 一番町店
10月21日(木) 郡山・三野屋
10月23日(土) 池袋・ブランドX
10月24日(日) 新宿 ZEAL LINK
11月1日(月) 博多・SKULL ROSE
11月5日(金) 名古屋・HMV 栄
11月14日(日) 渋谷 ZEAL LI

Mission.7 六大都市単独公演巡業任務決定 !!

10月19日(火) 仙台 HOOK
10月20日(水) 郡山 #9
10月29日(金) 大阪 FANJ-twice
10月31日(日) 博多 DRUM SON
11月04日(木) 名古屋 ell FITS ALL

TOUR FINAL

11月21日(日) 渋谷 O-EAST

特別先行受付：6月14日(月)10:00 ~ 7月25日(日) 23:59 ※特別先行受付にてチケットをご購入、ご来場頂いたお客様に「六大都市調査任務報告録」(各地内容別) プレゼント !!

※11月21日 (日) 渋谷 O-EAST 公演前売りチケットをご購入、ご来場頂いたお客様に未発表音源プレゼント !!

一般発売：8月14日 (土) から各プレイガイドにて ※詳しくは ECCENTRIC AGENT 本部をご覧ください。

LIVE Schedule

7月30日(金) 渋谷 O-EAST
8月01日(日) 名古屋 E.L.L
8月10日(火) 長野 JUNK BOX
8月11日(水) 新潟 JUNK BOX
8月12日(木) 金沢 Az
8月14日(土) 京都 FANJ
8月15日(日) 岡山 CRAZY MAMA KINGDOM
8月17日(火) 鹿児島 CAPARVO
8月18日(水) 博多 DRUM LOGOS
8月20日(金) 高松 DIME
8月21日(土) 大阪 BIG CAT
8月22日(日) CLUB CITTA' 川崎
8月31日(火) 渋谷 O-EAST & 高田馬場 AREA

ECCENTRIC AGENT 本部 http://and-eccentricagent.com　アンド OFFICIAL my space http://myspace.com/andweb

蝴蝶网
hudie.com

new birth

少女-ロリヰタ-23区

lolita 23q

――お久しぶりです。

リョヲ丞：ご無沙汰していました。

――さて、聞きたいことは山ほどあるのですが、まずは、近況から報告して貰えますか。

リョヲ丞：はい。前ヴォーカル脱退後、ロリヰタは地下活動に入っていたわけですが、この度、新ヴォーカルが決まりまして。

――それが、総史さん。

リョヲ丞：はい。僕は直接的な面識はなかったんですけど、ユ≠キくんが彼の連絡先を手に入れて。それでコンタクトを取ろうということになったんですけど、他にバンドをやるらしいという情報が耳に入ってきてしまい（苦笑）。一度は仕方ないなと諦めたんですけど、どうしても別の人じゃダメだと思って、ダメ元で、もう一度だけ連絡を取ることにしたんです。そうしたら、会ってみようかということになり、話をすることができて。

――そもそも、リョヲ丞さんとしては、どんなヴォーカリストが欲しかったの？

リョヲ丞：どんな人というよりかは、空気感ですかね。5人で集まったときに、いかにワクワクできるか、それが1番大事っていうか。もちろん、技術やルックスも大事だと思います。けど、同じバンドの仲間として、何かを共有できるか、できないかっていうのは非常に重要だったんです。それが、彼に会ったときに感じられたんですよね。

総史：僕も、ロリヰタのメンバーに会って、何かくるものを感じたんですよね。その時点で、このバンドに入りたいなと思ってしまって。

――まさに、一目ボレ。

リョヲ丞：思えば、龍さんが加入したときもこんな感じだったんですよ。直感的に、この人が良いというか。言葉では説明しづらいんですけど、音を出すまでもなかったんですよね。

総史：松田聖子風に言うなら、〝ビビッときた〟ってやつですよ。

――今、その例え出そうかと思ったけど、絶対に〝古っ！〟って言われそうだったから黙っていたんですが……。

総史：マジですか！　それを先に言っちゃった僕はどうなるんですか！

――（笑）。けど、音を聴かずに加入を決めるのって、一種のバクチでは？

音楽をやっているバンドかっていうのは以前から知っていたので。けど、僕が今までやってきた音楽とは違っていた分、ついていけるかどうかっていうのは不安なところでもあったんです。
──既にできあがっているバンドに加入するのって、プレッシャーですよね。
総史：でも、今、実際にリハーサルとかをやっていると、そんな心配はいらなかったなって。それに、メンバーが僕のことをすごく気遣ってくれるんですよね。ユ≠キくんなんか、〝ロリヰタはこういうバンドだけど大丈夫?〟って常に言ってくれるし。
──優しいね、ユ≠キさん。
ユ≠キ：いやぁ、最初に誘ったの自分だったし（笑）。でも、相性合うなっていうのは会ったときにわかりましたね。お互い、好きな音楽も一緒っていうこともあり、話も弾みましたよ。
龍兎：俺は、総史くんと帰り道が一緒なんで、最初から話が弾みましたよ。
総史：…正直、1番最初に2人で帰ったときは気まずかったです。
龍兎：よく言うよ、結構喋ってたくせに!
総史：まぁね（笑）。龍兎くんもユ≠キくん同様、僕のことをすごく心配してくれたんですよ。それが安心できたし、今では、一緒にバス釣りに行く仲です。
龍兎：趣味が合うんだよね。でも、彼がロリヰタでやっていけると思ったのは、BANと普通に喋っているのを見たときですかね。
──何、その基準（笑）。
龍兎：だってBANって、こう見えて意外と人見知りなんですよ。なのに、普通に話しているから、へぇ～って思って。
BAN：けど、初めて話した内容って、ほんと、しょうもなかったんですよ。だって、いきなり寄ってきて、何を言い出すのかと思ったら、オヤジギャグですよ。このクールな顔でオヤジギャグですよ。しょうもない。
──布団が吹っ飛んだ！ 的な?
総史：まさに!!!!!!
BAN：それを真顔で言われた僕はどう対応すればいいんですか、っていう話ですよ（笑）。
リョヲ丞：多分、対応しちゃいけないんだよ。Macに無理矢理、Windowsのソフトを読み込ませるような

龍兎

総史

ユ≠キ

原点回帰、新たな歴史が初まる

新生・少女-ロリヰタ-23区、ついに誕生！ 長らく地下活動に入っていたロリヰタが、新ヴォーカルに総史を迎え入れ、活動を再開させる。7月には、新体制になって初めてのワンマン『真・少女首都幾何学展_2010』を。そして、8月にはミニアルバム『星帯次元区域ミネルヴァ』をリリースする。今回のインタヴューでは、総史加入のいきさつから、新作まで、じっくりと語ってもらった。

Interview: ERI MIZUTANI

少女-ロリヰタ-23区
lolita 23q

リョヲ丞

BAN

もんなんだから。
総史：あはははは（笑）。
BAN：でも、これぐらいの笑いを持った人の方がいいんじゃないかなって。
──個性派じゃないとね（笑）。
リョヲ丞：きっと、総史くんが入ったことで新しい風が吹くと思います（笑）。
──そして、待望の新作がリリースされるわけですが、『星帯次元区域ミネルヴァ』というタイトルからして、ロリヰタらしいというか。
リョヲ丞：やりたかったことを詰め込んだという感じですね。
──その、やりたかったこととは、具体的に言うと何?
リョヲ丞：ファンタジーなものを、今、この2010年で1番かっこよくやれるバンドになりたいなと。
──それは、ハイブリッドロックとはまた違ったものなのかな?
リョヲ丞：そうですね。それよりも視野が広がった感じがします。ファンタジーという構想は、4人でいるときから考えていたんですけど、総史くんが加わったことでより明確になったというか。ゲームとかアニメが提示するものとはまた違った形の、ロリヰタなりのファンタジーが表現できたらなと思い、今作を作ってみました。ただ、今までやってきた音楽性をガラリと変えたというわけではないんですよね。積み上げてきたものがあるのを前提に、新たな感性が加わったと受け止めてもらえればいいなと。なので、無理に新しいことをしてみたり、歌詞に変化を付けたりというのはまるでやっていません。だからと言って、今までやってきたことを頑なに守り通すのかといったらそれもまた違うかなと。とりあえず今は、この5人でできることを出していくだけ。純粋にかっこいいと思えることをやっていくのがロリヰタの在るべき形なのではないかなと思うんです。
──そうだね。だからこそ、新作は、今までのロリヰタを知っている全ての人に聴いてもらいたいですよね。
リョヲ丞：ええ。
──何だか、この作品、原点に立ち返ったような気がするのだけど。
リョヲ丞：そうですね。少女-ロリヰタ-23区にしかできないことって、こういうことなのかなって。
龍兎：実際、どういう音楽をやるべきなのか、悩んでいたときもあったんです。でも、こうして、やりたいことを詰め込んだ作品が出せるというのは、単純に嬉しいですね。
ユ≠キ：今、龍兎が言ったように、俺にも迷った時期がありました。一つだけの曲の中でも、どの部分を一番生かせたら正解なのかとか…その迷いが表に出てしまっていたと思うし、やり切れない想いだったんですが、今はメンバーがやりたい作品を作れるようになって、その迷いも無くなりましたね。だから、今すごく楽しいし、ギタリストとしても、新鮮な気持ちでやれています。
BAN：ほんと、何も気にせずにやればいいかなって。それが僕たちの強みだと思うし。
──我が道を進むのがロリヰタですから。
BAN：うん。だから、これを聴いて僕たちの音楽が伝わればいいなと思うわけですよ。やりたいことがやれている今、オンリーワンでいこうかなって。
総史：それを象徴するのが、このヘビですよね!
──ヘビ!? あぁ、アー写でBANさんが腰に付けているやつね、えっと…。
BAN：あ、いちいち反応しなくて大丈夫です（笑）。
リョヲ丞：だから言ったじゃないですか、総史くんの対応はBANくんでさえ難しいって（笑）。
──そうでした。追々、頑張ります（笑）。
リョヲ丞：あとですね、7月3日には渋谷O-WESTでワンマンがあります。『真・少女首都幾何学展-2010』というタイトルからもわかるように、これは初ワンマンのタイトルと同様のものになっていく。そういった意味では、ロリヰタの原点回帰、ここからまた始まっていくのだという想いを込めて、ライヴを展開していきたいと思います。
──新生ロリヰタのこれからの活動に期待していますよ！ では最後に、総史さん。読者のみんなに向けて、メッセージを下さい。
総史：メンバー全員を引っ張っていけるヴォーカリストとして、日々、精進していきますので、応援のほど宜しくお願い致します！

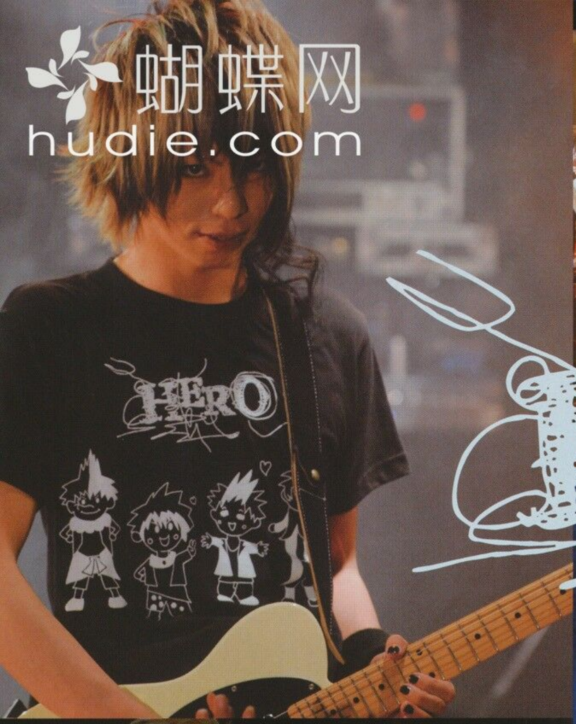
（問）http://www.lolita-23q.com/

蝴蝶网
hudie.com

少女-ロリヰタ-23区
lolita 23q
蝴蝶网
hudie.com
体制始動First Oneman Show
真·少女首都幾何学展_2010』
7.23 (fri) 渋谷O-WEST
Open=18:30 Start=19:00　前売り¥3,500 / 当日¥4,000
6.26 (sat)～チケット一般販売　イープラス… http://eplus.jp / 電子チケットぴあ… 0570-02-9999 (P:109-653)
ローソンチケット… 0570-084-003 (L:78354)　(問) H.I.P. 03-3475-9999
6.9 (wed) 22:00～新曲「銀河ノ翼 -GALACTIC WING-」の着うた® / 着うたフル® / RBTを配信開始。こちらのQRコードよりダウンロードできます。
※6.9～7.22までにダウンロードを行った方の中から、23名限定でメンバー5人の直筆による「メッセージ色紙+オリジナルチェキ」をプレゼント。
《料金》■着うたR / 100円 (税別)　■着うたフルR / 300円 (税別)　■RBT / 100円 (税別)
[Information] 〒108-0074 港区高輪3-4-13 アソルティ高輪5F「Twenty Three Tribe」
official web site http://www.lolita-23q.com

新生
少女-ロリヰタ-23区始動開始!!!!!
新Vo,総史加入!!!
Vo.総史 Gt.龍兎 Gt.ユ＊キ Ba.リョヲ丞 Dr.BAN
新生ロリヰタ、来襲
新体制始動First Mini Album
星帯次元区域ミネルヴァ
2010.8.25(wed) on sale
¥2,800(tax in) / TTTL-10001
[CD]
1. 銀河ノ翼 -GALACTIC WING-
2. FLASH BURN
3. ALICE in downward
4. 此処に或るカナン
5. 球体幾何学遊戯
6. lost minerva
[DVD]
1. 銀河ノ翼
-新生ロリヰタ
蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com



HERO

Critical Hit

Live at 高田馬場AREA 2010.5.29

5月29日、高田馬場AREAにて行われたHEROのワンマン・ライヴ『CriticalHit』。チケットは見事ソールド・アウト。満員御礼の中行われたこの日のライヴは、彼等のバンドとしての自信、底力を感じる事の出来るステージとなった。9月にはNEW SINGLE「ピリオド」のリリース、そして11月22日には、渋谷DUOMusic Exchangeにて、次なるワンマン・ライヴ『Burst Attack』の開催も大決定している彼等。今後の更なる飛躍に期待したい。

Report:YUKA SUGIE

意識の変化というのは、時として面白いぐらいに表面化する。さらなる進化を前に、過渡期にあるHEROもまた、これまでとは明らかな違いを見せた。

きっかけは、最新シングル「Not Found」の制作だったのではないだろうか。それまで、プロデューサーと共に音源制作を行なってきた彼らにとって、初めてのセルフプロデュース。時間をかけて納得いくまで音を作り、プレイに自らジャッジを下すことで、音楽を生むこと、HEROであることの意味に、あらためて深く向き合うこととなった。その結果、〝ブッ飛んだ〟曲展開や歌詞で強烈なオリジナリティを生むこともできる彼らが放った表題曲は、ド真ん中を貫くような直球だった。

ということもあって、今回のライヴにかける期待感は膨らんでいたわけだが…やたらと高くなってしまったハードルを軽々と飛び越えるように、彼らはロックバンドとしてのブレない軸と骨太い躍動感を見せてくれたように思う。

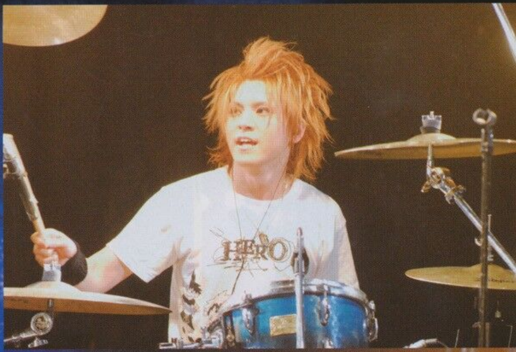
ぜ！ 頼むぞっ〟と叫んだ尽にノせられて、フロアが右に左に横モッシュした「Oh My Darlin'」。Yusukeが笑顔を見せつつもしっかりと土台を支えれば、SARSHIとyu-taは場所をチェンジしてオーディエンスを焚きつけていく。その様は、なんだかとても、バンドなのだ。さらに、「Dear」「SO…」とアッパーなナンバーが続き、「めっちゃ好き」でメンバーの〝めっちゃ好き！〟というコーラスが響けば、フロアのテンションも上昇しっぱなし。腕を上げたり、体を揺らしたり、隣の人と手をつないだり、タオルをブンブン回したり…尽が〝友達作って帰れよ！〟と呼びかけていたが、ここには楽しいが溢れていく。

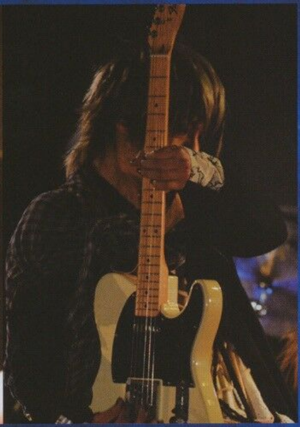
ちなみに、この日のライヴはネットで全世界に配信されていたようだが…尽の歌っているときのカリスマオーラはもちろん、MCともなればメンバーをイジリ倒し、ファンに悪態をつくといった毒キャラも、相当インパクトがあったので

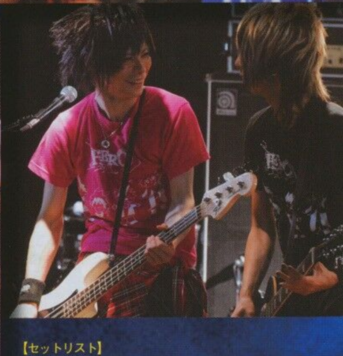
は、大胆なアレンジを加えた「指切りげんまん」。だいぶオトナモードに装ったことで、曲のさらなる魅力を知ることができた。SARSHIのギターソロもすごく響いたし、続く「優しい言葉」然り、叙情的な曲では特に、尽の歌心と歌唱力を、じっくりと堪能することができる。一転、フロアが見事にヘドバンまみれとなった「かっこ悪ぃ歌」では、yu-taがハイポジションでのベースソロで彩ったが、そうやってプレイヤーとしての色が見えれば見えるほど、惹き込まれていくのがライヴだ。「爆弾発言」では、歌詞を忘れた尽が大胆不敵に乗り切ったが、突発的なアクシデントをマイナスではなくプラスに活かせれば、平穏無事よりもっと面白くなるということもよくわかった。歌、言葉たち、プレイすべてに泣かされた新曲「カゾエウタ。」の後“僕は言葉でウマく言える人間じゃないので、この曲を歌いました。ここに来てくれて、僕たちの傍にいてくれてありがとう！”と言ったのは、尽。ツンデレじゃないが、多くのことを冗談めかして語る彼だからこそ、たまに発する少しの本心は、キュンと胸に刺さる。がっつりラウド&ヘヴィにいききった新曲「人間定義」をきっかけに、熱を高め続けた本編終盤。“サイコーだな、お前ら。今までのエリアで一番いいぞ！”と、いつも手厳しい尽も、大きな手応えを感じていた様子だった。

アンコールでは、「Not Found」を披露。音源に増して感じられるバンド感、ズバリ芯を捉えた音像、言葉は、彼らの新たなる武器になるだろう。そして、ラストの「超過激愛歌」。フロアの興奮度が高まりすぎて2度の中断があったが、熱量を限界突破させた今の彼らは、やはり相当手強い。

9月1日にはシングル「ピリオド」をリリースし、11月22日にはヴィジュアル系としてはちょっと異色なハコ、渋谷DUO Misic Exchangeにて『Burst Attack』と題したワンマンライヴを行なう彼ら。ロックバンドとして完全に覚醒したからには、とことんイキきってもらいたい。





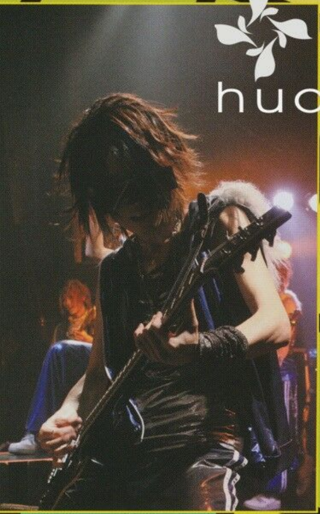


【セットリスト】
1.Oh My Darlin'
2.Dear
3.SO…
4.めっちゃ好き
5.指切りげんまん
6.優しい言葉
7.プレゼント
8.カッコ悪ぃ歌
9.ロン
10.Days.
11.「願い星」
12.爆弾発言
13.カゾエウタ。
14.人間定義
15.俺の道
16.Oh My God!!
17.Best Smile
EN1.「Not Found
EN2.This is live!
EN3.人間定義
EN4.超過激愛歌～
Super Ultraloves
～スーパーウルトラ

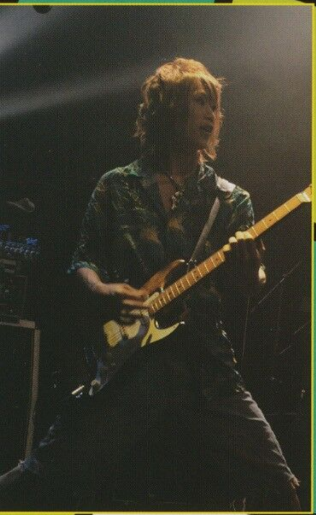
(問)http://hero-izm.com/

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com



「東京指定」



MILLION COLOR★MIRROR BALL

Live at 渋谷O-WEST 2010.5.31

注目株の若手バンドといったら、間違いなく、「東京指定」の名前が挙がるだろう。ジャンルレスな音楽に挑戦している彼らが、5月31日にShibuya O-WESTにて、ワンマンライヴ【MILLION COLOR★MIRROR BALL】を行なった。まぶしいまでの輝きを放っていたこのワンマン。未来への可能性も感じた一夜を、ここにレポートいたします！

Report:ERI MIZUTANI

【セットリスト】1.ALBERT. 2.絶望Addicted 3.NEO [∞] 4.東京核命炉心溶融 5.渋谷区道玄坂2- 6.DJ PLAYER 7.FRONTIER 8.944-169_ -「東京指定」メモリアル映像- 9.メンバーダンス(創聖のアクエリオン) 10.V.B.Bfeat."D'is-K"from LUXAM 11.東京New「YO」rk. 12.Scream!! EN1.One way～星に願いを～feat.LUXAM EN2.Revolution23 EN3.Daisy

昨今のヴィジュアルシーンはジャンルレスになってきている。時代のニーズに合わせ、シーンの傾向が変わっていくのはごく自然なことだと思う。しかし、壁が取り払われたことで、何をしたらヴィジュアル系なのか、という疑問も浮かんでくる。ヴィジュアル系という明確な定義がなくなりつつある今、何をすれば正解なのか、というのがあまりにも不透明になってきているのではないだろうか。だからといって、先人が築いてきたことを、そっくりそのままやっていけば良いというわけではない。それではただの真似事になってしまい、面白味に欠ける。

だからこそ、若手バンドたちには、ヴィジュアル系という、他にはない特異性を活かしつつ、自分たちの個性を発揮してもらいたい。それが難しいことだというのは重々承知の上だが、そうして新しい音楽を作り出せたとき、このシーンの何かが変わると思うのだ。

と思っていた矢先、「東京指定」の音楽に巡り合った。耳にした瞬間、驚いた。そう言うと大袈裟に聞こえるかもしれないが、純粋に良いなと感じたのだ。端からジャンルなんてものを気にせず、自分たちがやりたいことをそのまま音にしているといった感じだったから。彼らなら何かを変えてくれるかもしれない、そう

のみ。しかし、先日行われたワンマンライヴを見て、確信した。彼らこそ、このシーンを変えてくれるはずだと。

場内が暗転した後、小気味良いリズムに乗せ、言葉の数々がフロアに流れ込む。息をつく間を与えないぐらいの展開で迫るのは、オープニングを飾った「ALBERT.」。〝WEST、大きな声で!〟と煽ってから始まっただけに、ステージはもちろん、フロアも元気いっぱいの様子で曲を楽しんでいく。〝全力でサイコーな1日にするので、俺たちに気持ちを返して下さい!〟その言葉に象徴されるよう、彼らは全力で演奏していった。ただ、色々なことを盛り込んだせいで、中盤では荒削りな部分が目立ったようにも感じられたのだが、音楽に対する真摯な想いは存分に伝わってきた。中でも、後半で披露された、若手ヒップホップグループ・LUXAMを招いての「V.B.B」と「One way~星に願いを~」の2曲は秀逸であり。敢えて楽器陣をステージに配置せず、歌を聴かせることに徹したのは、成功だったといえる。

それだけに、ここで満足することなく、もっともっと上を目指していってもらいたいと思った。新しいことに挑戦するのは至難の技だが、彼らならできるはずだ。今の姿勢をとことん貫いて、このシーン

http://tokyo-sti.com/

蝴蝶网
hudie.com

キャンゼル

http://www.canzel.net/

vo.icchi gt.shiinamio gt.ruli ba.haku dr.yukimi

解散

2010.07.07 (WED)
BEST ALBUM 2タイトル 同時リリース

新曲、新録、リミックスを含むオールリマスタリングCD&ライブ映像を収録したDVDの2枚組のコンプリートベスト。
DVDには昨年行われたSHIBUYA O-WESTワンマンライブ[small world]より、各2曲づつライブ映像を収録。

BeST SONGS -SOFT TRACKS-

CD (11 Songs) + DVD (2 Songs + α) / ¥3,675 / CZR-012 / Limited 3000

01.Allegro 02.青色LOVERS LINE 03.風踊る、桜舞う 04.starlight 05.sink. 06.未来ノート 07.逢引
08.twilight 09.Wish Upon A Star -last edition-(新録) 10.光覚ハレヱション 11.heart -last edition-

BeST SONGS -HARD TRACKS-

CD (12 Songs) + DVD (2 Songs) / ¥3,675 / CZR-013 / Limited 3000

01.永劫回帰エレメント 02.ミソギ 03.アンブレラ 04.月待ちセンチメンタル 05.ツキサスヒカリ 06.声、唄り(新曲)
07.夢喰いバレヱ 08.マルチ 09.歪曲 10.それは枯れ葉が舞い散る頃に… 11.夢幻色metro 12.世界終了鉬。-world end switch.-

販売元:(株)ライカロリーポップ 発売元:OFFICE CA お問い合わせ:(株)ライカロリーポップ TEL : 03-3369-9144

-インストアイベント決定-

07月07日 ライカエジソン東京店 07月23日 ライカエジソン大阪店 07月26日 ライカエジソン名古屋店
08月07日 ライカエジソンドットコム 08月07日 池袋ブランドX

※各イベントの詳細、お問い合わせはキャンゼルホームページをご参照下さい。

Plug別冊 キャンゼルメモリアルBOOK 7/7同時発売。

フルカラー 32P / 各パーソナルインタビュー他、未公開PHOTO掲載 / ¥1.500 / Limited 1000

詳細、通販方法等はコチラをご参照下さい。 http://plug-web.net/

キャンゼル最初で最後の東名阪ワンマンツアー決定。
ツアーファイナル TOKYO 3Daysラストワンマン決定!

2010年07月22日(木) 大阪RUIDO
『HeARTISTIC -O-』
OPEN 17:30 / START 18:00 前売り ¥3,000 / 当日 ¥3,500
■チケット■06月13日、ライカエジソン大阪店にて先行発売。
06月20日より、ローソンチケットにて一般発売。

2010年07月25日(日) 名古屋ell size
『HeARTISTIC -N-』
OPEN 17:30 / START 18:00 前売り ¥3,000 / 当日 ¥3,500
■チケット■06月13日、ライカエジソン名古屋店にて先行発売。
06月20日より、ローソンチケット、チケットぴあにて一般発売。

2010年08月09日(月) 高田馬場AREA
『HeARTISTIC -T-』
OPEN 17:30 / START 18:00 前売り ¥3,000 / 当日 ¥3,500
■チケット■06月13日、高田馬場AREAライブ物販にて先行発売。
06月20日より、ローソンチケットにて一般発売。

2010年08月10日(火) 高田馬場AREA
『超・感謝祭 ~LOVE2010 夏~』
OPEN 17:30 / START 18:00 前売り ¥3,000 / 当日 ¥3,500
■チケット■06月13日、高田馬場AREAライブ物販にて先行発売。
06月20日より、ローソンチケットにて一般発売。

2010年08月11日(水) 高田馬場AREA『the Last Day』

OPEN 17:30 / START 18:00
前売り ¥3,000 / 当日 ¥3,500
■チケット■06月13日、高田馬場AREAライブ物販にて先行発売。
06月20日より、ローソンチケットにて一般発売。

◆インフォメーション◆ 〒101-8799 東京都千代田区神田淡路町2-12 神田郵便局 キャンゼル宛 (※メンバー名を忘れずに記載して下さい。)
◆メールアドレス◆ canzel_info@yahoo.co.jp

2ケ月連続リリース決定 完全予約限定販売

第一弾 8.11発売
エキゾチック。

Aタイプ（CD+DVD）¥2100 NNCR-0033,34
収録曲:CD　1. スターマイン　2. ゴメンなさい
DVD:スターマイン（ビデオクリップ）

Bタイプ（2曲入りCD）¥1260 NNCR-0035
収録曲:1. スターマイン　2.ゴメンなさい
封入特典:着せ替えジャケット（全10種類のうち一種）

第二弾 9.15発売
ドラマチック。

Aタイプ（CD+DVD）¥2100 NNCR-0036,37
収録曲:CD　1. Cとソプラノ　2. ネジリウム
DVD:Cとソプラノ（ビデオクリップ）

Bタイプ（2曲入りCD）¥1260 NNCR-0038
1. Cとソプラノ　2.ネジリウム
封入特典:着せ替えジャケット（全10種類のうち一種）

愛狂います。20箇所単独公演 浪漫帝國

愛狂います

アイクルリ

hudie.com

8月 1日（日） 札幌KRAPS HALL
8月 4日（水） 盛岡クラブチェンジ
8月 6日（金） 仙台HooK
8月13日（金） 柏PALOOZA
8月14日（土） さいたまHEAVEN'S ROCK VJ-3
8月16日（月） 新潟JUNKBOX mini
8月17日（火） 金沢AZ
8月19日（木） 神戸VARIT.
8月20日（金） 広島ナミキジャンクション
8月22日（日） 松山サロンキティ
8月23日（月） 高松DIME
8月25日（水） 鹿児島SR HALL
8月26日（木） 熊本DRUM Be-9
8月28日（土） 福岡DRUM-SON
8月30日（月） 岡山IMAGE
9月 1日（水） 浜松FORCE
9月 3日（金） 新横浜SUNPHONIX HALL

全会場共通
OPEN 17:00 START 17:30
前売¥3500 当日¥4000（ドリンクチャージ別途）
チケット発売中
総合問合せ:チッタワークス044-276-8841

大阪浪漫帝國
9.22 大阪MUSE

OPEN17:00 START17:30 前売3500円当日4000円（ドリンク代別途）
チケットぴあ0570-02-9999(Pコード:105-528)
ローソンチケット0570-084-005(Lコード: 59716)
ライカエジソン大阪 06-6262-5988 DEAD ONE 06-6258-5186
（問）YUMEBANCHI 06-6341-3525 http://www.yumebanchi.jp

名古屋浪漫帝國
9.24 名古屋ell. FITS ALL

OPEN17:00 START17:30 前売3500円当日4000円（ドリンク代別途）
チケットぴあ0570-02-9999(Pコード:105-313)
ローソンチケット0570-084-004(Lコード:43239)
ライカエジソン 名古屋 052-229-8211
（問）サンデーフォーク 052-320-9100

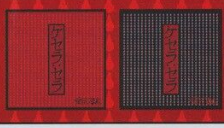
TOUR FINAL
東京浪漫帝國
9.30 渋谷O-WEST

OPEN17:00 START17:30 前売3500円当日4000円（ドリンク代別途）
チケットぴあ0570-02-9999(Pコード:106-545)
ローソンチケット0570-084-003(Lコード:72649)
ライカエジソン 東京 03-3369-3708 ZEAL LINK 03-5784-9666
（問）チッタワークス 044-276-8841

LIVE SCHEDULE

6/18 渋谷O-EAST
7/2 さいたま新都心VJ-3
7/3 新潟JUNK BOX mini
7/9 大阪MUSE
7/10 名古屋BOTTOM
7/16 渋谷BOXX
7/18 渋谷O-EAST

マキシシングル ケセラ：セラ発売中



初回限定盤（CD+DVD）2100円
NNCR-0028,29
収録曲:CD 1.ケセラ:セラ 2. あおいろ1号
DVD ケセラ:セラ（ビデオクリップ）
初回通常盤（3曲入りCD） 1575円
NNCR-0030
収録曲:1.ケセラ:セラ 2. あおいろ1号 3.暗殺-A

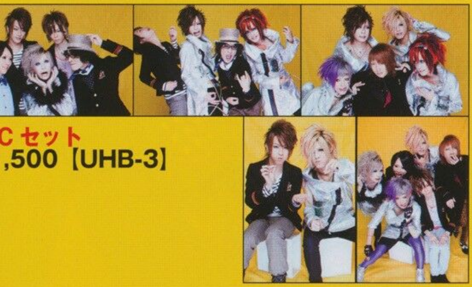
TOTAL INFOMATION NINE
1-1-11-406 Okubo,Shinjuku-ku Tokyo 169-0072 Japan
TEL 03-5287-3455 FAX 03-5287-3454 http://www.aicle-web.com

銀座よろず屋本店 仮想店舗『柿ノ元』

平成維新 × 花少年バディーズカップリング写真セット

A セット ¥1,500【UHB-1】

■ B セット ¥1,500【UHB-2】



C セット
,500【UHB-3】

■ D セット
¥1,500【UHB-4】

■ ALL セット
¥1,500
【UHB-5】

平成維新 & 花少年バディーズカップリング TOUR2010
「ストレンジラボラトリィ」

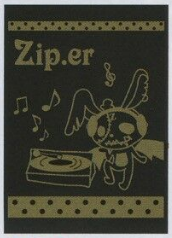
2010.6.18（金）仙台 HOOK SENDAI
［問］HOOK SENDAI022-716-8633

2010.6.19（土）新宿 Live Space MARZ
［問］MARZ 03-5292-2528

2010.6.25（金）名古屋 HEART LAND
［問］HEART LAND 052-202-1351

2010.6.26（日）OSAKA MUSE
［問］OSAKA MUSE 06-6245-5389

追加スケジュールは、OFFICIAL HP をチェック!! http://www.under-code.jp/



■ミラー
（黒 × 金）
¥1,000【LZI-9】

Zip.er

フラータオル ¥1,500【LZI-10】

P ASH 10th ANNIVERSARY
開き -2010-」開催!!
Z-/v［NEU］/ALiBi/Zip.er/ 他
金）さいたま新都心 HR VJ-3
土）新潟 JNUK BOX
金）大阪 MUSE

7/10（土）名古屋 BOTTOM LINE
7/18（日）渋谷 O-EAST
7/19（祝・月）渋谷 BOXX
7/22（木）札幌ベニーレーン 24
7/23（金）札幌 mole

MATION】〒 153-0064 東京都目黒区下目黒 2-23-7 日栄ビル 3 階
LOOP ASH ホームページ→ http://www.loopash.com/

ネックレス・ストラップ・ヘアゴム etc
…アレンジ多様

■アクリルスターチャーム
¥1,000【LAL-19】

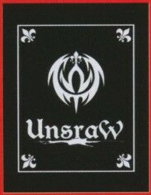
ALiBi

■直筆サイン入り
「キラ☆メキ未来」
B2 ポスター
¥1,000
【LAL-22】

■ミニタオル
¥1,000【LAL-21】

hudie.com

UnsraW



ミラー ¥1,000【SUN-7】

リストバンド ¥1,000【SUN-10】

蝴蝶网
hudie.com

マフラータオル ¥1,500【SUN-8】

ダウト

ストラップ ¥1,300【SDO-2

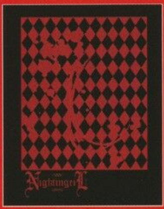
ポーチ ¥1,300【SDO-27】

タオル ¥1,500【SDO-22】

NightingeiL

手ぬぐい ¥1,000【SNI-3】

限定Ｔシャツ
(Ｍサイズ)
¥3,500
【SNI-11】



コンパクトミラー
¥1,000
【SNI-12】

Ap(r)il

メンバー全員入り
チェキ(5人)
¥2,000【SAP-16】

写真 5-B
¥1,000【SAP-15】

ストラップ
¥1,500【SAP-17】

Speed-disk

※注意事項
*バックナンバーの受け付けは終了となりました。
*今月号のグッズの締めきりは7/21到着分までとさせていただきます。

●SPEEDDISKのイベント
★SPEED DISK PRESENTS
『桜華乱舞』
・7/5 高田馬場 AREA
OPEN 16:30/START 17:00 前売り ¥3,000/¥3,500
Cast:UnsraW/ 我羈道 /Hi:BRiD/V-last/ BORN/ReivieЯ 他

・7/6 高田馬場 AREA
OPEN 16:30/START 17:00 前売り ¥3,000/¥3,500
Cast:Ap(r)il/Administrator/SwallowtaiL- スワロウテイル -/xTRiPx/ Vanish /PRIMEAD DICT 他

★SPEED DISK PRESENTS
～『森羅万象 tour'10#3』
7/30(金) 渋谷 O-EAST
8/01(日) 郡山 #9
8/02(月) 仙台 darwin
8/04(水) 札幌 KRAPSHALL
8/05(木) 札幌 KRAPSHALL
8/10(火) 長野 CLUB JUNK BOX
8/11(水) 新潟 JUNK BOX
8/12(木) 金沢 AZ
8/14(土) 京都 FANJ twice
8/15(日) 岡山 CRAZYMAMA KINGDOM
8/17(火) 鹿児島 CAPARVO HALL
8/18(水) 博多 DRUM LOGOS
8/20(金) 高松 DIME
8/21(土) 大阪 BIGCAT
8/22(日) 名古屋 E.L.L

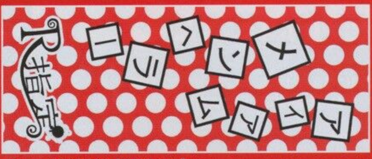
Cast：ダウト /R 指定
Special Guest:Kra
Guest: アンド/vistlip/VIDOLL/SCREW/DuelJewel/少女-ロリヰタ-23区
※各会場で出演バンドが異なりますのでご注意下さい。
Open/Start：17:00/17:30
※8/21 大阪公演のみ 16:30/17:00
チケット代 All standing 前売 ¥4,000 当日 /¥4,500(税込)
当日 DRINK 代 ¥500 / 入場整理番号付
各ショップ、各プレイガイドにて発売中

SPEEDDISK のイベント詳細は HP をご覧下さい。
http:/www.xxxrecords.jp/speeddisk/

R 指定

写真 5-A
¥1,500
【SRS-8

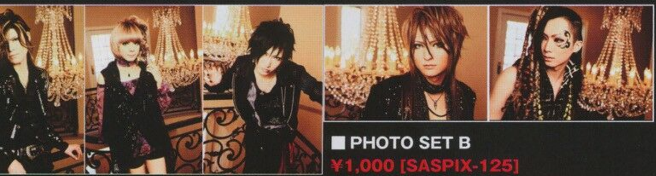
写真 5-B
¥1,500【SRS-9】



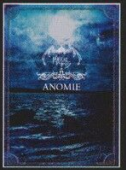
タオル ¥2,000【SRS-11】

摩天楼オペラ

■ PHOTO SET A ¥1,000 [SASPIX-124]

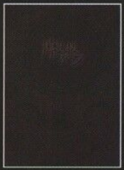


■ PHOTO SET B
¥1,000 [SASPIX-125]



■パンフレット「AMONIE」
¥2,500 [SASPH-102]

■パンフレット「HISTORY」
¥2,500 [SASPH-103]



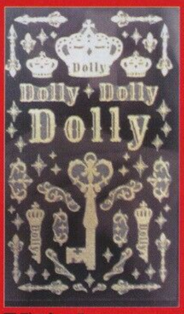
■パンフレット「OFF SHOT」
¥2,500 [SASPH-104]

PHOTO SET C ¥1,000 [SASPIX-126]

■ポーチ ¥1,500 [SASGDS-104]

■ミラー ¥1,500
[SASGDS-103]

Dolly



■デコシール
¥1,000 [FDO-1]

th Anniversary Oneman Tour

at) 浦和 ナルシス（FC 限定）
i) 横浜 SUNPHONIX HALL
un) 名古屋 ell.FITSALL
ue) 大阪 MUSE
hu) 松山 SALONKITTY
at) 福岡 DRUM SON
un) 岡山 IMAGE
at) 仙台 JUNK BOX
un) 宇都宮 HEAVEN'S ROCK VJ-2
ue) 新潟 JUNK BOX
inal
sat) 赤坂 BLITZ
細は Dolly Official Site をご覧ください。
www.dolly-web.com/

uji Production inc.
sic Creative Office

■ペンライト（緑／オレンジ／赤／白／青）
1本 ¥1,200［FDO-2］

愛狂います。aicle

■集合 2L 写真 A（直筆サイン付）
¥1,000 [NAI-14]

■集合 2L 写真 B（直筆サイン付）
¥1,000 [NAI-15]

■浪漫。携帯ミニストラップ
¥1,000 [NAI-11]

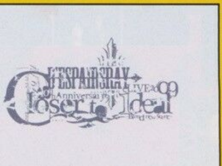
■浪漫。ステッカー
¥500 [NAI-13]

■笑顔 2L 写真 A（直筆サイン付）
¥1,000 [NAI-16]

■笑顔 2L 写真 B（直筆サイン付）
¥1,000 [NAI-17]

■ 4/2 渋谷クラブクアトロワンマンライブ 写真 A（10 枚入り）¥1,000 [NAI-18]
■ 4/2 渋谷クラブクアトロワンマンライブ写真 B（10 枚入り）¥1,000 [NAI-19]
■チェキ（直筆サインコメント付）（メンバー選択可）¥500 [NAI-20]

D'ESPAIRSRAY



■10周年記念パンフレット
¥4,200［DR-1］

ページ・10 周年を振り返ったメンバーロングインタビュー、
バー個人対談あり。
場限定のポストカードはついておりません。※ 通販は数に限りがございます。

TOON-FACTORY

■柿ノ元限定サイン入り写真セット
（計 6 枚 実物にはサインが入ります）
¥1,000 [WSG-5]

申し込み方法
品をお申し込みの方は、郵便局に備え付けの振り込み用紙にて、定価＋送料 700 円を下
口座までお振り込みください。なお、通信欄には下記事項をお間違いないようご記入くだ
い。
郵便振替番号 00180-9-603494
金額欄 定価に送料を加えた金額をご記入ください。(複数種お申し込みの方は定価の
計金額＋送料 700 円をご記入ください）
加入者名 株式会社 音楽専科社

■通信欄 柿ノ元・希望商品名・商品番号・各商品の数量
■振込人住所氏名欄
あなたの住所、氏名、電話番号を丁寧にご記入ください。

【お問い合わせ先】
株式会社 音楽専科社『柿ノ元』
〒104-8228 東京都中央区銀座 6-2-3
ダヴィンチ銀座アネックス 5F
TEL03-3574-0203 FAX03-3574-8548

銀座よろず屋本店
仮想店舗
『柿ノ元』

装着レンズ：レッドパンサー
モデル：miko（exist†trace）

日本最大級「カラコン専門店」愛用者40万人突破!!

バンドマン、バンギャの皆様
お待たせいたしました
パンサーカラー復活

一時生産を終了したものの、バンドマンや音
係者からの熱いラブコールをうけ、ヴィーナス
ズパンサーカラーが復活！ライブでも鮮明＆
な発色で、まるで本当に赤い瞳になったよう

※パンサーシリーズは全てヴィーナスアイズ3ヶ月使用タイプです。

**はじめてのカラコンはカラパラが安
すべてにおいて感動もの!**

とにかく、コンタクトの質が良い!!
私は、ドライアイなのですが、こちらのコンタクト
をつけていると、目薬いらずになりました。
顔のいんしょうも全く変わり、
こちらのコンタクトは常に手ばなせません。
何より、スタッフ様への信頼は
どこよりも大きいです。
TEL対応、発送のじん速さ、すべてにお
いて、感動ものです。
交換・返金制度は、特に、客のことを
第一に考えて下さっているしょうこでしょう

愛媛県　S.Kち

まずはお試しやすい価格でTry!1ヶ月使い捨てタイプ。

ヴィーナスアイズマンスリー（1ヶ月使用タイプ） 2,980円（税込）

経過措置届出品	1ヶ月使用	度なし	BC 8.6	1箱2枚入

もれなくプレゼント♪
レンズケース、洗浄保存液、イラスト付ご使用説明書

お気に入りのカラーを毎日使いたいあなたに!たっぷり3ヶ月使えてお得♪

ヴィーナスアイズ3ヶ月使用タイプ 4,980円（税込）

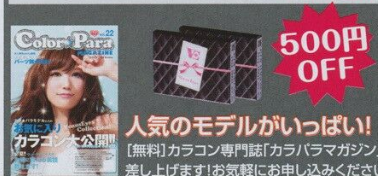
経過措置届出品	3ヶ月使用	度なし	BC 8.6	1箱2枚入

もれなくプレゼント♪
レンズケース、洗浄保存液、イラスト付ご使用

人気バンドマンも絶賛!!

Dolly Bass はち

ヴィーナスアイズマンスリー2箱まとめ買い=500円割引
クーポンと合わせて使えば、お買い上金額から700円も割引に♪



人気のモデルがいっぱい!
[無料]カラコン専門誌「カラパラマガジン」
差し上げます!お気軽にお申し込みください。

度ありカラコンも充実のラインナップ!サイト、カタログもCHECKして

キュートビュー14

4,095円（税込）

処方箋提出不要	2週間使用	BC 8.7
度数-0.50〜-9.00	度あり	1箱6枚入

フローラM

3,50

処方箋提出不要	1ヶ月使用	BC 8.7
度数-0.00〜-10.00	度あり	1箱3枚入

ココで買えるヨ!

空メールはココ	v@007s.jp	※ドメイン指定をされている方は【007s.jp】を解除してね!
携帯サイトはココ	www.007s.jp	※サイトにアクセスしにくい場合は お電話にてお問い合わせください。
PCサイトはココ	www.007s-contact.com	
お電話でのご注文	0120-544-804	受付時間 年中無休 9:00〜21:00
お客様相談室	0120-800-491	受付時間 年中無休 9:00〜21:00

ご注文方法

代金引換（手数料300円）でお届けします。商品到着時に現金でお支払いください。送料は全国一律735円、商品代金10,000円以上で送料無料です。返品交換は到着より10日間であれば承ります（必ずお電話ください）。カラーコンタクトレンズは高度医療管理機器です。商品に同封されている使用説明書を必ずお読みください。説明書に書かれた装用時間を守ってご使用ください。装用期間を越えてのご使用はおやめください。必ず眼科医の処方箋に従って購入してください。少しでも異常を感じたら、直ちに眼科医の検査を受けてください。また、定期検査は必ず受けてください。18歳未満のお客さまは保護者の許可を得てご購入ください。空メールを送ると知って得するトレンド情報がいっぱいゲットできるクーポン付きメルマガをお送りいたします。【経過措置期間届出品　13B1X80004000001】

カラコン通販なら カラコンパラダイス007
当店は高度医療管理機器販売の許可を取得しています。【許可番号春保第1010073号】
株式会社ネットランドジャパン　〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂 1-19-9 第一暁ビル 2 階

**カラコンの
「カラ★パラ」安心ポイント**

■ 充実の配送システム、365日休まず配送します。
■「満足保証」もし、満足いただけない場合返品OK!

発売記念!割引キャンペーン

200円OFF

クーポン番号 7251

クーポン番号を入力するとご請求金額から
さらに200円お引きします。
ドメイン指定をされている方は【007s.jp】を解除してね!
有効期限：2010年9月30日まで

今スグ
空メを送信!
v@007s.jp

蝴蝶网 hudie.com

little HEARTS. ONLINE STORE OPEN!!

little HEARTS.通信販売開始★

little HEARTS. の HP からご注文下さい。http://littlehearts.jp

◆掲載の商品は全て通信販売でお買い求め頂けます。

◆インストアイベントの参加チケットや特典もお付け致します。

little HEARTS.

HE KIDDIE 2010.07.14 SINGLE『smile.』RELEASE!!

【初回生産限定盤】(CD＋DVD) ¥1,575
▼収録曲
〈CD〉1.smile.
2.shooting star
〈DVD〉smile. MUSIC CLIP

【通常盤】(CD only) ¥1,260
▼収録曲
〈CD〉1.smile.
2.shooting star
3.HERO(BONUS TRACK)

8/13 INSTORE EVENT開催!!

LL 2ヶ月連続Release!!

SkuLL

【第1弾 Maxi Single】
2010.7.7『「陽炎」「蒼炎」』
¥1,260
▼収録曲
1.陽炎　2.蒼炎

【第2弾 Maxi Single】
2010.8.8 Release 『Nancy』
¥1,260
▼収録曲
1.Nancy　2.JUMPIT

ナイトメア

『a:FANTASIA』発売記念イベント in little HEARTS.

2010.06.27.Sat. START15:00

握手会(イベント参加者全員にプレゼントあり)

little HEARTS.にて6月23日発売NEW SINGLE『a:FANTASIA』3タイプの中から
いずれか2枚同時にご予約頂き全額ご入金されたお客様、または
ご購入されたお客様に先着で、イベント参加券を差し上げます

2010.06.23 SINGLE『a:FANTASIA』RELEASE!!

【初回盤A】CD+DVD　¥1,500
＜CD＞
1. a:FANTASIA　作詞／作曲：咲人
2. Romeo　作詞／作曲：RUKA
＜DVD＞
a:FANTASIA　PV

【初回盤B】CD+DVD　¥1,500
＜CD＞
1. a:FANTASIA　作詞／作曲：咲人
2. Romeo　作詞／作曲：RUKA
＜DVD＞
Romeo　PV

【通常盤】CD ONLY　¥1,500
＜CD＞
1. a:FANTASIA　作詞／作曲：咲人
2. Romeo　作詞／作曲：RUKA
3. Rover (Bonus Track)
作詞：YOMI／作曲：Ni～ya

Ylittle HEARTS.Vol.3

6月4日仙台Hookにて
little HEARTS.presents『MY
little HEARTS. Vol.3』LIVEが行
われました(˘o˘)/
出演バンドさん、LIVE直前の気合い
Shotです♪参加いただきました皆
さま、ありがとうございました♪

Kaya/ 我羇道 /ACTWEED/
東京ミカエル。/SKULL

INSTORE EVENT REPORT

HERO

「Not Found」対象イベント トーク＆サイン会

6/6、HEROのイベントが開催されました♪大人気のバンド、会場には沢山のお客様にお越しいただきました！トーク会では「Not Found」についてのお話、そしてお客様からの質問コーナーでは、愉快(?)な回答も飛び出し、お客様も爆笑ですっ・・・(^o^)
トークとサイン会の予定が、メンバーさんから『握手も！』と、OKになりました♪ありがとうございます♪
そんなHEROさん、2010年第二弾SINGLE9月1日『ピリオド』リリース決定です★

INSTORE EVENT REPORT

～仙台VOLTAGE～ 握手会

6/6仙台darwinにて、VOLTAGE CIRCUITが開催されました(^o^)/最強オムニバスアルバム『NEO VOLTAGE』への参加バンドの中から、
愛狂います。/Annie's Black feat.Aioria/キャンゼル/V[NEU]/花少年バディーズ/HERO/ベルベットと、豪華な出演♪LIVEも大盛り上がりです♪
そして、な、なんと!!終演後には、little HEARTS.で『NEO VOLTAGE』をお買上の方対象で握手会のイベントが行われました!!お客様も大興奮です♪素敵な時間を過ごせたのではないでしょうか♪
はい!!その中から愛狂います。さんのShotいただきました★
『NEO VOLTAGE』絶賛販売中です★

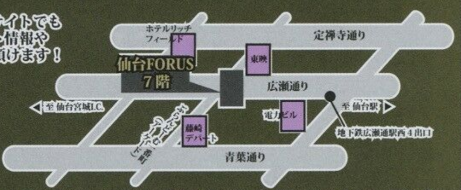
INSTORE EVENT

5(土)18:00　【boogieman】トーク＆サイン会
7(日)15:00　【ナイトメア】握手会
4(日)13:00　【heidi.】サイン＆握手会
5(火)18:00　【己龍】トーク＆握手＆サイン会
2(木)15:30　【R指定】店員イベント(握手サイン)
3(日)未定　【MoNoLith×我羇道】何かおもしろいこと!!
3(金)17:00　【SKULL】トーク＆サイン＆握手＆プレゼント抽選会
0(金)16:00　【TOON-FACTORY】未定

little HEARTS.

ベント決定次第、little HEARTS.のHPにて続々更新中！！

little HEARTS.携帯サイトでも
インストアイベント情報や
STAFFブログがご覧頂けます！



アクセス方法■JR仙台駅より徒歩15分■地下鉄広瀬通駅西4出口より徒歩1分

little HEARTS.

ビジュアルミュージック＆ファッション＆コミュニティスペース【リトルハーツ】

http://littlehearts.jp

〒980 8546 宮城県仙台市青葉区一番町3 1
仙台フォーラス7 F
営業時間 OPEN 10:00 / CLOSE 20:30
TEL 022-264-8003 ※年中無休

6/23 Phantasmagoria
LIVE DVD
『Diamond Dust in Truth』
¥6,300 アーティストフォト個人 SET

6/23 SUICIDE ALI
SINGLE
『Stitch DoLL』
¥1,890

6/23 ナイトメア
SINGLE
『a:FANTASIA』
A-TYPE/B-TYPE/通常盤
各¥1,500

6/23 R 指定
SINGLE
『アリス心中』
A-TYPE¥2,100
B-TYPE¥1,575
A-TYPE/ コメント DVD、直筆サイン入り アーティストフォト集合
B-TYPE/ アーティストフォト個人 SET

6/23 ケミカルピクチ
SINGLE
『世界を撃った男 case2 ペレッタ』
コメント DVD
直筆サイン入りアー

6/23 boogieman
ALBUM
『boogieman』
初回盤 ¥3,990
通常盤 ¥3,150

6/23 己龍
SINGLE
『水無桜』
A-TYPE/¥3,675
B-TYPE/1,890
C-TYPE/1,890
通常盤/¥1,575

6/23 7/7 vistlip
LIVE DVD
『GATHER TO the THEATER』
¥4,935
LIVE DVD を観ている vistlipDVD
SINGLE
『Hameln』
初回盤 ¥1,890
通常盤 ¥1,260

6/23 A&D
SINGLE
『BLACK HEAVEN』
初回盤 ¥1,890
通常盤 ¥1,260

6/30 0801 弐 20
SINGLE
『携帯撲滅委員会』
¥1,260
MINI ALBUM
『元カノからの送れ方』
セカンドプレス盤 ¥2,100
各タイトルアーティストフォト

6/30 SaTaN
FULL ALBUM
『13 I SCREAM』
¥3,150
直筆サイン入りアーティストフォト

6/30 レイラ
SINGLE
『光満ちた丘で交わした約束』
¥1,575
アーティストフォト集合

6/30 SuG
SINGLE
『小悪魔 Sparkling』
A-TYPE/B-TYPE/ 各 ¥1,890
通常盤 ¥1,575

7/7 キャンゼル
BEST ALBUM LIVEDVD 付
『BeST SONGS -SOFT TRACKS-』
『BeST SONGS -HARD TRACKS-』
各 ¥3,675 各タイトル / アーティストフォト同内容

7/7 Sel' m
SINGLE
『ARROWS』
¥1,890

7/7 お遊戯わが魔々団 × 【PaRADEiS】パレード
SINGLE
『LoLi★ロリポップ』
A-TYPE/B-TYPE
各 ¥1,890

7/7 イロクイ。
LIVE DVD
『おわらないせかいのうたいかた LIVE』
¥3,900
フルカラーブックレット
写真集付 (P28)

7/7 SKULL
第 1 弾 SINGLE 7/7
『陽炎』『蒼炎』
第 2 弾 SINGLE 8/8
『Nancy』
各 ¥1,260
各タイトル
コメント DVD、アーティストフォト集合

7/7 ギルガメッシュ
SINGLE
『COLOR』
初回盤 ¥2,625
通常盤 ¥1,260

7/7 meth.
SINGLE
『CAN' T COME BACK』
¥1,050

7/7 リルト
MINI ALBUM
『危険～聴くなよ! 絶対に聴くなよ!～』
¥2,100 アーティストフォト集合

7/7 ViViD
SINGLE 『PRECIOUS』
A-TYPE/B-TYPE
各 ¥1,890
通常盤
¥1,575
A-TYPE/アーティストカードランダム2枚(全6種類)
B-TYPE/アーティストカードランダム2枚(全6種類)
通常盤/アーティストカードランダム2枚(全6種類)

7/14 THE KIDDIE
SINGLE
『smile』
初回盤 ¥1,575
通常盤 ¥1,260

7/14 12012
ALBUM
『SEVEN』
初回盤 ¥3,500
通常盤 ¥3,000

7/14 DELUHI
SINGLE
『The Farthest』
¥1,365

7/14 LuLu
SINGLE
『胎動』
¥1,050

7/14 NightingeiL
MINI ALBUM
『吊り下げの恋』
¥2,625
コメント DVD、アーティストフォト

7/14 TOON-FACTORY
MINI ALBUM
『Heart』
¥2,625
封入特典限定トレカ 2 枚 (全 18 種)

7/14 BREAKERZ
SINGLE
『激情 / hEaVeN』
初回 A、B 各 /¥1,680
通常盤 ¥1,260

7/21 Jackma
SINGLE
『Multi Color Freeks』
A-TYPE/B-TYPE¥1,890

7/21 kannivalism
LIVE DVD
『she said, under the helios』
¥6,090 コメント DVD
アーティストフォト個人 3 枚 SET

7/28 D
SINGLE 『赤き羊たちによる晩餐会』
A-TYPE¥1,890/B-TYPE¥1,680
通常盤 ¥1,050

7/28 MoNoLith
SINGLE
『Postscript』
¥1,890

8/4 我羅道
SINGLE
『もう泣かないと空に誓った日』
¥2,100

8/4 ハートレ
アーティストフォト集合
SINGLE
『Scream of He
¥1,575

8/4 SOMATIC GUARDIAN
SINGLE
『戦場ガ フレンド』
TYPE/B-TYPE
各 ¥1,575

8/4 Megaromania
SINGLE 『AURORA-destinies of world』
TYPE ¥1,995
B/C/D-TYPE
各 ¥1,365
TYPE/ アーティストフォト別柄
いずれか 1 枚購入 / コメント DVD

8/11 9/15 愛狂います。
SINGLE
8/11 『エキゾチック』
9/15 『ドラマチック』
A-TYPE ¥2,100
B-TYPE¥1,260

8/18 E' m~grief~
SINGLE
『Atonality』
A-TYPE/B-TYPE
各 ¥2,100
A-TYPE/ アーティストフォト A
B-TYPE/ アーティストフォト B

9/8 Ap(r)il
SINGLE 『JUST 4U』
A-TYPE¥2,100
B-TYPE¥1,575
A-TYPE/ コメント DVD
B-TYPE/ アーティストフォト集合

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

BORN

これからの“化学反応”に期待!!
BORN初登場!!

蝴蝶网 hudie.com

れをお願いします。

猟牙：元々は、この5人でラフな感じで活動していたんです。でも、このままじゃダメだろうと全員が思い始めて。もっと本腰を入れてやろうということで、バンド名も一新してBORNが生まれました。コンセプトは、〝ダークかつスタイリッシュなゴキブリ〟です（笑）。そういう世界観を表現できるバンドを目指して、活動をスタートさせました。[illegible]ラフに活動していく中で、猟牙と[illegible]と、〝こうしたらカッコいいよね〟というような話をしてて。BORNとして心機一転するにあたって、〝このシーンの中で唯一無二の存在になるには、どうするべきか？〟ということを全員で話し合ったんです。その結果、激しいサウンドとメロディを融合させた音楽を昇華させようということになりました。始めた当初は〝BORNらしさ〟にこだわって楽曲の幅を狭めていましたけど、その後どんどん拡がっていきました。

——幅広い楽曲はもちろん、多彩なプレイも魅力になっています。

Ray：ありがとうございます。俺は、繊細なギター……クリーントーンだったり、アルペジオだったりが好きで。そういうもので楽曲に彩りをつけることを楽しんでいます。BORNを始めた頃は歪んだ音が好きだったんですけど、途中で〝あれっ？ 俺、激しいのはあんまり好きじゃないかも〟と思ったんです（笑）。それまでと同じようなことはしたくなくて、激しいプレイをしていたんですけど、BORNを続けていく中で、〝やっぱり自分は、これじゃないな〟と徐々に思うようになって。結局、BORN以前のスタイルに戻りました。

K：Rayと俺は、ギタリストとしてのスタイルが全く違ってて。ギター・アレンジに関して話し合ったことはない…というか、必要ないんです。

Ray：新曲を合わせる時も、もう初めから全然違うことを弾くよね。

K：うん（笑）。俺は、バッキングは歌を重視してシンプルにするけど、Rayは色づけをしてて。でも、ギター・ソロは、俺に弾いてくれと言うんです。ソロのパートになった瞬間、Rayは俺に向

〝でしょう？〟みたいな顔をするんですよ（笑）。そういうところも含めて、いいコンビネーションになっていますね。

TOMO：ドラマーとしてサウンドを支えることは大前提ですけど、Kが言ったとおり、BORNは唯一無二の存在でありたいと思っているので、ドラムのフレーズが浮かんでも、〝これは普通だな〟と思ったら違うものに変えたりしますし。と言っても、個性的であればいいというわけではないから、自分で考えたものをKIFUMIに聴いてもらったりして、個性的かつ意味のあるものに落とし込むようにしています。あとは、ホントにいろんな楽曲をやるバンドなので、「white harmony」みたいにダンス・ビートを活かした曲があるかと思えば、「felony」みたいな超高速チューンもあったりして。自分の中にないものを活かした曲がどんどん出てくるんですけど、それに取り組むのはスキルアップに繋がるので、ドラマーとしての核はしっかり持ちつつ、フットワークは軽い感じでいこうかなと思っています。

KIFUMI：俺は、ベースというパートは、ドラムありきで成立するものだと捉えてて。BORNでは、TOMOがしっかり支えてくれているので、自分は自由度が高いベーシストでいられる部分が大きいですね。ここは自分が出る場所じゃないなと思ったらボトムに徹するし、逆に周りがおとなしいからシャシャってやろうという時は、思いきりベースで歌ったり。かなり好き勝手にやらせてもらっています（笑）。〝パッと見は激しいバンドなのに、そんなベース弾いちゃうんだ〟みたいな、意外性のあるベースを弾きたい気持ちがあるんですよね。

——スラップも多用していますよね。

KIFUMI：ああいうパーカッシヴで激しいフレーズも、自分の中のネタとして欲しいなと思って。特定のベーシストから影響を受けたわけじゃないんですけど、単純に自分たちの曲に、〝ここでスラップが入るんだ〟という意外性を持たせたくて採り入れるようになりました。スラップがやりたくてやってるというよりは、そういう意識が強いですね。

猟牙：歌に関しては、もう本当に、好

一人ひとりの人間性のカケラがBORNの音楽性

新たなバンドの登場である。その名は、BORN。
"THE BLACK POPULAR"をバンド・コンセプトに、サウンド面／ヴィジュアル面において、鮮やかにも荒々しくも"黒"を操る彼ら
8月からは早くも3ヶ月連続でのミニ・アルバムのリリースも決定。まずは彼らの多彩な音楽性とパーソナリティを探るべく、
BORNへのファースト・コンタクト。

Interview:TAKAYUKI MURAKAMI

（笑）。メンバーのアレンジ・センスを信頼しているので、俺がどんなメロディを乗せようが、ちゃんと仕上げてくれるだろうと思って。その結果、多重人格っぽい歌になっていますね。

——エモーショナルなメロディ・パートと、アグレッシヴなシャウトを両立させていますが、元々はどっちが好きだったんでしょう？

猟牙：メロディアスなものです。普段聴く音楽も、R&Bやクラブ・ミュージックといったメロウなものが多いし。

——「Tragedy」や「ケミカルロマンス」といった曲では、ラップっぽいヴォーカルも披露していますね。

猟牙：今までラップをやることはなかったんですけど、俺がラップをしたら面白いかなと思って。語りで伝えたい歌詞があったんですけど、ただ語りにするのもな…と思って、ラップにしてみました。BORNのメンバーは俺も含めて、みんな飽き性で、すぐに変なことをやろうとするんです（笑）。でも、それが〝変なこと〟だけで終わらずに、必ず昇華できる。そこは、BORNの大きな武器だと思っています。

——マニアックな要素を押し出しつつ、「春煌花-SAKURA-」では、華やかなメジャー感も提示しています。

Ray：「春煌花-SAKURA-」をリリースしたのは去年の4月なんですけど、その時に〝BORNは変わるのか？〟とよく言われたんです。でも、そうではなくて。あの曲は、ある意味別モノというか。Kが原曲を持ってきたんですけど、デモの段階からストレートかつメロディアスで、BORNとしては異色な曲だったんです。で、せっかくメロディアスな曲をやるのであれば、いいものにしたいなと思って、シーケンスを使って色づけをした結果、BORNの中では異色な1曲になりました。

猟牙：Rayのアレンジのおかげで、〝このバンドは、まだまだ可能性を持っているな〟と感じさせてくれて。今後は、そういう部分も意欲的に採り入れていこうと思っています。「春煌花-SAKURA-」みたいな方向にシフトするというわけ

わったと捉えてほしいですね。俺らの〝ダークでスタイリッシュなゴキブリ〟というイメージが変わることはないです。

K：幅を拡げてもBORNの核が変わることはないので、これからも貪欲にいきたいですね。ウチのメンバーは、それぞれがBORNの音楽の中における自分の立ち位置を分かってて、その上で猟牙が自由にやるという形が出来上がっているんです。猟牙は、いい意味でバカというか（笑）、バックのことは全く気にしないのに、上質な音楽に仕上げる才能を持っているんです。だから、そこには自信を持つべきかなって。ライヴの在り方も含めて、そういうハチャメチャさは武器として持ち続けていきたいですね。

Ray：今後のことを言うと……ギタリストとしての自分らしさを確立したいと思っています。聴いた人が常に〝Rayらしいな〟と感じるギターを弾けるようになりたいですね。それは、BORNのためになることでもあるので。自分の中での〝普通のレベル〟をどんどん上げて、ギタリストとしての表現力をアップしていきたいと思っています。

TOMO：バンドのキャラがだんだん確立されてきている時期だし、俺自身もヴィジュアル面も含めて、ドラマーとしての個性の追求と確立を目指します。今は、それに尽きますね。

KIFUMI：バンドをやっていく上で、目標というのは絶対に必要になってくると思うんです。こういうCDを出したとか、これくらいのキャパの会場でライヴをしたとか。でも、その目標を達成するためだけに必死になるよりも、そこに至る過程を大事にしたいというか。BORNは、定めた目標に向かう中で起こる化学反応を楽しめるバンドなので、そういうドキドキ感を、ずっと保っていきたいと思っています。

猟牙：これからも自由なスタンスで続けていって、いろんな人を巻き込みながら、あらゆる意味でBORNというバンドを大きなものにしていきたいと思っています。目指すのは、誰でも思いきりバカになれる場所ですね。BORNがそういう場でいられるように、俺たち5人はバカで居続けますよ。

蝴蝶网
hudie.com

DaizyStripper

ONEMAN TOUR『LOVE AFFAIR TOUR』FINAL
東京九段会館 2010.05.29

SET LIST

01.Trigger
02.自慰的ショータイム
03.ベイビーキングダム
04.罪な罰
05.リリカルナイト
06.星空と君の手
07.SMILE WORLD
08.——SOLO SESSION——
09.KILL the KING
10.MR.UNCHAIN
11.春めく僕ら
12.七色の花束を
13.STAY GOLD

曇りのち雨。そして明日は晴れ。確かにそこには5人の熱い想いがあった。
完全ソールドアウトの夜をレポート。

8月に、フルアルバムを2枚同時にリリースすることが決まったDaizyStripper。きっとここでも、すごいことをやらかしてくれるに違いない。その前に、彼らにとって忘れられないライヴとなった【LOVE AFFAIR TOUR】のファイナル公演、九段会館でのライヴの様子をお伝えしようと思う。突然のアクシデントも含め、その流れを追った。

Photography:TAKEHIRO SUGANUMA　Report:ERI MIZUTANI

期待以上のライヴを返してくれるのが、デイジーストリッパーの魅力なのだが、メンバーからしたら、観客はいつも自分たちの期待以上の声援を返してくれていると感じているに違いない。それほどまでに、彼らとオーディエンスは相思相愛なのだ。だから、このツアーのタイトルを【LOVE AFFAIR TOUR】としたのだろう。ライヴは一夜の情事に似ている…か。何だか、とても頷ける。

さて、肝心の内容はというと、ハイトーンヴォイスが気持ち良く広がる「Trigger」でライヴの幕が開くと、夕霧を筆頭とし、楽器隊の音が九段会館の隅々まで行き渡り、会場を震わせていく。ジャジーな間奏を挟みつつラストに向かっていく流れの美しさは、彼らの表現力を持ってして。そうかと思えば、次にいきなり「自慰的ショータイム」で攻めてくる辺り、相当の戦略家といえよう。Reiは大きく手を広げ、場内を煽り出す。ボルテージの上がった観客は、ここがホールだということを忘れ、曲に合わせジャンプをし続けた。その瞬間、ライヴというのはどこでやるのかが大事なのではなく、臨む姿勢が大事なのだと気付かされた。彼らにとっては、ライヴハウスもホールも同じ、ただ自分たちの音楽を心の底から楽しんでもらいたいと考え演奏している。だからこそ、観客もホールだからノリきれないなんて嘆くこともなく、純粋な気持ちで彼らの音楽に真っ向からぶつかっているのだ。四の五の言わずに頭を空っぽにして楽しめる空間、それがライヴの醍醐味だと思うし、それを改めて気付かせてくれた両者には、感謝したいぐらいだ。

それだけに、この日のライヴは大成功に終わるだろうと誰もが思った。後のMCで夕霧が〝ついにファイナル迎えたぞ！愛し合いツアーの最終地点、わかってんだろ、ひとつになろうぜ！〟と嬉しそうに言ったのも、そういった感情が押し寄せたからだったに違いない。「ベイビーキングダム」「罪な罰」と、イントロが鳴った瞬間から歓声で包まれた楽曲を始め、「星空と君の手」や「SMILE WORLD」といった、心暖まるメロディーに場内はたくさんの拍手を贈った。

これらの曲はもちろんのこと、個人的

蝴蝶网
hudie.com

である風弥が奏でるピアノの音色はバンドでは見ることのできないほどの繊細さを持っている。ピアノは人柄を表すとも言う。彼の実直な性格が音へと変わり場内を包んでいくと、その場は一瞬にして静まり返った。そこから流れを止めることなくドラムソロへと移ると、今度は水しぶきを上げるように勢いづいてリズムを叩き出す。そこへ、まゆ、なお、Ｒｅｉ、3人の弦楽器隊が加わると、本領発揮と言わんばかりに、スピード感のあるセッションを繰り広げてくれた。3・3・7拍子の同期に合わせ、それぞれが掻き鳴らす抜群の音は、過去最高にかっこいいセッションとなったのだった。それもあって、次の「KILL the KING」と「MR. UNCHAIN」は、ホールの床が抜けるほどの盛り上がりを見せてくれた。

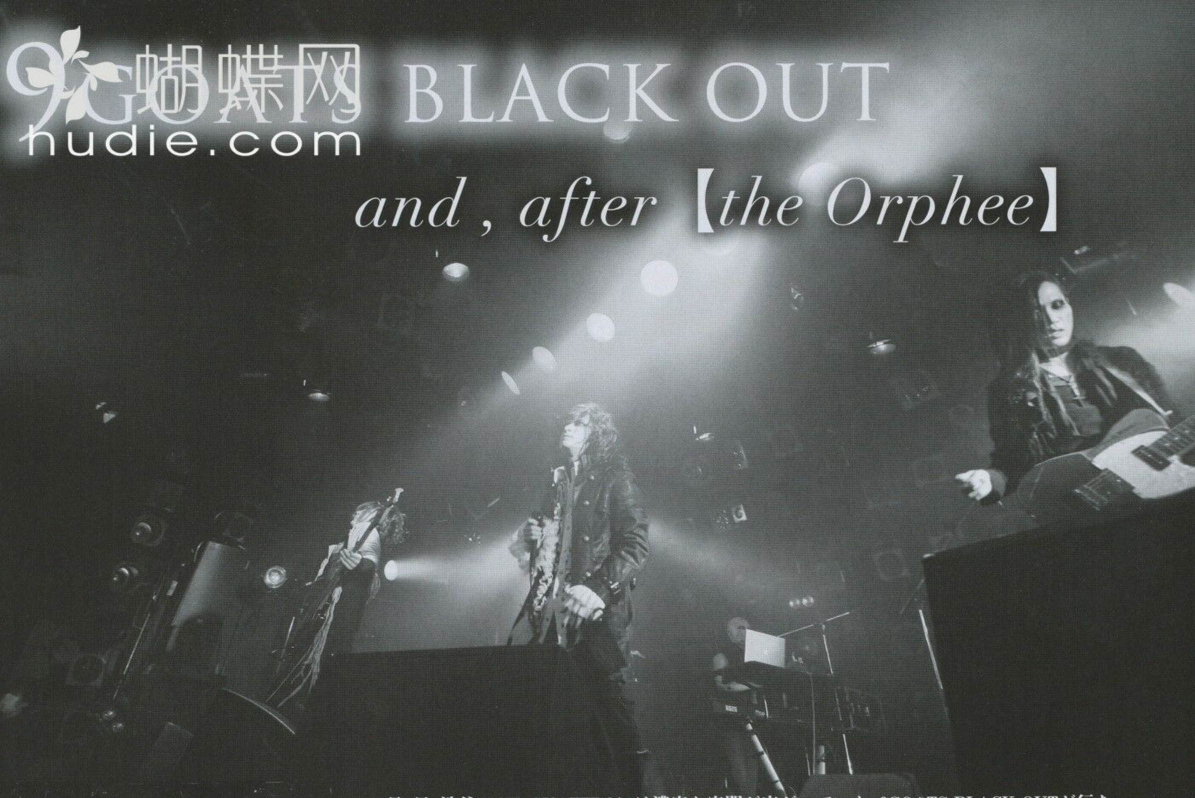
ところが、アクシデントはこの後に起こる。何と、風弥が倒れてしまったのだ。盛り上がりすぎて空気の薄くなった場内に体が悲鳴を上げたのだろう。ドラムセットにもたれかかるようにしてパタリと倒れてしまったのだ。こういったことは狭いライヴハウスではよくあることなのだが、まさか、こんな大きなホールで起こるとは……。結果、風弥の体調の回復を待って、しばしの間ライヴは中断した。その後、無事に再開されたのだが、中断中、席を離れる者は誰一人としていなかった。アナウンスがあったので再開する時間はわかっているのにも関わらず。冒頭で述べた、両者の相思相愛の様子、それをここで見せてもらった気がする。

だからこそ、再開後のステージングは、メンバー全員が、観客1人1人に気持ちを返すように演奏していたのだと思う。彼らにとっては完全燃焼とはならなかったかもしれないが、見ているこちらとしては、完璧に見せるライヴよりも、心に残るものがあった。それに、ラストに演奏された「STAY GOLD」での観客の表情を見れば一目瞭然、このツアーファイナルは充実していたものだということが痛いぐらいに感じられた。それを見て、このファンのためにも、近い将来必ず、九段会館から目と鼻の先にある会場で、ワンマンライヴをやってもらいたいと、心から思ったのだった。

蝴蝶网
hudie.com

9GOATS BLACK OUT

and , after【the Orphee】



5月7日、渋谷CLUB QUATTROには濃密な空間が広がっていた。9GOATS BLACK OUTが行なったワンマン・ライヴ【the Orphee】は、悲劇を物語りながら、熱いライヴ空間を作り出した。バンドとしてひとつの大きな節目を迎えた彼らだが、その日を境に休眠という名の活動休止に入っている。あのステージで彼らは何を感じ、そしてなぜ休眠するのか。メンバーに話を訊いた。

Photography:REIKO ARAKAWA(ZOISITE/5.7@CLUB QUATTRO)
Interview:MIYUKI MURAYAMA

今は、全てを信じられる。

――5月7日のクアトロでのワンマン、振り返ってみていかがでした？

hati：いいライヴだったと思います。関係者の方とか友からも良かったという声を聞いて、やろうとしたことは出来たかなとちょっと感じました。

ryo：反省はあるんですけど、内容を見た時に、無駄なものがなく、いい形で出来たなっていう実感はあります。

uta：みなさんが口々に素晴らしかったよって言ってくれたんで、よかったなと。その言葉に救われました。いいライヴだったんですけど、プレイ面に気になるところはあったんで…。

hati：常にあるよね。でも、見てくれる人には、実はそんなところは気にならなくて、もっと別のところを見てると思うんで。

――お客さんも盛り上がってましたね。

hati：ビックリするぐらい声も大きかったし。東京なのに。

――東京なのに、とは？

ryo：東京のお客さんは、今まではわりとじっと観てくれる人が多かったんですよ。でもあの日は全然違いましたね。初めからワーッと来てくれて。

uta：お客さんって言うか、もうメンバーですね。3年前はこういう形は全く見えてなかったし、応援してくれるみんなのおかげでこういう結果になったと思います。

――ライヴ中は、どんな感覚でいたんですか？

uta：最初の3曲でテンポの速い曲をやったんで、テンションが一気に上がりました。個人的にはその3曲以降は全然違いましたね。そこから仕切り直しだ、聴かせるぞってなりましたね。

hati：同じ感じです。始めの3曲が終わって、そこでSEを挟んでMCが入ってるんですけど、その後の「belzbuth」がすごい遅く感じちゃって。もうちょっと落ち着かなきゃって(苦笑)。

――ryoさんは歌うにあたって、どんな意識で臨みました？

ryo：僕の個人的な解釈ですけど、通常のロックバンドのライヴを踏襲してるんだけど、その現場にいた人には一連の劇を見てるような感覚を味わってもらえ

この日は特に。なので、曲がこういう並びになった時に、ひとつのストーリーが透けて見えるような演出を考えてセットリストを組んでたし、自分が主役のオルフェウスになったつもりで歌ってましたね。ストーリーをしっかり提示しようっていう気持ちだったので、入り込んで歌ってた感じがあります。

――でも、MCでは自然と話していましたよね。

ryo：ツアーを廻った時に、自分の中でちょっとずつ変化があって、その時に思ったことを、思った感情で喋るようになったんですね。そういうMCをしても、曲をしっかり提示したら、お客さんがスッと入ってくれる手応えがあったんで。

――さらにMCでは、ライヴについての説明的なお話もありました。

ryo：あとは各自解釈よろしく、っていう投げっぱなしの締め括り方じゃないほうがいいなって思ったし、"Heaven to HELL"というひとつテーマの区切りをしますって言ってたので、ここで発信側の解釈の仕方をある程度提示したほうがより楽しめるだろうなって思ったので。あとは、アルバムの『TANATOS』に対するテーマと、あのライヴのテーマとで二つ込めてるものがあるということもちゃんと言葉にして伝えたほうが、より味わえるかなっていう風に思ったんです。

――"Heaven to HELL"というテーマを一区切りして、何か変化を感じるところはありますか。

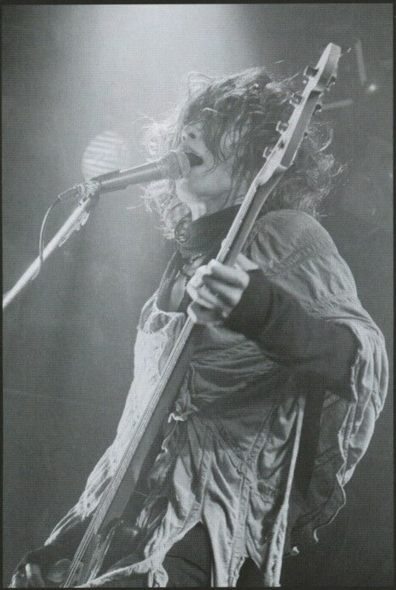
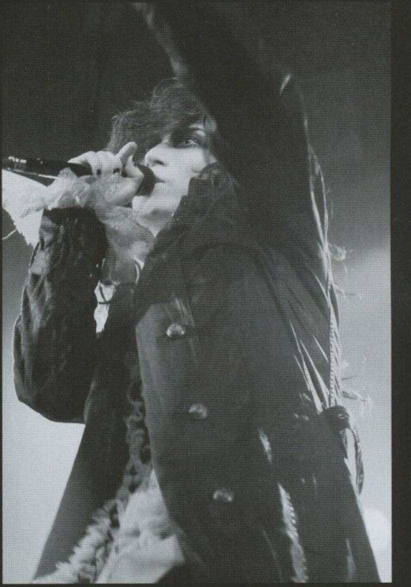
ryo：『TANATOS』を作る前と後では、ものを創ることのジャッジポイントが全然違いますね。前はやみくもにいいものを作ろうとして、漠然としたクオリティとかを求めてたんですけど、今は本質そのものをどうやったら出せるんだろうというところに目が向いてるし。MCもそうですけど、詞や言葉を書く時に、より自分に素直になったし、明確に変わりましたね。自分でもビックリです。

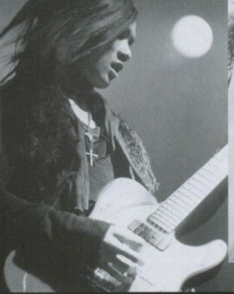
――それをライヴ中に感じました？

ryo：信じられるようになりました。

――何を？

ryo：全てを。例えば、演奏のミスがあったり、予定外のことが起こって動揺



顔をじっと見ちゃうと恥ずかしかったり照れたりしてたんです。でも、自信がついたと言うか、それでいいと思えるんです。ボーダーラインが低くなったんじゃなくて、自分の心にゆとりが持てるようになったって言ったらいいのかな。お客さんの満足してる顔は、一緒にいるこの場の全員がひとつの気持ちを共有してるから、俺が目に出来るんだなと思って、そのことに誇りが持てるようになったから、ライヴで自然に笑えるようになりましたね、嬉しくて。昔は、ステージで笑って、ありがとう！とか、リップサービスみたいで嫌いだったんですけど、今は素直に嬉しい、ありがとうって。本当にそう思えるし、言えますね。

――さて、このライヴを機会に活動を一度止め、休眠する理由を教えて下さい。

hati：去年も、制作期間に入りますって言って、ちょっとライヴとかしなくなったじゃないですか。そんな感じもありますね。次のステップに進むための充電期間じゃないですけど、そこに行き着くまでにちょっと時間が欲しいなっていう感じですかね。

ryo：『TANATOS』で歌ったことや、このテーマで提示して来たものは、軽々しく言えることじゃなかったんで、すごく精神力を使ったんですね。だから、この後にワンマンを何本もやったりすると、ちょっと疲弊するなって。一発のライヴでそれを提示して、一度幕を下ろして、活動の区切りとしてしばらく休みますっていう気持ちもありました。

――休むことが必要だと。

uta：発表には休眠って言葉を使ってるんですけど、僕たちからしたら、修行なんで。

――休んでいるわけではないと。

uta：だから、全く違う意味なんです。僕もいろんな曲を書いて、違う路線のジャンルを勉強したりしたいんで。

ryo：この3人でやろうって決めた時から、自分たちが満足できるやり方を第一に考えようって言ってたんです。だから今ここで、表立った活動を一回止めて、いろんなものを吸収して、じっくりそれに集中する期間を取ったほうが、よりステップアップ出来るだろうから、それが半年になるか1年になるか…ど、予定は全く決めずにおこうと。次にまた新しいところにポンと飛び立つために、助走をしっかり取ったほうが、このバンドにとっては有利だって。

hati：初心に一度還って、いろいろ見つめ直したいと思います。

――音楽的な意味でチャレンジしたいことしては、どんなことを考えてます？

uta：ありすぎて、どこから手をつけたらいいか。いろんな音楽に対して興味がすごくあるんで。すごくポップなものから、あまり得意ではない重い曲から、クラシックからジャズから、いろんなものに関われたらなと思ってます。

hati：一度他のジャンルをゆっくり研究したり消化して、それを9GOATS BLACK OUTに持って来た時に、〝らしいね〟って、そういう感じが出せたらいいですね。

ryo：掲げたテーマとかが巨大になりすぎて、テーマに押されて、音楽の本質をちょっと変に限定したところもあるんじゃないかって想いもあるんですよ。僕たちの音楽は、聴き手とかやってる側の〝人間の心〟がいかに動くかがメインテーマなので、目的がそこにある限り、例えばスポーツをして体力が上がったんで作る曲がカッコよくなりました、ということでも全然ありだと思うんです。今までとやってることが全然一緒だったとしても、中身が本当に生まれ変わっていれば、俺はそれもありだと思ってますね。

――再開する時期というのは、今のところは全く決めていないんですね。

ryo：あんまり何もないですって言うと刺激がなさすぎるんで、出来るだけ早く…2010年中には何かしらのアクションが出来れば、よりいいなと思ってます。単純にライヴをやりたいから動きます、ということでもありだと思うし。

――それを待っていてほしい

ryo：もし仮にお客さんとか読者の人で、解散に近い活動休止なんじゃないの？っていう見方をする人がいるんであれば、ないです、大丈夫です！

hati：全然ないです！（笑）

ryo：間違いなく戻って来ますんで、その時を楽しみしていてほしいですね。

蝴蝶网
hudie.com

ヶ月連続、怒濤のシングル・リリース!!

初のワンマン・ツアーを、より意味のあるものにしたかった

**初の全国ワンマン・ツアー“BLITZKRIEG”に合わせて、
3ヶ月連続での怒濤のシングル・リリースを行なうDELUHI。
今号では、6月16日リリースの第1弾『Frontier』と、
14日リリースの第2弾『The farthest』に焦点を当ててのインタビューを敢行。
本誌が出る頃にはすでにスタートしている全国ツアー、
シングルを聴いたらぜひ駆けつけてほしい！
なお次号では、8月4日リリースの第3弾作
『Departure』についてインタビュー予定!!**

Interview:TAKAYUKI MURAKAMI

DELUHI

――6月から3ヶ月連続のシングル・リリースが決定になりました。

Leda：3ヶ月連続リリースは、6月から始まる“BLITZKRIEG”という全国ツアーに連動させたいという想いが元になっています。バンドはツアーに出てしまうと、活動が止まっているように見えるじゃないですか。露出もなくなるので。でも、毎月シングルが出れば動いていることを感じてもらえるし、音源を聴いてライヴを観たいと思えばワンマンを観に来てもらえるから、DELUHI初のワンマン・ツアーを、より意味のあるものに出来るんじゃないかなと思ったんです。

――新しいアプローチですね。シングル3曲に共通したテーマはありますか？

Leda：あります。1月の渋谷O-EASTでのワンマンが終わった後、DELUHIとして新たなステップに進みたいと思うようになって。そこに向かうべく作ったシングルなので、一歩進む時に感じる希望や葛藤といった感情を、3曲それぞれに反映させました。

――6月16日にリリースされる「Frontier」は、緊迫感と爽快感を融合させたハード・チューンです。

Leda：「Frontier」は、DELUHIの王道になっている、速いリフがあって、サビはキャッチーかつ煌びやか、というスタイルの最新版を目指しました。第[illegible]弾ということで、歌詞では“ぬるま湯[illegible]ような現状に満足したり、ツラい状況に負けそうになっても、そこを打破していけ！”ということを歌っています。

Juri：「Frontier」は、“一歩踏み[illegible]そう”というテーマにふさわしい、雄大な曲で。特に、サビ・パートは開放感がありますよね。なのでサビは、大きな景色をバッ！と見渡すような気持ちで歌いました。アグレッシヴなパートは、遊び感覚でいろいろ試しました。まず高いシャウトでやってみて、次に低いシャウトを試してみたりとか。曲中の場面転換に合わせて違った表情を出すことが出来て満足しています。

Leda：ギターで重視したのは、楽曲のスケール感を殺さないことと、感情面です。僕は、曲中のセクションによっ

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网 hudie.com

ソロは、いつもどおり起承転結を意識して作っていったんですけど、出来るだけコッテリしないように注意しました（笑）。ギターにあまり興味がない人にも楽しんでもらえれば…と思っています。

Sujk：この曲のドラムはシビれました（笑）。とにかく足数（バスドラを鳴らす数）が多くて、しかも速いので。イントロのリフと、ユニゾンのキックは結構頑張りました（笑）。もう、脚がおかしくなるくらい練習しましたね。ギター・ソロのバックの3連も大変だったし。この曲は、今回の中ではいちばん練習する時間があって助かりました。デモを渡されて、すぐにレコーディングじゃなくて良かったです（笑）。

Aggy：ソロのバックの3連は、ベースも大変でした。速い上に、弦飛びフレーズなんですよ。この曲は、テンポが200（BPM）なんですね。まずは、200に合わせて自分が弾き慣れてる3連フレーズを弾いて、テンポ感を身体に馴染ませて。それから、あのフレーズの練習に取りかかりました。あと、アウトロでベースはフレーズを動かしているんですけど、そこはこだわって、納得がいくまでフレーズを練り込みました。

――Aggyさんは、見せるベーシストでいながらテクニカルなプレイもこなすことが特徴になっていますね。

Aggy：元々は、全くテクニック指向ではなかったんですけど（笑）、DELUHIのベーシストである以上、テクニックは磨かざるを得ないので。でも、それが精神的な重圧にはなっていませんね。最近は、〝練習も遊び〟という解釈で取り組んでいるんです。ベースも楽器じゃなくて、オモチャみたいな感覚というか。そういう感覚でやっているので、ストレスは全く溜まりません。

――さすがです。7月14日にリリースされる第二弾の「The farthest」は、激しい場面転換を活かしたナンバー。

Leda：この曲は、北海道でギター・セミナーをしている時に、そろそろ曲を作らないとな…と思って、一人で小樽へ行って、小樽の景色を見ながら作った曲です（笑）。最初に、ヘヴィな8分の6というところから、他のパートをイメージしていったんですけど、頭の中で鳴ってるものと、実際に再現した時のギャップが大きくて。違和感をなくすために二転三転しましたね。本来なら15分くらいないと表現できないものを、巧くコンパクトにまとめられた自信はあります。

――確かに。歌詞は、前向きな「Frontier」から一転して、苦悩や挫折感に襲われて希望の光が一切見えない…という心情を描いていますね。

Leda：僕が、毎日そういう感じなんです（苦笑）。〝farthest〟は〝最果て〟という意味で、楽曲的にも、気持ち的にも自分の中の最果てを表現しました。一歩踏み出したいけど、想いだけでは、どうにもならないことがある…というようなことを言っています。

Juri：この曲は、ビート・チェンジも場面転換も激しくて。最初に聴いた時は、〝何だ、これ？〟と思いました（笑）。その後、メロを聴いて、上がってきた歌詞を見て、〝あぁ、なるほどな〟と。その後、どういう風に歌うかを考えたんですけど、一人で暗闇を彷徨っている主人公の気持ちの変化を、ビート・チェンジで表現していると解釈して。そういうイメージで歌いました。

Sujk：この曲は、もう本当に大変でした（笑）。すごくテンポが速いし、リズム・チェンジも激しくて。テンポ203のブラスト（超高速で炸裂するビート・パターン）でずっと行って、テンポ165の4分の4拍子になって、その後8分の6拍子になるんですよ。その変化は、身体に染み込ませるしかないので、何回も練習しました。録りの時に意識したのは、ヴォーカルです。ヴォーカルの起伏を支えるドラムということを意識して叩きました。

Aggy：さっき言ったように、テクニカルなプレイだったり、クリックに合わせて弾くことを楽しめるようになったところで、リズム・チェンジという課題が出てきて、〝うーん…〟と思いました（笑）。でも、やっていくうちに、だんだん馴染んできましたね。その上で、この曲ではリズムに専念して歌とギターを支える役

がりも本当に気に入っています。

Leda：この曲は、Bメロでギターをたくさん重ねてて、四重奏のギター・オーケストレーションになっています。あとは、ソロで思いきりギターを泣かせているので、そこを楽しんでほしいですね。ビブラートを変えたいと思っていたんですけど、それを今回のシングルで開花させることが出来た感じがあって。音程変化が大きくて、波が速いビブラートを使っています。そういうビブラートを掛けることで、ヒステリックな感情を表現したかったんです。

――3ヶ月連続シングルでは、時間がない中で、それぞれが新しいことに挑戦しているんですね。もうすぐ始まるワンマン・ツアー〝BLITZRIEG〟も楽しみです。

Juri：DELUHI初のワンマン・ツアーということで、メンバー全員気合いが入ってて、今のDELUHIの勢いを十分に感じてもらえると思います。熱いライヴになるのは間違いないので、楽しみにしててください。

Sujk：このツアーを通して、バンドのスキルアップを図っていきたいですね。それに、初めてDELUHIに接する人も多いと思うので、初めてライヴに来てくれた人に、一瞬でも衝撃を与えられるように頑張ります。

Aggy：ツアーは、すごく楽しみですね。会場にいる人は、全員DELUHIを観に来てるわけじゃないですか。それだけで俺はテンションが上がるので（笑）、そういう感情を素直にパフォーマンスなり演奏なりで表現したいです。派手に行って、全ヶ所でDELUHIの真髄を見せたいと思っています。

Leda：俺の中には、DELUHIのライヴを観た人に影響を与えたい…というのがあって。DELUHIの楽曲だったり、メッセージだったり、バイタリティだったりに触れることで、自分に自信を持ったり、新しい自分を見つけたりしてもらえると嬉しいですね。もう一つは、ツアーだからといって同じようなライヴを繰り返すんじゃなくて。その日、その瞬間にしか生まれないドラマをたくさん作れたらいいなと思っています。

spiv states

まさにボーダレス。掟なき世界をあの二人が渡りだす

ex.PhantasmagoriaのJUNとIORIによる新バンドspiv states、略してスピステが、本誌初登場。
発売中のCD『NOVELTY HUNTER』では、彼らならではのユーモアとポップセンス溢れるロックを聴かせている彼ら。
今後は、8月25日にニューシングル『フレーバー』のリリース、8月29日には下北沢ERAで初ワンマンと、
ここから活動を加速させて行く。まずはその音に触れて、新しい発見をしてみてほしい。

Interview:MIYUKI MURAYAMA

蝴蝶网
hudie.com

めてたんですか。
JUN：ファンタスマゴリアが終わってから、一回白紙にしましたね。いろいろ誘ってもらったところに行って、スタジオとかも入って、違うなって思って、IORIとやろうかなって感じでしたね。それまでもずっと一緒やってたんで、その流れでした。
IORI：俺は、別にそんな言うほど決めてなかったんですけど。やっぱりやるならJUNかなって思って。
JUN：それからメンバーを探したんです。5人編成でやろうと思ってたし、実際にメンバーも揃ったんですけど、どうしても気分が乗らなかったんで、一回やめたんです。
――それで今の形になったんですか。
JUN：メンバーが揃ってたときに、歌も入れて準備してたんですけど、ある日、僕が歌ってみたんですよ。いいとは言わないんですけど、ハマってる気がして。自己満足っていう気もしたし、こっちのほうがカッコいいとも思うし、それでIORIに相談しようと思って。IORIに言ったときに、こいつ何言ってんの？っていう反応がちょっとでもあったら、やめようと思ったんですよ。でも、話したら、すんなりそっちのほうがカッコええんちゃうって言ってくれたんで、腹くくりましたね。
IORI：曲自体のイメージ的なものが合ってるように感じたから、そこはいいんじゃないですかって感じで。
――二人でするの決めるのは、一大決心じゃなかったです？
JUN：そうですね。ずっとやってきた仲だからできたと思います。
IORI：メンバーも探してたけど、音楽をするっていうまでにいろいろ問題が多くて。相性の部分とか、意見が合わなかったりとか。音楽をするっていうところに行き着くまでにゴタゴタしてたら絶対よくないと思ったし、どうしようかなと思ってたときに、JUNから歌を聴かされて、じゃあ二人でいいんじゃない、って。
JUN：多くても少なくても、面白ければっていう考えに変わりましたね。
――spiv statesというバンド名はどういうところからつけたんですか。

いい、上手いこと世渡りする悪い奴みたいな意味があるみたいで。辞書とかには載ってないんですけど。それは見たことな[illegible]たし、覚えずらいからいいと思って（笑）。statesっていうのは、国とか政治っぽい感じがあったんで、ガ[illegible]です。絶対一回で覚え[illegible]じぶんでよくわかってるんで、略してスピステです。
――コンセプト的なものとしては、どういうものを考えてるんですか。
JUN：土台をロックにして、出来る限り何でも取り込みたいなって。それをまとめ[illegible]はきっとついて来てるはずだから、逆に[illegible]としてのコンセプトは要らない[illegible]思ってて。イメージと自分達自身から音楽を作れればいいかなって。
――ロックと言っても、これまでのギターとはずいぶん変わってますよね。
IORI：全然違いますね。必死ですもん、弾くのに。前に増してものすごいギター詰め込んであるから、いろいろ弾かないといけないし、単純に難しいですね。ギター同士でやってるし、彼は歌も歌ってギターも弾くし、俺はポジションも変わって、前よりもっと弾かなあかんし。全く別もんですよね。だから面白いんですけど。
――同期で出してたところも、ギターでいろんな音を入れるみたいな。
JUN：シンセサイザーって、僕的には様式美的なイメージがあるんですけど、ギターって無限なイメージがあるんです。だから出来るだけギターでやるのが楽しいし、イメージが固定されないのかなって。あんなに使ってたシンセサイザーは笑えるぐらい使ってないです。
IORI：それもありますし、ギター持ちながら彼は歌ってるから、その分重要になるところを自分が弾かないといけないんで。
JUN：でも、ギターのパーセンテージを下げるつもりはないんで、かなり大変ですね。結構弾いてますからね。けど、歌も集中しないといけないですし。右手で三角書いて、左手で丸書けみたいな感じですよ（笑）。そこは鍛錬ですね。
――初ライヴから半年ぐらい経ってますが、だんだん慣れて来ました？
IORI：日に日に彼が歌えるようになって来てるのは、横で見ててわかりますね。バンドとしてはまだまだこれからですけど、積み重ねて来たものはあると思うんで、今が一番面白いかなって感じですね。
――初音源『NOVELTY HUNTER』が既にリリースされてるんですよね。
JUN：これは、本当に自分の中の第一ステップとしてあった曲が集まってます。レコーディングを始めたのが、1年ぐらい前からなんですよ。その時点で歌ってる歌もあるんで、今現在とは変わってるところもあると思います。でも、1年前に録ったからって、今恥ずかしいこともないですし。
――作品からは、全体的にすごく明るいポジティブな印象を受けました。サウンドはロックですけど、すごくポップな感じ。
JUN：人間味が曲にも出ちゃうのかなって。僕は落ち込むときはメチャメチャ落ち込みますけど、ギリギリ前向きな気持ちが勝ったりするし、僕は根本的には前向きでいたいんです。それが絶対曲に出てるやんっていうのがあるんですね。曲が持つイメージとか印象で、聴くと元気になれますとか、そういう方向でやりたいですね。
――IORIさんも自分らしさが出てます？
IORI：俺は曲のイメージに合わせてます。曲がそうさせてる部分があると思いますね。
――CDのジャケットとか写真も、すごいカラフルで派手ですし。
JUN：チカチカしますね。単純に色がいっぱいあったほうが明るいじゃないですか。いろんなイメージを出すために（大沢の）色は使いたいです。
――音楽的な面も含めて、いろんなことがやりたい気持ちは強そうですね。
JUN：自分の引っ掛かったものはやりたいですね。このジャケット（キャラクター）の変な奴は、自分がいいなと思ったガラクタとかを吸収して成り立ってる

た、粘土こねて、うにゃ！って（笑）。
――歌詞カードの文字も？　手書きですよね。
JUN：僕とIORIが書いてますね。サイバーっぽい感じがあるくせに、全然そういうデザインを使わないって。そういうことをやりたいですね。
――遊びの要素がたくさんありますね。
JUN：ガチガチに考えたら、アイデア出て来おへんから。それで、俺達なんでこんなにアイデアないんやろうって寂しくなるんです（苦笑）。
IORI：私生活で見るものとか、それを軽い気持ちで変えたものがポンと出たりするんです。すごい楽な考えで行けるんで、そこは面白いかなって。それが出来るバンドだし、それがスピステのよさだと思います。
――ライヴの雰囲気についても、暴れたりする感じではなく？
IORI：僕の好みから言うと、頭振ったりしたいんです。破壊って言うか、破滅に向かってって言うか。
JUN：破壊って（笑）。
IORI：でも、それは通用しないと。の楽しみ方は、今のスタイルなんかなってすごい思いますね。
JUN：暴れるのは、いつでも出来るんで。でも、音楽を伝えるのは勉強して一生懸命やらないと身に付かないもんやと思うし。今日も暴れたぜって言っても自分達の音楽は伝えられないんで。音楽を土台として出来るようになりたいですね。
――今後、2人で目指すアーティスト像みたいなのは？
JUN：このスタイルを残した上で、もっと何でも出来るようになりたいですね。視野をとことん広げたいし、そうなるとポップスになりますよね。もっと大きく行きたいんです。最終的にはいろんな音楽を楽しんでる人のところに音が届いてほしいです。
IORI：何か固く考えてた部分が正直あったんですけど、もっとラフにカッコよく、単純にそこを追求して行きたいです。もっといろんな人の意見を取り入れて、いろんなことが出来れば。それが思いっきりできるバンドだと思うし、何でもありなんですよ。

蝴蝶网 hudie.com

摩天楼オペラ

【Birth of GENESIS】2010.5.6 SHIBUYA C.C.Lemon Hall

特別な日、そして新たなる決意の一夜

摩天楼オペラが、渋谷C.C.Lemonホール公演【Birth of GENESIS】を行なった。激しいだけでなく、ホールという会場を生かしたバラードなども存分に披露。摩天楼オペラが持つバンドの特性と強みを十分に見せつけた夜となった。そしてこの日、彼らはメジャー・デビューも発表。彼らの目には、一歩も二歩も先の未来が見えているに違いない——

Photography:TAKAAKI HENMI　Report:KYOSUKE TSUCHIYA

彩雨(Key)

悠(Dr)

苑(Vo)

摩天楼オペラが渋谷C.C.Lemonホール（東京・渋谷公会堂）のステージに立つ意味とは何だったのか。初ワンマンを赤坂ブリッツ（2009年7月）で行なった事実にも驚かされたが、バンドにとっては、そのパフォーマンスの最中に告知された今回の公演が、次なる大きな到達点として設定されていたのは間違いなかった。

ところで、〝ヴィジュアル系〟という名称が、音楽そのものを表す言葉ではないことは、本誌読者なら十分に承知しているはずだ。現にトータルな意味での外見面への意識という共通要素はありつつも、このシーンには様々なスタイルのバンドが存在する。音楽的にはどんなものでも取り込める自由さがあるわけだ。

その多様な形態の中でも、いくつか傾向は見えてくる。例えばKORN、スリップノット、リンプ・ビズキットといった名前ぐらいは誰しも聴いたことがあるだろうが、90年代から00年代にかけては、アメリカ発のオルタナティヴなヘヴィ・ロック勢が世界を席巻していった。国内でもその影響下にあるバンドが増加し、ヴィジュアル系界隈をも刺激。[illegible]先達からの影響を受け継ぐような形で、その潮流は脈々と続いている。

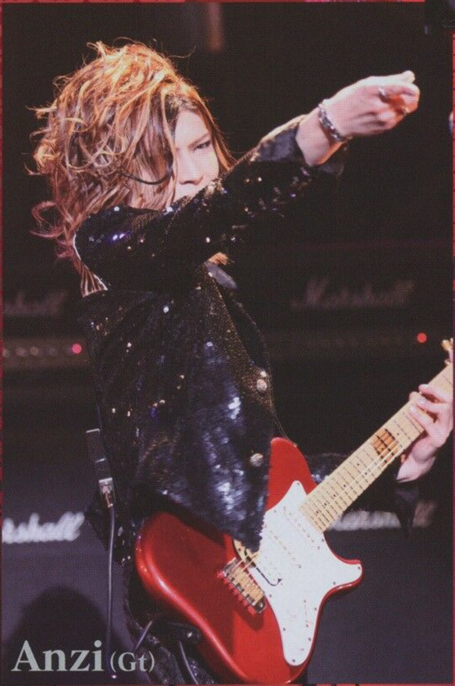
ヘヴィなサウンドという巨視的な観点で言えば、摩天楼オペラもそ[illegible]にみなされるかもしれない。しかし実は彼らの音楽性を辿っていくと、[illegible]北米の趨勢とは対極に位置してい[illegible]州のヘヴィ・メタル・ムーヴメントが[illegible]あるそのルーツが摩天楼オペラの[illegible]立たせている点は認識しておくべきであり、彼らは周囲とは明らかに異なる在り方を選択しつつ、来るべき大舞台へと着実に歩みを進めてきた。

実際のライヴに話を戻そう。幕開けはギターのストロークからゆったりと始まった「GENESIS」。オーディエンスは拍手喝采というよりも、ステージを凝視して、じっくりと耳を傾けているが、それもそのはず、この日の午後に会場近くのタワーレコード限定で販売されたシングルに収録された新曲だったからだ。こんな演出も彼らにとっては日常事である。

その後はお馴染みのマテリアルを矢継

蝴蝶网 hudie.com

【set list】
1.GENESIS
2.Murder Scope
3.電脳パラノイア
4.ローンデイジー
5.Sexual Entrapment
6.R
7.輝ける世界
8.蜃気楼
9.天上への架け橋を
10.Utopia
11.Last Game
12.悲哀とメランコリー
13.EVE
14.Faust
15.ANOMIE
16.alkaloid showcase
<encore Ⅰ>
17.瑠璃色で描く虹
18.Eternal Symphony
<encore Ⅱ>
19.honey drop
20.COCOON



Anzi(Gt)

燿(Ba)

り上がりを見せている。ここまではいい意味で普段と変わらない、手慣れた進行だったが、高いポテンシャルを特[illegible]感じさせたのは中盤の展開だった。

"今日は椅子のあるホールだから、次にやる2曲は座って聴いてもらおうかと"

まず配された「天上への架け橋を」に歓声が起こる。苑はピアノの旋律をバックに歌い始めたが、バラードをきちんと聴かせられるバンドは決して多くはない。勢いだけでは成立しない、本格的な演奏力と構成力が求められるから[illegible]ングに向けて叙情的な世界観を作り上げていった様は、この日の見どころの一つだった。そして、さらに劇的なインストゥルメンタル「Utopia」へ。Anzi[illegible]が奏でる印象的なリフレイン[illegible]が各々に浸透していく。こういった類いの楽曲をレパートリーに持てるのも、摩天楼オペラならではの強みである。

一転して後半は疾走感のあるマテリアルを連続させる進行。初めてのホール公演に対する緊張感もほぐれてきた5人の動きもスムーズであり、上昇機運の中にあるバンド特有のアクティヴな光景が堂々と繰り広げられていく。無論、これが彼らの完成形とは言わないまでも、そこには明らかな成長が見えていた。80分超の本編があっという間に感じられたのは、充実した内容の証でもある。

アンコールの際には苑から"今年の秋にメジャー・デビューします"という重大発表もなされた。序盤に"今日は特別な日になる"といったMCもあったが、そこに隠されていた真意はこの一件だったのだろう。直後に演奏された最後の「COCOON」は、自身のファンを思って書かれた楽曲であり、もちろん、このタイミングで共に歌うこともはっきりと想定されていた。ここは常に一歩も二歩も先を見ながら、日々の活動に取り組んできた成果と言える場面であり、本公演に冠されたタイトルでもある【Birth of GENESIS】という謎めいた一節に、改めて合点のいく瞬間でもあった。"このままの音楽性でメジャーで勝負する"という力強い宣言は、確固たる意思があることの裏返しである。彼らが掴む未知なる"成功"を見届けたい。

蝴蝶网
hudie.com

jealkb

新たなる集合体によるもう一つのカタチ。
夏先取り、最新シングル『super special summer』リリース！！

若いうちは、皆ヤリまくった方がいいですって!!

せっかく四季がはっきりとした国に生まれたからには、その季節ごとの楽しみを謳歌するのは素敵なことだ。梅雨明け目前の6月30日、新体制となったjealkbが発表するのは、『super special summer』という正真正銘のサマーチューン。ギラつく太陽のもと、水飛沫を浴びながら、時には自由に思いっきりハジけてみるのもきっと悪くない。夏は間違いなく、楽しんだもの勝ちだ。

Interview:YUKI SUGIE

――前回のシングル『makemagic』でjealkbは音的に大胆な変化をみせていましたけれど、今回の『super special summer』もまた、かなりハジけた内容に仕上がりましたね！

haderu：そこは今回、前よりさらに思い切ってみたんです。ヴィジュアル系でありながら、思い切ってあそこまでチャレンジした『makemagic』を出したからには、ここでもう一歩さらに踏み込んじゃいたかったんですよ。曲の中にはhidekiのラップも出て来たりするし、そこも新しいアプローチですね。

――この『super special summer』は、現体制になって初のアイテムともなるわけですが、そういった背景が作品に何らかの影響を及ぼした点も？

haderu：やっぱり、5人になって初の音源ですからね。人数が減ってパワーダウンした、みたいには絶対思われたくないっていうのがありました。

――あぁ、なるほど。

haderu：hidekiには、今回ラップっていう新しい役割を持ってもらうことで、メンバーそれぞれのポジションをよりハッキリさせて、〝この5人で作ってるCDなんだ〟っていうところを明確にしたかったんです。

――この『super special summer』はポップで楽しい曲ですが、その裏には確固たる決意も隠されていたのですね。

ediee：そうなんです。ここから5人でやってくぞ！っていう強い気持ちで、レコーディングもして行きました。

――では、作っていく際に雰囲気の面で重視したのはどんなことでしたか。

dunch：最初にデモを聴いた段階では、前の『makemagic』以上に派手な曲だったし、今までの僕らにはちょっと無かったタイプの曲だったから、正直言うとそこは不安もあったんですね。でも、やってくうちにノリも良いし、テンポ的にも気持ち良くて、弾いてて心から楽しくなれる曲になったんですよ。多分、そうやってちゃんと楽しむっていうことが、この曲をやってく上では一番大事なんじゃないかと思います。

e-sa：なにしろ、タイトル通り夏の曲ですから。せっかくだし派手に行こう！って思ってたんです。イメージ的には太陽・ビーチ・ビキニ！みたいな（笑）

――開放的で楽しげな空気感が、音を介して聴き手にも伝わって来ていますよ。

hideki：いや、でも楽しいだけじゃ無かったですよ。僕の場合、こういう曲の中でいかにヴァイオリンの存在感を出すか、というのがも大変で大変で…

haderu：だから、そんな音なんて何処にも入ってねーじゃねぇか（苦笑）

hideki：…えー。でも僕、メンバーが減った分、3倍練習して準備してたんですけど（笑）。ただ、今回は新たにラップという役割を頂けることになったんで、それがほんっと嬉しかったです。

――それにしても、いきなりラップとなると大体の感覚をつかむまでは、いろいろと難しかったのではありません??

haderu：そりゃあもう、最初はヒドいもんでしたよ～。

hideki：でも僕、メチャクチャ必死でしたよ。スタジオ行く電車の中でも、音を聴きながらずっとブツブツ練習してたんで、多分あのとき周りにいた人たちには相当〝コイツ、やばい〟って思われてたハズです（苦笑）。それに、そのくらい集中してやっても最初は全然ダメだったんですよ。

haderu：3回くらい録り直した時点では、ラップ部分はザックリ削っちゃうっていう選択肢も考えたくらいでしたもん。でも、そんな周りの思惑も露知らず一生懸命ブースの中で頑張ってる姿を見てたら（笑）、〝もうちょっと時間かけてみるか〟っていう気持ちになったし、実際やればやるほど良くなってってたよね。しかも、何とかその日のうちにモノにはしてくれたんで、無事こういうかたちで出せることになったわけです。

――ところで、この曲は先ほどもe-saさんがおっしゃっていた通り、まさに夏をテーマとした曲ですよね。パブリックイメージとして、夏とヴィジュアル系の親和性は高くないとされている傾向がある中で、何故ここに来て正面切っての夏歌を作ることにしたのでしょう？

haderu：確かに、ヴィジュアル系やってると日焼けとかも基本はタブーですもんねぇ。だけど、だからってヴィジュアル系のバンドが夏を歌っちゃいけない、っていうことも無いと思うんですよ。俺はそもそも、そういう暗黙の[illegible]？みたいなのってあると分かっ[illegible]崩したくなっちゃう方だし（笑）。この[illegible]ドだったらそのタブーも全然破[illegible]えると思ったから、ちょうど出[illegible]時期だし、今回は夏の曲にしよ[illegible]思いました。

――また、この『super special summer』というタイトルの語呂と、サビの[illegible]の響きが、とにかく非常に小気味[illegible]ですよねぇ。

haderu：これね、サビの[illegible]の歌詞はタイトル表記とはちょ[illegible]違って、♪スパスペシャルサマー♪って歌ってるんですけど、そこが真っ先にお風呂の中で思いついたとこだったんですよ。それが浮かんだ瞬間から、「これは絶対ハマる！」って思ってました（笑）

――ちなみに、この詞の中で描いている海や砂浜は実在の場所だったりします？

haderu：湘南です。昔、10年くらい前はよくナンパしに行ってたんですよ。あ、dunchがですけど。

dunch：えっ、ワシかーい!?っていうか、一緒に行ってたんですよ。

――そういうことでしたか（笑）

haderu：大体いつも、10人くらいでワーッとね。海なのに海にも入らず、延々ナンパしてるっていう。

ediee：いやー、あれはほんと楽しかった～！

haderu：僕らjealkbって、メンバー皆30超えてるバンドなんですけど、そういう意味ではこの曲って若いヤツらに対するメッセージでもあるんですよ。俺たちもこういう時期あったし、オマエらも頑張れよ、と。

――少し前に話題になった草食系男子など、もってのほかだということですね？

haderu：そうそう。若いうちは、皆ヤリまくった方がいいですって！

e-sa：夏は、男も女もちょっとした過ちくらいあってもいいんです（笑）

――では、皆さんには自己責任のもと夏と青春を謳歌して頂くとしましょうか。一方で、今回カップリングとなっている「NOISE」の方は、また別の意味でのメッセージソングになっているようにも感じたのですが、これはどんな背景のもとで生まれたのですか？

蝴蝶网
hudie.com

haderu：これは、自分の中に溜まってたものを吐き出した歌ですね。
hideki：多分、これはメンバー各々が前から思ってたことだと思いますよ。
—外野からの雑音に対して、この歌詞でいうところの"uzee"という思いを皆さん常に抱えていたということですか。
haderu：最初は、曲を聴いて詞を書き出した時に、"uzee"っていう言葉をのせたら響き的に面白いかな、ってところから始まって、じゃあ一番俺がウゼェって思ってるのって何かな？って考えたら、jealkbのことを否定するヤツらだなって事に行き着いたんです。歌詞にも書いてますけど、俺たちに対して陰で"何したいの？"とか"何処目指してんの？"みたいなこと言ってる人って、ほんとにいますから。
—確かに、jealkbは異端なバンドではありますが…それだけ個性的で独創的なバンドだということですよね？
haderu：別に、賛否両論なんかはあっても全然良いんですよ。ただ、直接言って来ないとか、ちゃんと聴いたり観たりしてるわけじゃない、っていうところがウゼェなって思うだけで（笑）
—ここでその思いを吐き出したことで、少しはスッキリしました？
haderu：まだですね。CDが出て、ライヴの場で歌った時に、やっと思いが成仏するんじゃないかと思います。
—今度、7月6日に恵比寿リキッドルームにて行われるライヴ［天乃薔薇ノ川～アノマバラノカワ～］は、そこも含めて充実したものになると良いですね。
ediee：日にち的に七タイヴのライヴってことなんで、僕らが彦星、ジュアラーが織り姫っていう感じの、楽しい逢瀬にしたいです。
hideki：今回の『super special summer』もほんと踊れる曲だし、今度のライヴはラップとダンスに一段と磨きをかけて頑張ります！
elsa：あと、今回は新曲も10曲前後やる予定なんでそれも楽しみにしてて欲しいですね。
dunch：その全てに対して、自信持って臨めるようにしたいです。
haderu：5人になったjealkbの今を、皆にしっかり見せますよ。

蝴蝶网
hudie.com

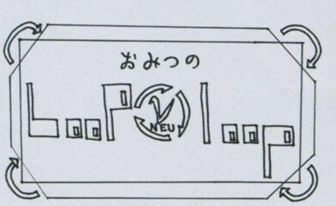
蝴蝶网
hudie...

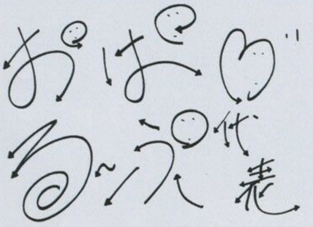
LOOP ASH

SHOXX不定期連載いきなりHOMEWORK!!

お題 "私とLOOP ASH"というタイトルで作文しなさい。

時代のホープとなるのか!?
ループ軍団の決意表明。





みつ([NEU])

νのヴォーカルとして初ライヴは去年の「ループ開き」ツアーでした。状況が状況だったのもあり、相当緊張してたのをハッキリ覚えてます(笑)

あれから1年、フルアルバムやワンマンツアー、今まで経験したことない体験をループアッシュを通じていくつも得ることが出来ました。この1年で俺の人生はがらりと変わりました。

そんな貴重な時間をくれたループアッシュは今年10周年という節目の年です。この夏の「ループ開き」は去年までの自分からどれだけ成長できたかを証明できる良い舞台だと思ってます。νのボーカルとして盛大に10周年を祝う最高のツアーにするので是非遊びに来て下さい!
みつでした☆

未散(LOOP ASH代表)

ショックスをご覧のみな様!ループアッシュ代表の未散(みちる)です。
この度、ループアッシュは7月で10周年を迎えます。ファンの方々、関係者の方々に支えられて今日まで活動を続けることができました。

そして何よりも、ループアッシュに所属しているバンドがいたからこそ、このヴィジュアルシーンで活動できていることがとても誇りです。

所属アーティスト、卒業したアーティスト、スタッフのみんな本当にありがとう!!
10年という月日は、長いようで、あっという間でしたが、楽しい思い出ばかりです。これからもショックスと共に大好きなヴィジュアルシーンをみんなで盛り上げていきたいと思いますので、今後もループアッシュをよろしくお願いいたします。
最後に「おぱ★おぱ★」
2010.6.6

今やシーンの老舗ブランドである未散率いるLOOP ASH。
激流のV系シーンで、いつの時も周りの荒波に惑わされる事なく、
派手な仕掛けではないが、手造りで温もりのあるコンテンツを送り続けている。
そんなLOOP ASH軍団も今年で10周年。今回は軍団を代表して5人のフロントマンに
"私とLOOP ASH"というお題で作文してもらいました。それではお楽しみくださいませ。

蝴蝶网 hudie.com

とわ∞ムゲンダイ

Zip.er

とわ(Zip.er)

初めてのループアッシュとの出会いは未散さんとの出会いからでした。
僕は本当に我儘だし馬鹿だし人見知りだし、でもそんな僕にも本当に優しく接してくれてバンドにも熱く語ってくれたり、この人の下でバンドをやりたいってめっちゃ思いました。ループアッシュには_さん、-OZ-さん、ALiBiさんがいてめちゃくちゃ人見知りの僕にも話し掛けてくれて熱いバンドへの思いやアドバイスをくれる最高の先輩達です。

そして、みんな本当に仲が良くて凄く個性が強くて、本当に楽しい最高の空間です。これからも僕達Zip.erは恥じないように、ライヴは100本あったら100本勝つ、曲もお客さん達が期待してくれる思いを絶対に裏切らない音を届けます。いつもどんな時も自分達が描いてる夢を強く持って絶対に掴み取れるように頑張ります。

今のZip.erがあるのは未散さん、ループアッシュのおかげなので、これから始まる10周年記念「ループ開き」ツアーを全国各地のみんなで一緒になって盛り上げて、楽しんでもらえたらとても幸せです。

LOOP ☆ of ☺ SMILE

ALiBi

カイ(ALiBi)

"チャオ★"

僕とループアッシュの出会いは一本の電話から始まりました☆当時前のバンドの活動休止が決まった時、先輩に誘われ、未散さんに出会ったのがきっかけです☆未散さんと話してみると「この方なら僕の無限の可能性を引き出して下さる」「この事務所なら僕が伝えたい事をより多くの人に伝えられる」と思い、ループアッシュに入りました☆この事務所の良い所はとても所属バンド同士が仲良しで、尚且つ個性的なバンドが多い所にあると思います☆お互いが助け合い共に成長し、時にはライバルとしてお互い刺激を受け合えるこの環境は、凄く素敵な環境だと思います☆これからもお互いバンド同士支え合って、ループアッシュと言う事務所がヴィジュアルシーンのトップに立てるように頑張って行きたいと思います!そんなループアッシュは僕のモットーである「Smile makes everyone happy!!」を世界中に届ける為の可能性を広げてくれる場所だと思ってます☆これからもALiBiのヴォーカリストとして誇りを持って、沢山の人を笑顔で幸せにしたいと思います☆ループアッシュ最高!"アリ★バイバイ★"

ループ★ナッツ

題:-OZ-
Vo. Natsuki

-OZ-

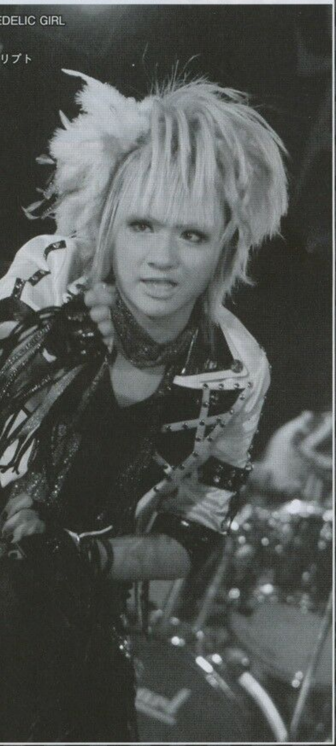
Natsuki(-OZ-)

「ループアッシュのイベントに出演しませんか?」未散さんが誘ってくださったこの言葉が、-OZ-とループアッシュの最初の出会いでした。もともとはショックス編集部の方が未散さんを紹介してくださって、そのお話しをいただいたのです。今のループアッシュでの-OZ-があるのも、そのイベントのお誘いがあったからこそです。それまで自分達で活動してきて、さらにこの先へ進む為に【壁】をちょうど感じていた時期でした。そんな時、ループアッシュにお世話になる様になり、その壁を壊すきっかけをたくさん頂きました。そして自分達のやりたい音楽を自由にやらせてもらえる中で、バンドに対する個人個人の自覚も芽生えました。ループアッシュにとって異色とも言える-OZ-を、気持ち良く迎え入れてくださった事に本当に感謝しています。未散さんに出会ってなかったら、間違いなく今の-OZ-はなかったです。今年はループアッシュ10周年と言う特別な年なので、それを一緒に祝える事を嬉しく思います。未散さんの優しい人柄だからこそ、大切に築いて来た歴史とその重み。それをしっかりと噛み締め、これからも全力で頑張って行きます。最後に、「ループアッシュは第2の我が家です!」追伸:未散さん、また煮込みラーメン食べに行きましょう!!

インティア

EDELIC GIRL

リプト



SHOCK WAVE アポロ Vol.38

hudie.com

Live at 高田馬場AREA 2010.5.18

毎月18日、高田馬場AREAを舞台に開催中の「SHOCK WAVEアポロ」。今月の出演バンドは、セインティア・エザリー・D'LORE・MADE IN GLAD・GLACIER・エルム・BrainStein・SCAPEGOATの計8バンド。その派手やかな共演の模様を、今回もお伝えしよう。

Photography:MASAKAZU KOBAYASHI（SHOXX）
Report:TOMONORI NAGASAWA

ADE IN GLAD

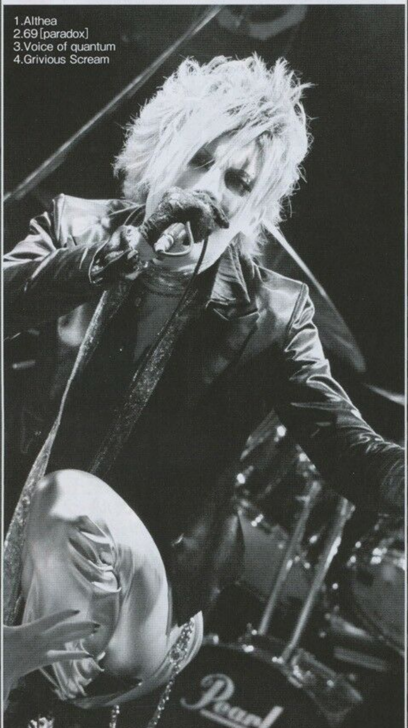
シュ

ー

YOU

D'LORE

1.Althea
2.69［paradox］
3.Voice of quantum
4.Grivious Scream



エザリー

1.日蝕
2.奈落の蛇念
3.サンゼン
4.ジンメツ
5.ワイザツ

触れた瞬間から歌とメロディがスーッと染み込んでゆくキャッチーな楽曲「PSYCHEDELIC」で、会場の空気を温め始めたセインティア。続いて演奏した「Misty」は、ライヴで生きる激しい煽り系の楽曲。でも、“歌心”を軸に据えたドラマチックな展開描く曲調のよう、身体を揺さぶりながらも、心へジーンと想い伝わってゆくところが嬉しい。キラキラ輝き放つ「PRISM」を通した、弾む感情。「激動スクリプト」で作り上げた、狂騒な風景。未完成ゆえに、未来の姿が楽しみな逸材だ。

静寂が生み出す狂気と言えば良いだろうか!? 幻惑的な演奏での幕開け。モノクロな風景の中へ、セピアな色を塗りたくるよう狂喜的な歌声が折り重なってゆく。エザリー、なんて頽廃美な香り漂わせる存在なんだろう。朗々としたアカペラ歌へ導かれるよう、崩落の調べを紡ぎ出した「奈落の蛇念」。乱れゆく感情へ従うように唄いあげた「ワイザツ」など、彼らが音の中へ孕んだのは、人が心の内側に隠し持つ痛い叫び。その痛みに強く惹かれ、何時しかどっぷりと酔い躍っていた。

“声！ 声！ 声！ 声をっ!!”。一体感求めゆく姿提示しながらも、ダウナーメロウな楽曲「Althea」を通し、会場中へねっとりとした空気を注ぎ込んだのがD'LOREだ。同期活かした煽り系スクエアビート歌「69〔paradox〕」では、勢いあふれる演奏で、観客たちを左右にモッシュさせてゆく。エネルギッシュに攻めたてた後半戦でのステージングも含め、爆裂した感情伝えたい意識を持ちつつ。何処かひねくれた姿に転化してしまうのが、彼らの個性と見た。

冒頭、機材トラブルに見舞われながらも、気合いあふれる演奏で、マイナスな要素を跳ね返そうとしてきたMADE IN GLAD。1曲目を飾った歌物作「チェリッシュ」でも、観客たちを左右にモッシュさせながら、短時間で会場内へ熱い空気を作りあげた。一つのマイナス要素を、必至にプラスへ変えようとする姿勢が見られた彼ら。そのマイナス要素を、結果的に見事熱狂へ転化していったのだった。

サディスティックな演奏に乗せた歌謡メロウ作「SADISTIC LOVE」を通し、場内へ、感情昂らせる妖艶な空気を描き出していったGLACIER。昭和の歌謡曲が持っていた心にこびりつく味を、ロックなビートの中へ巧みに昇華してゆく彼ら。画一化されたバンドが多い中、確実に個性あふれる印象を与えていったのは間違いない。泣きの旋律が胸揺さぶる、「星のしるし」。歓喜な想いに包まれた「かなさんバナ」など、ノスタルジックさを抱いた印象的な歌の数々が、ズッと胸に残り続けていった。

楽団の調べに乗せ導かれたのは、夢魔の世界?! スプラッターホラーをベースにしながらも、それをファンタジックな要素満載のもと物語化。「エルム街の悪夢」を通し、僕らは一気に現実を忘れ、リアルな幻想空間の中へ堕ちてゆく。「ネクロサーカス」を通した、ヘドバンの宴。彼らの手にかかれば、観客たちも、今宵の物語を形作る役者の一人になっていくのだ。モンスターたちが遊戯るほどに、観客たちも無邪気な子供へと戻り、踊り戯れてゆく。そう、この時間だけは、舞台上が、見せ物小屋的な遊園地になっていた。

その演奏は、否応なく感情を燃え昂らせてゆく。その歌声からは、耳目放せなくなっていく。Ｂｒａｉｎ Ｓｔｅｉｎの演奏へ触れた瞬間に、感じた想いだ。彼らの魅力は、体感的と言うよりも、感情をズキズキと刺激し、気持ちを熱々と高揚させてゆくところにある。Ｂｒａｉｎ Ｓｔｅｉｎのステージ全体が、終始サビ歌を味わい続けている感覚を与えてくれるのだ。デジタルなグルーヴも折り込みながら、気持ちをトリップさせ続けてゆく5人。あとは、僕らがブッ飛ぶだけだ！

ヘヴィでエクストリームなノリを軸に据えつつ、デス・メロ声＆緩急活かした曲展開を中へ組み込みながら、観客たちを大きな重いウネリの中へ巻き込んでいったのがSCAPEGOATだ。「Aneshesia」の演奏が始まったと同時に、観客たちも一斉に熱狂の舞へ加担していく。「re:play」のように、歌心を持った楽曲を持ちながらも、現状全面に押し出しているのは、熱狂導く激烈な楽曲たち。圧倒圧巻する力があるからこそ、ぜひメロを軸にと、つい願ってしまうのだった。

エルム

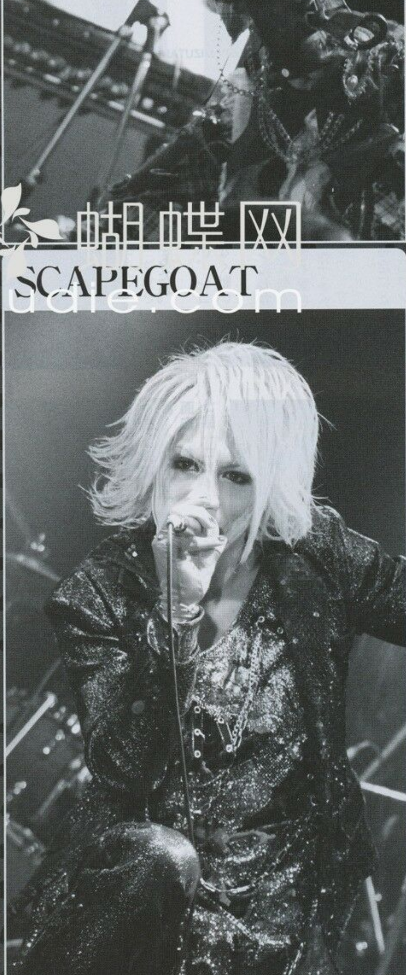
1.エルム街の悪夢
2.ネクロサーカス
3.ブラッディーチョコレートシアター
4.ジャック

GLACIER

1.SAD
2.愛の
3.星の
4.かな

蝴蝶网
hudie.com

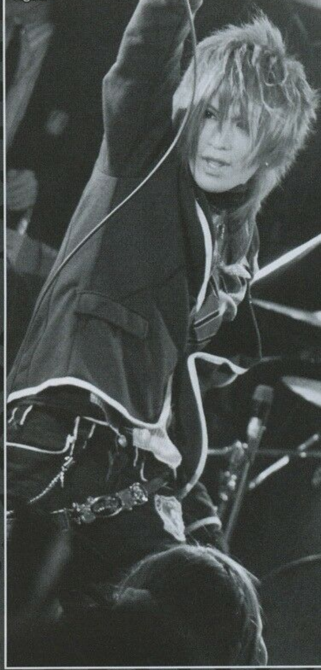
SCAPEGOAT



1.Anesthesia
2.アカイイト
3.re:play
4.parasite galamor
5.サイレン

Brain Stein

1.アイデンティティ
2.Answer for…
3.星の子供達
4.儚さにとどまれば
5.glow



R指定

アリス心中

先日、1stフルアルバム『人間失格』をリリースしたR指定から、早くも新作が届いた。「アリス心中」と名付けられたマキシシングルは、R指定のダークサイドを表した意欲作になっている。8月には、次のシングルのリリースと、Shibuya O-WESTでの単独公演【極東の花嫁】も決まっているだけに、要注目だ！

Interview:ERI MIZUTANI

マモ

蝶网 hudie.com

——新作ができあがりましたね。
一同：はい！
Z：ここ2ヶ月半ぐらい、レコーディングにライヴにと、休みなく動いてきたんですよ（笑）。
——フルアルバムも出しましたしね。そう思うと、上京してからずっと動きっぱなしのような（笑）。それはさて置き、今回のシングルはスムーズに制作できたの？
七星：いや、そこまで楽にってわけではないですね。
——それにしても、R指定にとっては珍しいと思うんだけど、作品コンセプトとヴィジュアル面を統一させるのって。
マモ：いつもと違ったR指定を見せたいなって思ったんですよね。今回、「アリス心中」っていうタイトルの作品なんですけど、言ってしまえば、R指定のダークサイドというか。なので、ヴィジュアル面も今までとは違う感じになっているんです。
——新鮮だよね、こういうテイストも。でも、なぜに「アリス心中」というタイトルを付けたの？
マモ：何ていうか、『不思議の国のアリス』の世界をいじってみたいなと思ったのがきっかけなんです。そこに、R指定らしさを交え、ダークに描いてみて。
——そうやって、作られたものに手を加えるというのは初めてのことだよね。マモさんの描くものって、今までは実体験に基づいたものが多かったわけだし。
マモ：ぁぁ、確かにそうですね。今回の作詞作曲のやり方としては、最初にストーリーを書き出してからっていう風にしてみたんですよね。あと、今までの作品と大きく異なる点というと、俺の曲だけじゃなく、メンバーの曲が入っているということですね。
——ということは、「アリス心中」というのは大きなテーマではあるけれど、他の曲には関係していないということになるよね？
マモ：そうです、そこに重点は置いてません。それはあくまで俺だけの曲であって。で、話は戻るんですけど、俺の曲に関しては、ストーリー先行でやっていったんですね。それでそこに合わせて曲を作っていって。結末を始めに考えたこともあって、切なさの中にも激しさが潜むという、すごくR指定らしいアリスの世界ができあがったのではないかなと思います。
——実に、マモさんらしい発想で。
マモ：直感というか、思い付きでやることが多いのでこうなったんですけど（笑）。
——この曲、悲しい結末を連想させるけど、バンドサウンド全開でくるところが面白いね。
Z：とりあえず、ギター陣はやりやすかったんですよね。今までと同じようにやりたいようにやっていたので。攻めるところは攻めるって形でやっていたからこそ、最初に提示されたマモワールドがそのまま表現できたと思います。
——Zさんとしては、アリスの世界観というのは意識して演奏に臨んだの？
Z：それは、ド頭の鍵盤のところで意識しましたね。あの部分、俺が弾いているんですけど、アリスの世界観を考えたからこそ、すぐできたというか。それぐらいイメージは沸きやすかったです。
楓：イメージで言ったら、自分の中でも結構あったんで、Zさんと同じようにやりやすかったですね。俺としては、そこに疾走感もほしかったので、Aメロ、Bメロ、サビで場面分けをしっかりとしたんです。
七星：俺もこういった曲は得意分野であるので、とても演奏しやすかったです。
宏崇：うん。何か、いつもどおりに演奏した感じではあるんですけど、曲自体がストレートな分、やりやすくはあったし、デモの雰囲気を活かせたと思います。
——ほんと、リード曲って感じの楽曲に仕上ったんじゃないかな。さて、続いての曲は「哀々傘」。これはZさんが作曲を手掛けたとのことだけど。

Z

蝴蝶网
hudie.com

んですよね。この流れいいなって思ってやっていたらサビのメロが一気にできあがって。けど、完全に聴かせる曲にするのは嫌だったので、イントロで変な感じにして、何だこれ!?っていう曲にしてみたんです。そうすることで俺っぽさが出るかなって（笑）。

マモ：そこからイメージを膨らませて歌詞を書いていったんですけど、曲の伝えたい雰囲気はデモの段階から伝わってきましたね。これは絶対、雨の曲だなって。それで、失恋の歌詞を乗せてみたんです。

楓：個人的には、この曲が1番苦戦しましたね。今までにないコード進行っていうのもあるんですけど、やってみると意外と難しくて。もうね、半分、心折れました。

――楓さんはZさんとは違ったアプローチで攻めるギタリストだからね。

楓：ほんと、こんなに苦戦したことなかったです（苦笑）。

Z：なので、俺がまとめつつ仕上げていったって感じですね。

宏崇：でも、大変だったのはギターだけじゃないんですよ。俺も、引きすぎてどうしようって。

――言ってしまえば、アコギ1本でいけてしまう曲だものね、これ。

宏崇：そうなんですよ。だから、引いてしまったんですけど、これじゃマズイなと思って慌てて足していきました（笑）。

Z：唯一、すんなりだったのが七星なんですよね。

七星：曲がこう弾いてくれって言っていたので、俺はそれに従っただけです。

マモ：あはは（笑）。

――逆に、「愛情はストロベリィ」は、Zさんでは絶対に作れない曲というか。楓さんが作ったと聞いて、あぁ、なるほどと（笑）。

楓：これ、単純に、ライヴを意識して作った曲なんです。というか、ライヴしか意識してないですね（笑）。ただ、デモ段階では、この曲を入れていいのかなって思ったんですよ。

――それはなぜ？

楓：他の曲と比べてあまりに違いすぎないかなって。でも、結果的に、マモが歌えばどんな曲調でもR指定になるんだなって感じたし、ここに入れることで、他の曲の良さを引き立てることができたので満足です。

マモ：ただこれ、最初の段階では人間が歌えるようなキーではなかったんですよ。俺にどれだけの高音を出させたいんだっ

楓

七星

宏崇

ど、ライヴが浮かんでくる曲だっただけに、歌詞を面白いものにして、インパクトを持たせたんです。

宏崇：ドラムは、ほぼ、無に近い状態で叩いていきましたね。何も考えてないっていうか。

――それって、ライヴをやっているときと同じ気持ち？

宏崇：かなぁ。あんまりゴチャゴチャしても変かなって。

七星：これは意外と難しいんですよ。わかりやすい曲ではあるんですけど、演奏する側としては、できあがりが想像しにくくて。どういう風に持っていったらいいのかっていうのは悩んだところではあるんですけど、結果、無事にできあがって良かったです（笑）。

――最後の「コールドプレイ」は、七星さんの曲だけど、これはどういった感じでできあがったの？

七星：一発でヴィジュアル系だなって思われる曲は作りたくなくて。それで、自分の好きな感じの歌謡曲の要素を盛り込み作っていった感じなんですけど。

――良い意味で、R指定のイメージを壊してきたよね。

七星：ニューミュージックよりにしまし

宏崇：その割には、できあがるのが早かったんですよ。

――ってことは、前から、こういう曲に挑戦したいなと思っていた？

宏崇：そうですね。俺のやりたいことも盛り込んでいるので、すごくやりやすかったです。

楓：俺は、録りながら考えましたね。

Z：あぁ、それ俺も。全く考えていなかったというわけではないんですけど（笑）、どういう遊びをしていこうかというのは直前で決めていって。

楓：最終的には、考えていたことと全然違うものを弾いたんですけど（笑）、Zさんのフレーズとの兼ね合いを考えてやっていきましたね。

――踊れる1曲になっているだけに、どういう見せ方をしてくれるのかが気になるな。

七星：ミラーボールぐらいはあってほしいかなって？（笑）。

――そうそう、そんな感じ（笑）。まぁ、そこはね、8月30日にウエストで行われる単独公演で期待していますよ。

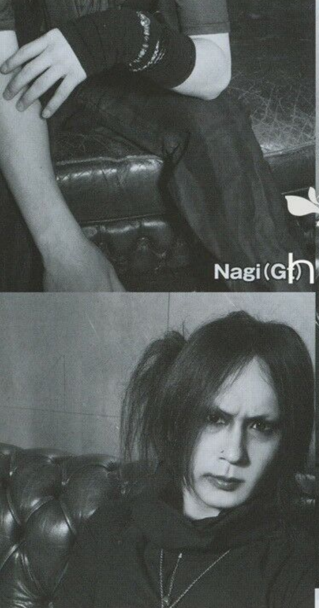
マモ：ここでは、アルバムと「アリス心中」の曲はもちろんのこと、次回にリリースする新曲もやると思います。

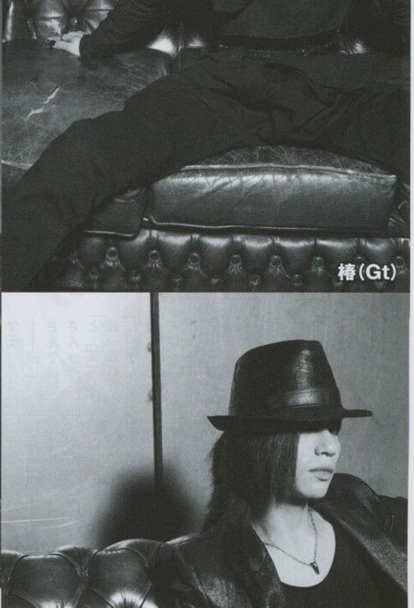
(問) 東京都新宿区高田馬場3-3-8-609　http://r-shitei.net/

Nagi(Gt)

トラ(Vo)

椿(Gt)


MANJ˚(Dr)


拓磨(Ba)

蝴蝶网 hudie.com

Sel'm

今の延長線上の、2歩先を…

約9ヶ月ぶりの音源となるニュー・マキシ『ARROWS』を7月7日にリリースするSel'm（現在は通販限定盤を受付中）。時間をかけて制作に取り組み、特に歌詞に力を入れ、今までよりも一皮剥けた作品を作り上げて来た。初めてのPVも収録し、一歩ずつ着実に新しいことに挑戦している彼らの姿を感じることが出来るだろう。主催イベントを連続で行うなど、積極的に行なっているライヴにも足を運びたい。

SHOXX VOICE!!

Interview:MIYUKI MURAYAMA

ので少し時間が空きましたね。

MANJ：正直に言うと、レコードメーカーのスタッフが関わるようになったことで、シビアになったということです。いい曲じゃなきゃ出せないと。でもそれは理にかなってるんで、納得してやってるんですけど。

――それまではライヴをしながら、曲作りをしていたと。

椿：去年の12月って、選曲会ばかり繰り返しやってたような…。

MANJ：アルバム何枚出来るんだろうっていうぐらい、曲は作ってましたね。

――そこで、今回はどんな曲で行こうということになったんですか。

MANJ：今までウチらがやって来なかったような3曲にしたいと思いましたね。今回、歌詞にすごく力を入れたんです。これだけいっぱいバンドがいて、音楽がいっぱいあって、その中で結果を出している人たちって、やっぱり歌詞がいいからなのかなと思ったんです。それで歌詞に力を入れたようと。楽器陣がレコーディングして、その1ヶ月後に歌入れでした。トラちゃんに1ヶ月間、歌詞を悩んでもらいました。

トラ：自分の哲学みたいなものを詞に込めないと何も伝わらないという話をして。何も書いて、しんどかったですね。

椿：トラが悩んで時間がかかってて、こっちとしても正直もやもやしたものがあったんですけどね。

――それでも、いい歌詞が出来るまで、待とうと。

Nagi：完璧、待ちでした。

MANJ：いい歌詞って言うか、トラちゃんを裸にするって言うか。歌う人がどんな人なのか分からないと話にならないという話をして。じゃあ、トラちゃんがどういう人か、セルムのヴォーカルはどういう人か、まずそこを知ってもらおうと。だから、歌詞を読むとトラちゃんの人間性がすごい分かるし。素直に等身大のトラちゃんを見せるのがコンセプトだったんです。

――自分自身をさらけ出した？

トラ：その言葉に尽きますね。自分がこの詞をどういう想いで書きたいのかと言ったら、さらけ出すことでしかなくて。

MANJ：〝俺って弱いんです〟って言っていいんです。トラっていう人間を出してるから、絶対伝わると思うんです。

――他のメンバーさんから歌詞を見て、トラくんという人間が出てると感じますか。

拓磨：今回がいちばん感じますね。今まで正直、分かんないところもあって、俺は（苦笑）。

トラ：すみません…（苦笑）。

拓磨：難しかったんですよ。だから「ARROWS」の歌詞を見た時に、分かるよ！って。自分的にはやっと理解できた気がします。

――曲調に関しては、今までとどう違うものを意識したんですか。

椿：この曲を出すのはちょっと早いかなと思うような曲を敢えて選びました。今の延長線上の2歩先を見据えたような曲をチョイスした感じです。

MANJ：ミーティングで、いつもと同じ延長線じゃダメだって話はしたよね。

――作曲する時に、その点は意識していたんですか。

MANJ：サビでこのビートはないなとか、ちょっとメタルっぽいとか。ギターをフィーチャーしたいとか、そういうのはありました。自分が聴いても新鮮な方向には持って行きたいと思ってましたね。

――そういう新鮮さは演奏面にもありますか？

Nagi：自然とそうなりますよね。意図的にではなかったですけど。演奏よりも、とにかく良い音で録りたくて。エンジニアさんも替わったりしたんで、今までより上手く出来たと思います。

MANJ：初めてドラムチューナーも入ったんで、プレイに集中できましたね。

――環境の違いはありました？

拓磨：やりやすかったですね。話は変わっちゃうんですけど、今回の3曲で自分の未熟さに、あれ?みたいになって。引き出しの少なさを痛感したシングルになりました。

――いきなり反省モードになってますね。

一同：（苦笑）

拓磨：もっと出来ると思ってたのに…みたいな。特に「False Valentine」で思ってしまって。自分がやろうよってゴリ押しして決まった曲だったんですけど、フレーズとか決める時に、全然思い浮かば

一同：（笑）

――トラくんは、「ARROWS」を歌う時は、歌詞にこだわっただけあって、特別な気持ちもあったんじゃないですか。

トラ：レコーディングの時は、歌詞を頭に入れて、言葉を大切に、書いた時のことを思い出して。それが濃かったのかなと思います。

――さらけ出すと言っても、きちんと言葉とメロディを歌ってますよね。

トラ：言葉ありき、メロディありきですよね。じゃないと、歌をやってる意味がないと思うんで。

MANJ：ヴォーカルのメロディがしっかりあるというのは、絶対ブレないようにしようと思ってて。日本人って精神論で言う人が多いじゃないですか。ロックは気持ちがあればいいんだって。そういうのだけじゃダメだなって思ったんです。歌えて、なおかつ気持ちが入ってて、どっちもあるのがいいと思って。

――確かに。そしてカップリングの「False Valentine」はさらに意外で、新鮮な印象でした。

MANJ：選曲会の日に、もう1曲やっておこうって思って1コーラスだけ作ったんです。仮タイトルが「ダンスロック」だったんですけど、そういう雰囲気が出せたらいいなと。

――ベースのフレーズもすごく気持ちいいリズムを生み出してると思いますが。

拓磨：基盤としては録ったフレーズでよかったんですけど、もっとプラスαが欲しくて。自分が想像してた完成図では出来てたんで、そこが悔しいなって。

――ギターも音色とかフレーズに、今までにない新しさがありますね。

椿：この曲のデモを聴いて、ギターを改造して、こういう曲にも対応できるような音色が出るようにしたんですよ。音に影響されてフレーズも変わって来ることってあるので、そういうのが作用して、今までとは全然音も違うし、フレーズも変わって来たと思いますね。

Nagi：これは、自分なりに遊んでみました。サビ中でメチャメチャ動いたり。

拓磨：あのフレーズはいいと思う。

――歌は表情があって、世界観を作ってますね。

トラ：これは遊べるって思ったんで。歌[illegible]曲でしたね。妄想と欲望とちょっとエロティックな歌詞です。

――そして「Hatred for you」は、激しくてヘヴィで、勢いのある曲。

MANJ：そのまんまですね。とりあえずいちばん速い曲をと。アウトロとか、俺、めっちゃ走ってるんです。でも、みんなに合わせてもらいました（苦笑）。

Nagi：ギター的に言うといちばん激しいんですけど、敢えて軽い音で録ってるんです。

椿：みんなが聴いてイメージする音とは実は違う音で録ってて、ローとかの成分もすごく少ないんです。

Nagi：歪んでぶっとい音を出したほうが良くなるわけではないと勉強したんです。各々の楽器がレンジの中のバラバラのところにいたほうが、結果的に音が厚くなるみたいな。

――となると、ギターとしては弾いていた時には盛り上がらなさそうですね。

Nagi：盛り上がらなかったです（苦笑）。けど、出来上がったのを聴くと、〝何じゃこりゃ、激しいな！〟って。

拓磨：ベースは、ひたすらMANJくんに合わせてました。

MANJ：ドラム単体で聴いたらズレまくりですからね。さっきの話を覆すようなんですけど、これは精神論です。

――思いっきり覆ってますよ（苦笑）。

MANJ：当初は、歌もここまで聴こえる感じにしたくなかったんです。もっとぐちゃぐちゃの、何これ？　たいな感じにしたかったんですけど、やっぱりキャッチーな、聴きやすいほうに行ったので、こうなりました。

――でも、ここまで激しい歌い方は珍しいですよね。

トラ：プリプロがこれはしんどかったです。こういうことも出来るんだぜっていうのをやりたかったし、歌詞もそういう吹っ切れた感じで書けました。

――3曲のバランスもよく、一皮剥けた感じがいいですね。今後の活動については？

MANJ：ツアーがあるんで、その後にはアルバムを作れたらいいですね。いろんな人から、ライヴが一皮剥けたって言われるんで、ぜひ観てもらいたいです！

Interview:MOTOKO SHIMIZU

exist†trace

君を守れるならば、もうナイフはいらない。

4月25日のモスクワ公演を皮切りにヨーロッパをサーキットしたツアーも大好評のうちに終了し、メンバー自身も確かな手応えを感じて帰国したようだ。そして間髪を入れずに6月2日に最新シングル『KNIFE』をリリース。mikoの綴る"ナイフはもういらない"という彼女たちの強力な決意表明をあなたは受け止めることができるだろうか。

——「KNIFE」というタイトルからして、さぞかし攻撃的でアグレッシヴな曲が来るんだろうと予想していたのに、実際はちょっと違いましたね。意外とキャッチーで間口が広い。

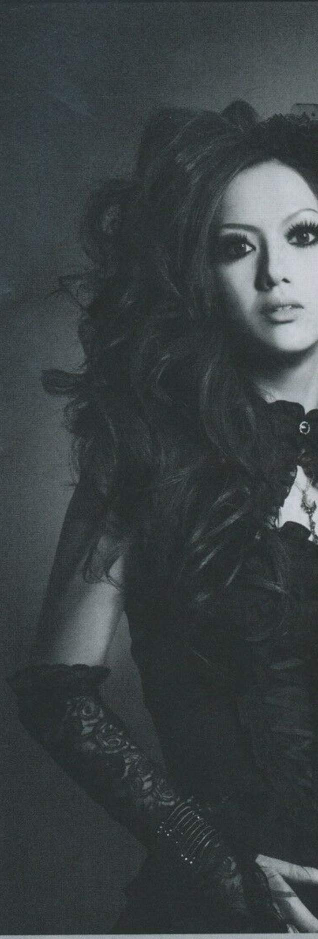
miko：ジョウのアップを使ったジャケットにしろ、このタイトルにしろ、攻撃的で鋭いイメージなので、みなさん楽曲にもそういう要素を期待すると思うんですよ。実際、この"KNIFE"が自分たちの攻撃性を表した言葉であることは確かなんです。でも、曲調はそれほど激しくなくて不思議に思いながら聴いていくと、サビで"ナイフはいらない"と[illegible]くる。ある意味ギミックというか引っ掛けというか、自分たちがこのシングルで出したいものは戦いじゃないんですよね。

——ええ！ ずっと戦ってきたのに？

miko：ですよね（笑）。昨年リリースした2枚のミニ・アルバムで"戦い"だったり、そこで得た"自由"と"拘束"を描いて。その先に自分たちが何を表したいんだろう？と考えたときに、もう戦[illegible]いじゃないなと思ったんです。私[illegible]達を支えてくれる人たちがしっかり[illegible]を組んで強靭な集合体でいれば、闇雲にナ

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com



イフを振りかざして敵を攻撃する必要はない。どんな攻撃を受けて傷つこうとも、もう、今のexist†raceは倒れない。そのことに気づいたから、曲作りでも自分たちが〝カッコイイ〟と思うものを素直に打ち出したんです。だからイントロのギターのテーマとかも、すごく自分好みのスタイルなんですよ。

Mally：うん。曲全体の流れとかにしてもmikoっぽさが出てる。

猶人：疾走感を大事にしたいなぁ……と考えてたら、サビでも普段あんまり使わないフレーズがスルッと出てきて。作っていても楽しかったですね。

乙魅：曲の雰囲気や歌詞の内容がストレートなので、音色の面でも聴きやすさを心がけつつ。ちょっと遊びを入れたいなど、Bメロでツイン・ギターの掛け合いを入れたりもしました。

——こうやって皆さんの考え方が変わるキッカケって、何だったんですか？

ジョウ：個人的には1月9日のライヴですね。この先もここにある笑顔を守っていきたいっていう想いを込めて、最後にメンバー全員で手を繋いでお礼をしたんです。そしたら、フロアのみんなも順々に手を繋いで、〝私たちもexist†raceなんだ〟ってことを教えてくれたんですよ！ それを見たとき、みんな、すごく強くなったんだなって。じゃあ、自分たちもナイフを振り回す必要ないなって。

猶人：自分も今までの活動を振り返ってみて、気を張りすぎていろんなものを犠牲にしたり、余計な攻撃性を自分の中に抱えていたんだなってことに気づいたんです。そういった戦略や計算を削ぎ落としてフラットになったとき、すごくスッキリしたんですね。そんな状況でレコーディングをしたから本当にストレートな想いが出たし、それを踏まえて4～5月にヨーロッパに行ったことで、より広がったんじゃないかな。

Mally：向こうのお客さんって、知らない曲でも構わずノッてくるんですよ。音楽やリズムを身体で感じて全身で返してくれるから、日本だけじゃなく世界のみんなに支えられてるんだなぁ……っていう想いの中で、何の不安感も持たずにライヴが出来ました。

猶人：しっとりした曲のときは後ろで組んでダンスしてたり、ノリ方も聴き方もホントに自由だったもんなぁ。日本のファンと同じフリをしてる子がいたのには結構驚いたね。

乙魅：どの国でも熱く歓迎してくれて、一緒に歌ってくれる曲もあったり。純粋に共に音楽を楽しめた空間だったんで、音楽に国や性別とか関係ないんだなって改めて実感できたんですよ。

——ただ、11日間で6ヶ国7公演という日程では観光もできなかったでしょう？

ジョウ：でも、モスクワでは赤の広場に行ったんですけど、スキを観てサッ！と（笑）。ど、ちょうどメーデー前で入れなかったのが残念でしたね。ベルリンの壁に行ったときには、〝なんでこんなものができちゃったのかなぁ〟って、切ない気持ちになりました。

Mally：あとはロシアの地下鉄とか、予告もナシに突然ドアがバン！と閉まるんですよ！ おまけに走り出したらジェットコースターみたいなスピードで、そうやって文化の違いが味わえたのも面白かったですね。

——充実した旅だったようで何よりです（笑）。ちなみにカップリング曲「Mirror」のモチーフは白雪姫？

miko：はい。あの童話に出てくる鏡の声って、王妃の心の声——つまり、もう一人の自分だと思うんです。で、この歌詞みたいに誰もが内面の自分をコントロールできなくなったり、どっちが本当の自分なのかわからなくなったりもするけれど、そこから一歩踏み出していこうと。要するに、〝自分を内面から変えていこう〟と「KNIFE」で歌った、その第一歩がこの曲ですね。

ジョウ：その歌詞が、なんだか自分に重なったんですよ。それで現実世界にいる自分が苛立っていく様も見せていこうと、淡々とした歌い出しから、だんだん激しくしていったんです。

乙魅：「KNIFE」との対比を考えて、音的には重さを意識しました。あとは空気感や女性的な色気や妖しさを出したくて空間系のエフェクターをかけたり、後半は鏡が壊れる狂気的なイメージで激しいフレーズも入れたり。

Mally：これは、ぜひライヴで観てほしい曲ですね。イントロからの緊張感や、抑えていた感情が内面で沸々と煮えたぎって、〝もう一人の自分〟が爆発する……そんな人間の不安定な感情を、ぜひ肌で感じてもらいたいんです。

——さらに3曲目には「liquid」が2010年バージョンで収録されていて、特に新しいファンには嬉しいかと。

miko：この曲がないとライヴが始まらない！っていう曲ですからね。元々は3年前にシングルとして出した曲なんですが、去年オムニバス収録する際に全パート録り直したので、それを使って今回は歌だけ録り直しました。「KNIFE」に込めた信念は「liquid」のときから貫かれてるんだってことを証明したくて、このタイミングで再録したんです。

ジョウ：作った当時に比べると歌い方、感情も全部変わってきてるので、どうしても今の自分で歌いたかったんですよ。結果、鋭さや強さは変わらず、いい感じに棘がなくなったと思いますね。ナイフを振りかざさなくても戦える自分になれたから歌えた「liquid」じゃないかな。

miko：ヴォーカルの第一声がシャウトなんですけど、やっぱりジョウのシャウトはいつ聴いてもカッコイイですね！ あと、5月末に発売された『NEO VOLTAGE』というオムニバスにも「unforgive you」という曲で参加しています。これはバンドをやる上で憧れだった友人に先立たれてしまった私の実体験を元に、生きることに悩んでいる人たちの力に少しでもなれば……という想いを込めて作った曲なので、こちらもぜひ聴いてください。

——そして7月には、ついに初の東名阪ワンマンツアーが行われますね。

猶人：大阪・名古屋でワンマンをすること自体が初めてなので、すごく楽しみです。今の自分たちだからこそ魅せられるもの、ワンマンだから魅せられるものを、全部詰め込みたいですね。

Mally：大阪、名古屋にしか来られない人たちに、長い時間をかけてイグの意志を披露できるのが、すごく嬉しくもありつつ。ヨーロッパでついた度胸でドン！と挑もうかなと。

乙魅：ヨーロッパを経て大きくなった5人を観てもらいたいですし、今までやらなかった場所でのワンマンで、より強い絆を広げていけたらなと思ってます。

——ちなみに〝Periodic Ⅲ Promise〟というツアー・タイトルには、どんな意味があるんでしょう？

miko：〝最後まで観ないとわからない3つの約束〟っていう意味なんですが、その真意はライヴ当日にMCでお話していくので、ここは秘密ということで（笑）。初めてのワンマン3本ということで正直、不安もあったんですが、それもヨーロッパでの7本のワンマンで消えたんですね。帰国後初めてのライヴでも自分たち自身のポテンシャルを感じることができたので、逆にこのツアーで自分がどうなるのか楽しみ！ この「KNIFE」のように素直な状態で挑んだら、本当に良いものができると信じています。

ジョウ：〝ファンのみんなを守っていく〟と言ってますけど、それは今後加わる人たちに対しても同様なので、初めてイグを観るという方にも安心して来てほしいですね。私たち自身、その地方ならではの表情を見るのも楽しみにしていますし、この赤い髪が表す私たちの〝燃える心〟を、ぜひ受け止めてください！

ルリ

いっち

椎名未緒

SHOXX VOICE!!

キャンゼル

色褪ることのないもの

ゆきみ

ハク

キャンゼル、解散——。
精力的に活動してきただけに、このニュースは非常に残念だ。しかし、彼らは前を向いて進もうとしている。最後にリリースされる2枚のベストアルバムを聴けば、そのことが納得してもらえるはずだ。『SOFT TRACKS』と『HARD TRACKS』に込めたメンバーの想い、今ここで、じっくりと感じ取ってほしい。

Interview:ERI MIZUTANI

——既に公式HPでも発表されていますが、今回の件を改めてみんなの口から。

いっち：すいません、急に頭の中が真っ白になってしまいました。何をどう話したらいいのか……。

——それでは、未緒さん、代わりにお願いします。

椎名未緒（以下：未緒）：えっと、8月11日をもって、キャンゼルは解散します。

——事の発端は、いっちさんが脱退するって言ったことからと。

未緒：はい。色々考えたんですよね、いっちさんから脱退したいっていう話を聞いたとき。そこでメンバーチェンジをして続けていくという手もあったんでしょうけど、僕は、この5人でなければキャンゼルではないと思っているし。

ハク：きっと、他の人を入れてもしっくりこないと思うんです。

ゆきみ：それについては、結構、話し合ったんですよね。

いっち：ほんとごめん。俺、キャンゼルが嫌いで辞めるわけではないんです。曲も好きだし、メンバーだって。だから、今回の決断はすごく寂しいんですよね。ただ、色々考えた末に出した結論なので、ファンのみんなには申し訳ないんですけど、受け入れて欲しいなって……。

——でも、正直言うと、残念だな。残念というか、悔しい。やっと、キャンゼルというものが形づいてきただけに。

未緒：そうですよね、それは僕も同じ気持ちです。

——それにしても、皮肉にも、この前出した「heart」が現実のことになってしまったというか…。

未緒：タイミング的に重なりすぎましたよね（苦笑）。でも、バンドっていつかは終わると思うんです。だから、終わらないうちに僕らのことをたくさん応援して欲しいという気持ちを込めて、あの曲を作ったんですよね。だから、解散を発表したときも、ファンの子からいくつも〝辞めないで〟という言葉をもらったんです。僕はそれが嬉しかった。嬉しかったっていうと語弊があるかもしれないけど、これだけキャンゼルは必要とされていたんだなって。

——そうだね。それに、改めて振り返ると、

未緒：最後に、ベストアルバムという形で、作品を2枚リリースするんですけど、これを聴いていると、色々な思い出が蘇ってきますね。

——各々、印象に残っている曲は？

ハク：僕は、1番印象に残っているのは「Allegro」です。僕、キャンゼルに途中から加入したんですけど、この曲を聴くとその当時のことを思い出すんです。最初に聴いたとき、すごい曲だなって衝撃を受けたし、ずっとライヴで演奏してきたからこそ、これぞキャンゼルというか。

ゆきみ：この曲もそうだけど、俺としてはどの曲も大事で。何回も聴いているのに、今こうして改めて聴くとすごく新鮮なんですよね。きっと、ファンの子もそれぞれに思い出があると思うんです。それを噛み締めて聴いて欲しいなって。

未緒：僕は、この2作品を聴くと、いっちさんと〝バンドやりましょう〟って言った最初の頃のことを思い出すんです。そのとき、曲が良くて楽しいライヴができるバンドをやろうって言ったんですよね。今のキャンゼルがあるのは、その目標があったから。こうして曲を並べてみると、その目標が、知らず知らずのうちに達成できていたのかなと思います。

ルリ：僕たちは、このアルバムを出すためにやってきたわけではないのだけれど、最後に綺麗にまとまりましたよね。言ってしまえば、集大成的な。きっと、これらの曲はずっと色褪せないと思うんです。何ていうか、そのときそのときの空気感がパッケージされているので、これから先、何年経っても、新鮮なままなんじゃないかなと。

いっち：何年経っても、何十年経っても、時代を感じさせない曲になっていると思います。

ゆきみ：だから、大事にライヴしたいですね。あと、ラストライヴが残っているんですけど、それが終わってしまったら、この曲たちは演奏できなくなってしまう。後悔しないためにも、大事にライヴをしたいと思います。

——キャンゼルって本当に良いバンドだったなってみんなに思ってもらえるよう、最後まで全力で駆け抜けて下さい。

一同：はい！

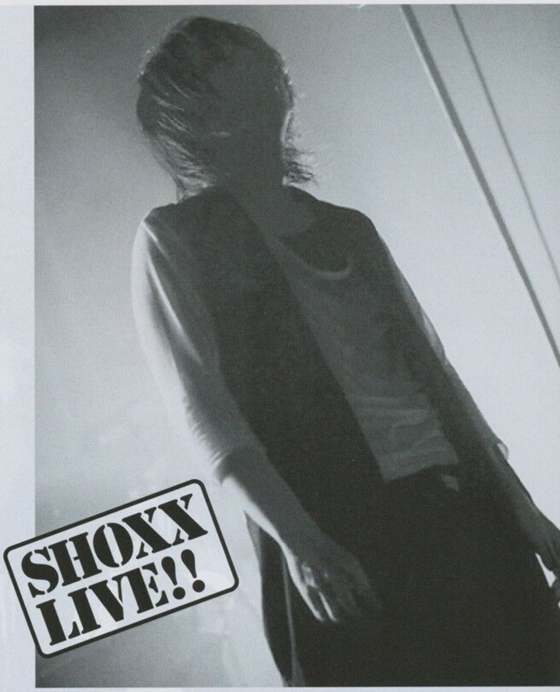
〒101-8797東京都千代田区神田淡路町2-12　神田郵便局留 キャンゼル宛　http://www.canzel.net/

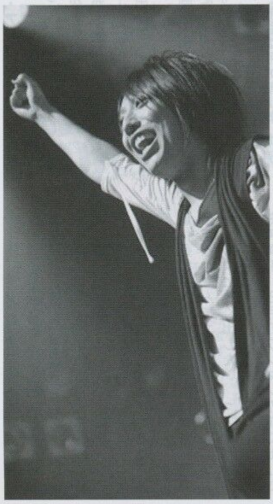
hudie.com

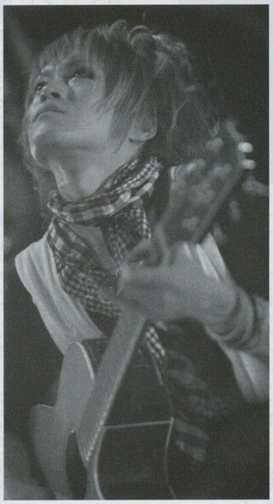
Jully

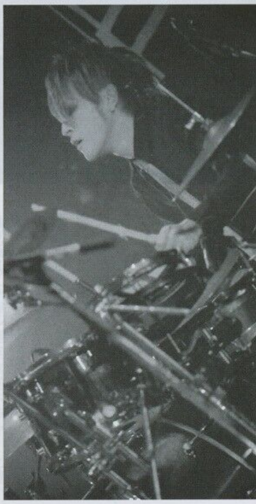
Jully五周年記念単独公演「焔」
Live at 渋谷O-WEST　2010.5.6

Report:ERI MIZUTANI









周年記念として作った初のベスト・アルバムである。以前に行なったインタビューで、このアルバムを出そうと思ったのはなぜか、と質問した。その時、杏太は〝良いタイミングかなと。あと、ライヴではしょっちゅうやっているのに、音源としてはもう手に入らないものも何個かあるので、そういうのも含め、出してみようと思って〟と答えてくれた。そう、本作は、いろいろな人の心に響いてほしいという彼らの想いが込められている。さらに、〝5周年記念のライヴのセットリストを考えるなら〟というコンセプトの下で制作されただけあって、これを聴いたら即、ライヴが観たくなってしまうのも確かだ。それ故、5月6日に行なわれた5周年記念単独公演【焔】は、アルバム同様、聴き応え充分なものになったのだった。

この日、オープニングを飾ったのは、「僕ら」。5周年を祝う夜をゆるやかな調子で始めるのは意外でもあったが、曲が進むにつれ、歌をじっくりと届けたいという4人の意志が汲み取れ、何とも清々しい気持ちになった。ロックバンドに対して、この表現は適切ではないかもしれないが、彼らの楽曲には、えも言われぬ趣がある。

それを如実に感じられたのは、アコースティック・バージョンで演奏された「砂と水」や「紫陽花」を聴いて。乾いた場内に響く、澄み切った音色。その場が心地良い空間へと変化していくのを目の当たりにした瞬間、ジュリィーの曲には、聴く者を穏やかにする力が宿っているように感じられた。そうして、良い空気感を作ったところで、後半へと繋げていったのだが、ここでは、リズム隊によるセッションを始め、「晩餐」「叫騒曲」といった、力強さを秘めた曲を押し出してきたのが印象に残った。

それだけに、この日のライヴは、〝どの場面が〟と言うより、〝どの場面も〟良かったと言える。個人的には、ラストに演奏された新曲、「世界の終わりに」で、慈しむように音を奏でる4人の姿が今も目に焼きついている。〝ありがとう、最高の夜でした〟――その言葉こそ、5年間活動してきた成果を表していた。と同時に、6年目を走り出した彼らの未来が明るいものでありますようにと、切に願った。

蝴蝶阁
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

ヒトツメ

そろそろアルバム出してもいいんじゃない!?

ヒトツメが、結成5年にして初のフル・アルバム『愁色グランギニョル』を7月14日にリリースする。しかも、収録は全14曲!! 独特のペースで活動を続ける彼らを、アルバム制作に駆り立てたものは何だったのか? 彼らのココロに迫ります!! ヒトツメ、やる気になれば違うんです!?（笑）

Interview:RIE MAKINO

SHOXX VOICE!!

──まずフル・アルバムのリリースを聞いた時、〝えっ、ヒトツメがアルバム!?〟って思ってしまったんですよ（笑）。

ミスター：そんなにおかしいですか?

──ええ。しかも全14曲！〝ものすごくやる気がある！〟と思って（笑）。

景：誰かが〝出そう〟と言ったらやるんですよ。

ミスター：今回は、俺が〝出したい〟って言ったんですよね。〝出したら売れる！〟って（全員爆笑）。

──〝売れる〟以外に（笑）、アルバムを出そうと思った理由は何かありました?

ミスター：結成して5年だし、そろそろいいんじゃないかなって。売れるし（笑）。

──最初にコンセプトは立ててました?

サンジ,：いつもより曲調的に明るいのをやろうかって。

ミスター：本当は明るい人たちなんで。

──そ、そうですよねー（笑）。でも確かに、〝こんな明るいリズムのものもやるんだ!?〟って驚いた曲もありました。

景：どんなことをやってもウチらしさが出せる自信があるから。ただ、あんまり行きすぎないように、とは思いましたけど。

──14曲という曲数は初めてのことで大変だったんじゃないですか?

景：死にそうでした。本当は8月発売の予定だったんですけど、それをミスターが〝もっと早く出したい〟って言うから……。

ミスター：8月のワンマンの前に出したほうが、ワンマンが楽しくなるかなと思って。

サンジ,：でも結局、歌詞はミスターが書くから、自分で首を絞めたんですけど。

ミスター：大変でした……（苦笑）。でも歌録りは早かったです。4日で14曲全部録っちゃったんで。

──1日4曲のペース、早いですね！

サンジ,：俺も死にそうでした。レコーディングしていく中で気づいたんですけど、俺がギター・ソロを10曲弾くことになってて。それは景さんの策略だったんです。〝ふざけんなよ！〟って言って（笑）。

景：〝あ、バレたか〟って思って（笑）。

カイリ：今までにない曲調が多くて、それもレコーディングしながらフレーズを考えていったから、今までと違うベースプレイになってますね。このアルバムを作って、一歩越えたかなって思います。

──新しいことをやるのは大変だけど、プレイの幅が広がったと。

カイリ：そうですね。出来たものを自分で聴いて、〝すげぇいい！〟と思って。ただ、死にそうでしたけどね…。

景：みんなそれしか言わねー（笑）。

──「縁切り」は初のカイリさん作詞・作曲の楽曲ですね。

カイリ：実はこの曲のベース、何も浮かばなくて……（苦笑）。

全員：自分で作ったのに!?（笑）

景：レコーディングもいちばん最後まで残ってたもんな。

ミスター：曲はすぐ出来たんですか?

カイリ：いや、3年くらい前ですね。歌詞は最近ですけど。

ミスター：3年かけて作ったのに、ベースは全く出来てなかった……（笑）。

──あとカイリさんと言えば、曲中に入ってくる〝語り〟ですよね。

景：今回は5曲に入ってますね。〝私、うずいてるの〟とか言ってて、気持ち悪っ！と思って（笑）。だってこの顔が言ってるんですよ?（全員爆笑）

カイリ：気持ち悪さが出てよかったです。

──「眠り箱」はサンジ,さん作詞・作曲。

サンジ,：曲はパッと出来たんですけど、歌詞が本当に困って。それで困った自分……才能のない人の歌詞を書きました。

景：それ、自分のことなんだ?

サンジ,：〝ミスターと〟これ自分のこと歌ってたらウケねぇ?〟って言ってたんですよ（全員爆笑）。〝作詞・作曲・モデル：サンジ,〟ってことだね（笑）。

──そういえば今回は、ラップが入った曲「哀訴」もありますね！

景：元々彼は、ラップが得意なんですよ。クラブ出身なんでっ。

ミスター：そうです、クラブとかでやってたんで（ニヤリ）。

──言いながら自分で笑っちゃってますよ?（笑）今までと比べて、全体的に分かりやすい歌詞になりましたね。

ミスター：あぁ、分かりやすいほうが書きやすいんですよ。あと、明るめの歌詞が増えましたね。「劣等感の夜」なんかは今までに書いたことがないような歌詞で。

──片思いのラヴソングですね。

ミスター：曲調が明るかったんで、歌詞も明るくしようと思ってチャレンジしてみました。

サンジ,：その「劣等感の夜」は、普段やんないことをやってるんで、すごい苦労しましたね。

景：ダンスグルーヴを出す、っていうのがね。

──ライヴで盛り上がりそうですね。改めて、フル・アルバムが完成して、満足度はどうですか?

カイリ：素晴らしいものが出来たなと！

サンジ,：たぶん売れる。

景：これ売れなかったら辞めたほうがいいんじゃねぇか?（笑）

ミスター：本当にいいアルバムなんで、買ったらいいと思いますよ。

──8月7日には渋谷チェルシーホテルでワンマン・ライヴが行なわれますね。

景：その日、音源無料配布もあるのでぜひ来てください。

ミスター：ワンマンは2年弱ぶりですからねぇ。まぁ初ホテルのライヴなんでこれはいいライヴになるでしょう!

蝴蝶网
hudie.com

NightingeiL

吊り下げられた恋　届かいない場所　分かっているけど終わらせない。

SHOXX VOICE!!

7月14日に、1stミニ・アルバム『吊り下げの恋』を発売するNightingeiL。8月6日には、池袋BlackHallを舞台に、結成2周年を祝うワンマン・ライヴ「she/ne/night/trsk^」を開催。この日のライヴは、新メンバー"ハクヤ"の初お披露目公演にもなる。取材時には、まだ作品制作中の段階。その未完成な中で行った取材という点を踏まえ、インタヴューを読んでいただきたい。

Interview:TOMONORI NAGASAWA

紺：前回に演ったワンマン後に、前ドラムのアユキが腰に重い病気を抱えたことから脱退。その後、すぐにメンバー探しを始めました。

カイエ：最初彼には、サポートでお願いしていたのですが、まずスタジオで一度音合わせをしようということになって、スタジオに入ったのですが、そのスタジオの後いきなり紺ちゃんが〝じゃあ今日から正式メンバーでお願いします〟と言い出して、加入という事になりました。(笑)

紺：テクニカル趣向な前ドラマーと違い、ハクヤはパワードラマーなんですよ。今回のミニ・アルバムへ収録した楽曲たちが、疾走感活かしたライヴで映える楽曲たちなので、パワフルなハクヤのドラミングが、これからのNightingeiLには必要だなと思いました。性格面でも、ピュアなハートを持っていたのも良かったね。

ハクヤ：カイエさんに〝俺がすごいことを演ったら、正式にドラマーとして入れる可能性もありますか?〟と聴いたら、〝もちろん〟と言ってたので、気合いを入れて望んだのが大きかったですね。最初はガチガチでしたけど（笑）

——今まさにNightingeiLは、8月6日に池袋BlackHallで行う、結成2周年ワンマンへ向け、いろんな動きが加速度的に進行中。アルバム制作も、真っ最中なんですよね。

カイエ：絶賛、制作中です。今までNightingeiLが持っていた王道スタイルとも言うべき〝ダウナー／気だるい感じ〟を抑え、前傾姿勢な勢いを持って攻めてゆく楽曲中心に制作しています。

紺：その姿勢を打ち出したのも、以前ワンマン・ライヴをやったときに〝ここへもう1曲アッパーな楽曲を入れれば、より全体の流れにドラマ性を描けるのに〟という、ピースの抜けた部分を実感したんです。そんなライヴで活きる曲たちがもっと欲しいという想いのもとに、今回は、ライヴを想定した疾走感を持った曲たちを入れようと思いました。

カイエ：なので『吊り下げの恋』という作品は、今まであったような〝変化球的な〟と言うよりも、〝直球勝負〟な姿を描き出す作品になりそうな予感がしています。

紺：ただ、NightingeiLの持

など、いろんな上物や同期物を加えたとき、どのように変化していくのかが現状では未知数なんです。そこは、自分らでもこれから作品が完成していくのを楽しみにしているところだね。

ムクイ：でも、全体的に言えるのが、どの曲も〝メロディーが活きている〟ってこと。口づさみやすい楽曲が軸になっています。

ショウイチ：『吊り下げの恋』など、女の人が歌っても格好良く響いてゆく楽曲にもなったし。自分がまだ加入前の作品である『失敗の僕　成功の君』を、今回新たに音源化します。その生まれ変わった姿も、ぜひ耳に届けていきたいなと思ってます。

紺：「失敗の僕　成功の君」は、今でもライヴで演るたびに好評な楽曲だけに、今のメンバーでしっかり形として残しておこうと、収録を決めました。あと『吊り下げの恋』に関してなんですけど、サビで2ビートになるという今までの自分達の中では、新しいアプローチをしました。と言っても、この曲調は、90年代の名古屋系ヴィジュアル・バンドが得意としていたスタイル。かつての王道であった〝2ビート／マイナーメロ／呪文めいた歌詞〟という雛形を、歌がしっかり届く形に変えて、自分達流に仕上げました。

カイエ：アルバムには、これまでのような、NightingeiLの王道曲もあれば、90年代シーンの王道スタイル曲の進化版「吊り下げの恋」のような曲もあってライヴ感という軸がありながらも、いろんな風に幅が広がりそうなので、今から完成が楽しみなんです。

——8月6日には、池袋BlackHallを舞台に、結成2周年を祝うワンマン・ライヴを行います。

紺：この日が、ハクヤの初お披露目のステージにもなります。どうせ新メンバーを紹介するなら、華々しい舞台から、いきなり幕開けてやろうかなと思って。

ハクヤ：この日を境に、自分がNightingeiLへ新しい風を吹かせられればいいなと思っています。

紺：活動当初のスタイルからだいぶ進化してきたよう、久しく観てない人にはぜひ観てもらいたい。当時とは、まったく異なるバンドに進化しているんでね。

蝴蝶网
hudie.com

カル・ヴァリ

君のために生きるこの世界が、なによりも好きだから

待望の新作は、ラブソングがたっぷりと詰まったミニアルバム。これは、カルヴァリにとって初めての試みだ。深くて重い世界観のある曲を中心にやってきた彼らが、今なぜ、明るい曲に挑戦しようと思ったのか。そこに焦点をあて、最新作『JOIN』に迫る。7月には、東名阪ワンマンツアーも決まっているので、ぜひ、音源とライヴの両方に触れて、カルヴァリを味わっていただきたい。

Interview:ERI MIZUTANI

SHOXX VOICE!!

——ラブソングで構成された作品というのは、カルヴァリにとって初の試みだと思うのだけれど。

シネマ：今までは、深い感じの楽曲を多く出してきたんですけど、ここで一度、ストレートなものを出していいのではないかなと。

Ko-ichi：それで、楽しもうっていうコンセプトの元、『JOIN』という作品ができあがったんです。

——そうしたのは、もっと多くの人に楽曲を伝えたいって想いが膨らんだから?

Ko-ichi：それもありますし、この世の中に対する、問い掛けでもあり。暗い世の中だからこそ、明るい曲で、聴く人が笑顔になってくれたらいいなって思ったんですよ。

——前作の書き下ろしフルアルバム『Liquid Color』で、〝カルヴァリとは〟というところが出せたからこそ、今回、こうしたハッピーな曲が書けたのかなと。

Ko-ichi：うん、そうです。あと、これは、僕らなりの、救いというか。ただ、僕の中では冒険でもあったんですよ。

——というと?

Ko-ichi：今まで世界観重視でやってきた分、ここまでストレートなことを出していいのかなって。けど、そんなこと言っていたら、何もできないって思って出してみることにして(笑)。そしたら、メンバーも良いと思うって言ってくれたんで、ほんと良かったです。

シネマ：とか言いつつ、挑戦だったんですけど。

——(笑)。でも、今までの世界観を大幅に変えたというわけではないから、まるで違和感なかったし。

Takashi：良い意味で、こうきたんだ!って思ってもらえると嬉しいです。やっぱり、音を聴いたときにワクワクしてもらいたいんですよ。俺も、カルヴァリが表現したいことは『Liquid Color』で示せたと思うんですよ。あの作品で、とりあえずのことはまとめられたと思うし、次に見せるべきことも入れられたと思う。だから、ここで進化した様子を見せたかったんですよね。敢えて振りきることで面白さが出るんじゃないかなって。

「Queen's cheseman」と「Shake×Beat×Our」を聴いたとき、おぉ!って思ったんですよね。

——それは、驚き?

牡丹：ビックリしたのもあるし、僕らがこういう曲をやっていいんだって嬉しくもあり。何かもう、8種類ぐらいの気持が入り混じってました。

シネマ：あはは(笑)。自分自身、この2曲もそうだけど、「君のための」と「ゆびきり」も、すごく気持ち良く歌えるんですよね。

牡丹：なので、その流れを壊さないよう、SEは考えましたね。けど、今まで僕が作ってきたSEって、どちらかというと世界観重視だったじゃないですか。だから、作るとき、一度、頭の中をリセットしたんです。それで色々考えて、この、「~be connected~」という明るいSEを出したんです。今までと違ってサンプリングとかも入れてないし、ほんとストレートなものに仕上ったんじゃないかな。

——本当に、バランスの良い5曲が揃ったよね。

Takashi：あとはライヴで体感してもらいたいですね。

Ko-ichi：俺らがこの作品を作るにあたって描いたコンセプト、〝楽しむ〟というところがライヴでもよく表れているんじゃないかなと思います。

Takashi：もちろん、音源で聴くのも良いと思うんですけど、「Queen's chessman」と「Shake×Beat×Our」なんかは、実際に見て聴いた方が、より楽しめると思います。俺も、この作品ができたことで、魅せるギターに努めたいと思いましたし。

——ということは、これから先、カルヴァリのステージは、更に見応えのあるものに変わっていくと。

Takashi：リアリティの溢れるものになると思います。

シネマ：それで、お客さんに喜んでもらえたら嬉しいですね。夏には、東名阪ワンマンツアー【~BREAK!! NEW GROUND CIRCUIT~】を行います。名古屋と大阪は初めてなので、どうなることやら(笑)。

Ko-ichi：新作を交えつつ、ザ・カルヴァリ、というところを見せるので、

SHOXX INFO!!

ALiBi

元気いっぱい。夢いっぱい。いつでもパワー120パーセントのALiBiの主催イベントが決定したぞ。
また、7月2日さいたま新都心VJ-3を皮切りにスタートする「ループ開き」での会場限定CDを発売も決定!! そして、更に7月18日渋谷O-Eastでは重大発表があります!
お見逃しなく!!

■ALiBi主催イベント
「CIAO★NIVAL Vol.2」
2010.10.16（土）
高田馬場AREA
開場17:00/開演17:30
前売券¥3.000（D代別）
【出演】ALiBi/他
【チケット】7/25（日）より一斉発売
[問]高田馬場AREA/☎03-3361-1069
■会場限定ワンコインシングル発売
「SUMMER PARTY」
2010.07.02（金）より販売開始
1曲入/LPA-014/¥500（税込）

犬神サーカス団

DVD付きシングル発売決定!!

6月にテキサスで行なわれたアニメ・フェスに出演、強烈なインパクトを与えて来た犬神サーカス団。
今年で結成16年目となる彼らが、現代の若者と音楽業界に向けた（!!）応援ソングたるシングル「DEAD END KIDS」を、7月7日にリリースする。タイトル曲は、ファストビートに乗せたパワーコーラス作戦で、歌姫大和凶子の声がヤル木のない現代社会を震撼させる!! カップリングの「[illegible]」は、モータウン調の軽快なナンバー。さらに、DVDには2009年12月に渋谷O-WESTで行なわれた「結成15周年記念ツアー・ファイナル」の模様をダイジェスト収録。

http://www.inugami.jp/

hudie.com

エアバンド

2009年年末に解散した"エアバンド"がヴィジュアルバンドとして新生誕生!!

我らがjealkbにつづき、よしもとアール・アンド・シーからまた新たなヴィジュアル系バンドが登場するぞ。その名は「エアバンド」。このまんまなバンド名のメンバーは庄司智春、アンガールズ、波田陽区、RYOEIとにわかにヴィジュアル系と聞いてもピンとこないメンバー。ただ、そこは百戦錬磨の芸人魂で、新しいタイプのヴィジュアル系を僕らに提示するに違いない!? 何はともあれ6月23日に音源が発売になるので、興味のある方は要チェック。
≪品川祐とスベラーズ / エアヴィジュアルバンド/スザンヌ×スザンぬ≫
発売日:2010年6月23日（水）
発売元:よしもとアール・アンド・シー

初回盤　<CD> ¥1,500（税込）　※3万枚限定
M1:サラリー☆マン/品川祐とスベラーズ
M2:第三の男/エアヴィジュアルバンド
M3:レッドアイ/スザンヌ×スザンぬ
M4:サラリー☆マン（カラオケ）
M5:第三の男（カラオケ）
M6:レッド・アイ（カラオケ）
<DVD>
・「サラリー☆マン」PV
・「第三の男」PV
・「サラリー☆マン」振り付けV
・「レッド・アイ」振り付けV

通常盤　<CD> ¥1,000
M1:サラリー☆マン/品川祐とスベラーズ
M2:第三の男/エアヴィジュアルバンド
M3:サラリー☆マン（カラオケ）
M4:第三の男（カラオケ）

シリアル⇔NUMBER

5周年記念ライヴ決定!!

バンド結成5周年を迎えるシリアル⇔NUMBERが、それを記念してのアニバーサリー・ライヴを行う事が決定しました！　各メンバーのセッションバンドとシリアル⇔NUMBERが出演!!　参加アーティストは決定次第随時ホームページにて発表します！

●5th Anniversary Year
「ハイサイ！ハイサイ！ちゃーびら祭！ vol.ななち
～みんなに祝ってもらいまSHOW～」

7月24日（土）高田馬場AREA
開場17:00/開演17:30
・チケット代:¥3,500（税込）
・一般発売日:6/27（日）
・（問）高田馬場AREA ☎03-3361-1069
佐々木 仁バンド
Vo. 佐々木 仁（シリアル⇔NUMBER）/Gt. しゅうた（イロクイ。）/Key. 櫻/Ba. ×××××/Dr. 悠真（amber gris）
紫遊バンド
Vo. ×××××/Gt. 紫遊（シリアル⇔NUMBER）/Ba. ×××××/Dr. ×××××
響希バンド
Vo. ×××××/Gt. ×××××/Gt. ×××××/Ba. 響希（シリアル⇔NUMBER）/Dr. なつき（イロクイ。）
華威バンド
Vo. 華威（シリアル⇔NUMBER）/Vo. DJひとし/Gt. はづき（イロクイ。）/Gt. ベロ（シリアル⇔NUMBERローディー）/Ba.隼人（ZUCK）/Dr.×××××
詳細はシリアル⇔NUMBER OFFICIAL WEBSITEまで☆
http://www.serial-no.com

大佑と黒の隠者達

2ndシングル、早くもリリース

今号でもレポートしている東名阪のイベント・ツアー"EXTRA-TERRITORIAL"でも、圧倒的な存在感と世界観を見せつけてくれた"大佑と黒の隠者達"。6月11日・渋谷O-EASTで行なった第二回公演「恍惚は雨と共に...」のステージですでに発表されたのだが、彼らの2ndシングル『嫌』が7月21日にリリースされることが決定した。
タイトル曲「嫌」は初音源化となる楽曲で、すでにFREE-WILLうたフルサイトにて期間限定先行配信されている「愚の消滅」がカップリング収録される。
本誌では次号にて大佑へのインタビューも行なう予定。彼のフシギな言葉の世界、再び炸裂となるか…!?

http://www.the-studs.com/daisuke/

GAIN01

3ヶ月連続1songCDリリース決定!!

2010年後半戦活躍が期待されるGAIN01の3ヶ月連続のCDリリースが決定したぞ。まず第一弾は6月23日の『Transient love』から。価格は税込¥525。第二弾は7月21日。第三弾は8月18日と梅雨時から真夏にかけて一気に3タイトルリリースする。また西日本を中心に勢力的にライヴ中!!　ライヴの詳細な情報、チケットの予約はhttp://1sh.jp/?id=gain01

蝴蝶网
hudie.com
SHOXX
glitter Pop
グリッターポップ
No.6
XX 2010年8月号増刊号
ード：04538-08
0円（税込）
イド版
6ページ　オールカラー
ー10枚付き
大好評第六弾!!
6月28日
全国書店にて発売!!
輝く夢のヴィジュアル玉手箱
SHOXXからスピンオフ!!
最新撮り下ろし特集
葵×輝喜
彩冷える
アンティック－珈琲店－
Special Front 12Pages Edition
と特大ポスター
0枚付き!!
目：葵×輝喜（ポップサイド）
目：葵×輝喜（ダークサイド）
枚目：シン（ViViD）
枚目：零乃（ViViD）
枚目：怜我（ViViD）
枚目：イヴ（ViViD）
6枚目：Ko-ki（ViViD）
7枚目：ゾロ
8枚目：TOON-FACTORY
9枚目：「東京指定」
10枚目：ViViD
ViViD
オリジナル・フォト・セッション
6ページ大特集!!
◆ゾロ◆イロクイ。
◆vistlip◆TOON-FACTORY
◆「東京指定」◆ケミカルピクチャーズ
V系雑誌SHOXXから生まれた
徹底的にヴィジュアルにこだわった新メディア『glitter pop』!!
36ページのスペシャルブックとポスター10枚を封入した
スペシャル玉手箱の夢のコラボメディア!!
発売日（6月28日）を過ぎても店頭に商品がない場合はインターネット及び携帯サイトからもご注文、ご購入いただけます。
http://www.ongakusenkasha.co.jp

ベルベット

amber gris

リルト

A&D

Jack Rose

EXPECT RUSH

エクスペクト・ラッシュ
期待の注目バンドをピックアップ!

ベルベット

【メンバー】リウキ（Vo）煌-kirari-（キラリ/Gt）葉霧-礼-（ハギリレイ/Gt）猟平（リョウヘイ/Ba）ナツカ（ナツカ/Dr）
【結成日】2009年1月
【主な活動場所】東京
【アイテム】2009年4月8日 1st Single『03/08』（入手不可）
2009年7月15日 2st Single『蜻蛉』（入手不可）
2009年4月8日 3rd Single『六畳一間ノ隠リ唄』（入手不可）
2010年1月20日 4th Single『悩殺スパンコォル・バグ』（残少）
2010年4月21日 1st Mini Album『閥』（バツ）（入手可）
【問い合わせ】オフィシャルサイト http://velbet.com/

amber gris（アンバーグリス）

【メンバー】手鞠（Vo）kaname（Gt）wayne（Gt）殊（Ba）悠真（Dr）
【結成日】2009年2月
【主な活動場所】都内
【アイテム】2009年10月シングル「上空8000ft-少年は天国へ届くのか-」（会場限定/入手不可）、2010年3月シングル『少女のクオレ』（入手可）
【問い合わせ】http://www.amber-gris.com/

リルト

【メンバー】空-kou-（Vo）あきと（Gt）レイ（Gt）つかさ（Ba）ルビア（Dr）
【結成日】2008年5月18日
【主な活動場所】東名阪
【アイテム】1stデモ・シングル「パーティーメリー/SMILE?」（入手不可）、2010年7月7日ミニ・アルバム『危険 ～聴くなよ!絶対に聴くなよ!～』発売
【問い合わせ】E-mail:decompsed@hotmail.co.jp

A&D（エーアンドディー）

【メンバー】SHIZERU（シゼル/Vo）YUKI（ユキ/Gt）SAKI（サキ/Gt）KAGE（カゲ/Ba）
【結成日】2008年8月17日
【主な活動場所】大阪
【アイテム】2008年10月02日 1st ミニアルバム『Aqualium』（入手不可）
2009年1月7日1stMaxi Single『quill』
2009年7月1日 2ndMaxi single『鈍色僂』
2009年12月25日 2ndMini Alubum『LACHRIMOSA』
【ライブスケジュール】2010年07月27日（火）Sibuya O-Crest
2010年[illegible]（金）[illegible]FITS ALL
2010年0[illegible]月17日（火）OSAKA MUSE
【問い合わせ】オフィシャルサイト http://www.air-dignity.com

Jack Rose（ジャックローズ）

【メンバー】Re:i（レイ/Vo）Shige（シゲ/Gt）Aki（アキ/Key）
【結成日】1999年8月
【主な活動場所】都内、渋谷路上
【アイテム】
2003年7月 1st Album『FACES』（入手可）
2005年5月 3rd Maxi Single『Moon drop』（入手不可）
2006年9月 2nd Album『Heart Infection 01』（入手可）
2007年11月 5th Maxi Single『ネバーランド』（入手可）
2009年4月 6th Maxi Single『TRY-angle』（入手可）
【問い合わせ】オフィシャルサイト http://www.jackrose.net

蝴蝶网
hudie.com

ベルベット

強烈な5つの個性の科学反応。

5月に行った渋谷BOXXのワンマン・ライヴもソールドアウトを記録。結成から1年半にも関わらず、今、加速度を上げ、注目の視線をその身へ注ぎ込んでいるベルベット。7月30日には、池袋BlackHallでのワンマンも決定。8月には、全国ツアー。9月19日には、PV付きマキシ盤のリリースも計画中と、その精力的な動きは止まることを知らない。そんな個性派揃いのベルベットの魅力を、さっそくお伝えしよう。

Interview:TOMONORI NAGASAWA

――個性的なメンバーが集まったこのバンドに、また新たなキャラクターのナツカさんが加入しました。手元の資料には〝最狂のNew Typeドラマー〟と言うことですが。

リウキ：彼のドラム・プレイは、そうとうクレイジーですね。おかげでバンドの雰囲気も、ちょっと狂ってきました（笑）。

ナツカ：ベルベットのメンバーは、バンドの活動は忙しいのに、性格がやたらマイペースなんですよ。だから、自分がみんなのケツを引っぱたいてます。

――パワードラマーとタッグを組んでいるのが、「KAKUSEIロックベース」の猟平さん。

猟平：みずからロックベースと名乗っているので、パワードラマーと一緒にゴリゴリな音で、かなり男らしく攻めたてています。

――そんな轟音ビートを土台に暴れまくっているのが、〝駆け出しのじゃじゃ馬ギター〟葉霧-礼-（以下礼）さんです。

礼：性格的に、一度走り出したら止まりたくない性格なんです。とくにステージ上では激しく暴れるので、そこから、〝じゃじゃ馬ギター〟と呼ばれるようになりました。

――対して、煌-kirari-（以下煌）さんは、〝創造性エロティックギター〟というキャッチフレーズですが。

煌：けっしてエロティックな性格ということではなく（笑）、アプローチ的に妖艶な色を好んでいくタイプなんです。

礼：そう、男のフェロモンを、そのギタープレイからは醸しだしているからね。

――ヴォーカルのリウキさんは、〝アトミックメッセンジャー〟なんですね。

リウキ：うちのバンド、サウンド面ではかなり〝破壊性〟を持ったぶ厚い音でせめているんです。だからこそ、その迫力にまけないダイナミックな歌唱スタイルを提示しなければならないので、そう名付けました。歌詞の内容に関しては、破壊的と言うよりも、ストレートに自分の心の想いをぶつけてるだけなんですけどね。

猟平：いやいや、彼の書く歌詞は、どれも内容深くインパクトも強いので、まさに〝ドカ～ンとアトミック〟な内容ですよ。

――結成から1年半。2回のワンマンも満員御礼にしていて、いい上昇の流れを描き出しています。メンバー自身、短期間内で観客を惹きつけてきたこのバンドの魅力をどの辺に感じてますか。

リウキ：良くも悪くも、セオリーが無いってことじゃないかな。もちろん自分たちの中には、〝譲れない芯〟となる部分があるんですけど。そこさえブレなければ、むしろ幅広く、色々なものを吸収する雑食性があった方が面白いと思うんです。

ナツカ：僕が加入する前に持っていたベルベットの魅力って、まさに〝勢いで押してゆく〟ところだったんだと思います。でも最近は、そこへ〝華やかな彩り〟が加わり始めている。そこが今後どう花咲くか、その辺が魅力の鍵になりそうです。

礼：4月よりナツカがメンバーに加わったことで、さらに個々のキャラクターの持ち味やプレイ・スタイルが広がったからね。1曲ごとの世界観も以前より華やかさが増していると思います。でも、ステージでは、相変わらず攻めまくってるけどね。

猟平：ライヴで醸しだす臨場感は、ハンパないよね。むしろその熱が、お客さんたちを惹きつけてく魅力にもなってるし。

――7月30日には、池袋BlackHallを舞台に、またもワンマン・ライヴをけしかけます。

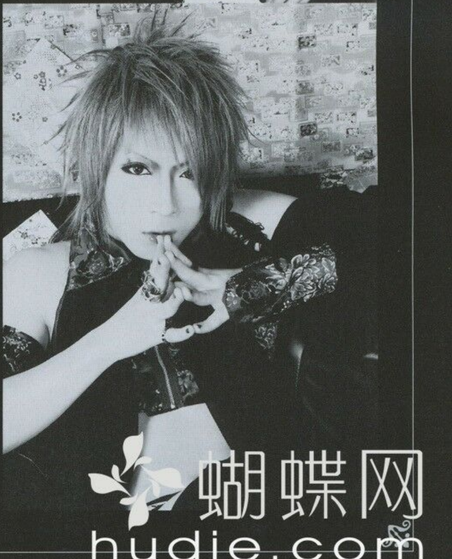
リウキ：じつは来年の1月に、結成2周年ワンマンを計画していまして。今は、そこへ向けてリリースやワンマン、全国ツアーなど、怒濤の展開をしかけます。とくにこのバンド、ワンマンでなきゃ伝えきれない面が多いだけに、そこは大切に継続してくつもりです。

――まさに、止まることなくですね。

リウキ：むしろ、止まりたくないんですよ。個々にモチベーションの高いまま表現できているのも、目の前に幾つもの越えるべき目標があるからこそなんで。

礼：その通り。現状まずは、池袋BlackHallでのワンマンを一つ目の区切りとして。9月19日に発売を計画中のPV付きマキシ盤を二つ目の区切りにしてなど、節目節目を越えるべき壁として捉え、そこへ向かってギアをシフトアップしながら走り続けていきたいです。

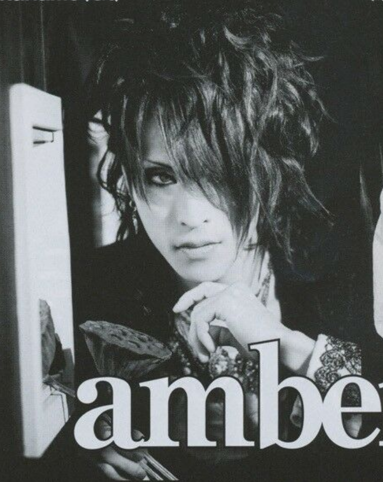
猟平：僕ら、〝暴動区域を拡張する〟をコンセプトにしているので、これから全国のギャング（仲間）たちと一緒に、シーン揺るがす暴動の輪を広げますから！



蝴蝶网
hudie.com

手鞠(Vo)

kaname(Gt)



殊(Ba)

amber gris

運命的な“希少価値”

期待の新星が誕生した。…と、素直に書きたいところだが、彼らにそんな簡単な言葉を当てはめてしまうのはもったいない。それほど、amber grisの作り出す音楽は衝撃的であり、確実に、このシーンを揺るがすものとなるだろう。初登場となる今回のインタビューでは、バンド結成のいきさつから、すでに発売されている音源について。そして、これからの予定を訊いてみた。

Interview:ERI MIZUTANI

――amber gris、誕生のいきさつとは？

殊：発起人というのは特にはいなくて。言ってしまえば、手鞠くんと一緒にバンドをやりたい人たちが集まったのが、amber grisの始まりなんです。

――なるほど、ヴォーカルありきのバンドだと。

悠真：…って言われると照れるよね。

手鞠：まぁね（笑）。みんなとは、以前から面識がある人もいれば、知人からの紹介で知り合いになった人など、様々なんですけど、すごく自然な形で一緒に組むことが出来たと思います。お互い、音楽の好みが似ているんですよね。同じアンテナを張っている人たちだからこそ、一緒にやったら面白いことが出来るんじゃないかなと。あと、音楽性はもとより、この人たちとやったら楽しくなるなって思ったんですよね。

悠真：何だか、初めてバンドを組んだ時のような楽しさがあるんですよ、みんなと音楽やっていると。

――それ、バンドをやる上でいちばん重要なことだと思いますよ。ところで、バンド名の由来というのは？

kaname：これは僕が持ってきたんです。amber grisという言葉は竜涎香のことなんですけど、大ざっぱに言えば“希少価値”という意味があって。手鞠くんも言っていたように、僕らは自然な流れで集まることが出来た。それって運命的なことだなと思うんです。なので、選ばれた者たちという意味合いも含めて、このバンド名にしました。

――それは、このシーンへの問い掛けでもあり？

手鞠：もちろん、今のシーンで、希少価値のある存在になりたいという想いも込められています。

悠真：そうなんですけど、このヒネクレ者たち、こんなにも希少価値があるのか！ぐらいに捉えてもらえれば（笑）。

――（笑）それにしても、結成したばかりにもかかわらず、ここまでバンドの世界観が出来上がっているのはすごいですね。

手鞠：これも自然な流れだったんですよ。特に何かを照らし合わせたわけでもないですし。ただ、全員が音楽を楽しみたいという挑戦のもとに作っていったら、こういった世界観になっていったというか。

――良い意味で、アンダーグラウンドだと思います。

手鞠：（笑）最初にリリースした、会場・通販限定シングル『上空8000ft-少年は天国へ届くのか-』はすでに完売しているんですけど、これはかなりこだわって作りましたね。

悠真：それだけに、出来た時は感動しました。

殊：改めて振り返ると、1曲1曲の完成度が高い作品だったと思います。

――今年3月にリリースされた、『少女のクオレ』に関してはいかがでしょう？

wayne：この作品、最初の段階から、ああしよう、こうしよう、ってことがなかったんですよね。それは前の作品でも同じなんですけど、このバンドでは、そういった決まりごとみたいなのが一切なくて。

――なかなかないですよね、そういうの。

wayne：そういう話をしなくても、不思議とみんなのやりたい方向性が一緒になるんです。元々、ヴォーカルに集まってきたバンドなんで、何も言わなくても自ずと形が見えてくるというか。だから、俺が曲を作る時も、特に何かを意識して作るわけでもないし。それに面白いことに、このメンバーの手にかかると、デモで出したこと以上のものが返ってくるんです。信頼しているメンバーだからこそ、投げっぱなしにしても大丈夫。だから自分としては、作曲に対する姿勢っていうのが、最近すごく変わってきましたね。

――やればやるほど、面白くなってきそうですね。9月には、ミニ・アルバムもリリースされるそうですし。

殊：絶賛、曲作り中です。

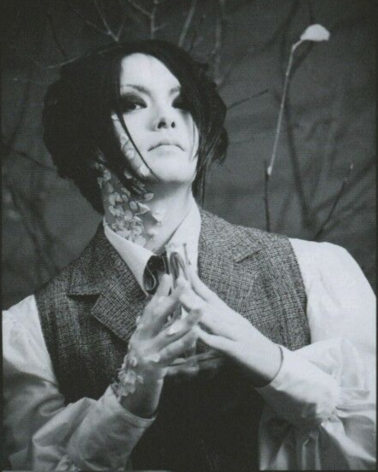
――良くなりそうですかね？

手鞠：今の状態を例えるなら、目の前にごちそうが山盛りになっていて、それを何から食べようかなってワクワクしている感じ（笑）。それだけ、何も無理していいんですよね。だから次の作品も、本当に自然と出来上がると思います。

――その前にはツアーもありますからね。新作同様、期待しております。

殊：その頃には録りも終わっているので、ヤル気充分だと思います（笑）。

wayne(Gt)



悠真(Dr)

蝴蝶网 hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

つかさ(Ba)　あきと(Gt)　空-kou-(Vo)

リルト

レイ(Gt)

ルビア(Dr)

笑顔になれる前向きなV-POP!!!

昨年末、メンバーの脱退に伴い、活動を休止していたリルトが、今年の夏、ついに活動を再開する。"笑顔になれる前向きなV-POP"をバンドコンセプトに、空-kou-(Vo)、あきと(Gt)、レイ(Gt)、つかさ(Ba)、ルビア(Dr)の5人が紡ぎ出す音楽は何とも爽快。活動再開となる主催イベントはもちろんのこと、7月7日発売の最新ミニ・アルバム『危険～聴くなよ!絶対に聴くなよ！』も必聴だ。

Interview:ERI MIZUTANI

——始めに、再始動に至るまでの流れを教えて下さい。

空-kou-（以下、空）：このバンドが結成されたのは2008年、オリジナル・メンバーは、僕とドラムのルビアです。

ルビア：2人して好きな音楽が一緒だったということもあり、最初から目指す方向性も自然と固まっていったという感じですね。

——その時は、どんな音楽性でやっていこうと？

ルビア：簡単に言ってしまうと、明るくてポップな音楽ですね。それは今も変わらずなんですけど、老若男女に楽しんでもらえるものをやっていきたいなって。

——バンド名もそこから付けたとか。

ルビア：〝リルト〟には、〝快活な〟とか〝陽気な〟という意味があるんです。明るい音楽をやっていこうって決めた時から、これがいちばん適しているんじゃないかなと思って、このバンド名になりました。

——なるほど、全てに対して一貫性を持っていると。そして、お二人が次に声をかけたのは？

空：ギターのあきとです。

ルビア：これが面白いことに、その時は彼、ウチらがヴィジュアル系のバンドだってことを知らなかったんですよね（笑）。

あきと：そもそも、僕、そこまでヴィジュアル系というものに詳しくなかったんで。なので、最初にリルトのライヴを観た時は驚きましたね。うわぁ!って。

——（笑）もしや、その時点では入るのをやめようかなって？

あきと：やめようとは思わなかったんですけど、入って大丈夫かな～って（笑）。でも、リルトの明るい音楽性に惹かれたので、入ることに決めたんです。

——その後、リルトは順調にライヴを展開していくわけですね。

空：しかし、去年の暮れにはメンバーの脱退があり、活動を一時休止したんです。バンドとして上を目指すためには、もっとしっかりと準備していかないといけないと思い、活動休止という手段を選びました。それでも、今年の夏までには復活したいなと思っていたんですよね。

——まさに、有言実行じゃないですか。

空：はい！　ちなみに、新メンバーは今年に入ってから探したんですけど、まず声をかけたのは、ギターのレイでした。

レイ：僕が入ったキッカケは、昨年末にやったセッションでのことなんです。そこで、ルビアと一緒にステージに立つ機会があって、何ていうか…運命を感じて（笑）。こいつとなら合うなっていうのが一瞬で分かったんですよ。もう、直感ですね。それで、そこから話を進めていくうちにリルトに誘われて。僕も、ポップな音楽をやれるバンドをずっと探していたので、誘われた時は嬉しかったです。

——あきとさんとの相性は？

レイ：良いチームワークやんな？

あきと：うん、そうだね。

空：真逆な2人だからこそ合うんだと思います。で、ベースのつかさはというと、前からの知り合いだったんです。でも、彼はバンドをやりたそうな気配がまるでなくて。

ルビア：そうそう（笑）。けど、勇気を振り絞って誘ったんですよ。ウチのチームに入ってみないか！って。

——何とも珍しい誘い文句。

つかさ：（笑）でも、彼らのやりたい音楽性は最初から理解していたし、メンバーとも波長が合ったので、これなら安心して出来るかなって。それに、自分のことを必要としてくれるのがすごく分かったので、加入を決めたんです。と言っても、いつになったら誘ってくれるのかな…って、内心思っていたんですけどね。

ルビア：レイもつかさも、即決で良かったです（笑）。

空：さっきも言ったように、夏までに復活できたことを本当に嬉しく思います。

——最新作では、リルトが掲げる〝笑顔になれる前向きなV-POP〟というところが存分に出ていて楽しめましたよ。

ルビア：タイトルを見ただけで聴きたくなりますよね（笑）。内容としては、去年完売してしまった1stデモシングルの曲も含まれているんですけど、僕らの描き出す〝前向きさ〟を感じ取ってもらえたらなって。

空：そこはもちろん、ライヴでも見せていきますよ。このCDの発売前日に主催イベントを行なうんですけど、来てくれるみんなには、明るく元気で、そして笑顔になって帰ってもらいたいですね！

A&D

目標は比類なき個性!!

8月17日で結成2周年を迎えるA&D。彼らが6月23日に、最新シングル『BLACK HEAVEN』をリリースする。さらに7月下旬より、結成2周年を記念した東名阪ワンマン・ツアーも実施。とくにファイナルの地となる8月17日・OSAKA MUSEは、バンド結成2周年の日。とてもスペシャル感を持った内容になりそうだ。そんなA&Dの素顔を、まずはお届けしよう。

Interview:TOMONORI NAGASAWA

HEAVEN』が発売になります。「通常盤」3曲目に収録されている「SAKURAソラロイド」の歌詞に、YUKIさんは♪惚れた女の胸の中じゃ／転がされては落ちて♪と綴りました。もしや、惚れた女性には振りまわされるタイプですか?

YUKI：いきなり、質問はそこですか(笑)。あの歌詞は、僕が恋の罠にかかってしまったときの話がベースにはあるんですけど、むしろ、SHIZERUくんの経験に近いような(笑)。でも歌詞を書く際に、自分が経験した傷をプラスに持っていこうとする面があるのは、確かです。

──普段のYUKIさんって、S気質が強そうだけど。じつはM体質なのかな?と思ってしまったもので(笑)

YUKI：僕の場合、気質的にはSですよ。むしろMのほうは…(笑)

SHIZERU：僕は、まさに歌詞の通りの性格です(笑)。この曲を唄うときは、ホンマ思いきり感情移入出きたと言うか。YUKIくんは、自分の感情をまんま書いてくれるんですよ。僕は、すぐに人を好きになるし。すぐに、相手のことを信じてしまうし。相手の言ってることを、真に受けてしまう性格。そのおかげで、何度女性の手のひらの上で転がされ、何度泣いたことか。(笑) 2曲目へ収録した「BelieverS」じゃないけど、〝泣きたいとき〟も〝逃げたいとき〟もけっこうあります。ホンマ心がデリケートな人間なんです(照笑)。

YUKI：僕は普段は人前では弱いところを見せたくないですけど、音楽を通して表現するのは人間の素直な感情なんです。ちなみに自分も、好きになったらガツンッと一直線系なので、そうなったときは冷静さを失ってしまいがちですね(笑)

──そんな余談的な話から始まりましたが、A&Dと言えば、メロディックでキャッチーなノリ良い歌物楽曲を魅力にしています。でも最新作の表題歌『BLACK HEAVEN』は、ドラマチックな展開見せゆく、激しい構築美を描き出した作品に仕上がりました。

YUKI：この楽曲を通し、最初に伝えたかったのが、よく心の傷は時間が癒してくれると言うけど。突然忘れたかった

じゃないですか。そんな感情って、何処に消えたり、何処から甦ったりするものなのかという気持ちを表現しました。曲調面でも〝らしさ〟を残しつつ、新しい風を吹き込んだ、スタイリッシュかつワイルドな楽曲になっています。

KAGE：フックを効かせた「BLACK HEAVEN」を、あえて表題歌に持ってきました。そのことによってバンドにとっても、1ステップ上がれた姿を提示できたのは嬉しかったですね。

──それは、どんなテーマ性なんですか?

KAGE：この曲の演奏テーマは、〝セクシー〟。全体的に〝セクシーなウネリ〟を導き出しながら。LAWのフレーズ面にはヴィブラートを効かせ、音をビンビンに立たせているので、ぜひ、その演奏に痺れてもらいたいなと思っています。

SAKI：『BLACK HEAVEN』に関しては、「初回限定盤」にはPVも付いているんです。それによって映像面でも、バンドの一体化した姿描き出した、ライヴで見せるのとは違う魅力を描き出せたと思うので、そこもぜひ触れて欲しいところなんですよ。

YUKI：このバンドでつねに心がけているのが、〝他にはない個性〟、〝わかりやすいストレートさ〟、〝ライヴで楽しめる〟という3点。それを、個々に形にしていったのが、「BLACK HEANEVN」、「BelieverS」、「SAKURAソラノイド」なんですよ。

KAGE：とくに「SAKURAソラノイド」は、思いきりライヴを意識した曲編成にもなっているんでね。

SHIZERU：きっと誰もが経験覚えるような歌なので、ぜひ聴いて欲しい。

──7月には、東名阪を舞台にしたワンマン・ツアーも決定しました。

YUKI：ちょうと大阪公演が、A&D結成2周年の日。正直、気がついたら2年経ってたという感覚とはいえ。ちゃんと意味のある歩みを描いてきたとも思っているよう、東京と名古屋での初ワンマンを含むこのツアーを通し、またひとまわり大きなステップ踏み出す内容を見せつけるので、ぜひ足を運んでください。

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

EXPECT RUSH
エクスペクト・ラッシュ
期待の注目バンドをピックアップ!

Jack Rose

ひたすらリアルな音を探求する!!

6月24日に、渋谷BOXXを舞台に、Jack Roseがワンマン・ライヴを行う。この日は、ギタリストShigeのバースデーも兼ねた内容。今でも精力的にストリート・ライヴを行っている彼ら。路上を通してファンになった人たちをガンガン巻き込みながら、シンパを増やし続けているJack Rose。本誌初登場の3人。まずは、彼らの持つ魅力を紐解いてみた。

Interview:TOMONORI NAGASAWA

――4月に行ったワンマン・ライヴを持って、新生Jack Roseとしての活動も1年を経過しました。

Shige:以前は5人編成でやっていたのですが、一時活動を停止後、改めてJack Roseとしての活動を行う際に今の3人で、ふたたび立ち上がりました。結果、5人から3人になったことで、意志や意見も明確にまとまりやすく、より行動も身軽になりました。

――Jack Roseの魅力は、ルーツに様式美へヴィメタルの要素を持っているのでドラマチック&ハードエッジな楽曲を奏でつつ、デジタルな要素も大胆に導入。さらに、歌が歌謡メロ的なアプローチを施しているので、とても親しみやすさを覚えてゆくところにあります。

Aki:歌を中心に据えたロックという姿勢を軸にしながらも、ダンス系のスタイルを取り入れています。ハードな音の中へデジタルな要素を交えてゆくことこそが、今のJack Roseらしさ。今は、毎週のよう積極的にストリート・ライヴを演っているのですが、この手のサウンドは新鮮なインパクト放つらしく、路上ライヴを通してファンになった若い子たちが、次々と増えている状況なんです。

――ハード系ヴィジュアル・バンドで路上をやるというのが、新鮮ですよね。何時も、どの辺でやっているのですか?

Rei:金曜、土曜の週末はだいたい20時頃から、渋谷のハチ公口喫煙所付近か、マルイ・シティ側の路上でやっています。たまに平日も演奏しています。

――Jack Roseの魅力は、聴いた瞬間からメロディーが胸に残っていくこと。路上で耳にしたお客さんが、その場で虜になっていく理由もわかります。

Aki:このバンドは1回聴いただけで人の耳に残ってゆくキャッチーな歌メロをバンドの魅力として強く押し出していきたいところでもあります。

――既発のミニ・アルバム『Heart Infection 02』には、ポップな要素を押し出した楽曲から、ドラマチック/メロディックなハード系ナンバーまでと、彩り豊かな楽曲を詰め込んでいます。

Aki:この作品には、ヴィジュアル系ロックなスタイルと、メタル的なアプローチ、そしてJ-POP的な要素を持ったメロディなどをミックスした、多彩な表情を詰め込みました。

――直近ですが、6月24日には、渋谷BOXXを舞台に、Shigeさんのバースデー記念ワンマンも開催になります。

Rei:今は、路上とライヴハウスでの活動を平行して実施。でもストリートでやる場合、路上で活きる楽曲を軸に置いて演奏しているので、どうしても表現しきれない楽曲も出てくるんです。でもこの日のワンマンでは、新生Jack Roseになって以降の歩みを一気に集約させた姿を魅せるつもりです。まずは、この渋谷BOXXをソールドアウトさせ勢いを携えたまま、そこからワンランク、ツーランク上の展開へ持っていこうと思っています。まずは、この日のワンマン・ライヴを通し、Jack Roseの神髄を披露するつもりです。

Shige:じつは、Jack Roseの存在を路上ライヴで知って、初めてライヴハウスへ足を踏み入れたという若い子たちが、着実に増えているんです。むしろ、その道筋を築きあげるのが僕らの役割とも思っているので、少し大きめなライヴハウスでのワンマンという場を通し、みんなで一体化しながら騒ぎまくる楽しさというのを、どんどん知らしめていこうと思ってます。

――今のJack Roseの音楽性は、30代~40代の方には〝懐かしさ〟を持って。10代~20代の人には〝新しい〟スタイルの音楽として染み込んでいる状況があります。幅広い人たちの胸に分け隔てなく届いているのも、魅力ですよね。

Rei:自分たちでも、どんどん若い子たちが増えているのには嬉しい驚きを覚えています。それだけJack Roseの音楽には、胸に訴えかける何かがあるんだろうし、そのまま仲間たちを増やしながら、将来は俺らの仲間だけで、日本武道館を埋めてやろうと企んでます。

ヴィジュアル系専門店 販売・買取

PURE SOUND

西日本最大のヴィジュアル系中古SHOP。品揃えは西日本一！
1フロアに5万点の品揃え！只今、ゴシック&ロリータ古着コーナー拡大中！
大阪と言えばピュアサウンドです。

商品ラインナップ

CD/DVD/VHS/テープ/ＦＣ会報/ツアーパンフ/ヴィジュアル系雑誌・書籍/アーティストグッズ/ゴシック&ロリータ古着

今月の一押しアーティスト

己龍/SUICIDE ALI/boogieman/R指定/vistlip/ケミカルピクチャーズ/ViViD/THE KIDDIE/DELUHI

SUICIDE ALI [Stitch DoLL] 発売記念インストア決定！

日時 2010年7月10日 13:00～
場所 ピュアサウンド西新宿店
出演 SUICIDE ALI ※SUICIDE ALIメンバーからアメリカのお土産あり。
司会 荒瀬大 (dieS) ※Stitch DoLL 購入で整理券を配布。
内容 トーク＆握手＆サイン会＆5ショットチェキプレ

ピュアサウンド西
東京都新宿区西新宿7-16-1
03-6304-0360

ご予約・確保のお問合せは右のアドレスまで件名を「インストア問合せ」でお願い致します。 → nishishinjyuku@psou

■CD(邦楽・洋楽etc)■DVD(ミュージック・映画・アニメetc)■音楽雑誌■ツアーグッズ各種■FC会報■ゴスロリ服(その他V系古着)

郵送買取なら絶対ピュアサウンド!!

1枚からでも**無料**！着払いでお送り下さい。送料代金は、**当店が負担します！**

店頭にて持ち込みでの買取も行っております。
その場で専門スタッフが査定。即現金にてお支払い★
※身分証明書をご持参下さい。
※18歳未満の方は親権同意書が必要となります。

買取方法

①商品の送付
・お売り頂く商品
・身分証明書のコピー (運転免許書・保険証・パスポートのいずれか1点)
・買取依頼書
・親権者同意書 (18歳未満の方のみ)
を必ず同封の上お送り下さい。

②査定
当店到着後すぐに専門スタッフが1点ずつ丁寧に査定。

③結果
査定結果をメール or 電話にてお知らせします。
査定にご納得頂けない商品はキャンセル可能です。

④お支払い
お客様からの承諾を頂き次第ご指定の口座にお振込♪
お振込の際には、査定金額より送金手数料400円を引かせて頂きます。

詳しくはこちら ▶

【買取依頼書について】ピュアサウンドホームページにてプリントアウト出来ます。手書きの依頼書でも結構です。以下の点を記載した用紙を同封して下さい。[振込先の金融機関情報、氏名、住所、連絡先、メールアドレス]【親権者同意書について】18歳未満の方のみ。ピュアサウンドホームページにてプリントアウト出来ます。手書きの同意書でも結構です。「CD・DVDを売ることに同意します。」と、ご家族の方にご記入頂き、親権者氏名、本人氏名、住所、連絡先を記載した用紙を同封して下さい。
【査定後不成立の商品返送について】即日ご返送させて頂きます。その際の送料はお客様のご負担となります。ご了承下さいませ。

ゴスロリ専門サ

～maiden clothin
http://www.maidenclothin

郵送買取キャンペ

期間▶6/21～7/20着ま

下記高価買取ブランド、メンズ高価買取
記載されているブランドの商品
1点以上で全体の査定金額が20%
(※状態が悪い物/デザインが古い物は対象外と

モバイル版 遂にOPEN!! ▶▶▶

蝴蝶网 hudie.com

買取強化キャンペーン

期間 6/21▶7/20着まで

下記の買取強化アーティストの商品1点以上で
全体の査定金額が20%UP!!
(※状態が悪い物は対象外となります。)

買取の極意！

①CDなどの帯は捨てたらアカン!!
②美品・完品(付属品が完備)が一番!!
③リストにないようなレア商品を売る際、補足説明を書いたメモがあればGOOD!!

ゴシック&ロリータ古着取り扱いブランド

◆ATELIER-PIERROT ◆ATELIER BOZ ◆ACID JAZZ MEN ◆alice auaa ◆ALGONQUINS ◆Angelic Pretty ◆Innocent World ◆Victorian Mai
◆VISIBLE ◆Vivienne Westwood ◆Vivienne Westwood MAN ◆Vivienne Westwood RED LABEL ◆A+Lidel ◆h.NAOTO ◆h.NAOTO(Hn+DIE
◆h.NAOTO(Sixh.) ◆h.NAOTO(H.naoto Freak School) ◆h.NAOTO(h.ANARCHY) ◆h.NAOTO(H.ANARCHYISM for PLUS) ◆h.NAOTO(H.ANARCHYIS
◆h.NAOTO(Sixh.) ◆h.NAOTO(Hn+DIE) ◆h.NAOTO(h.NAOTO Blood) ◆h.NAOTO(H.jelly Honey) ◆h.NAOTO(GRAMM) ◆h.NAOTO(FRILL)
◆h.NAOTO(SEVEN) ◆h.NAOTO(CHANNEL H) ◆h.NAOTO(rockers H baby) ◆EXCENTRIQUE ◆Emily Temple Cute ◆Ozz On ◆OZZ CROC
◆Carina et Arlequin ◆CANDY STRIPPER ◆Qutie Frash ◆Cornet ◆gouk ◆Jane Marple ◆ZT+PUNX ◆Jean Paul GAULTIER ◆Juliette e
◆SUPER LOVERS ◆SEX POT ReVeNGe ◆SEXY DYNAMITE ◆SEXY DYNAMITE CHOICE ◆SEXY DYNAMITE LONDON ◆CHOCO CHIP
◆T.KUNITOMO ◆DEORART ◆DelilaH ◆Dangerous nude ◆no future ◆Heart.E ◆BANANA FISH ◆HIDE ROCK ◆HYSTERIC GLAMOU
◆BLACK PEACE NOW ◆BLACK PEACE NOW(FOR MEN) ◆PUTUMAYO ◆HELL CAT PUNKS ◆BABY, THE STARS SHINE BRIGHT
◆BABY, THE STARS SHINE BRIGHT ALICE and the PIRATES ◆MARBLE ◆MAD Girl ◆MAD PUNKS ◆MAXICIMAM(MA) ◆MAM ◆MIHO M
◆MILKBOY ◆Mary Magdalene ◆metamorphose ◆Moi-meme-Moitie ◆UNION JACK ◆LAPIN AGILL ◆LISTEN FLAVOR ◆ROMANTIC NE
◆WORLD WIDE LOVE! ◆Q-pot ◆MALKOMALKA ◆STIGMATA ◆GADGET CROW ◆monomania ◆JESUS DIAMANTE

高価買取ブランド

◆QutieFrash ◆HIDE ROCK Design
◆Moi-meme-Moitie ◆Q-pot
◆MALKOMALKA ◆alice auaa
◆STIGMATA ◆Vivienne Westwood
◆GADGET CROW ◆monomania
◆MILK(デザインの古い物は除く)
◆JESUS DIAMANTE

メンズ高価買取ブラ

◆BAFFALO BOBS ◆N
◆Justin Davis ◆DEAL
◆Roen ◆VANQUISH
◆BACK BONE ◆h.nao
◆GLAD NEWS ◆FUGA
◆VICE FAIRY ◆monom
◆ROYALORDER ◆dis

今月の買取強化アーティスト ▶▶▶

ADAPTER。/電脳ロメオ/アヲイ/emmuree/R指定/UnsraW/exist†trace/ヴァルナ/vistlip/ViViD/girugamesh/己龍/キャンゼル/KYOKUTOU GIRL FRIEND/THE KIDDIE/
cocklobin/ゴールデンボンバー/THE.GOLDEN SPIDER/SuG/砂月/Jessica/人格ラヂオ/Smells/Sel'm/SEX-ANDROID/ゾロ/D=OUT/DEATHGAZE/DELUHI/D'ESPAIRSRA
「東京指定」/トゥーン工場/xTRiPx/9GOATS BLACK OUT/heidi./妃阿甦/フィオーレ/FLOPPY/ベルベット/VELGREED/born/Merry Go Round/Lycaon/lynch./Vallquar-ワル

買取リスト

R指定	CD	裏切連鎖。	1000
	CD	オカルト地獄	1200
	CD	玉砕メランコリィ	1000
	CD	東京ラシキ此ノ人生	1500
	CD	人間失格 初回限定盤	1800
	DVD	裏切連鎖。	1200
電脳ロメオ	CD	Extended Type-D,R	各1000
	CD	PHYSALIS	1200
	DVD	ロケケ将軍の[illegible]	1000
アヲイ	CD	DEADMAN	1200
	CD	ZACRO	1200
	CD	あの子	1500
	CD	メリーさん	1000
	CD	モノクロ	2000
	CD	夕焼けカラス	1500
	CD	雨のち[illegible]	1000
	CD	真っ暗、真っ黒、真っ赤々な劇	2000
	CD	[illegible]	1000
	CD	排水口	1500
	CD	[illegible]	1000
emmuree	CD	an acute	1000
	CD	白冬のパラドックス・白[illegible]	2500
	CD	絶望を奏でる古時計、灰色のピアノ。	1000
exist†trace	CD	ambivalence	1200
	CD	Ambivalent Symphony	1000
	CD	Annunciation-the heretic elegy- 初回盤	2000
	CD	Annunciation-the heretic elegy- 通常盤	1000
	CD	Demented Show20070715	1400
	CD	funeral bouquet	1200
	CD	Recreation eve	1400
	CD	VUNGUARD-of the muses-	1000
	書籍	Prologue	1000
ヴァルナ	CD	Distopia	1000
ViViD	CD	Dear	2000
	CD	Take-off	2000
	CD	THE ViViD COLOR 初回盤	1600
	CD	THE ViViD COLOR 通常盤	1400
vistlip	CD	「STRAWBERRY BUTTERFLY」lipper	400
	CD	「STRAWBERRY BUTTERFLY」vister	600
	CD	Alo(n)e 【DVD付】	400
	CD	drop note. 【DVD付】	400
	CD	OZONE 【DVD付】	600
	CD	PATRIOT 【DVD付】	1500
	CD	PATRIOT 【CDのみ】	1200
	CD	REVOLVER 初回限定盤	1000
	CD	THEATER-visiter 【初回限定盤】	1800
	CD	THEATER-lipper 【通常盤】	1400
	DVD	BUG	1800
OZ	CD	「ATHENA」「S.I.N」-NORMAL EDITION-	600
	CD	and to the end	1000

OZ	CD	CRY the crime	1000
	CD	Decay…	1000
	CD	over again	1000
	CD	RAZE 会場限定盤 SECOND PRESS	1000
	CD	VERSUS	2000
	CD	viridian	1000
	CD	wisteria	1000
	DVD	A FACT OF LIFE 20090218 -Territory TOKYO-	2000
THE KIDDIE	CD	elite STAR+ Aタイプ	1200
	CD	Little SENOBI	1000
	CD	Little SENOBI 2nd プレス	1200
	CD	NOAH Aタイプ	1200
	CD	NOAH Bタイプ	600
	CD	Plastic Art	1000
	CD	SINGLE COLLECTION	1400
	CD	サヨナラセツナ	600
	CD	ポプラ 初回限定盤	600
	CD	ポプラ 通常盤	400
キャンゼル	CD	FIRST STEPS E.P.	1000
	CD	LOVERS E.P.	400
	CD	Neo PRESENCE E.P.S.	2000
	CD	NeXT SEASONS E.P.	1000
	CD	TwINKLE SUNLIGHT E.P.	800
KYOKUTOU GIRL FRIEND	CD	[illegible]	400
己龍	CD	明鏡止水＜通常盤＞	1400
	CD	アナザーサイド	1600
	CD	朧月閑花	800
	CD	朱ク咲ル[illegible]ノ音(初回盤)	1000
	CD	月ノ[illegible] A,B-type	600
	CD	水無桜【Aタイプ】	1600
	CD	[illegible]	1500
	CD	[illegible]・最後の恋	1000
	CD	朧月閑花 2nd プレス	1200
girugamesh	CD	「[illegible]」-初回限定盤-	2000
	CD	「[illegible]」-通常盤-	1800
	CD	13's reborn DVD付初回限定盤	2500
	CD	13's reborn 通常盤	1600
	CD	Girugamesh 初回盤	3000
	CD	Girugamesh 通常盤	1000
	CD	NOW 初回限定盤	1800
	CD	NOW スーパー初回限定盤	3000
	CD	Reason of crying 通常盤	1000
	CD	[illegible]テロリズム	4000
	CD	[illegible]された[illegible]-初回限定盤-	3500
	CD	[illegible]-通常盤-	1500
	DVD	「千名阪単独[illegible]」配布特典DVD	2500
	VHS	裏ビデオII	3000
cocklobin	CD	black	600
	CD	DARK DESIGN CATALOG	1000
	CD	死と再生	1000

THE GOLDEN SPIDER	CD	[illegible]	500
	CD	ヴェッカーラバー・ジェシカノ心臓	500
ゴールデンボンバー	CD	イミテイション・ゴールド～[illegible]～	800
	CD	～Bressiere～,～Pressure～初回盤A	1900
	CD	～Bressiere～,～Pressure～初回盤B	800
	CD	～Bressiere～,～Pressure～通常盤	1200
	CD	[illegible]した夏	1200
SEX-ANDROID	CD	狂い咲きバーニングラブ	800
	CD	Mの[illegible]	1000
	CD	SEX-ANDROID	2000
	CD	アナログ病棟696	1200
	CD	お茶ノ間キラー 初回完全限定Aタイプ	1800
	CD	お茶ノ間キラー 通常盤Bタイプ	1400
	CD	完売トラック123 Mのアナログ狂い咲き	1600
	CD	グッドモーニング・サブカルチャー 初回限定盤Aタイプ	800
	CD	ジェット・スターダスト・キャバレー DVD付初回限定盤	2000
	CD	ジェット・スターダスト・キャバレー 通常盤	1000
	CD	トゲオ 初回限定盤	800
	CD	[illegible] 初回限定盤	600
	CD	平成・コトナカレ主義! 初回限定盤 A type	1600
	CD	平成・コトナカレ主義! 初回限定盤 B type	1400
	CD	平成・コトナカレ主義! 通常盤	1000
	CD	[illegible]	3000
	CD	[illegible]	3000
Sel'm	CD	brilliant force	1200
	CD	アンソロジー(ANTHOLOGY)	1000
ゾロ	CD	APOLLO 初回限定盤	1200
	CD	CORE 初回限定盤	1800
	CD	COSMO-ステンレスミュージック-初回限定盤	1800
	DVD	NISHIKI 初回限定盤	1400
D=OUT	CD	「ZIPANG」初回生産限定盤	2600
	CD	「ZIPANG」通常盤	1600
	CD	CARNIVAL 浮世-[illegible]-初回限定盤 A,B	1800
	CD	CARNIVAL 浮世-[illegible]-通常盤	1400
	CD	銀座アバンチュール	1000
	CD	登竜門	800
	CD	[illegible](配布CD)+ダウト的歴史本	1800
	CD	ばら色の人生	800
	CD	ばら色ノ人生～会場限定盤～	500
	CD	平成バブル-[illegible]盤-	1000
	CD	[illegible]	各1000
	CD	[illegible] 会場限定盤	1500
	CD	平成バブル 限定盤	各1200
	CD	平成バブル-八・一〇事件盤-	1000
	DVD	2008年8月22日(金)豊島公会堂「[illegible]」	1000
DEATHGAZE	CD	genocide and mass murder 初回盤	1600
	CD	THE CONTINUATION	1600
	CD	腐敗と再生	1000
	DVD	Drug Overdose Death-Welcome DOWNER-	2000
DELUHI	CD	Orion once again	800

DELUHI	CD	Orion once again -2nd プレス-
	CD	REVOLVER BLAST
	CD	Surveillance
	CD	Two Hurt
	CD	ヴィジュバスリット
	CD	ジャガンナータ
	CD	マハーデーヴァ
	CD	ユグドアライブ -Yggdalive- 初回盤
	DVD	FLASH B[L]ACK
トゥーン工場	CD	Innocent
	CD	妄想Honeyの玩具箱
「東京指定」	CD	DJ PLAYER
	CD	One way～[illegible]～feat LUXAM
xTRiPx	CD	[re:birth is the stripe]
	CD	[-Re:evolutioN-]
	CD	Blue well the Air
	CD	Digital a Nature
	CD	Innovation[re]isM
	CD	raspberry on the Lips
	CD	Red drug stranger
	CD	sadistic purple lies
	CD	siesta
	CD	snow white butterfly 九州限定盤
	CD	トウメイ。
	CD	ハルイロプラスチック
9GOATS BLACK OUT	CD	Black rain 通常盤
	CD	Black rain 通販・会場限定盤
	CD	devils in bedside
	CD	TANATOS
heidi.	CD	パノラマ 初回限定盤
	CD	パノラマ 通常盤
	CD	夕焼けと子供
妃阿甦	CD	Dolei-奴隷-2nd プレス豪華限定盤
	CD	THE PIASS
	DVD	「[illegible]」+「[illegible]パラノイア」-特別限定
	DVD	SM
フィオーレ	CD	[illegible]トリックスター
	CD	東京[illegible]ラプソディー～通常盤～
ベルベット	CD	03-08
	CD	[illegible]
	CD	[illegible]スパンコォル・バグ
	CD	[illegible]
	CD	[illegible]
Merry Go Round	CD	merry goround is dead
	CD	REDDISH COLLECTORS NO DEAD ART
	CD	[illegible]よりも甘く
	CD	[illegible]
Lycaon	CD	RED RUM
	CD	Royal Order 初回限定盤
	CD	Royal Order 通常盤

Pure Sound Amerikamura ピュアサウンド
〒542-0086
大阪市中央区西心斎橋2-10-34 心斎橋ウエスト363ビル2F
☎06-6214-2549

▲こちらの宛先まで「佐川急便着払い」にてお送り下さい!!▲

■詳しい買い取り価格などはピュアサウンドホームページへ■ http://www.puresound.co.jp 携帯版 http://psound.jp

closet child

hudie.com

ゴシック/ロリータ/パンク/ロックブランド古着ショップ

h.NAOTO / Moi-meme-Moitie / alice auaa
BPN / ALGONQUINS / SEXPOT ReVeNGe / PUTUMAYO
Angelic Pretty / BABY,THE STARS SHINE BRIGHT / metamorphose
Emily Temple cute / MILK / Innocent World / Mary Magdalene

ご不要なお洋服 靴/鞄 アクセサリー お買取いたします★

http://closetchild.ocnk.net

リニューアルオープンしました!!携帯電話でもお買物いただけるようになりました!!

インフォメーション

物買取大強化中!! 期間限定 夏物お洋服買取キャンペーン

ゴシック/パンクブランド

夏物まとめてお売りいただくとお得です★

ブランドの夏物を指定着数お売りいただくと

で査定額5%UP
点以上で査定額 10%UP

買取キャンペーン対象ブランド
MIHO MATSUDA/EXCENTRIQUE/VISIBLE
MARBLE/MA/Qutie Frash/Millefleurs
Carina e Arlequin/Na+H/despair
Deorart/Ozz on/危機裸裸商店
GADGET GROW/ALGONQUINS/PEACE NOW
PUTUMAYO/LISTEN FLAVOR/
BANANA FISH/SEXY DYNAMITE LONDON/
SEX POT ReVeNGe/HIDE ROCK Design
HELL CAT PUNKS/SUPER LOVERS（現行タグのみ）

● 買取/宅配買取のご案内

ご不要になられた洋服/アクセ/靴・鞄を買取致します。買取対象ブランドは下記HPをご覧下さい。
遠方/数量の多いお客様には宅配での買取をお勧めしております。段ボール等に梱包し、必要事項
（氏名・住所・電話番号、メールアドレス・生年月日・銀行名・支店名・口座番号・口座名義人名
（フリガナ・雑誌名）を記入した用紙と身分証のコピーを同封し、下記住所までご郵送下さい。
※必ず佐川急便をご利用下さい。送料無料!!
商品到着後一週間ほどで確認のお電話をさせていただき、了承をいただきましたら、ご指定の銀行口座へ入金させていただきます※振り込み手数料はお客様負担となります。(ぱるるはご利用いただけません)
キャンセルアイテムの返品にかかる送料はお客様のご負担となります。
未成年の方は保護者の方の同意書が必要となります。

● 宅配買取送料無料!!

宅配買取受付窓口・お問合せ先 160-0023西新宿7-10-20ワセダSTビル5F
クローゼットチャイルド ショックス 10.5月号宅配係
TEL 03-3365-6361 webtakuhai@closet-child.com

宅配買取用段ボールご用意致します

宅配買取をご希望の方に梱包用の段ボールと郵送用の伝票をご自宅まで無料でお送りいたします★ご希望のお客様は
webtakuhai@closet-child.comまでご連絡下さい★

リータ夏物買取キャンペーン!!

象ブランドの
洋服5点で 買取査定額10%UP

Baby Ribbon Cornet Heart E
Innocent World Jane Marple
Juliette et Justine
metamorphose Victroian maiden
※小物・状態の悪い物は対象外となります。

Summer Bargain 開催中!!

春夏もの処分セール!!
最大90%オフ!!

クロリータブランド古着オンラインショップ

TO/BABY,THE STARS SHINE BRIGHT/Moi meme Moitie/Emily Temple cute
・ロリータブランドのユーズドオンラインショップ!!
約完売品　今期物　定番物までを随時800アイテム取り揃えたゴスロリ専門オンラインショップ!!

p://closetchild.ocnk.net

Vivienne Westwood 専門オンラインショップ

80年代の貴重なヴィンテージアイテム　入手困難なオーブライター等のレア物　人気のアクセサリー等の定番アイテム
のリーズナブルなユーズドアイテム、更に市場価格より最大7割引きの財布などの新作新品等を随時300点以上出品中！！
ヴィヴィアンマニア　ビギナーまで満足いただける専門ショップです！！

http://www.rakuten.co.jp/ainahaina/

ンズブランド開始

強化ブランド

ALO BOBS casva Diavlo DISREV FUGA GLAD NEWS HYSTERIC GLAMOUR JACKROSE
Order Sixh. VANQUISH VICE FAIRY WILD PARTY Xfrm Justin Davis LAGUST roar Roen

ブランド一覧

※シルバー類の買取はギャランティが付属してあるものに限ります。ご了承下さい。

OMMES 9CHAINS ADDICTIVE Amarantine ANGELICA ROSES BLACK FLAME BLACK LIST JAPAN brand BRING LEADS Brodiaea by gold bood
ALO BOBS CRYSTAL BURBERRY BLACK LABEL Burden BUZZ SPUNKY casva charm cult CHROME HEARTS CIVARIZE cluise COAL BLACK
IKER CRYSTAL Cure Crisis CUSTOM CULTURE D&G Daisy DEADLY JESTER Deary Del Mundo Jewelry Diavlo Diavlo DT Dior homme
LCE&GABBANA Dress Camp drestrip Eight by EIGHT BY JAPAN FAD HEDGE FARM RECORDS FranCisT_Mor::K::S. FUGA FULL BLOOD
ENNARO GLAD NEWS goa graffity Grasum GRZ&M hidden charms High BRAND HIROMU TAKAHARA infectcolors J.C. BEAST JACKROSE
n Davis JUVICE Jwyed KINGDOM kiryuyrik KNIGHT ERRANT LA GATE LAGUST LAWLESS Le Materiel Lord Camelot oree Rodkin
uv maison LUXURY GENEDR MAY CHAMP MAYHEM Midas Moonage Devilment MORGAN HOMME mtp homme MURDERLICENSE
NO CROSSING NO ID. PLATIVE PPFM PUERTA DEL SOL RECYCLAGE RED CAT RHYDEAL Riot roar Roen Roi Franc Rounder ROUTINE
Riddre RUPERT sabgreed SESSION SHELLAC Silver Bullet SIVA Sixh. SKULL SLANGY SLOW HAND JAM stillgreen STUNNING BLUE
VITCH THIRTEEN JAPAN Tokyo Rush The Real Colors TORNADO MART Tres VANQUISH Varentine varosh VAROSH the Corner VCTO
RAND sparkl VICE DYNE VICE FAIRY VivienneWestwood WILD PARTY WOLFMAN B.R.S Xfrm YOBOSS ZEALL ZERO

ブランド別買い取り額目安一覧

こちらの査定額は状態の良好なものの査定額の目安となります。
デザインの古いものに関しましてはこちらの金額は適用されませんので
ご了承をお願い致します。

	ジャケット(SS)	ヴェスト/ジレ	トップス	シャツ	Tシャツ	デニムボトム	その他ボトム	ハット	バッグ	レザーベルト	ブーツ/シューズ	小物
BUFFALO BOBS	5500円買取	2500円買取	3000円買取	2500円買取	1000円買取	4200円買取	2500円買取		2500円買取	2500円買取	5000円買取	1500円買取
BUFFALO BOBS CRYSTAL	6000円買取	2500円買取		2500円買取	2000円買取	5000円買取					4000円買取	1500円買取
Diavlo(Diavlo DT)					1000円買取			1000円買取	3500円買取	2200円買取		1500円買取
DISREV	4000円買取	1800円買取	2000円買取	2000円買取	1000円買取	4000円買取	2000円買取	2000円買取				高価買取
FUGA	5000円買取	2500円買取	2800円買取	2500円買取	1500円買取	4500円買取				2500円買取	6000円買取	高価買取
JACKROSE	4000円買取	2500円買取	2000円買取	2000円買取	1200円買取	3800円買取	3000円買取	1200円買取		2200円買取	4000円買取	高価買取
VANQUISH	5000円買取		2200円買取	2400円買取	1200円買取	4000円買取	2500円買取	1800円買取		2000円買取	4000円買取	高価買取
TORNADO MART	8000円買取	3500円買取	3500円買取	3200円買取	2500円買取	5000円買取	5000円買取	2000円買取	4000円買取	3500円買取	8000円買取	高価買取
HIROMU TAKAHARA												
MURDERLICENSE	4500円買取	2500円買取	2800円買取	2800円買取	1400円買取	4000円買取					4500円買取	高価買取
Xfrm	5000円買取	2500円買取	3000円買取	2400円買取	1500円買取	3800円買取	2500円買取	1200円買取		2200円買取		高価買取
CIVARIZE												
RHYDEAL by Silver Bullet	3500円買取		2500円買取	2000円買取	1000円買取	4000円買取		2500円買取	2500円買取	2500円買取		高価買取

ラインショップOPEN!!

今期物/定番品/人気アイテムがリーズナブルなお値段で
ます!!更にDISREV等人気ブランドのアウトレット商品も多数展開中!!

m-closetchild.ocnk.net/

は売り切れの場合もございます。ご了承下さいますようお願いいたします。

取大歓迎!!梱包用ダンボールお届けいたします!!
ご指定の口座までご入金致します!!キャンセル可。業者様買取も歓迎!!

洋服 靴/鞄 アクセサリー お買取いたします

期間限定!! 宅配買取査定額 20%UP 6月末日迄!

宅配買取のご案内

買取/宅配買取のご案内ページ →

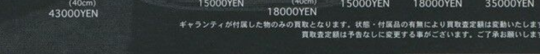
宅配買取大歓迎!!

お売りいただける品を宅急便でお送りいただくだけ!

梱包用ダンボールお届けいたします!!◆宅配買取送料無料!!

宅配買取受付窓口・お問合せ先 160-0023
新宿区西新宿7-16-12 YSビル1F
クローゼットチャイルド MensSpider 宅配係
TEL 03-3365-6316 webtakuhai@closet-child.com
宅配買取用段ボールご用意致します
宅配買取をご希望の方に梱包用の段ボールと郵送用の伝票をご自宅まで無料でお送りいたします。ご希望のお客様は
webtakuhai@closet-child.comまでご連絡下さい★

Justin Davis買取強化中!!



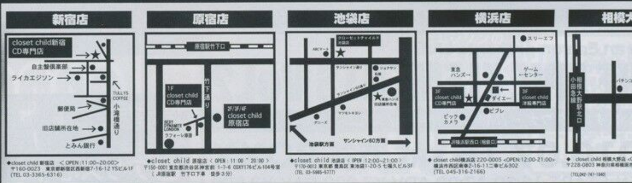
ギャランティが付属した物のみの買取となります。状態・付属品の有無により買取査定額は変動いたします。
買取査定額は予告なしに変更する事がございます。ご了承お願いします。

closetchild

160-0023 新宿区西新宿7-16-12 YSビル1階 03-3365-6316
営業時間 11:00 - 20:00(買取受付は19:00迄)
Mens Spider掲載ブランド多数取り扱いブランド古着ウェブショップ
(買取の詳細もご覧いただけます　)
http://m-closetchild.ocnk.net/

クローゼットチャイルド新宿店

closet child



日本一の在庫量!ユーズド～貴重盤～アーティストグッズ～新譜

超高額買

★クローゼットチャイルドオンラインショップ!!★

モバイル

クローゼットチャイルドのCD/レア盤/グッズ等が携帯電話&PCにて購入いただけます!!

メールでも在庫確認が出来ます☆

発売されたばかりの新譜がリーズナブルに,入手困難な貴重盤が,そして
ライブ会場やファンクラブ限定のアーティストグッズ...がお買い物いただけます!!
更に、お宝アイテムのオークション&新譜の予約も可能になりました!!!

closetchild_cd@closet-child.com

http://closetchild.j

7.17–7.19 三日間限定セール開催!!

Summer Sale 800円以下の中古商品 **ALL 50%OFF**

Planet CHILD Musicフェア開催!!

[開催店] closet child 新宿店・原宿店・池袋店・横浜店
[期間] 2010年7月1日　7月31日
[フェア対象商品]　Planet CHILD Music所属アーティスト新品CD

- お遊戯わが魔々団×【PaRADEiS】
- SOMATIC GUARDIAN
- CODE7203-KineSicS
- SEED
  新旧CD、DVD
- M
- Jackman
- hysteric
- ダリス

[期間中購入特典]

- 各バンドCD、DVD購入　未発表集合生写真 (各バンド1種、1バンドに
- 計2,000円以上購入　全バンドコメントCD
- 計3,000円以上購入　8/12新宿Future Nature valveイベントライブ

[インストアイベント]
- 7/22 池袋店 ? Jackman (1時間店員)

7.1-7.31 期間限定買取査定額大幅アップキャンペーン 20%UP

対象アーティストのアイテムは査定額20%UP

ViViD R指定 Versailles ギルガメッシュ 人格ラジオ
DELUHI DEATHGAZE ゴールデンボンバー 摩天楼オペラ lync

< 中古CD/DVD/アーティストグッズ/貴重盤 買取表 >

★は買取キャンペーン、20%UPの金額の表示に

アーティスト	タイトル	形態	買取額
ア行			
R指定	オカルト地獄	CD	¥1440★
R指定	裏音源盤。	CD	¥1200★
R指定	裏映像盤。PV集	DVD	¥1200★
R指定	人間失格 [初回限定盤]	CD+DVD	¥2400★
アンティック-珈琲店-	BEST ALBUM	2CD	¥1800
アンド	-&-[初回限定盤]	CD+DVD	¥1800
emmure'e	灯陰(ほかげ)	CD	¥1700
ViViD	THE ViViD COLOR(初回盤)	CD+DVD	¥2160★
vistlip	THEATER -visiter [CD+DVD]	CD+DVD	¥2000
Versailles	JUBILEE [初回限定盤]	CD	¥2160★
Versailles	Philharmonic Quintet 【写真集】	GOODS	¥2400★
Versailles	CHATEU DE VERSAILLES	DVD	¥3000★
M	完売音源集～あの素晴らしき日々をもう一度～	CD+DVD	¥2000
ALSDEAD	ALSDEAD	CD	¥1600
カ行			
Kaya	サロン・ド・ショコラ(DVD)	DVD	¥2000
cali≠gari	再教育　会場限定盤セット(封筒入り完品)	2CD	¥12000
cali≠gari	従 [初回生産限定]	3DVD	¥4000
cali≠gari	(BOOK)A Moveable Feast Authorized	BOOK	¥2000
THE KIDDIE	SINGLE COLLECTION	CD	¥1400
KYOKUTOU GIRL FRIE	勝手にしやがれ	CD	¥1800
己龍	明鏡止水 [初回限定盤]	CD+DVD	¥2000
己龍	水無桜 【Aタイプ】	CD+DVD	¥1800
ギルガメッシュ	13's reborn [初回限定盤]	CD+DVD	¥3000★
ギルガメッシュ	NOW [スーパー初回盤]	CD	¥3000★
ギルガメッシュ	CRAZY CRAZY CRAZY	2DVD	¥2880★
ゴールデンボンバー	金縛ねんごろツアーファイナル初ワンマン	DVD	¥2400★
ゴールデンボンバー	ザ・ゴールデンベスト-Brassiere-(初回B)	CD	¥1200★

アーティスト	タイトル	形態	買取額
サ行			
SuG	BL⇔Rock Party MonstAr	DVD	¥4500
SuG	TOKYO MUZiCAL HOTEL [初回限定盤]	CD+DVD	¥2000
SaTaN-サタン-	WELCOME TO THE DEAD	CD	¥1200
Sadie	Singles	CD	¥1200
Sadie	『MASTER OF ROMANCE』 at SHIBUYA-AX2009	DVD	¥6000
Zip.er	MiLKinG	CD	¥1500
シド	流通盤	CD	¥5000
シド	Side B complete collection～ [初回限定盤A&B]	CD+DVD	¥2000
シド	SIDNAD Vol.4～TOUR 2009 hikari	DVD	¥3000
SHULA(シドVo.マオ在籍)	Shu-la-tic	CD	¥10000
人格ラヂオ	証拠 (通常盤)	CD	¥1920★
人格ラヂオ	遊歩道[ジャケットカード付]	CD	¥1800★
SEX-ANDROID	完売トラック1.2.3-Mのアナログ狂い咲き-	CD	¥1700
ゾロ	「COSMO」・ステンレスミュージック [初回限定盤]	CD+DVD	¥2000
ゾロ	CORE(初回限定盤)	CD+DVD	¥2000
タ行			
ダウト	ZIPANG(初回CD+DVD)	CD+DVD	¥2500
ダウト	CARNIVAL浮世～吟～ [初回限定盤B]	2CD	¥1700
D	ALICE	CD	¥15000
D	1st Video Clips	DVD	¥3500
DaizyStripper	「CROSSTRIP」 2008.0909.LIVE	DVD	¥1600
D'espairsRay	モノクロになった最後の日(配布CD)	CD	¥5000
D'espairsRay	murder Day 2004.9.23(限定盤スリーブケース仕様)	DVD	¥4000
DIR EN GREY	BLITZ 5 DAYS	5DVD	¥7000
DEATHGAZE	THE CONTINUATION	CD	¥1920★
DELUHI	Surveillance	CD	¥6000★
DELUHI	ユグドアライヴ(初回ピクチャー盤)	CD	¥2160★
東京ミカエル。	36.5℃(通常盤)	CD	¥1500

アーティスト	タイトル	形態
ナ行		
NoGoD	INDIES BEST SELECTION2005-2009	2CD
ハ行		
お遊戯わが魔々団	the other side of paradeis(トレカ封入]	CD
【PaRADEiS】	Col・Tempo【初回盤】	CD+D
Plastic Tree	cell(初回限定デジパック仕様/アーティストカード付)	CD
Plastic Tree	黒テント(DVD)	DVD
Plastic Tree	テント [通常盤]	DVD
Plastic Tree	忘却モノローグ	DVD-
有村竜太朗	あおむしドロップ(帯付)	GOO
ペリィ	白痴	CD
ベルベット	闇	CD
born	-Abnormal Head Machine-	CD
マ行		
摩天楼オペラ	ANOMIE (通常盤)	CD
摩天楼オペラ	COUPLING COLLECTION 08-09	CD
摩天楼オペラ	DAWN OF ANOMIE in Akasaka BLITZ	DVD
Mix Speaker's,Inc.	NEVER ENDING STORY [通常盤]	CD
メガマソ	M of Beauty [初回限定盤]	CD+
ラ行		
LAREINE	Fleur (BEST ALBUM)	CD
Lycaon	Royal Oder [初回限定盤]	CD+
lynch.	『THE SHADOW IMPULSE』 FINAL 2009.09.06	2DV
lynch.	SHADOWS [初回限定盤]	CD+
少女-ロリヰタ-23区	.doc(ドキュメント)	2DV
V.A.オムニバス		
V.A.	原石の庭	CD
V.A.	裏貴族「日本耽美革命」ドキュメンタリーDVD	DVD

もちろん、掲載品以外も買取してます!

< 配布アイテム買取の際はその時のライブなどのチケット半券と共にお持ち下さい。上記の買取額は実際の査定時の在庫状況、人気、状態などにより変動いたします。査定後のキャンセルもできますのでご了承下さい。>

ツアーグッズ・ファンクラブグッズ・物販写真・ツアーTシャツ・コラボアクセサリー・写真集等アーティストグッズ大歓迎!

宅配買取大募集中!!10点以上は送料無料!!

遠方のお客様・大量処分のお客様は宅配買取をご利用下さい。
段ボール等にCD等の商品が破損しないよう梱包し、以下の住所までお送り下さい。
(**必ず佐川急便にて着払いでお送り下さい**) ※混雑状況により1~2週間程お時間をいただく事がございます。

★　買取の際に必ず身分証をご持参下さい。宅配買取の際には身分証のコピーを同封下さい。
★　氏名/住所/TEL/E-MAIL/銀行名/支店名/口座番号/口座名義人名(フリガナ)を記入した紙を同封下さい。

→発送先住所　160-0023 新宿区西新宿7-16-12YSビル1F 03-3365-6316
[closetchild(グッデー) 宅配買取 SHOXX]係　宛

宅配キットご自宅までお届けしま

梱　用ダンボール・佐川急便送付状
ご自宅までお届けします!!
ご依頼方法メール・電話
webtakuhai@closet-child.com 03-3365-631

蝴蝶网
nudie.com

※価格はすべて税込です

an Edison presents LIVE
HE FIVE ELEMENTS Vol.2
います。/ ダウナー /Megaromania/ エルム / キッド / アネモネ
010.07.16 FRI 渋谷 BOXX
EN-START 16:30-17:00 ADV.¥3,000 DAY ¥3,500
カエジソン東京店、ローソンチケット、チケットぴあにて発売中！

R指定
Maxi Single
6/23 アリス心中 イベントあり
初回限定盤 ¥2,100／通常盤 ¥1,575
★オリジナル特典：(初回)コメントDVD&アーティストフォト (通常)サイン入りアーティストフォト5枚組

己龍
6/23 Maxi Single 水無桜 イベントあり
初回限定盤：Aタイプ ¥3,675／初回限定盤：Bタイプ ¥1,890
初回限定盤：Cタイプ ¥1,890／通常盤：Dタイプ ¥1,575
★オリジナル特典：(初回A)アーティストフォト5枚組 (初回B・C・D)別柄サイン入りフォト／封入特典：トレカ さらに4タイプ中2枚ご購入でコメントDVD

Maxi Single ¥1,575 イベントあり
6/23 世界を撃った男 case2 ベレッタ
★オリジナル特典：コメントDVD

イトメア イベントあり
ingle 初回盤A・B・通常盤 ¥1,500
a:FANTASIA
ナル特典：トリプル購入でフォトカード6枚組

Phantasmagoria
LIVE DVD ¥6,300
6/23 Diamond Dust in Truth

vistlip
LIVE DVD ¥4,935 イベントあり
6/23 GATHER TO the THEATER
★オリジナル特典：インタビューDVD 封入特典：ポストカード
7/7 Maxi Single Hameln vister ¥1,890 lipper ¥1,260
★オリジナル特典：メッセージDVD(別内容) (初回のみ)フォトカード5枚組 封入特典：イラストカード

boogieman イベントあり
6/23 Full Album boogieman 初回盤 ¥3,990 通常盤 ¥3,150
★オリジナル特典：コメントDVD&(初回のみ)フォトカード5枚組
★メーカー特典：ポストカード(別柄)

0801弐209336
Maxi Single ★オリジナル特典：生写真
6/30 携帯撲滅委員会 ¥1,260 イベントあり
同時リリース Mini Album 元カノからの逃れ方。2ndプレス ¥1,260

京ヒーローズ
ingle
twinkle ¥1,260 イベントあり

NOOKICKY
CLIP DVD
6/30 NOOKED ¥5,000

レイラ
Maxi Single ¥1,575
6/30 光満ちた丘で交わした約束

イロクイ。
CLIP DVD ¥3,900
7/7 おわらないせかいのうたいかた LIVE

キャンゼル イベントあり
7/7 Full Album BeST SONGS
-HARD TRACKS-／-SOFT TRACKS- ¥3,675

ルガメッシュ
ingle
COLOR 初回限定盤 ¥2,625 通常盤 ¥1,260

Sads
Full Album
7/7 THE7DEADLYSINS
初回限定盤 ¥3,990／通常盤 ¥3,150

SKULL
Maxi Single
7/7 「陽炎」「蒼炎」 ¥1,260 イベントあり
★オリジナル特典：コメントDVD

お遊戯ゎが魔々団×【PaRADEiS】 イベントあり
Maxi Single
7/7 Loli☆ロリポップ TYPE A・B ¥1,575
★封入特典：トレカ

彩冷える
LIVE DVD
7/14 2010 Spring Tour 彩-irodori- Tour Final LIVE @ZEPP TOKYO ¥5,800
★封入特典：チェキケース等(予定)

2012
Full Album SEVEN
初回限定盤 ¥3,500／通常盤 ¥3,000

gaudie.
Maxi Single ¥1,575
7/14 終始型-感章・作品【CRASH】
★メーカー特典：裏gaudie.DVD&サイン入りカード

イベントあり
THE KIDDIE
Maxi Single
7/14 smile. 初回限定盤 ¥1,575 通常盤 ¥1,260

TOON-FACTORY
Mini Album
7/14 Heart ¥2,625
★封入特典：トレカ(2枚)

NightingeiL
Mini Album
7/14 吊り下げの恋 ¥2,625

Lu
ingle
胎動 ¥1,050

the GazettE
No Image
7/21 Maxi Single SHIVER
optical Impression ¥1,785 ★封入特典：the GazettEカード
Auditory Impression ¥1,260 ★封入特典：リバーシブルカード
期間限定盤 ¥1,300 ★封入特典：アニメ「黒執事II」カード

Kannivalism
LIVE DVD ¥6,090
7/21 she said, under the helios.
★オリジナル特典：コメントDVD&ライブフォト／封入特典：トレカ

ネガ
CLIP DVD ¥4,725
7/21 VISUAL NEGATIVISM -complete-

D イベントあり
7/28 Maxi Single 赤き羊による晩餐会
初回限定盤A ¥1,890／初回限定盤B ¥1,680／通常盤 ¥1,050
★オリジナル特典：トリプル購入で「オフショットリレーDVD」Version1 &アーティストフォト5枚組／メーカー特典：ポスター

SPAIRSRAY
um
MONSTERS
初回限定盤 ¥3,500／通常盤 ¥3,000
★メーカー特典：ポスター

Plastic Tree
7/28 Maxi Single ムーンライトー。
初回限定盤A・B ¥1,575／通常盤 ¥1,260
7/7 BEST ALBUM ALL TIME THE BEST 初回限定盤 ¥5,800 通常盤 ¥3,500
LIVE DVD 珠玉と秘密の公演 ¥6,800

MoNoLith
Maxi Single
7/28 Postscript ¥1,890

LOST ASH
Maxi Single
7/28 innerCORE ¥1,500

SOMATIC GUARDIAN
Maxi Single TYPE A・B ¥1,575
8/4 戦場ガールフレンド
★封入特典：トレカ

oGoD
um
タイトル未定 初回限定盤 ¥3,780 通常盤 ¥3,150

ν[NEU]
Maxi Single
8/4 -wave- ¥1,575

ハートレス
Maxi Single
8/4 Scream of Heartless ¥1,575

花少年バディーズ
Maxi Single
8/4 バレリーナ Type-A・B ¥1,500

Megaromania
Maxi Single
8/4 AUROA -destines of world-
豪華盤-TYPE A- ¥1,995／通常盤-TYPE B- -TYPE C- -TYPE D- ¥1,365
★封入特典：トレカ

EST イベントあり
ingle ¥1,050
Lost Angels/TALES
★封入特典：トレカ

E'm〜grief〜
Maxi Single
8/18 Atonality TYPE A・B ¥2,100

EAT YOU ALIVE
Maxi Single
8/18 REVIVE ¥1,500

オムニバス
LIVE DVD
8/25 EXTRA-TERRITORIAL
2010.05.05 at SHIBUYA-AX ¥4,410
<収録バンド> kannivalism／12012
大佑と黒の隠者達／boogieman／BugLug
DOG intheパラレルワールドオーケストラ／東京ミカエル。

Dolly
9/1 Full Album CAPSULE
初回限定盤A・B ¥3,990／通常盤 ¥3,150

an Edison.com
フォーレ原宿店
ベント情報

ーローズ 日(土)PM12:00〜 &握手&6ショットチェキ	＊ラフォーレミュージアム ナイトメア 6月26日(土)PM16:00〜 トーク&グッズ抽選&握手会
tlip 0日(土)PM4:00〜 ーク&握手&サイン	VELGREED 7月3日(土)PM3:00〜 5ショット撮影会
ンゼル 日(土)PM4:00〜 5ショット撮影会	0801 弐 209336 7月25日(日)PM4:00〜 トーク&握手&サイン
	ZEST 8月10日(火)PM5:00〜 1時間店員

ライカエジソン WEBショップ
Like an Edison.com
ライカエジソン通販改革！
さらに便利になりました！
ライカエジソンのWEBショップがオープンしました！
これまでの電話受付、携帯サイト受付に加えパソコンからのご注文も出来るようになりました！
どんどん便利になっていくライカエジソン通販を是非ご利用下さい！詳しくは「ライカエジソン」で検索！！

PC>http://www.like-an-edison.com/

通信販売専用ダイヤル
0120-624-999
もしくはライカエジソン東京店(03-3369-3119)まで！
お問合せはお電話で！
全国一律 送料400円！！
＊代金引換の場合は手数料が別途300円です。

通信販売をご利用で、名古屋／大阪のイベントへご参加希望のお客様へ
通信販売でもイベント参加可能です(但し枚数制限がございます) ※一部対象外のイベントがございます。詳しくは通販センターまでお問合せください。
通信販売は東京店で受付しております(名古屋店／大阪店では通信販売を行っておりません)
尚、イベント参加希望のお客様の通信販売の受付は現金書留のみとなります。

ライカエジソン東京店
〒160-0023
東京都新宿区西新宿7-15-14 坂本ビル1F／2F
☎(1F)03-3369-3119／(2F)03-3369-3708

ライカエジソン名古屋店
〒460-0011
愛知県名古屋市中区大須2-1-15 伏見ヨックスビル2F
☎052-229-8211

ライカエジソン大阪店
〒542-0086
大阪府大阪市中央区西心斎橋1-6-8 トムズハウスビルディング2F
☎06-6252-6262

Like an Edison.com ラフォーレ原宿店
〒150-0001
東京都渋谷区神宮前1-11-6 ラフォーレ原宿B1F
☎03-3746-6002

蝴蝶网
hudie.com

Like an Edison Release Information

ライカエジソンの携帯サイト！

■ライカエジソンディストリビューション 今月の大プッシュアイテム

Dolly

9/1 Full Album

CAPSULE

初回限定盤 A（『GOTHIC PARTY』MUSIC CLIP+『PLAY』ファイリング映像収録 DVD 付き）¥3,990
初回限定盤 B（『GOTHIC PARTY』MUSIC CLIP & メイキング映像収録 DVD 付き）¥3,990
通常盤（CD ONLY：ボーナストラック『S.O.S』収録）¥3,150

花少年バディーズ

8/4 Maxi Single

バレリーナ

Type-A 初回限定盤 ¥1,500
（ボーナストラック『老い WAKAME（不良品種 Edit）収録）
Type-B 通常盤 ¥1,500
（ボーナストラック『Skip the OTOMATIC（Theme of「乙女桜」）』&『ジャンパーマン』収録）

キャンセル

DVD 付き BEST ALBUM

7/7 **BeST SONGS**

-HARD TRACKS- ¥3,675
-SOFT TRACKS- ¥3,675

収録内容の異なる2枚同時リリース！

イベントあり
東京店：7月7日（水）18:00～ 大阪店：7月23日（金）18:00～
名古屋店：7月26日（月）15:00～ 原宿店：8月7日（土）16:00～

■ライカエジソン オススメ ネクストブレイク アーティスト

LOST ASH

Maxi Single

7/28 **innerCORE**

全４曲入り／ ¥1,500

東京ヒーローズ

6/30 Maxi Single

twinkle ¥1,260

イベントあり
東京店：7月18日（日）16:00～ 大阪店：7月11日（日）12:00～
名古屋店：7月10日（土）12:00～ 原宿店：7月3日（土）12:00～

★東京店イベント情報（♣：カメラタイム有り）

己龍	6/27(日)	PM2:00～ ドッキリ企画&トーク&サイン会
ケミカルピクチャーズ	7/ 3(土)	PM3:00～ トーク&握手&5ショット撮影会
R指定	7/ 4(日)	PM5:00～ トーク&握手&6ショット撮影会
キャンゼル	7/ 7(水)	PM6:00～ サイン&握手会
ALSDEAD	7/10(土)	PM5:00～トーク&握手&アコースティックライブ
リルト	7/11(日)	PM3:00～ 1時間店員
OUROBOROS	7/11(日)	PM6:00～ トーク&握手会
お遊戯ゎが魔々団×【PaRADEiS】	7/16(金)	PM6:00～ 内容未定
12012	7/17(土)	【1部】PM2:00～ 握手会【2部】PM3:00～ トーク&撮影会
boogieman	7/17(土)	PM6:00～ トーク&サイン会
東京ヒーローズ	7/18(日)	PM4:00～ トーク&握手&サイン会
THE KIDDIE	7/19(月)	PM7:00～ 握手会 ＊豊島区民センター イーストステージいけぶくろ
XI	7/25(日)	PM1:00～ トーク&握手会
vistlip	7/31(土)	【1部】PM4:00～ トーク(抽選会)&握手会【2部】PM6:00～ トーク&サイン会
D	8/ 1(日)	PM2:00～ トーク&ゲーム&握手会 ＊会場：エイベックス本社
ZEST	8/10(火)	PM6:30～ 1時間店員
SKULL	8/21(土)	PM5:00～ トーク&握手&サイン会

★名古屋店イベント情報（♣：カメラタイム有り）

彩冷える	6/26(土)	【1部】PM2:00～【2部】PM4:00～ トーク&握手&サイン会
aki	6/26(土)	PM7:00～ インターネットTV「akiya」公開生放送&握手&サイン会
花少年バディーズ	6/27(日)	PM2:00～『ボーカリストヤギユウキの According とバンギャルの10の約束』&握手会
vistlip	6/27(日)	【1部】PM5:00～【2部】PM7:00～ トーク&握手&サイン会
ClearVeil	7/ 2(金)	PM6:00～ トーク&撮影会（W購入で2ショット撮影会）
boogieman	7/ 4(日)	PM7:00～ トーク&サイン会
VELGREED	7/ 7(水)	PM4:30～ 5ショット撮影会
東京ヒーローズ	7/10(土)	PM12:00～ サイン&握手会&6ショットチェキ
HERO	7/10(土)	PM1:00～ トーク&撮影会
お遊戯ゎが魔々団×【PaRADEiS】	7/14(水)	PM6:00～ 内容未定
己龍	7/18(日)	PM6:00～ トーク&握手&撮影会
キャンゼル	7/26(月)	PM3:00～ トーク&サイン&握手会
12012	8/ 8(日)	【1部】PM2:00～ 握手会【2部】PM3:00～ トーク&撮影会
ZEST	8/21(土)	PM6:00～ 1時間店員
vistlip	8/23(月)	PM5:30～ トーク(抽選会)&握手会
R指定	8/23(月)	PM7:30～ トーク&サイン&握手会

★大阪店イベント情報（♣：カメラタイム有り）

BrainStein	6/25(金)	PM6:00～ 握手&サイン会
花少年バディーズ	6/26(土)	PM2:30～『新企画！イワイヒロシのおもろな～いの会』&握手会
ネガ	6/27(日)	PM2:00～ トーク&握手&サイン会
vistlip	6/28(月)	PM6:00～ トーク&握手&サイン会
ClearVeil	7/ 1(木)	PM6:00～ トーク&撮影会（W購入で2ショット撮影会）
カル・ヴァリ	7/ 3(土)	PM4:00～ トーク&サイン会
boogieman	7/ 4(日)	PM1:00～ トーク&サイン会
お遊戯ゎが魔々団×【PaRADEiS】	7/ 6(火)	PM6:00～ 1時間店員
リルト	7/ 7(水)	PM6:00～ 1時間店員
HERO	7/ 9(金)	PM3:30～ トーク&撮影会
東京ヒーローズ	7/11(日)	PM12:00～ サイン&握手会&6ショットチェキ
ケミカルピクチャーズ	7/11(日)	PM3:00～ 1時間店員
お遊戯ゎが魔々団×【PaRADEiS】	7/18(日)	PM3:00～ 内容未定
THE KIDDIE	7/18(日)	PM6:00～ 握手会
キャンゼル	7/23(金)	PM6:00～ トーク&サイン&握手会
己龍	7/27(火)	PM6:00～ トーク&握手&撮影会
vistlip	8/13(火)	【1部】PM5:00～ トーク(抽選会)&握手会【2部】PM7:00～ トーク&サイ
12012	8/15(日)	【1部】PM2:00～ 握手会【2部】PM3:00～ トーク&撮影会
ZEST	8/21(土)	PM1:00～ 1時間店員
R指定	8/21(土)	PM3:00～ 1時間店員

高額査定中！

…、ブランド古着、音楽雑誌、ツアーグッズ、
…ーパンフ、ファンクラブ会報…
…、お問い合せ下さい！！

…メルマガ会員募集中！

…で、最新のリリース情報
お買い得情報をお届けします。
…からお申し込み下さい！

…→
…/guruguru.ocnk.net/mobile/mail

…→
…/guruguru.ocnk.net/
…ページ右下

全国に即日発送いたします！

全国一律 **700**円 送料+代引手数料

ポスターが付く場合、ポスター箱代200円が別途かかります

送料全国一律500円　代引手数料200円
10,000円以上ご購入の場合は送料無料！

✳月末一括発送✳ **まとめ発送** 毎月最終日発送

商品を複数注文されている方は、毎月月末に一括発送しちゃいます。（同月発売の商品のみです）　発送を急がない人で、送料を節約したい方や、給料日後に一括購入したい人は、是非利用してね！
※途中での変更は出来ませんので、よく検討してから申し込んでね！

通販方法

1.代金引換
商品を即日発送いたします。商品到着時に、商品代+700円(送料代引き手数料)の合計金額を、配達員にお支払い下さい。送料代引き手数料は全国一律700円です。関東はもちろん、九州、沖縄まで送っちゃいます。
2.現金書留
在庫確認の上、商品代と送料(500円)の合計を現金書留で送金下さい。お金が届きましたら、商品を発送いたします。
3.銀行振込（1週間以内の振込でお願い致します）
■ジャパンネット銀行に口座をお持ちの方→インターネットで 24 時間 365 日お振り込みができます。ジャパンネット銀行間の手数料は 52 円とってもお得です。
■ジャパンネット銀行に口座をお持ちでない方→通常の銀行からのお振り込みになります。
オンラインによる管理ですので、24 時間リアルタイムで確認いたしますので、振込確認次第、即発送しちゃいます！
オーダーフォームより、お申し込み下さい！

約5000アイテムを網羅
CD、DVDの他
貴重盤、ファンクラブ会報
ツアーグッズ、ツアーパンフ
ブランド古着も
取り扱ってます！！

http://www.guruguru.co.jp

GURUGURU 検索

http://www.guruguru.co.jp/

GURU GURU

あふれ出す感情のまま、言葉は紡がれ、そして鮮やかに晴れ渡る夜空のように。

Plastic Tree
ムーンライト--------。

…産限定盤A　CD+DVD　価格¥1,575
…ライト―――。」のPV&メイキングを収録。
…産限定盤B　CD+DVD　価格¥1,575
…を収録。
…CD　価格¥1,260

GURUGURU特典 W購入で交渉中！

ALL TIME THE BEST

◆初回生産限定盤A　CD　価格¥5,800
CD2枚組。オリジナルエコバック付パッケージ 仕様。
◆通常盤　CD　価格¥3,500
CD2枚組。

GURUGURU特典 交渉中！

珠玉と秘密の公演 ◆DVD　価格¥6,800

06.23 on sale　4種同時発売

己龍
水無桜

◆Aタイプ 初回限定盤　CD+DVD　価格¥3,675
DVDには3月5日@オーウエストライブ映像12曲収録予定。
◆Bタイプ 初回限定盤　CD+DVD　価格¥1,890
DVDには「別レ日和ハ仄カニ染マル ヴィデオクリップ」を収録。
◆Cタイプ 初回限定盤　CD+DVD　価格¥1,890
DVDには「雨夜ニ笑エバ ヴィデオクリップ」を収録。
◆Dタイプ 通常盤　CD　価格¥1,575

GURUGURU特典
イベント整理券6/23発売「水無桜」4種類の中から2枚ご購入でコメントDVD+イベント整理券（7/12 18:00 マルチスペースエフ「己龍プレゼンツ～全国唯一のフル衣装・フルメイクでインストアイベント～」トーク、握手、撮影会）

07.14 on sale

彩冷える -ayabie-

「彩-irodori-」Tour Final LIVE@ZEPP TOKYO (仮)

◆DVD　価格¥5,800
Spring Tour「彩-irodori-」から、ツアーファイナルとなった2010年4月1日Zepp TOKYOでのライブの模様をDVD化!!

GURUGURU特典 交渉中！

06.30 on sale　3種同時発売

SuG
小悪魔Sparkling

◆初回限定盤A　CD+DVD　価格¥1,890
◆初回限定盤B　CD+DVD　価格¥1,890
◆通常盤　CD　価格¥1,575

GURUGURU特典 トレーディングカード+交渉中！

07.07 on sale　2種同時発売

vistlip
Hameln

◆初回限定盤　CD+DVD　価格¥1,890
DVDにはPVを収録予定。
GURUGURU特典 サイン入り写真(個人)+W購入でコメントDVD
◆通常盤　CD　価格¥1,260
GURUGURU特典 サイン入り写真(集合)+W購入でコメントDVD

06.23 on sale
LIVE DVD GATHER TO the THEATER
◆DVD　価格¥1,890
GURUGURU特典 LIVE DVDを観ているvistlipのDVD

…7 …e　…売

ViViD
PRECIOUS

…A　CD+DVD　価格¥1,890
…を収録予定。
…B　CD+ブックレット　価格¥1,890
…GURUGURU特典
…とBをお買い上げでイベント整理券（8/26 14:00 マルチスペースエフ）
…種購入でコメントDVD TYPE-1
…CD　価格¥1,575

GURUGURU特典 3種購入でコメントDVD TYPE-1

07.07 on sale　2種同時発売

Kra

TOUR 2010 FINAL 日本全国満開宣言
～咲きまくり警報発令～
野音開きだよ全員集合!! Part 2

◆限定盤　DVD2枚組　価格¥7,140
豪華48Pブックレット付き、
野音出しまくりオフ映像収録！
◆通常盤　DVD　価格¥3,990
地方TOUR油断オフ映像収録！

GURUGURU特典 交渉中！

07.28 on sale　3種同時発売

D
赤き羊による晩餐会

◆初回限定盤A type　CD+DVD　価格¥1,890
DVDにはPVを収録。
◆初回限定盤B type　CD＋DVD　価格¥1,680
DVDにはツアーロードムービーを収録。
◆通常盤　CD　価格¥1,050

GURUGURU特典
いずれか2種で「オフショットリレーDVD」Version 6+3種購入で枚組フォト

07.21 on sale

kannivalism

she said, under the helios.

◆DVD　価格¥6,090
2010年3月30日に中野サンプラザで行ったライヴの模様を収録！

GURUGURU特典 コメントDVD

08.25 on sale　3種同時発売

Alice Nine
閃光

◆初回限定盤　CD+DVD　価格¥1,890
DVDにはPVとPV MAKING映像を収録。

◆通常盤A　CD-EXTRA　価格¥1,590
◆通常盤B　CD　価格¥1,260

GURUGURU特典 交渉中！

2010/06/23　A&D「BLACK HEAVEN」初回限定盤　CD+DVD　¥1890　GURUGURU特典：W購入でコメントDVD
2010/06/23　A&D「BLACK HEAVEN」通常盤　CD　¥1260　GURUGURU特典：W購入でコメントDVD
2010/06/23　boogieman「boogieman」初回盤　CD+DVD　¥3990　GURUGURU特典：コメントDVD
2010/06/23　boogieman「boogieman」通常盤　CD　¥3150　GURUGURU特典：コメントDVD
2010/06/23　Fang「BUG IMPACT」CD　¥2310
2010/06/23　GAIN01「Transient love」CD　¥525
2010/06/23　Phantasmagoria「Diamond Dust in Truth」DVD　¥6300
2010/06/23　R指定「アリス心中」初回限定盤　CD+DVD　¥2100
2010/06/23　R指定「アリス心中」通常盤　CD　¥1575
2010/06/23　ケミカルピクチャーズ「世界を撃った男　case 2 ベレッタ」CD　¥1575
2010/06/23　ナイトメア「a:FANTASIA」初回盤A　CD+DVD　¥1500
2010/06/23　ナイトメア「a:FANTASIA」初回盤B　CD+DVD　¥1500
2010/06/23　ナイトメア「a:FANTASIA」通常盤　CD　¥1500
2010/06/30　0801弐209336「携帯撲滅委員会」CD　¥1260
2010/06/30　0801弐209336「元カノからの逃れ方。」セカンドプレス盤　CD　¥2100
2010/06/30　Acid Black Cherry「Recreation 2」初回限定盤　CD+DVD　¥3000
2010/06/30　Acid Black Cherry「Recreation 2」通常盤　CD　¥2500
2010/06/30　NOOKICKY「NOOKED」DVD　¥5000
2010/06/30　V.A.「LOOP OF LIFE X」CD　¥1260
2010/06/30　WHITEBLACK「-翼-」CD　¥1575
2010/06/30　レイラ「光満ちた丘で交わした約束」CD　¥1575
2010/06/30　東京ヒーローズ「twinkle」CD　¥1260
2010/06/30←5/19から延期　jealkb「super special summer」CD　¥1050
2010/07/01　レインマン「落日/青」CD　¥1050
2010/07/07　SADS「タイトル未定」初回生産限定盤　CD+DVD　¥3990
2010/07/07　SADS「タイトル未定」通常盤　CD　¥3150
2010/07/07　Sel'm「ARROWS」CD+DVD　¥1890
2010/07/07　SKULL「陽炎」「蒼炎」CD　¥1260
2010/07/07　お遊戯ゎが魔々団×【PaRADEiS】「Loli★ロリポップ」TYPE A CD+DVD　¥1890
2010/07/07　お遊戯ゎが魔々団×【PaRADEiS】「Loli★ロリポップ」TYPE B　CD+DVD　¥1890
2010/07/07　キャンゼル「BeST SONGS -HARD TRACKS-」CD+DVD　¥3675
2010/07/07　キャンゼル「BeST SONGS -SOFT TRACKS-」CD+DVD　¥3675
2010/07/07　ギルガメッシュ「COLOR」初回限定盤　CD+DVD　¥2625
2010/07/07　ギルガメッシュ「COLOR」通常盤　CD　¥1260
2010/07/07　リルト「危険～聴くなよ！絶対に聴くなよ！～」CD　¥2100
2010/07/14　12012「SEVEN」初回限定盤　CD　¥3500
2010/07/14　12012「SEVEN」通常盤　CD　¥3000
2010/07/14　Dear L'Novel「The last recollection」CD　¥1470
2010/07/14　DELUHI「The farthest」CD+DVD　¥1365
2010/07/14　LuLu「胎動」CD　¥1050
2010/07/14　NightingeiL「吊り下げの恋」CD　¥2625
2010/07/14　THE KIDDIE「smile.」初回生産限定盤　CD+DVD　¥1575
2010/07/14　THE KIDDIE「smile.」通常盤　CD　¥1260
2010/07/14　TOON-FACTORY～トゥーン工場～「Heart」CD　¥2625
2010/07/21　Creature Creature「INFERNO」初回受注限定生産盤　CD+DVD　¥3675
2010/07/21　Creature Creature「INFERNO」通常盤　CD　¥3150
2010/07/21　GAIN01「The LASTNAME」CD　¥525
2010/07/21　Jackman「Multi Color Freeks」TYPE A　CD+DVD　¥1890
2010/07/21　Jackman「Multi Color Freeks」TYPE B　CD　¥1890
2010/07/21　ネガ「VISUAL NEGATIVISM-complete-」DVD　¥4725
2010/07/28　MoNoLith「Postscript」CD+DVD　¥1890
2010/07/29　EsoLLa「div」CD　¥1500
2010/08/04　DELUHI「Departure」CD+DVD　¥1365
2010/08/04　Megaromania「AURORA-destinies of world-」豪華盤-TYPE A　CD+DVD　¥1995
2010/08/04　Megaromania「AURORA-destinies of world-」通常盤-TYPE B　CD　¥1365
2010/08/04　Megaromania「AURORA-destinies of world-」通常盤-TYPE C　CD　¥1365
2010/08/04　Megaromania「AURORA-destinies of world-」通常盤-TYPE D　CD　¥1365
2010/08/04　NoGoD「タイトル未定」完全限定プレス盤DVD付き　CD+DVD　¥3780
2010/08/04　NoGoD「タイトル未定」通常盤　CD　¥3150
2010/08/04　SOMATIC GUARDIAN「戦場ガールフレンド」TYPE A　CD+DVD　¥1575
2010/08/04　SOMATIC GUARDIAN「戦場ガールフレンド」TYPE B　CD+DVD　¥1575
2010/08/04　the GazettE「FILM BUG II」DVD　¥4800　GURUGURU特典：交渉中！
2010/08/04　ν (NEU)「-wave-」CD　¥1575
2010/08/08　SKULL「Nancy」CD　¥1260
2010/08/11　Dear L'Novel「Winter lover」CD　¥1575
2010/08/11　Kagrra,「白ゐ嘘」初回盤A　CD+DVD　¥1890　GURUGURU特典：交渉中！
2010/08/11　Kagrra,「白ゐ嘘」初回盤B　CD+DVD　¥1890　GURUGURU特典：交渉中！
2010/08/11　Kagrra,「白ゐ嘘」通常盤　CD　¥1260　GURUGURU特典：交渉中！
2010/08/18　E'm～grief～「Atonality」TYPE A　CD+DVD　¥2100
2010/08/18　E'm～grief～「Atonality」TYPE B　CD+DVD　¥2100
2010/08/18　EAT YOU ALIVE「REVIVE」CD　¥1500
2010/08/18　GAIN01「RISK」CD　¥525
2010/08/25　V.A.「EXTRA-TERRITORIAL 2010.05.05 at SHIBUYA-AX」DVD　¥4410
【収録アーティスト】kannivalism/12012/大佑と黒の隠者達/boogieman/Bug-Lug/DOG inTheパラレルワールドオーケストラ/東京ミカエル。(OPENING ACT)

GURU GURU
〒060-0063
札幌市中央区南3条西4丁目アルシュ4F
TEL 011-251-4480
e-mail▸order@guruguru.co.jp
FAX 011-251-4481
OPEN10:30-CLOSE20:00
…会社　グル・グル

全国通販OK
代引きOK
即日発送

Radio-UZU-「渦」ON AIR

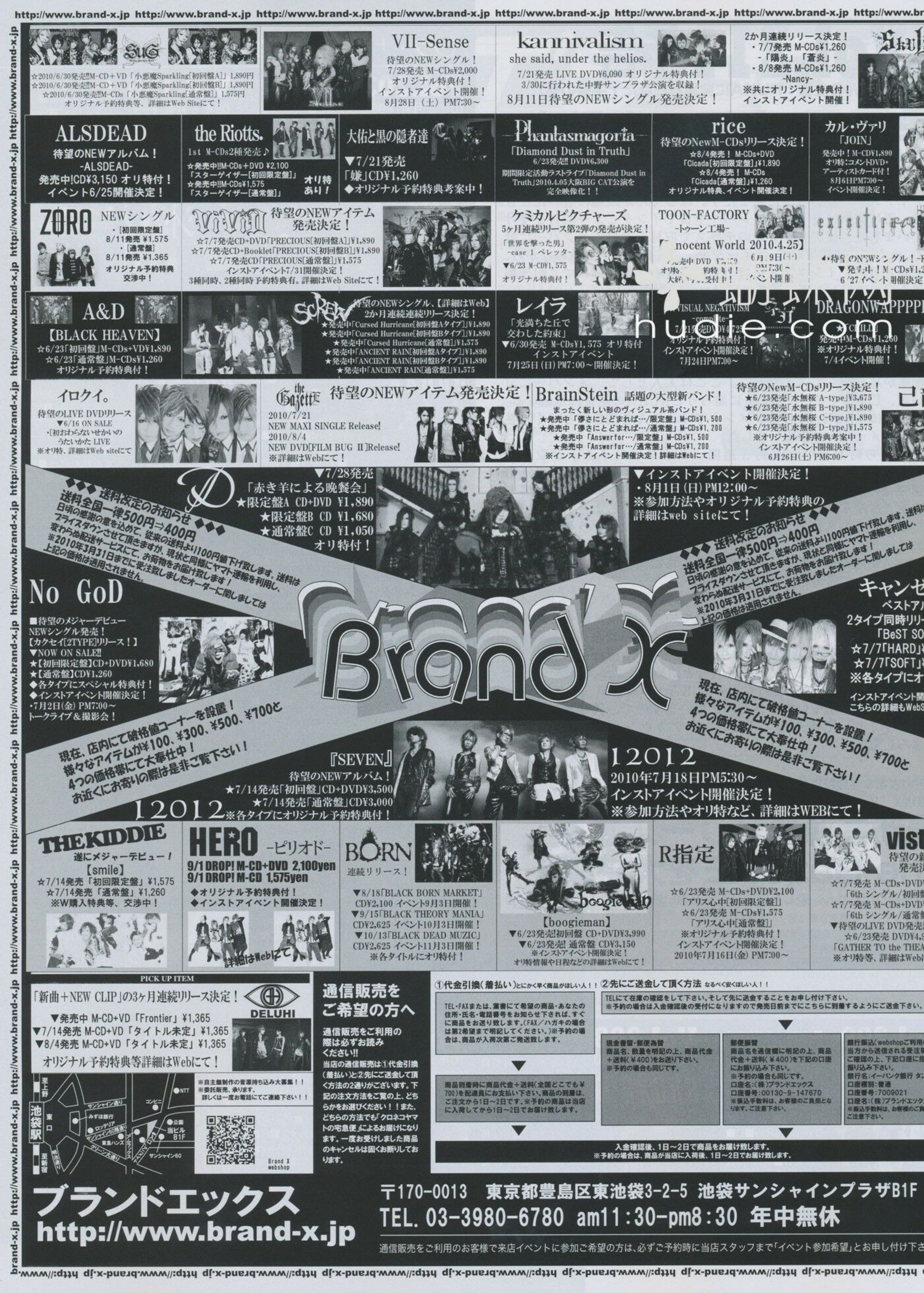
毎週火曜23:00　FMアップル　76.5MHz
※札幌圏のみの放送になります。

インターネットでも…しま…！
http://www.c…-apple…com/streaming_apple.html

Kagrra,白木と女雅の遺産子牧場
ヴィドールの真夜中の美人館　放送中！！

バックナンバーはこちら
http://www.guruguru.co.jp/other/radio.html

蝴蝶网 hudie.com


http://www.brand-x.jp http://www.brand-x.jp http://www.brand-x.jp http://www.brand-x.jp http://www.brand-x.jp http://www.brand-x.jp http://www.brand-x.jp http://www.brand-x.jp
SuG
☆2010/6/30発売!!M-CD＋VD「小悪魔Sparkling[初回盤A]」1,890円
☆2010/6/30発売!!M-CD＋VD「小悪魔Sparkling[初回盤B]」1,890円
☆2010/6/30発売!!M-CDs「小悪魔Sparkling[通常盤]」1,575円
オリジナル予約特典等、詳細はWeb Siteにて！
VII-Sense
待望のNEWシングル！
7/28発売 M-CDs¥2,000
オリジナル特典付！
インストアイベント開催！
8月28日（土）PM7:30～
kannivalism
she said, under the helios.
7/21発売 LIVE DVD¥6,090 オリジナル特典付！
3/30に行われた中野サンプラザ公演を収録！
8月11日待望のNEWシングル発売決定！
2か月連続リリース決定！
・7/7発売 M-CDs¥1,260
-「陽炎」「蒼炎」-
・8/8発売 M-CDs¥1,260
-Nancy-
※共にオリジナル特典付！
インストアイベント開催！
ALSDEAD
待望のNEWアルバム！
-ALSDEAD-
発売中!CD¥3,150 オリ特付！
イベント6/25開催決定！
the Riotts.
1st M-CDs2種発売♪
☆発売中!!M-CDs＋DVD ¥2,100
「スターゲイザー[初回限定盤]」
☆発売中!!M-CDs¥1,575
「スターゲイザー[通常盤]」
オリ特あり！
大佑と黒の隠者達
▼7/21発売
「嫌」CD¥1,260
◆オリジナル予約特典考案中！
Phantasmagoria
「Diamond Dust in Truth」
6/23発売!! DVD¥6,300
期間限定活動ラストライブ「Diamond Dust in Truth」2010.4.05大阪BIG CAT公演を
完全映像化！！
rice
待望のNewM-CDsリリース決定！
☆8/4発売！ M-CDs+DVD
「Cicada[初回限定盤]」¥1,890
☆8/4発売！ M-CDs
「Cicada[通常盤]」¥1,260
オリジナル特典、イベント開催決定！
カル・ヴァリ
「JOIN」
発売中！M-CD¥1,890
オリ特：コメントDVD+
アーティストカード付！
8月6日PM7:00～
イベント開催決定！
ZORO
NEWシングル
・[初回限定盤]
8/11発売 ¥1,575
・[通常盤]
8/11発売 ¥1,365
オリジナル予約特典
交渉中！
ViViD
待望のNEWアイテム
発売決定！
☆7/7発売CD+DVD「PRECIOUS[初回盤A]」¥1,890
☆7/7発売CD+Booklet「PRECIOUS[初回盤B]」¥1,890
☆7/7発売CD「PRECIOUS[通常盤]」¥1,575
インストアイベント7/31開催決定！
3種同時、2種同時予約特典有。詳細はWeb Siteにて！
ケミカルピクチャーズ
5ヶ月連続リリース第2弾の発売が決定！
「世界を撃った男」
-case 1 ベレッタ-
▼6/23 M-CD¥1, 575
オリジナル特典付！
TOON-FACTORY
-トゥーン工場-
nocent World 2010.4.25】
オリ特
大好
6月 9日
PM 7:30～
イベント開催
existtrace
待望のNEWシングル！
▼発売中！M-CDs¥1,2
6/27イベント開催決定
A&D
【BLACK HEAVEN】
☆6/23「初回盤」M-CDs+VD¥1,890
☆6/23「通常盤」M-CDs¥1,260
オリジナル予約特典付！
SCREW
待望のNEWシングル、【詳細はWeb】
2か月連続連続リリース決定！
★発売中「Cursed Hurricane[初回盤Aタイプ]」¥1,890
★発売中「Cursed Hurricane[初回盤Bタイプ]」¥1,890
★発売中「Cursed Hurricane[通常盤]」¥1,575
★発売中「ANCIENT RAIN[初回盤Aタイプ]」¥1,890
★発売中「ANCIENT RAIN[初回盤Bタイプ]」¥1,890
★発売中「ANCIENT RAIN[通常盤]」¥1,575
レイラ
「光満ちた丘で
交わした約束」
▼6/30発売 M-CDs¥1, 575 オリ特付
インストアイベント
7月25日(日)PM7:00～開催決定！
VISUAL NEGATIVISM
-complete-
オリジナル予約特典付！
インストアイベント開催決定！
7月24日PM7:00～
DRAGONWAPPPPI
CHILD
発売中M-CDs¥1,260
※オリジナル特典付！
7/4イベント開催！
hudie.com
イロクイ。
待望のLIVE DVDリリース
▼6/16 ON SALE
・[初おわらないせかいの
うたいかた LIVE
※オリ特、詳細はWeb siteにて
the GazettE
待望のNEWアイテム発売決定！
2010/7/21
NEW MAXI SINGLE Release!
2010/8/4
NEW DVD[FILM BUG II]Release!
※詳細はWebにて！
BrainStein 話題の大型新バンド！
まったく新しい形のヴィジュアル系バンド！
★発売中「儚さにとどまれば…/限定盤」M-CDs¥1, 500
★発売中「儚さにとどまれば…/通常盤」M-CDs¥1, 200
★発売中「Answerfor…/限定盤」M-CDs¥1, 500
★発売中「Answerfor…/通常盤」M-CDs¥1, 200
※インストアイベント開催決定！詳細はWebにて！
待望のNewM-CDsリリース決定！
★6/23発売「水無桜 A-type」¥3,675
★6/23発売「水無桜 B-type」¥1,890
★6/23発売「水無桜 C-type」¥1,890
★6/23発売「水無桜 D-type」¥1,575
※オリジナル予約特典考案中！
インストアイベント開催決定！
6月26日(土) PM6:00～
D
▼7/28発売
「赤き羊による晩餐会」
★限定盤A CD+DVD ¥1,890
★限定盤B CD ¥1,680
★通常盤C CD ¥1,050
オリ特付！
▼インストアイベント開催決定！
・8月1日（日）PM12:00～
※参加方法やオリジナル予約特典の
詳細はweb siteにて！
送料改定のお知らせ
送料全国一律500円⇒400円
日頃の感謝の意を込めて、従来の送料より100円値下げ致します。送料は
プライスダウンさせて頂きますが、現状と同様にヤマト運輸を利用し、
変わらぬ配送サービスにて、お荷物をお届け致します！
※2010年3月31日までに受注致しましたオーダーに関しましては
上記の価格は適用されません。
No GoD
■待望のメジャーデビュー
NEWシングル発売！
【カクセイ[2TYPE]リリース！】
▼NOW ON SALE!!
★【初回限定盤】CD+DVD¥1,680
★【通常盤】CD¥1,260
◆各タイプにスペシャル特典付！
◆インストアイベント開催決定！
・7月2日(金) PM7:00～
トークライブ＆撮影会！
Brand X
キャンセ
ベストアル
2タイプ同時リリー
「BeST SO
☆7/7「HARD」
☆7/7「SOFT」
※各タイプにオ
インストアイベント開
こちらの詳細もWebS
現在、店内にて破格値コーナーを設置！
様々なアイテムが¥100、¥300、¥500、¥700と
4つの価格帯にて大奉仕中！
お近くにお寄りの際は是非ご覧下さい！
『SEVEN』
待望のNEWアルバム！
★7/14発売「初回盤」CD+DVD¥3,500
★7/14発売「通常盤」CD¥3,000
12012 ※各タイプにオリジナル予約特典付！
12012
2010年7月18日PM5:30～
インストアイベント開催決定！
※参加方法やオリ特など、詳細はWEBにて！
THE KIDDIE
遂にメジャーデビュー！
【smile】
☆7/14発売「初回限定盤」¥1,575
☆7/14発売「通常盤」¥1,260
※W購入特典等、交渉中！
HERO -ピリオド-
9/1 DROP! M-CD+DVD 2,100yen
9/1 DROP! M-CD 1,575yen
◆オリジナル予約特典付！
◆インストアイベント開催決定！
詳細はWebにて
BORN
連続リリース！
▼8/18「BLACK BORN MARKET」
CD¥2,100 イベント9月3日開催！
▼9/15「BLACK THEORY MANIA」
CD¥2,625 イベント10月3日開催！
▼10/13「BLACK DEAD MUZIC」
CD¥2,625 イベント11月3日開催！
※各タイトルにオリ特付！
boogieman
【boogieman】
▼6/23発売!初回盤 CD+DVD¥3,990
▼6/23発売! 通常盤 CD¥3,150
※インストアイベント開催決定！
オリ特情報や日程などの詳細はWebにて！
R指定
☆6/23発売 M-CDs+DVD¥2,100
「アリス心中[初回限定盤]」
☆6/23発売 M-CDs¥1,575
「アリス心中[通常盤]」
※オリジナル予約特典付！
インストアイベント開催決定！
2010年7月16日(金) PM7:00～
vist
待望の新
発売決
☆7/7発売 M-CDs+DVD
「6th シングル/初回盤
☆7/7発売 M-CDs+DVD
「6th シングル/通常盤
▼待望のLIVE DVD発売
☆6/23発売 DVD¥4,9
「GATHER TO the THEA
※オリ特等、詳細はWeb
PICK UP ITEM
「新曲＋NEW CLIP」の3ヶ月連続リリース決定！
DELUHI
▼発売中 M-CD+VD「Frontier」¥1,365
▼7/14発売 M-CD+VD「タイトル未定」¥1,365
▼8/4発売 M-CD+VD「タイトル未定」¥1,365
オリジナル予約特典等詳細はWebにて！
至上野
池袋駅
東口
至新宿
サンシャイン通り
みずほ銀行
ロッテリア
サンシャイン60通り
東急ハンズ
グリーン大通り
明治通り
アムラックス
コンビニ
NTT
公園
当ビル B1F
サンシャイン60
※自主盤制作の音源持ち込み大募集！！
※委託販売、承ります。
詳しくは一度お電話にてご連絡下さい！！
Brand X webshop
通信販売を
ご希望の方へ
通信販売をご利用の
際は必ずお読み
ください!!
当店の通信販売は①代金引換（着払い）と②先にご送金して頂く方法の2通りがございます。下記の注文方法をご覧の上、どちらかをお選びください！！また、どちらの方法でも「クロネコヤマトの宅急便」によるお届けになります。一度お受けしました商品のキャンセルは固くお断りしております。
①代金引換（着払い）とにかく早く商品がほしい人！！
TEL・FAXまたは、葉書にて希望の商品・あなたの住所・氏名・電話番号をお知らせ下されば、すぐに商品をお送り致します。（FAX／ハガキの場合は第2希望まで明記してください。）※予約の場合は、商品が入荷次第ご発送致します。
商品到着時に商品代金＋送料（全国どこでも¥700）を配達員にお支払い下さい。商品の到着は、ご注文から1日～2日です。※予約の商品は当店に入荷してから1日～2日でお届け致します。
②先にご送金して頂く方法 なるべく安くほしい人！！
TELにて在庫の確認をして下さい。そして先に送金することをお申し付け下さい。
※予約の場合は入金確認後の受付になりますので発売日前までにこちらに到着するようにご送金下さい。
現金書留・郵便為替
商品名、数量を明記の上、商品代金＋送料（¥400）をお送り下さい。
※予約の場合も同じです。
郵便振替
商品名を通信欄に明記の上、商品代金＋送料（¥400）を下記の口座にお振り込み下さい。
※予約の場合も同じです。
口座名:（株）ブランドエックス
口座番号:00130-9-147670
※振込手数料は、お客様のご負担となります。ご注意下さい。
銀行振込（webshopご利用
当方から送信される受注
ご確認の上、下記口座に
振り込み下さい。
銀行名:イーバンク銀行 タン
口座種別:普通
口座番号:7009021
口座名:（株）ブランドエック
※振込手数料は、お客様のご負
ご注意下さい。
入金確認後、1日～2日で商品をお届け致します。
※予約の場合は、商品が当店に入荷後、1日～2日でお届け致します。
ブランドエックス
http://www.brand-x.jp
〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-2-5 池袋サンシャインプラザB1F
TEL. 03-3980-6780 am11:30-pm8:30 年中無休
通信販売をご利用のお客様で来店イベントに参加ご希望の方は、必ずご予約時に当店スタッフまで「イベント参加希望」とお申し付け下

次号Vol.211予告

（ぽっくんの主張：RUKAに背負わされた十字架の巻）

7月21日全国一斉発売！

ナイトメアの撮影現場に顔をだす。ぽっくんが現場に着いたときは、既に撮影は終了し、メンバー全員でインタビュー取材を受けていました。撮影スタジオのテラスで取材を受けるメンバーに軽く、めくばせで挨拶して、マネージャーのE氏とお茶を飲みながら、しばし雑談。インタビューは当分終わりそうもないので、担当編集を現場に残したまま、その時はフェイドアウト。

あくる日の朝。「昨日編集長フェイドアウトしましたね」と担当S子。「撮影終わってから登場して、取材が終わる前にフェードアウトするなんて、あり得ないってメンバーがブツブツいってましたよー」。

配慮が足らなくてスイマセン。ここは大人として、メンバーに言い訳、じゃなくて、フランクに謝ろうとRUKAの携帯に電話する。留守電に「RUKA昨日はゴメンナサイ。こんな僕を許してください」とメッセージを残しました。

それから時が経つこと約3週間。ライターのイチ子が取材でSHOXX編集部に来た時のこと。イチ子「ぽっくん、RUKAの留守電にメッセージいれたでしょー。昨日ナイトメアの現場でRUKAがみんなに“ぽっくんが真面目に謝ってるよー”っていってぽっくんの入れたメッセージみんなに聞かせてゲラゲラ笑ってたよー!!」。

RUKAが俺の入れたメッセージをみんなに聞かせて、中学2年生の眼になって高笑いしている様が浮かぶ。

あーっ、くやしぃー。つうか、ここに悔しいと書くのも悔しい。このままじゃーすまさない。今に見ていろ。今度はぽっくんが高笑いする番だ!! この話は続きます。動きがあったら報告します。

猫も杓子もTwitter。会社でオフィシャルのTwitterをスタートするのを機会に、ぽっくんもTwitterを始めました。取材でのこぼれ話から、前述した、ぽっくんのRUKAへの復讐劇（ケッケッケ）など、色々つぶやいていきたいと思いますので、興味のある方は是非フォローしてやってください。アカウントはpockoonです。よろしく。

来月の表紙&巻頭特集は
SHOXX Vol.211

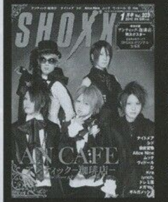
最新音源をリリースする the GazettEを大特集!!

今月も盛りだくさん。楽しんでもらえると思います。期待してくださいね。

上記のバックナンバーを希望の方は、定価に送料（1冊＝¥140、2冊＝¥220、3冊以上は全て¥450）を加えて、切手代用または小為替で、〒104-8228 東京都中央区銀座6-2-3 ダヴィンチ銀座アネックスビル5F音楽専科社経理「SHOXXバックナンバーVol.○」（○の中に号数を入れる）係まで申し込んで下さい（ただし、付録ポスターが付いてない場合もあります。ご了承ください）。
また、近くの書店でVol.211（7月21日発売）を買いそびれないようにするには、書店へ予約しておくと便利です。

バック・ナンバーのご案内

Vol.203
10年1月号 ¥980



■アンティック-珈琲店-巻頭&表紙18ページ大特集■un SCAR NERVE 夢のセッションバンド撮り下ろし特集■椏×Ni～ya(ナイトメア)■ムック■仙台貨物■Alice Nine■シド■靖乃(Kra)■ヴィドール■ASAGI(D)■KAMIJO(Versailles)■lynch.■ドレミ團

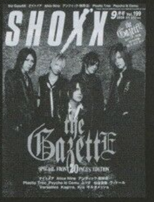
Vol.198
09年8月号 ¥980

■シド巻頭&表紙20ページ大特集■沙我(Alice Nine)■Plastic Tree■X JAPAN■ナイトメア■アンティック-珈琲店-■ヴィドール■ムック■D'espairsRay■Versailles■12012■heidi.■Dolly■boogieman■ギルガメッシュ

Vol.204
10年2月号 ¥980

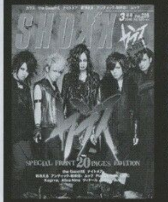
■ナイトメア巻頭&表紙20ページ特集■Plastic Treeアルバム『ドナドナ』完成■D'espairsRay■ムック■D■景夕(Kra)■ヴィドール■ギルガメッシュ■Sadie■Wizard■heidi.■陰陽座■THE KIDDIE■メガマソ■人格ラヂオ■宇宙戦隊NOIZ■KISAKI

Vol.199
09年9月号 ¥980



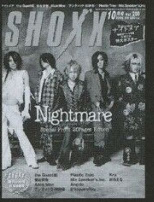
■the GazettE巻頭&表紙20ページ大特集■Alice Nine■千葉(仙台貨物)■アンティック-珈琲店-■Psycho le Cému■Plastic Tree■ナイトメア■ムック■Kagrra,■ヴィドール■Kra■D■Sadie■ギルガメッシュ■龍寺(ゾロ)■姫苺■メガマソ■アンド■Versailles

Vol.205
10年3月号 ¥980



■カラス巻頭&表紙20ページ特集■YOMI(ナイトメア)■The LEGENDARY SIX NINE■彩冷える■アンティック-珈琲店-■ミヤ(ムック)■Plastic Tree■LM.C■Alice Nine■ヴィドール■12012■ギルガメッシュ■SuG■Versailles■D■D'espairsRay

Vol.200
09年10月号 ¥980



■ナイトメア巻頭&表紙20ページ特集■the GazettE■虎(Alice Nine)■有村竜太朗(Plastic Tree)■アンティック-珈琲店-■D'espairsRay■Mix Speaker's,Inc.■仙台貨物■舞(Kra)■彩冷える■摩天楼オペラ■キリト(Angelo)■KISAKI■PENICILLIN■Aoi

Vol.206
10年4月号 ¥980

■Alice Nine巻頭&表紙12ページ特集■L M . C ■ The LEGENDARY SIX NINE■ナイトメア■シド■彩冷える■D■ヴィドール■12012■SuG■メガマソ■ドレミ團■ギルガメッシュ■Sadie■THE KIDDIE■ViViD■ゾロ■DuelJewel■HERO■boogieman

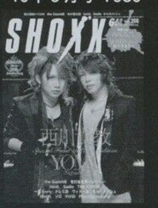
Vol.201
09年11月号 ¥980

■ナイトメア巻頭&表紙20ページ大特集■the GazettE■D'espairsRay■アンティック-珈琲店-■仙台貨物■Plastic Tree■D■Alice Nine■ムック■LM.C■結良(Kra)■heidi.■ドレミ團■ヴィドール■SuG■ViViD■ゾロ■少女～ロリヰタ～23区■SCREW■シリアル⇔NUMBER

Vol.209
10年7月号 ¥980

■彩冷える巻頭&表紙14ページ特集■ナイトメア■ムック■シド■有村竜太朗■Plastic Tree■LM.C■Alice Nine■Kagrra,■heidi.■ジュイ■D'espairsRay■D■Versailles■SCREW■零乃×怜我(ViViD)■seek

Vol.208
10年6月号 ¥980



■西川貴教×YOMI(ナイトメア)巻頭&表紙18ページ特集■the GazettE■有村竜太朗■heidi.■Sadie■THE KIDDIE■一志(Kagrra,)■Kra■ヴィドール■ギルガメッシュ■ゾロ■SCREW■ドレミ團■ViViD■TOON-FACTORY■boogieman■人格ラヂオ

Vol.207
10年5月号 ¥980

■ナイトメア巻頭&表紙20ページ特集■The LEGENDARY SIX NINE■EXTRA-TERRITORIAL対談■カノン(アンティック-珈琲店-)■Plastic Tree■ムック■D■D'espairsRay■Versailles■Kagrra,■MIX Speaker's,Inc.■ドレミ團■ギルガメッシュ

Vol.202
09年12月号 ¥980

■the GazettE巻頭&表紙20ページ大特集■RUKA(ナイトメア)パーソナル特集■将(Alice Nine)パーソナル特集■LM.C■シド■アンティック-珈琲店-■Plastic Tree■仙台貨物■ムック■D'espairsRay■Kagrra,■Kra■ヴィドール■ドレミ團■メガマソ■lynch.

ARTIST'S BOX
ミュージシャンが作るページ

彩冷える 葵 の ヒナタごっこ
第51回

2010年も後半戦に突入。今年の上半期、皆さんはどんな日々を過ごされたのでしょうか？

先日、ぼっくんはじめ音楽専科社の皆さんのご厚意のもと、6月末発売される「glitter pop」というSHOXXの別冊の表紙を僕が担当させて戴きました。その際誰かとのコラボにしようという案のもと「葵くん、誰かヴィジュアル系バンドマンで日頃から仲良くしている人いない??」とぼっくんに訊ねられて、改めて自分の交遊関係の狭さにびっくりするくらい、いなくて。ただ一人ぱっと思い浮かんだのがアンカフェの輝喜くん。彼は僕が前のバンドに所属していた頃から仲良くしていて。仲良くって言っても遊びに行ったり呑みに行ったりする訳でもなく、お互いの今を話合ったり今後の話をしたり、ワイワイするよりも割と深い話をしていました。ここ数年はお互い忙しくてスケジュールも合わなかったから会う機会ってなかったんだけど、今回このような企画を戴いてインタビューの中に昔話を織り交ぜながらお互いの今の話とかもできて良かった。彼は沖縄に住んでいたこともあって沖縄方面に詳しかったりして、色んな話や彼が撮った写真なんかも見せてもらっている中で、今の夢が沖縄旅行だと思うようになったとても影響を受けやすい人な僕…。彼はバンドマンらしくないゆったりとした穏やかなリズムを持った人で、とてもすんなり入りやすい雰囲気を持った人。昔から変わらない彼との話にとっても和んだし、昔話の中で自分のことも振り返ることができてとっても充実した企画でした。ありがとうございました!!

撮影では現在の僕や輝喜くんのイメージに近いポップな衣装から、ちょっと懐かしいこってりメイクのダークサイドまで、いろんな表情でアプローチできましたので是非皆さんチェック宜しくお願いします。

その輝喜くんのバンド「アンティック-珈琲店-」のヴォーカルみくくんの新バンド「Lc5」と葵ソロで、来月東名阪カップリングツアーを行うことになりました。良かったら遊びに来てね★

最近制作期間が続く毎日での楽しみの一つ、不動産物件を見に行くこと。貸しに出てるマンションの情報をネットで調べて実際に内覧しに行くと言った、弱ひやかしに近い趣味だったりするのですが、これが結構楽しかったりするんです。内覧して「この部屋に住むとしたらこういうインテリアにして家具はこの色で統一して…」みたいに考えるのが楽しい。インテリアコーディネーターみたいなのにも興味があったりします。そんな現在の僕の部屋は完全に作業と寝るだけの部屋になってしまってるから、部屋にはもう少し癒しポイントが必要だと考える毎日。

海が見える所に住みたいな。それこそ前述した沖縄のようにきれいな海に徒歩で行けるようなところで暮らしてみたいって最近思ったりもします。夏が嫌いだったりするので、その夏嫌いも克服できるような夏にしたい今年こそは。マリンスポーツにも興味があって。毎年なんだかんだ重い腰を仕事のせいにして逃げていたので今年こそは何か自分のためにアクションを起こしたいと思うのです。もっと音楽に反映できるような自分の幅を広げることのできる経験を積んでいきたいと思うのです。ただ、そういう風に考えるのは毎年のこと。今年の夏は一体どうなるのか。

気がつくと今年も、もう七月。学生諸君はもうすぐ夏休みだね。社会人の方々はお盆休みまでもう少し辛抱なのかな。今年の夏、皆さんはどんな予定があるのかな。花火大会なんかも行ってみたいし、何かしら素敵な趣味を見つけたい。もっともっと興味を広げていける2010年にしようと思っています。

来月号のコラムで「趣味ができたよ!!」って書けるように頑張ります!! …多分変わらずな気がしますが…

あおい

ギルガメッシュ CRAZY-CHAIN
第1回 ■左迅■

新連載!!

どもども。
ギルガメッシュ Voの左迅です。
ついに連載始まっちゃいましたよ皆さん！

SHOXXさんは人生産まれて初めて雑誌の取材をやってもらった所なんで、嬉しい限りっす。

さて、第一回目張り切って行こう〜!!

俺が最近ハマってるモノの話でもしますか。

ズバリ『モヤモヤさまぁ〜ず』です。

皆知ってるかな？
さまぁ〜ずが、都内のモヤモヤしている場所をひたすら歩き回るだけの番組なんですが、そんなユルい番組にハマってしまいました。
そんで、最近は暇な日にモヤってる場所は無いか！

と、一人で街を練り歩くのが一つの趣味になっています。

普通に買い物してる時とかも無意識にモヤモヤポイントを探しているほど重症な感じです。

そんなわたくしが先日歩いていたら発見してしまったんです！

番組を象徴すると言って良い程のモヤモヤポイントを!!

それはズバリ

1000円自動販売機!!

しかも家の近所で…

この自販機がある一帯はモヤッてるという噂ですが、俺の家の周りもまさかのモヤリ度をみせています。

肝心なこの自販機の内容ですが、大当たりだとipodやDS、ブランド品などが当たるという、いかにも嘘臭い広告をしているんですが、番組内では、奇跡のDSを当てるという快挙を成し遂げていたんで、俺も挑戦しました！

[illegible]0円をおもむろに入れ、好きなボタンを長押しすると…

[illegible]ン！

DS[illegible]ね？

[illegible]思うくらいの[illegible]感が辺りに響きました。
[illegible]感を募らせ手に

取ったそれはまさに!!

電動歯ブラシセット

しかも取り替えアタッチメント付き。

そして、パッケージが破滅的にホコリまみれ。

箱を開けた瞬間咳が出る程。

こんなもんで歯磨けるかボケェ!!

っと、怒りが込み上げる中、やはり人間は貪欲な生き物だ。

次は当たるかもしれないという、なんの根拠もない自信が込み上げてくるのだ。
そして、また1000円を挿入し、ボタンを長押し…

バン…

バン!?

か、軽い!!

明らかに期待感の無い音に肩を落としながら中を確認すると…

ゲルマニウムブレスレッド
が当たりました。

うたい文句は

『これで君も肩こり知らず！』

です。

ははは

現実はこんなもんだ。

でも、男は夢見る生き物だ。

だから、またこの自販機を見付けてしまったら俺は夢を掴む為に1000円を握りしめるんだろうな。

男って何てバカな

い・き・も・の

さて、語りだしたらきりがないのでこの辺で終わりにしましょ。

次はGtの弐さんです。
期待しないで待っててね！
ばいばい

蝴蝶网
hudie.com

少女-ロリキタ-23区 THE コラム
第1回 総史

リニュ
ア

読者の皆さん初めまして、少
リヰタ-23区新Vocalの総史です

記念すべく、新生・少女-ロリ
-23区、第一段コラムを僕が担
る事になりました。

新Vocalとしてメンバー皆を
存在になりたいという気持ち
僕が自ら志願して書かせても
ました。

楽曲作成や衣装、各メディア
アプローチが忙しく続く中、
日渋谷O-EASTにて発表&LI
無事行う事が出来き、そして
新Vocal御披露目ワンマンLI
7月23日渋谷O-WESTで行う
です。

早く皆さんに僕は基より、少
リヰタ-23区というアーティス
知ってもらう為に、コラムや
グ、ホームページにて次々情
公開予定です。

最後に少女-ロリヰタ-23区、そ
新Vocal総史を宜しくお願い
す!!

Six Speaker's, Inc.

seekの凡人水族園

第九十九回

東京に於ける地方出身者の目は怖い。かく言う僕も十年程前に東京に出て来た地方出身者の一人である。バンドマンである以上、東京という町は情報の発信源である事に違いない。兵庫県の姫路という場所に籍を置いていた頃から、何度となく東京のライヴハウスにやって来た。逆に言えば今でもライヴハウスのある駅周辺以外よく知らない。高田馬場AREA、池袋Cyber、渋谷EAST、WESTが僕にとっての東京だった。バイト明けの眠たい目を擦りながら片道八時間の東京への道。一泊して翌日ライヴ。ライヴ後また一路姫路へと戻るのだ。これらの行程を「前乗り、当日戻り」というのだが、その当時DAISHIから教わったものだ。どんなにお金がなくてもライヴ前は必ず一泊してライヴに備える。良いライヴをする為には体調調整する。当たり前のようだがとにかく金のない僕達バンドマンにとっては「生きるべきか、死ぬべきか」ハムレットの様な深刻な問題だった。そしてライヴハウスへと乗り込む。乗り込むという言葉がぴったりな心境なのだ。バンド数の多いイベントでは各バンドに長机半分のスペースが与えられる。そのスペースを使って順番にメイクを始める。僕達の様なただでさえ衣装の嵩張るバンドはより一層身を縮めてメイクをする。とあるライヴハウスの客席と楽屋はアコーディオンカーテンで遮られている。そこを東京バンドのミニスカートで高いヒールを履く女性スタッフが意味も無く行き来する。そいつらは何故かアコーディオンカーテンを締めない。半裸の僕達はお客さんから見えない様に何度もアコーディオンカーテンを締める。そんな事をしているうちにライヴが始まる。スタッフはバンドの鏡だ。敢えて言わせてもらうとスタッフの教育も出来ないバンドが自分達のプロデュースなんて出来る訳が無い。「そんな奴らに絶対負けるか。東京なんて全部ひっくり返してやる」と思っていた。ライヴに勝ち負け等存在するもんではないが。時間と金をかけて東京に来た以上絶対お客さんを増やして帰らなければならないのだ。

必要以上にハングリーで。必要以上に卑屈で。何かに掻き立てられ。何かに追われ。飛びかかりそうで。噛み付きそうで。自分達以外に信じられるものなんて無くて。それでも人に認めて欲しくて。地方出身者にはそんな爆弾を抱えているヤツがいる。売れている、売れていないに関わらずライヴハウスに行くと鋭い目でこちらを睨むヤツがいる。ドキッとする程怖い目でこちらを睨んでいる。そんなヤツが好きだ。

今月はこの辺で。しいくでした。バイバイ。

D'espairsRay マニアの覗き穴

第94ブレイク Karyu 編

こんばんわKaryuです。

最近のD'espairsRayはレコーディングの日で確実に身体が蝕まれる生活を送っております（笑）。そんな中引っ越したいなぁなて思ってたりしてね、オフの日に軽い気持で不動産屋に立ち寄ったんですが…。

物件探しってなんか楽しいよね!? ワクワクする感じで（笑）。そんな僕の理想の住処1LDKでリビングが広くて4階以上の眺めのい物件なんだけど、全部見に行ってみて思のがギリギリのラインで違うんです。

例えば4階の2LDKでテラスの眺めが良いんけどリビングが狭かったり、1部屋分リビングに足されてればOKなんだけどなって物件とか、8階でかなり眺めとグレードが良くておまけにドラム式洗濯機が付いてくるなんていう物件が有ったんだけど1ルームだったり、これもあともう1部屋有ったら完璧なんだけどなって感じで、最後に行ったやつは4階で4階と5階の2階建て的なデザイナーズマンションの1LDKで新築、これはかなり良かったんだけどエレベーターが無いなんていう落ちでね…。何故そこで手を抜いたのかデザイナーよ!! 次回は是非エレベーター込みでデザインして頂きたいと思います（笑）。

こうなるともうラクーアとかの施設に住みたいわ…なんて思ったり。

って事で不動産屋さんには引き続き最高の物件を探してもらいつつ完璧な物件を探し当てるまで今の家で大人しくしてます。今の家も外観内装サイズ感グレードも申し分ないんです、ただ目の前に家がそびえ立ってるって落ちなだけで…。いやそこが寧ろクリエイティブな音楽をする者として重要だったりして（笑）。まぁワールドツアーっていう長いツアーもあるしタイミングは今じゃないんだと、そんな感じで皆さんの街の近くにD'espairsRayが来た際は是非ファンレターと共に物件情報を（笑）。いやライヴを楽しみに来て下さい!!

物件情報の宛先はSHOXX編集部マニアの覗き穴宛までよろしくお願いします（笑）。

なんだか物件探しが趣味になりそうなKaryuでした。

夢のぐるぐね大回転

第27回

アーティストがつなぐ、リレー連載☆

勇（ZUCK））『Chiyu』➡華威（シリアル⇔NUMBER）

リレー連載、初めましてこんちわ(O_O)/
SuGのChiyu君からバトンを受けましたZUCK（ザック）で唄やってます勇（ゆう）だ。噂によるとお題は「Chiyu」らしい………………。なんじゃそれ(>_<) このお話をもらった時のアゲアゲだったオレの気持ち返せ。

まぁお題にそって描かなきゃだから仕方なく「Chiyu」について語りますかな(-_-)

彼とはかれこれ5年位の付き合いなんだよね(-_-) 今でこそ数少ない信用できる友達まで昇格した彼だが、ぶっちゃけ初めはそんな好きじゃなかった（笑）。あのグイグイな感じがね（笑）。逆に壁つくっちゃいますけど的な(-_-) そんな第一印象最悪なChiyu君と仲良くなっていく過程の中には色んな出来事があったんだけど、今回はその中でいくつかピックアップして描いていこうと思う(O_O)/

まずはセッション。
そう、実は僕たち一度だけ大阪の西九条にあるライブハウスでセッションした事がありますねん。まぁ結果的に言うとこの時はまだそんなに仲良くない（笑）。確かセッション数日前、急に誘われたの(-_-) まぁそれは良いんだけど誘い方ね!! 例えば「今回のセッションは是非、勇くんに唄ってほしい」とかだったら急な誘いだとしても気持ちよく受け止めれるやんか? けどね「今回のセッション、ヴォーカル見つからんから唄っても良いで〜」的な（笑）。なんやねん!? そのしゃ〜なしな感じ(>_<) なんやねん!? 実はオレがめっちゃ唄いたかった的な感じ(>_<) 確かこれはChiyu発言じゃないからまだ良いけどさ。

そんな急遽決まったセッションなんかをやりつつ、1番距離が縮まった出来事は一緒に遊園地行ってからかな。その当時それぞれやってたバンドで東京遠征してて（当時は大阪拠点で活動してますた）スケジュールが偶然重なって空き日も一緒だったのね。で、特にやる事もないしオフを無駄に過ごすのももったいないね〜って流れからオレとChiyu君と他バンドマン数名で遊園地へ行ったんだけど、そこで新たなChiyu君を発見できてさ（笑）。簡単に言うとアホ過ぎる感じ!? フィーリングが合っちゃったんだよね（笑）。それがめちゃくちゃ面白くて、遊園地のスタッフさんにはしゃぎすぎて二、三回位怒られたもん(>_<)（笑）。それからグッと距離が縮まり人として好きなとこだったり（意外と思いやりのある人だったりする）魅力的なとこ（ベース弾いてると何故かイケメンにみえる）が見える様になり今に到るって感じかな。

第一印象って無意識の内に抱いちゃったりするけど、同じ時間を共有していく中でその人の本当の色、色んな一面が見えてくる。すべてがハッピーな訳ではないけど色んな人に触れていく事で自分自身も成長できるしね。

少し話がそれたけど、皆さまにとって第一印象が最悪なな人がいてもオレとChiyu君みたく同じ時間を過ごしていく中で仲は深まっていくかもよ（笑）。

要するに第一印象ですべてを判断するのはすっごくもったいないって事ですな(O_O)/

はい、まとまりますた。

でわ次はシリアル⇔NUMBER華威くんに託すザマス。

彼とも何気に付き合いが長いザマス。華威くんの話をすると口癖がうつるザ………。はい、お題は季節感を意識したやつにしよう。夏的なね。オレの中で蝉がシャウトしだすと夏スタートなのね。 なので華威くんへのお題は「もし蝉の様に一週間の限られた短き命だとしたらその一週間をどう有意義に過ごす?」にします。きっと華威くんならしっかり笑えるオチをつけてくれるだろう(O_<)

期待しながら飢えて待て(O_O)/

アデュ（手）

蝴蝶网 hudie.com

●各コーナーへのお便りの宛先は〒104−8228 音楽専科社 SHOXX編集部アーティストBOX「○○○○○」（コーナー名）係まで。

TOON-FACTORY Kiss☆My★Choice

第14回目 夢叶

どうも～！　夢叶（ゆの）です(ρ_-)o

最近3年ぶりぐらいに縮毛矯正かけました（笑）。夏目前ですが、もう蒸し暑くてバテそうです(ρ_-)o

そんな夏には僕ら初ワンマンツアーを行います！　東名阪仙台回るので普段都内に来れないよって方は是非遊びに来て下さい！　一緒にたのしみましょう♪

来月7月14日には新しくミニアルバムも発売するのでよろしくお願いしますねっ！

はて、さて、レガお兄さんから貰ったお題「仲間について」書き綴って行こうと思います！

僕なりの「仲間」の見解は「運命共同体」だと思います。苦しいときは共に苦しみ支え愛、楽しいとき、嬉しいときも共に共有し・・・的な！　後は互いを尊敬し、認め合い、尊重する。とか、僕が思う仲間はそんな感じです。TOON-FACTORYに加入して、約1年半年やって今はそんな事を日々強く想います。

最近僕の中で韓流ブームでMYDREAM っていう韓国ドラマを見ているのですがこのドラマも「仲間」と一緒に逆境を乗り越える！的なドラマで面白いです！（笑）。

仲間の大切さはレガお兄さんとMYDREAM に教わりました！（笑）。
僕も周りの人に気配り出来るような余裕のあるカッコイい大人になりたいです(ρ_-)o

僕の周りには素敵な大人の方が沢山いるのでその背中をみてすくすくと育て行こうと思います…！（笑）。

っていつまでも子供の気分じゃだめなんですけどね(ρ_-)o

やってることは大人だし大人と同じフィールドに立たせてもらってるので行動や言動に自覚をもたなきゃ！

ってな感じで

「最近よく背伸びたねぇ～」って言われる夢叶（ゆの）でしたぁ！（笑）。

次はゆーぃちお兄さんへ！

お題は「バンド」
凄く大ざっぱなお題なので沢山語って下さい！（笑）。
でわ次回もお楽しみに！

THE KIDDIE 佑聖 絶頂モンスターハイゲイ

第13回

じめっとしてますな！（･。･）

佑聖です。

ぼくの大嫌いな季節ナンバーワン梅雨がやってくるっぽい。

悪天候が続いてますが、何故梅雨が嫌いかというと、俺の大事なギターたちが湿気に蝕まれるのである。

どういうことかというと、湿気で弦を取り替えてもすぐに錆びてしまうのさ！

何回交換すりゃいいのさ！

だから俺的予防策としてこまめにギターたちを磨いているのである。

磨いていると数々のライヴをこなしてきた
章の傷が目に入る。
それを見るたび思い出すのさ春のツアーを

色んなところで色んな人に会ったなーと
初日にアンプぶっ壊れたなーとか、ステー
のしかったなーはやくライヴしてーなー
ね。

そうさライヴがしたいのさ！

今の俺の楽しみは夏のツアーっす。

全11箇所！　初めて行くところもあるし

それでは目の前にいるそらお選手に意気込
をきいてみたいと思います！

どうぞ！

『全国のライブハウスでぼくと握手』

だそうです。
気合入ってらっしゃいますね！（･。･）

さて先月の答えは
『えんぴつ』です。

今月はそらお選手から問題です！

コーラにフリスク入れたらどうなるでし
う？

ドレミ團マコトの♪ 月刊少年マコトピア

第76回 「理由」の巻

無事、現メンバー初のツアーも終了しました。各地、参加してくれた皆様、ありがとうございます。とても素敵ツアーになりました！　短期間ではありましたが今まで以上に収穫のあるツアーだったな。

さてさて、ツアーと言えば今回、最終日なかなかすごい展開が待っていましたね。大抵、いままではツアーファイナルといえば、最後に何かしらの発表や告知を用意して来たのですが今回は夏のツアーも発表されてるし特に何も発表する予定がなかったのです。

しかし、ライヴが進むにつれ、自分の中でも盛り上がってきて、せっかくファイナルに参加してくれているみんなや、来れなかったけど応援してくれているみんなに何か言いたい！　という気持ちになってきて、まさかのアンコールにその場で次のワンマンを決定する事にしました。

まず、制作スタッフとイベンターさんに夏のツアーが落ち着いた頃に会場が空いてるかを確認してもらい、当然そんな急にいい日は空いてないと思いきや、MC中に急遽、同会場で狙っていた日がキャンセルで空き、めでたくその日を押さえれるという奇跡が起き、ステージの上でチラシを手書きで作成、それをすぐにコピーし、終演後に配布！　という流れ。

なんかやたらドラマチックな展開で決まった瞬間、会場に居るみんなや裏のスタッフから歓声が上がったなぁ。

そして、決まったからにはその瞬間を見届けた会場に居る全員とその日にまた、ここで会う約束を交わしました。

当たり前のように何かが決まってて、当たり前のように発表するのではなく、こういった感じで会場に居るみんなと「次」を作っていく。僕らの未来をみんなと作れた最高の夜でした。

スタッフの皆様、バタバタ&ヒヤヒヤさせてしまって申し訳ない…。この会場に居るみんなとなら何だって出来る！　と思ってしまったんです…。それぐらい最高のツアーだった。

こうして急遽決まった奇跡の一夜を僕は後日、「レエゾン」と名付けました。

僕らが音を奏で、歌う「理由」はきっと此処にある――――――。

9.11最高の景色が見れますように。

ほな♪

heidi.

第14回：ナオ

『ハイジのアルプス日記』

ど～も！　ナオです！

先月heidi.はメジャーデビューしました～！
みなさんどうもありがとう！

そして！

そのメジャーデビューシングル「予感」を引っさげまして只今全国ワンマンツアー中です！　この号が出る頃は中盤戦かな？　ツアーファイナルは7/18赤坂ブリッツ！　是非遊びに来てくださいな！

さてひとしきり宣伝もしたとこで…

もう夏ですな！　暑い！　いろんなとこで言ってるけど今年は扇風機を買おうと思ってる！　メンバーがみんな扇風機を持ってるっていう事実にもビックリだった！

ツアーに出てる時はいいが帰って来た時の熱気はあれダメでしょ（笑）。

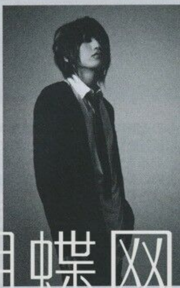
毎年暑さ対策には悩まされるけど、今年の夏はひんやりアイテムを使って涼しく過ごしたいもんです！

だ～け～ど！

ライヴはアツいぜ！　今回のワンマンツ
はライヴはもちろんそれ以外にもお楽し
いっぱい！　心から皆が楽しんでくれる
を願ってます！

ということでライヴではいい汗かいて
は涼しく！　お互いいい夏になるとい
な！

それではみなさんごきげんよう！



蝴蝶网 hudie.com

蝴蝶网 hudie.com

うしろの正面

第132回

by 長谷川 正 —ただしづら— /Plastic Tree

皆様こんちくわ！　季節的には梅雨を向かえた今日この頃…雨男疑惑をかけられてしまう僕ですが、この時期ばかりはさすがにそういった事もなくなります（笑）。とりあえずジメジメとした雰囲気に呑まれないように過ごしたいものです。さて…追懐公演もおかげさまで無事に終わり、ここ最近は再び作曲モードに入っております。毎回の事ながら何かと頭を悩ます作業ではありますが、自分でも納

しまっているが故に自分の中では大切な作業でもあります。新しい曲を作るたびに何かと新しい発見があったりもするので、今回もそういった部分を楽しみながら取り組みたいなあ…とも思っております。そんな中、最近よく聴いているCDを一枚ご紹介します。The Dogbonesの『THE DOGBONES』というアルバムなのですが、これがメチャクチャかっこいいのです！　このバンドの中心

イーンアドリーナのギタリストであるクリスピン・グレイで、独特の質感を持った楽曲や、相変わらず破壊力抜群のギターを楽しむ事が出来ます。それ以上に驚いたのがヴォーカルで、クイーンアドリーナではベースを担当していたノミさんがこれまたかっこいい唄を聴かせてくれています。同じくデイジーチェインソーやクイーンアドリーナと関係の深い他のメンバーのプレイも非常に良くて、自分にとっては数少ない、本当に刺激になる音楽を作り出して来た人達が関わっているだけの作品だなあ…としみじみ感じつつヘビロテ中なので（笑、興味を持った方はぜひぜひ聴いてみて下さい！　そんなこんなで、しばらくライヴがないのが若干寂しくはありますが…8月の武道館公演も発表された事ではあるので、そこに向かって引き続きあれこれ頑張りたいと思います。そういえば今度の武道館が13日の金曜日っていうのもなかなかしびれますね…楽しみです（笑。という事で、今月はThe Dogbonesが控えめな爆音で流れるマリモーランドよりお届けしました…それでは

ヴィドールの美doll? 微

第八十一体目

ジュイの巻

じゅいです。

最近忘れ物がヒドい。
居酒屋にて、靴を脱いで靴を下駄箱に入れたのに肝心な鍵をかけ忘れていたり。
洗濯機を廻していて、洗濯が終わって衣類を取り出した時に、
「あっ。そういや洗剤入れ忘れてた」って気づいてみたり。
誰かと電話しながら「あれ。オレの携帯どこだっけ」って一瞬でも探してる自分がいたり。

忘れるっていうか、欠落っていうのかな？
日々成長して何かを学習していく中で、一つ頭にインプットされたら、一つデリートされてるような感覚なのかなって思う。
過去の記憶の方が鮮明に覚えてるのに、ここ最近の記憶は「前にも似た様な事があったな」と、無意識に判別してしまうからそんなに記憶に残らなかったり。
自分で「コレは記憶にとどめておこう」と、思わない限りは記録されずにそのまま消去される。ひょっとしたらオレは「記憶を残す」っていう術を昔よりも操れるようになったのかもしれない。とうとう神の領域に達してしまったのかもしれない。

…ってポジティヴに考えてないとやってられん。

あ。

あと最近、美容に凝ってるんだ。
オレ実は、意外と肌の手入れに無頓着で、メイクを落とす時も、拭くだけメイク落としオンリーで、洗顔を使わずにそのまま化粧水を塗っておしまいだったりする。でもそれも改善しようかなって思う。ちゃんと化粧水と乳液も美容液も使いたい。

あとどうしてもバンドマンは生活が不規則で、不摂生になりがち。
でもライヴや写真だったりで一番疲れを見せちゃいけないジャンルだし、これから少しでもお肌を気遣ってカバーしていかなきゃなって思ったんだよね。

こないだメンズエステ体験したらお肌がプルんプルんになった。
自分では分からないけど、街ですれ違う人の視線がいつもより違った‼

…ような気がした。

まあ色々試してみようかな。

さて、暦は今日から六月。

もうすぐオレの誕生日かあ。
誕生日が過ぎたら、大好きな夏に逢える。
今年の夏はツアーが無いから、何処か行けたらいいな。

これからブランチ食べて曲作りします。

でわ

oran Hitomiの「瞳孔反射」

第27回　『やっぱりネコが好き』

ちの近所にはたくさんの野良ネコがいる。
コには縄張りがあって、基本的にはいつも
じところをウロウロしているものだから、
大体の顔は覚えてしまった。春に生まれ
ネコたちが立派に成長していく過程を見
っていくのも、もはや俺の生活の一部のよ
になっている。ある日、近所のネコたちの
とても気になる子を見かけた。

見かけたのは去年の秋たったの一度だけ。いつもの場所で他の子ネコたちに紛れて、今まで見たことのない新顔を見つけたのだ。そっと近付くと、首をかしげてじっとこっちを見ている。なんだそのポーズ、可愛すぎる‼　と感動したのも束の間、何かがおかしいことに気づいた。その子はずっと首をかしげたままなのだ。歩いていても座っていても何をしていても、常に首を左45度に傾けている。よくよく観察してみると、同じ時期に生まれたはずの兄弟たちよりもひとまわり体が小さく細い。しかも反応が鈍く、首が曲がっているせいか様々な動作がとてもゆっくりである。生まれつき障害を持って生れてきてしまったか、あるいは生後間もなくケガをしてしまったのであろう。生き抜く力が明らかに弱そうなその子を見て心配でならなかった。

野生の動物と言うのは、些細な怪我が命取りになる。例えば同じ猫科のチーターや豹が足を怪我したなら、もうそれは死を宣告されたようなものだ。獲物の背後にそっと忍びより、瞬時に飛び出し、更に獲物よりも早く走ることによって初めて狩りを成功させるからだ。それがメスのライオンなら群れによって狩りをするので、おこぼれにあやかれれば生きていける事もある。しかし俊足を失ってしまったチーターや豹では餓死してしまうのは明白なのである。

もっとも人間社会との共存を上手く成しえてきたネコには、これが該当するかはわからないが、とりあえずエサでも与えなくてはと思い試みようとしたのだが、猫一倍臆病らしく、塀の隙間の奥に姿を消してしまった。

それっきり、もう何か月もその子の姿を見ることもなかった。他のネコたちは三日に一度くらいは姿を見るので、もしかしたらもう生きてはいないのではないかと半分諦めていた。しかし、昨日再びその子を見かけたのだ。やはり明らかに他の子たちより成長スピードが遅く、体も小さかったが、その子なりにちゃんと大きくなっているようでとても安心した。今回は無事エサをあげることもでき、ゆっくり少しずつ頑張ってエサを食べる姿がなんとも愛らしかった。

ところで、野良ネコにエサをやるという行為だが、これは一部で厳しく非難されている行為である。ネコが嫌い、もしくはあまり好きではない近所の住人が煙たがるのはもちろんのことなのだが（糞尿等の被害がでるため）、動物愛護を熱心に提唱する人々の中にも多くこの考えを持つ人がいるのだ。彼らが野良ネコにエサをあげるという行為に反対する理由は主に三つ。

1：人に対する警戒心をなくしてしまい、危険が及ぶ可能性があるから。
2：エサを与えることで野良ネコが繁殖し、不幸なネコが増えるから。
3：子ネコの時に人からエサを得ることに慣れてしまうと、自分でエサを捕獲する能力が損なわれ、後々その子を苦しめることになるから。

これらの意見は、動物を思うからこその意見だ。ちゃんと理解できるし納得もできる。無責任な行動であるというのもわかっている。しかし、俺が野良ネコの立場だったら…と考えた時、「少ない機会でも美味いもんが食いたい」と絶対に思うと思うのだ。それで何匹かのネコたちが、一時でも幸せな思いができるのならば、俺はそっちを優先したい。幸いにも、俺の近所に住んでいる野良ネコたちは何軒かの家から定期的にエサをもらい続けているようで、外に住んでる飼いネコと言った方が近いのかもしれない。あの首をかしげた猫を除いてはみんなとても健康そうだし、中には結構太ってる子までいる。だからというわけではないが、俺はこれからも、このネコにエサをあげてしまうと思う。すまん。

話はかなり逸れるが、俺には全く理解できないネコ萌がある。ネコミミである。そもそもロリコンではないからか「萌」の感情自体よくわからないのだが、ネコミミには軽く嫌悪すら覚えてしまう。ネコは可愛い。それはそれは言い表せないくらい可愛い。でもネコミミをつけても人間はネコになれるわけではないし、言ってしまえばネコの耳を頭に載せた変な人でしかないのである。しかもなんとなく神聖なネコを汚されたような気にもなってしまうのだ。

他にも、「前世はネコです」とか「ネコっぽいって言われる」とか「私はタチと言うよりネコです」なんて事を言う人がたまにいるけど、あれは何アピールなんだろう。言っとくけど、ネコの方が100倍可愛いから勘違いすんなよ。まぁでも俺も、自分の前世は絶対ネコだと思ってるんだけどね。

Kαin一朗のコライチ

第93回

暑いですね。また苦手な夏がきます。「一番好きな季節は何？」っていう質問ってよく聞くけど、僕はこう答えます。

「冷夏！」

はい。農家の皆さん、すみません。でも、ニュースでそう聞くとガッツポーズをとってしまう僕。そんな僕こと、Kαinの一朗です。ごきげんいかがでしょうか。

最近の僕は何をしていたかというと、5月2日に川崎クラブチッタで現メンバー最後のライヴを終えたKαinのワンマンライヴ以降も、今後の新生Kαinに向けてひたすらリハーサルを繰り返す日々でした。

あ！そうそう。5月23日には大阪にも行きましたよ。なんばHATCHで行われたイベント「Over the Edge」に参加してきました。幸也さんセッションのメンバーとして参加してきたんですが、今日はその日のことなんかを書いていこうと思います。

まず、この日一緒に参加したメンバーは、

Vo. YUKI-YAさん（Kαinのヴォーカリストでウチの社長）
Gt. SANA様（ex MASK）
Gt. 伶希（ex KuRt）
Ba. 一朗
Ba. KISAKIさん（凛／UNDERCODE社長）
Dr. ATSUSHIさん（ex WAIL／現Kαin）

そして、チェロに青月泰山くん（Moranのライヴなんかでも弾いてるよ！）という豪華なメンバー。

で、ライヴなんですが、まずライヴが始まった瞬間、なにか違和感を感じたんですよ。そして徐々に幕が開いて、うっすら明りがついてから、ハッキリと何かがいつもと違うことに気づきました。

「女子、多っ！」

そうなんです。JILSやKαinのライヴってすごく男子率が高いのでいつの間にかそれに慣れていたんですね！笑 女子が圧倒的に多いことに凄く驚いてしまいました！

いや、僕もね、その昔は大阪で女子にキャーキャーいわれるようなバンドをしてたわけですよ。（もちろん、今もそのつもりだけどね。笑）しかし、この日のライヴでは「目の前がほとんど女子」っていうことをすごく新鮮に感じてしまいました。慣れって怖いね。笑

いや、どっちも好きだよ。男子も女子も。むしろ個人的には可愛い男子のほうが・・(略　はい、私事はまたmixi日記とかで書きます。笑

当日演奏した曲についてもちょっと解説しますと、この日は

1［inlandempire］
2［xxxBLUE］
3［speed］

という3曲を演奏しました。

1曲目の［inlandempire］は、Kαinの1stアルバム収録曲なんですが、この日は初めてお披露目するニューバージョンで演奏。チェロの青月泰山くんのソロがあったり、SANA様のギター乱舞があったりと見どころ満載。後半はもうまったく別の曲のように激しくなってましたね。

今後はこのバージョンでも演奏していきたいなあと思ってるので、あの激しいトコはみんなもガンガン拳をあげてノッてくれたら嬉しいな。

2曲目の［xxxBLUE］は当日のMCでも解説されてたように、なんと幸也さんがD≒SIRE時代の1994年頃から歌い続けている曲です。

これもこの日初公開のニューバージョンで、D≒SIREの大ファンだというKISAKIさんや伶希と一緒に演奏しました！

そういえばこの日は別のセッションでヴィドールのジュイ君（来月の2マンよろしくね！）やlynch.の玲央さんもD≒SIREの曲「静夢」を演奏してましたね。

二人もD≒SIRE大好きだって言ってたもんなあ。D≒SIRE好きなバンドマンってすごく多いよね。まあ僕もその1人ですけど。笑

そういえばKISAKIさんと幸也さんのステージ上での会話中に、幸也さんが「初めて会った頃は、お前高校生だったよなぁ。」とKISAKIさんに言ってるのを聞いて、「あー僕もKISAKIさんに初めて会ったのは高校生の頃やったなぁ・・こうやってヴィジュアル界の歴史が積み重ねられていくんやなぁ・・」なんて考えていました。

で、ボーっとしてたらいつの間にかKISAKIさんにとって邪魔な位置に立ってしまってて、ウチの社長に怒られましたよ★でもライヴ中に「オマエなんかあっちいけ！」って！ひどくない??

3曲目は、幸也さんがthe JEAN用に書き下ろした激しい新曲「speed」でした。この曲ではウチのレーベルの健児（the bullet）やAGEHA（LOG-iQ）、そしてオカマのマサ子（the JEAN）も参加！さらにUNDERCODEの若手のバンドのメンバーのみなさんもたくさんステージに上がって、みんなで超盛り上がりました！

みんな知らない曲なハズなのにノリノリだったね！バンギャルってすごい！って思ったよ。

ホントすごい盛り上がりで「この日一番盛り上がってたよ。」なんて噂も聞いたんだけど、本当だったら嬉しいな★

てな感じでたった3曲だったけどめちゃくちゃ楽しいライヴでした！

大阪にはまた8月にKαinのワンマンライヴで来れるので楽しみだな！！「Over the Edge」で僕らを知ったみなさんもぜひまた会いに来てくださいね！

というわけで、今月はこの辺で。

最後に今後のライヴ情報のせますねー。

●6月28日「Kranzeレーベル3周年記念プレイベント」会場：新宿red cloth出演：YUKI-YA（Kαin）／ROOM#NUMBER／他●6月29日「Kranzeレーベル3周年記念プレイベント」会場：新宿red cloth出演：YUKI-YA（Kαin）／ROOM#NUMBER／他●7月19日「マサ子、第二章。」～マサ子とイチ子とキャロラインが！～会場：新宿red cloth 出演：マサ子とイチ子とキャロライン／the bullet／LOG-iQ／ロジバレ。●7月24日「Kranzeレーベル3周年記念イベント」会場：新宿ロフト 出演：Kαin／他●7月25日「Kαin vs ヴィドール」2マンGIG会場：新宿ロフト●8月7日Kαin ワンマンGIG「I need you so much closer.」会場：大阪MUSE●8月8日Kαin ワンマンGIG「I need you so much closer.」会場：名古屋eill. FITSALL●8月29日「Kαin vs boogiemann」2マンGIG 会場：新宿ロフト

じゃあ、また来月ね！

麺は固め!!

第145回 by 竹入隆行

多分毎年書いているかもやけど…

毎年自分の誕生日は周りに感謝を込めて、周の為に「1年で1番しんどい事をする日」と決ている。誕生日は自分が生まれてから満何年経たという事やから「おめでとう」と言われるりも、こちらが「ありがとう」と言う日でしょ

ほんまにほんまに綺麗事でもかっこつけてんでもなんでもなく本気で思っている。

今年は2daysワンマン（1日30曲）&新曲2発表という「これでもか…」という位、今の分で思いつく限りの事をやらしてもらった。直大変やったし、しんどかった（笑）。でもそ分達成感も多く、お客様の喜んでくれているを見た時にはほんまに最大の喜びを感じた。

「恩返し」なかなかしたくても出来ないのが通やし、実際何をしたらそれになるのかさえからないのに。もし本当に恩返しを少しでも来たと思えたなら、それが何よりの幸せやね

更に今年は例年以上に身体がもった事にも謝です。何回かへこたれそうになっても、なとか…そんな状況やった。なんか矛盾するかやけど、頑張れたのはすでに皆様のおかげ…にそういう場所がある事にも、付き合ってくる仲間にも感謝がたえない。だからお客様にまた更にいろんなものを頂いて、恩返しどこかまた恩が増えた。今の自分には、また1年もともっと精進しようとしか言えない位。

言葉にしたら軽く感じる程、深く、深く 感してます。

押忍！

SHOCK WAVE アポロ Vol.40

2010年7月18日(日)高田馬場AREA

★★★★★★★★★★★★★★★★★出演★★★★★★★★★★★★★★★★★

-ZEROdb/ギャロ/
SwallowtaiL-スワロウテイル- / medi@lize/
Administrator/東京ミカエル。/アヲイ

毎月18日は、本誌イベント『SHOCK WAVE アポロ』の日♪
毎回、多彩な顔ぶれのバンドが競演！　7月のアポロもお見逃し無く♪

チケットは絶賛発売中♪

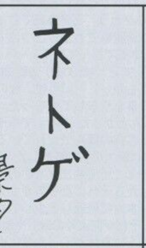
音楽専科社 HP
[http://www.ongakusenkasha.co.jp/]
携帯サイト：音楽せんか？
[http://mobile.ongakusenkasha.com/]

(問)高田馬場AREA ☎03-3361-

hudie.com

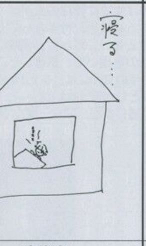
lission in ぽっくん
ッション イン

雨、雨、雨。憂鬱な雨が降り続く梅雨時。みなさんいかがお過ごしでしょうか？　といいつつ、この原稿を書いているのは入梅前の麗らかな春。イマイチ梅雨の実感がわかないのですが、今月のテーマは”雨の日の過ごし方”です。思いっきりインドア派の長谷川正から、“泳ぐ”という超アクティヴな seek まで十人十色。結構みんなの性格が出ています。



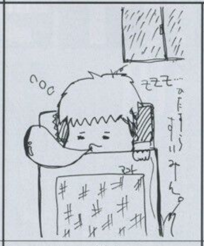
景夕
(Kra)

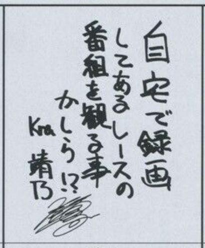
長谷川正
(Plastic Tree)



宮脇渉
(12012)

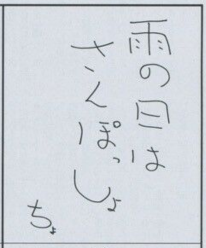
ユウ
(ドレミ團)


マコト
(ドレミ團)

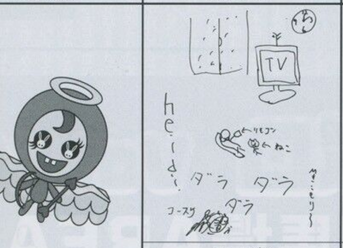


靖乃
(Kra)

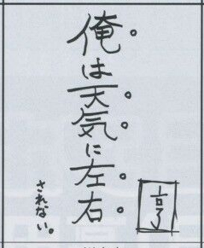
結良
(Kra)



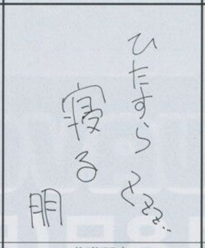
舞
(Kra)



コースケ
(heidi.)

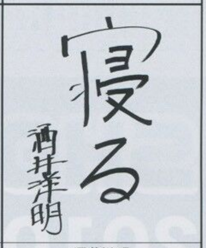


川内亨
(12012)



塩谷朋之
(12012)

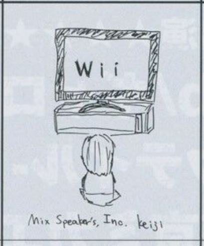
須賀勇介
(12012)



酒井洋明
(12012)

S
Speakear's,Inc.)

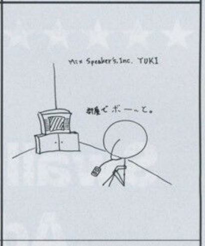
seek
(Mix Speakear's,Inc.)



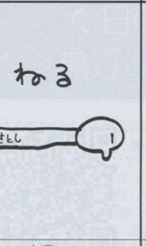
keiji
(Mix Speakear's,Inc.)

AYA
(Mix Speakear's,Inc.)

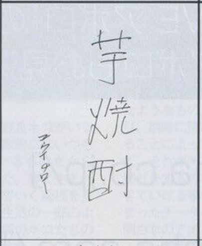
MIKI
(Mix Speakear's,Inc.)



YUKI
(Mix Speakear's,Inc.)

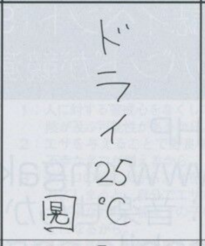


左迅
ギルガメッシュ)

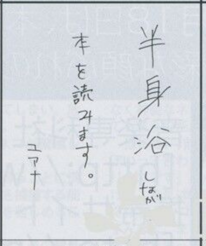


ユウイチロー
(boogieman)

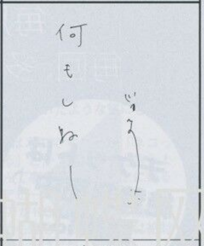
万作
(boogieman)



晃
(boogieman)



ユアナ
(boogieman)



ジュン
(boogieman)

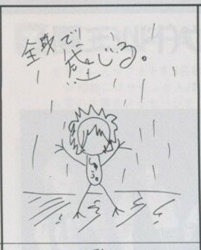
nudie.com

ユ≠キ
（少女-ロリヰタ-23区）

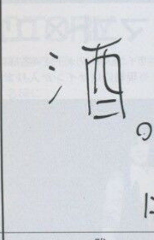
龍兎
（少女-ロリヰタ-23区）

総史
（少女-ロリヰタ-23区）

Яyo
（ギルガメッシュ）

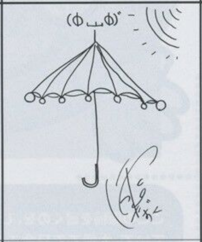


愁
（ギルガメッシュ）



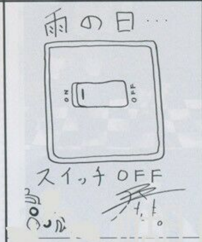
弐
（ギルガメッシュ）

夢叶
（TOON-FACTORY）



雫
（TOON-FACTORY）

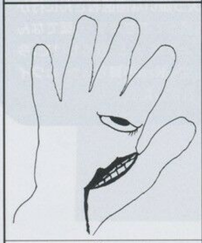
ひかる
（TOON-FACTORY）



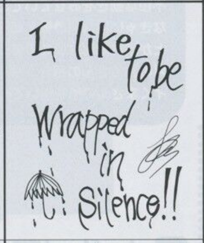
BAN
（少女-ロリヰタ-23区）

[illegible]
（少女-ロリヰタ-23区）

hudie.com



椿
（Sel'm）



トラ
（Sel'm）

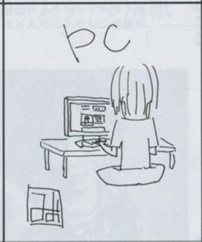
IORI
（spiv states）

JUN
（spiv states）

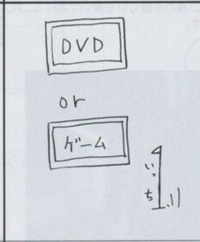
ゆーぃち
（TOON-FACTORY）

レガ
（TOON-FACTORY）

ルリ
（キャンゼル）



椎名未緒
（キャンゼル）

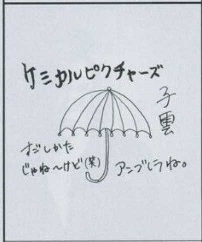


いっち
（キャンゼル）

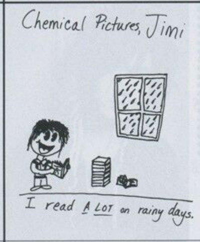
MANJ"
（Sel'm）

拓磨
（Sel'm）

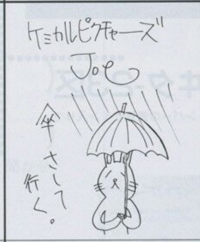
Nagi
（Sel'm）



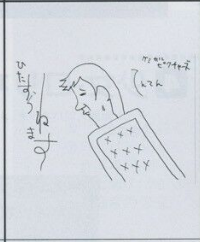
子雲
（ケミカルピクチャーズ）



Jimi
（ケミカルピクチャーズ）

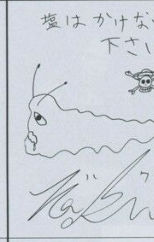


Joe
（ケミカルピクチャーズ）



てんてん
（ケミカルピクチャーズ）

ゆきみ
（キャンゼル）

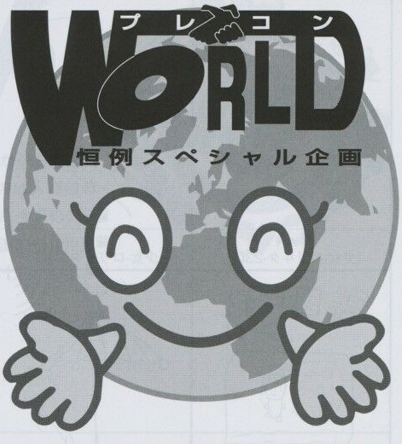


ハク
（キャンゼル）

★応募の決まり★

このアーティスト直筆の回答書をプレゼントしちゃいま～す。欲しい人は149ページの左下にある応募券を官製はがきに貼って、あなたの住所、氏名、年齢と希望アーティスト名を書いて
〒104-8228　東京都中央区銀座6-2-3 ダヴィンチ銀座アネックス5F　音楽専科社「ぽっくんくれっ！」係まで応募してください。締め切りは2010年7月21日（消印有効）です。

ぽっくんくれっ！
SHOXX vol.210応募券



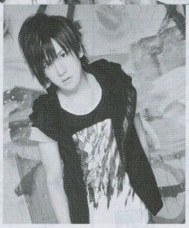
ここの原稿を書くのを、てっきりこっきり忘れてしまっていて、大慌てで只今この文章を打っています。ぺろちゃんです(笑)。そんな私、ここ最近、親不知がズキズキ不穏な動きをみせていて、大っ嫌いな歯医者さんに行かなきゃいけない恐怖と毎日戦っております…。薬でなんとか誤魔化せないものでしょうか…。と、言うわけで、今月の画伯さんの紹介♪今月は…Kraの舞ちょが、カワイイくまさんの絵を描いてくれました☆

1 ナイトメア

サイン入りフォトを６名様に(誰のが欲しいか書いてネ)
※現物にはサインが入ります。

2 THE KIDDIE

サイン入りフォトを5名様に(誰のが欲しいか書いてネ)
※現物にはサインが入ります。



3 長谷川正(Plastic Tree)×コースケ(heidi.)

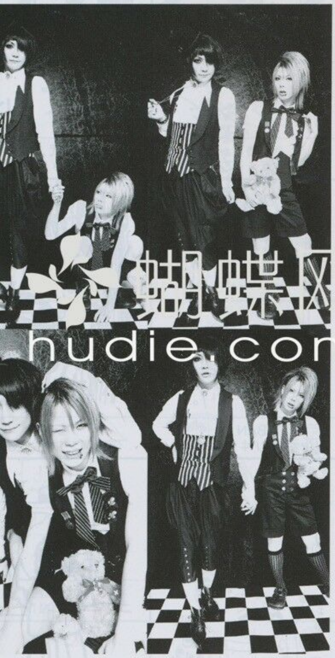
サイン入りフォトを1名様に(誰のが欲しいか書いてネ)
※現物にはサインが入ります。

4 少女-ロリヰタ-23区

グッヅ販売大判パネルを、メンバーの直筆サイン入りで2名様に

マコト×ユウ(ドレミ團)

サイン入りフォトを4名様に
※現物にはサインが入ります。

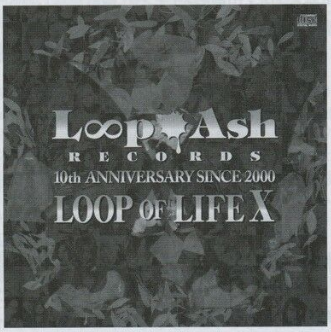


ViViD

サイン入りフォトを5名様に(誰のが欲しいか書いてネ)
※現物にはサインが入ります。

10 LOOP ASH

LOOP OF LIFEXのCDに全所属アーティストのサイン入りで2名様に

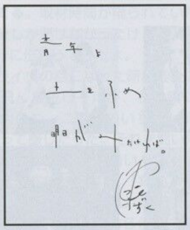


8 BugLug×DoG inTheパラレルワールドオーケストラ

サイン入りフォトを1名様に
※現物にはサインが入ります。

7 TOON-FACTORY

a.サイン入りフォトを5名様に（誰のが欲しいか書いてネ
※現物にはサインが入ります。
b.雫の手書きメッセージを1名様に



b.

11 EXTRA-TERRITORIAL

Tシャツ（S・Mサイズ）を2名様に

9 spiv states

サイン入りポスターを2名様に

イラスト：舞ちょ（Kra）

プレコンWORLDアンケート用紙 VOL.210

住所	〒　　　　TEL　（　　）		
氏名	フリガナ	年齢	男・女

★A. よかった記事の番号を良かった順に3つあげてください。

1	2	3

理由

★B. 好きなアーティスト・バンドは？
（　　　　）（　　　　）（　　　　）

★C. 最近気になっているアーティスト・バンドは？
（　　　　）（　　　　）（　　　　）

★D. 今月号に対する意見・不満・または希望企画を聞かせて下さい。

★E. 希望プレゼントの番号（P150～151）　　番

アンケートのお願い

●アンケートに答えて、用紙を切り取り、はがきに貼って送ってね。コピー不可。
●宛先は〒104-8228　銀座6－2－3　ダヴィンチ銀座アネックス5F　音楽専科社　SHOXX編集部　プレコンWORLD係まで。
●締め切り：2010年7月21日当日消印有効
当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

◆今月の記事一覧（アンケート）

①ナイトメア　②TRIBAL ARIVALL　③Kagrra,　④Kra　⑤Lc5　⑥THE KIDDIE　⑦SuG　⑧長正(Plastic Tree)×コースケ(heidi.)　⑨Over the Edge　⑩12012　⑪boogieman　⑫Mix Speak Inc.　⑬マコト×ユウ(ドレミ團)　⑭ダウト　⑮EXTRA-TERRITORIAL　⑯BugLug×DoG inTheパラワールドオーケストラ　⑰ギルガメッシュ　⑱少女-ロリヰタ-23区　⑲HERO　⑳「東京指定」　㉑B　㉒DaizyStripper　㉓9GOATS BLACK OUT　㉔DELUHI　㉕spiv states　㉖摩天楼オペラ　㉗je　㉘LOOP ASH　㉙SHOCK WAVEアポロ　㉚Sel'm　㉛R指定　㉜exist†trace　㉝キャンゼル　リィー　㉟ヒトツメ　㊱NightingeiL　㊲カル・ヴァリ　㊳ベルベット　㊴amber gris　㊵リルト　㊶　㊷Jack Rose　㊸vistlip　㊹ViViD　㊺TOON-FACTORY　㊻ケミカルピクチャーズ　㊼アーティスト　㊽Mission in ぼっくん　㊾早耳情報　㊿ロックンロール日記

hudie.com

長谷川正（Plastic Tree）× コースケ（heidi.）

■SHOXX撮影メイキング『撮影秘話』：長谷川正（Plastic Tree）とコースケ（heidi.）の対談撮影の様子をムービーにて公開予定!!

THE KIDDIE

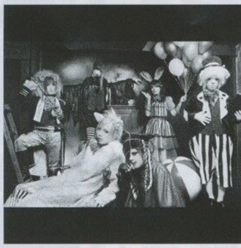
■SHOXX glitter pop No.5、SHOXX Vol.210撮影メイキング『撮影秘話』：『SHOXX glitter pop No.5』や、本誌掲載フォトの最新撮影メイキングを公開!!

Mix Speaker's,Inc.

■BEST ALBUM『NEVER ENDING STORY』連動企画：6月16日にリリースするBEST ALBUM『NEVER ENDING STORY』にちなんだQ & Aや、待ち受け画像を配信中!!

マコト × ユウ（ドレミ團）

■待ち受け画像：マコトとユウ（ドレミ團）の本紙掲載フォトのアザーカット待ち受けを配信予定!!



音楽せんか?

音楽専科社公認公式携帯サイト
http://mobile.ongakusenka.com/

ARENA37℃とSHOXXに掲載された記事と連動した企画が盛りだくさん！ ここでしか観ることが出来ない撮影メイキング・ムービーや、ここでしか手に入らない待ち受け画像、着ボイスなど、絶賛配信中!! 今すぐアクセス!!

月額315円の会員になれば、待受取り放題・ムービー見放題!! その他楽曲試聴や、着うた、アーティストのコラムも読めます!!

×びじゅけい ヴィジュアル系ファンのための携帯サイト♪
http://www.visukei.com/

びじゅけいpresentsイベント第6弾！
ケイタイで連動企画が見られるよ!! 詳しくはびじゅけいを見てね!→→→→

びじゅけいpresents

「Revolutions」- 四面楚歌 出演者募集!! -

2008年から始まり、シーンの登竜門として
ビジュアルシーンの旬なバンドが多数出演するお祭りイベント!!

出演希望バンドは、バンドの紙資料、音源を右記宛先へお送りください。

150-0013 東京都渋谷区恵比寿 4-28-5 プレサージュ 406
株式会社 VisualRock.NET『びじゅけい』係まで

数々のアーティスト電子書籍を配信中!!

ナイトメア SHOXX FiLE EDITION.1

ナイトメアの軌跡を収録したスペシャルブック「SHOXX FiLE ナイトメア Edition1」がケイタイ書籍になったよ！

〜グラビア堂書店 Presents〜
モバフォト！

QRコードからアクセス！

蝴蝶 hudie.com

イラスト：AKEMI OHSHI

大島暁美のロックンロール日記

Biju漫画を描いてくれる人大募集！ 詳しくは、http://ameblo.jp/<http://ameblo.jp/gogobijutan/> gogobijutan/へ。

hudie.com

×月×日

PSカンパニーのイベントTRIBAL ARIVALL 100回記念ライヴ@AXの翌日。音楽専科社から7月7日に発売されるこのイベントの特別本の取材のため、事務所にお邪魔する。わたしは3アーティスト担当で、しかも、そのインタビューの前に別雑誌の取材も入っていたため、4本のインタビューをぶっ続けで行うというかなりハードな1日だ。

まず最初は、ViViD。彼らに2本の取材を続けて行ったのだが、最初はニュー・シングルについてのインタビュー。シンくんがラップやシャウトに関して話してて、「キングギドラみたいにやってみました」というので、「そんなにすごい雄叫びが、入ってたっけ？」と思いながら聞いていたら、そのビミョーな反応を察知したのか、「もしかして、怪獣のキングギドラだと思ってません？」とひとこと。「え、違うの？」といったら、「ラップ・グループのキングギドラですよ！　いくらなんでも、この曲に怪獣みたいなシャウトは入れません」と、メチャクチャ笑われてしまった。す、すいません〜。V系以外、あんまり詳しくないもので……。でも、あまりにもとんでもくんな勘違いに、ちょっと恥ずかしかった。

2本のインタビューの間の休憩時間に、Ko-kiくんが得意の手品を見せてくれた。メンバーの誕生日プレゼントで、昨日のAXの楽屋でも披露したら、大人気だったらしい。目の前で見てもタネが全然わからないので、「もう一度やって！」とお願いしたんだけど、「初心者なので、何回もやるとバレちゃうんです。昨日、武瑠さんに、見破られちゃいました」といって、1回ずつしかやってくれなかった。でも、手品をする時の掛け声が「ロックンロール日記に載れますように！」だったのには、笑った。ちゃんと日記に書いたから、次の取材の時も手品を見せてね〜！

その後、しばしの待ち時間があったので、パーテーションで仕切られた部屋で待ってたら、隣から聞き覚えのある声が聞こえてくる。あ、この元気いっぱいの声は、靖乃くんだっ！　パンツのオシャレな履き方について話してたので、てっきり雑談してるんだと思って「ヤッホー！」と能天気に挨拶に行ったら、なんとラジオの収録中だった。ひぇぇぇ〜！　雑談だなんて思って、ごめんなさい（笑）。ラジオを聞いてたみなさん、突然、変な人が乱入しちゃって、さぞ驚かれたことでしょう。でも、あとで聞いたら、オフィシャル・ホームページに「特別ゲスト」で、わたしの名前が載ってたらしいよ。Kraさん、面白すぎ（笑）。

×月×日

HOT WAVEの収録で、ムックのレコーディング・スタジオにお邪魔する。メンバー全員、前日にTwitterを始めたばかりなので、ひとしきりその話で盛り上がる。終わってから逹瑯くんが一緒に記念写真を撮ってくれて、それもすぐにアップされてたらしい。YUKKEくんも、取材班が到着した時に「あ、大島さんだ」、取材が終わった時に「大島さん、ありがとう」とつぶやいてくれてた。そーいうことを、すぐにファンの方が教えてくれるのが面白いなぁ〜。

そのあと、場所を移動して、彩冷えるの収録。インテツくんに会うのは久しぶりなんだけど、やっぱりTwitterで近況を知ってたし、彼もわたしがアップした仔猫の写真を見ててくれたので、久しぶりな感じが全然しないのが面白い。

この日の取材はレコード会社の会議室で行ったんだけど、部屋の隅に縦長の鏡が置いてあった。収録中に見るモニター画面がなかったので、その鏡を横にして、メンバーの前に置くことになる。でも、本番中に夢人くんがその鏡をじっと見つめてたり、鏡に向かって変顔して遊んだりしてて、葵くんに「テレビを見てる人が、変に思うんじゃない？」なんて、笑いながら突っこまれてた。夢人くん、お茶目だわ〜。

×月×日

周りのtwitter熱が、日増しにすごくなっていく。SHUSEとお茶した時に「何がいいんだか、さっぱりわからない」というので、楽しさを一生懸命説明したんだけど、全然わかってくれなくて、ネガティヴなことばかりいうの。なのに、その数日後には、しっかり始めてて、かなりハマってる様子（笑）。

ある朝のこと。最近のわたしは早起きさんなので、起きてtwitterを立ち上げると、徹夜明けのミュージシャンのつぶやきに遭遇することが多い。その日も徹夜で作業してたASAKIくん（BuG）の「ヤケクソで、これからラジオ体操にでも行こうかな」というつぶやきを、発見。実は、わたしは朝のウォーキングとラジオ体操を日課にしてて、ASAKIくんは超ご近所さん。早速、「6時半から、緑道沿いの××小学校の前で、ラジオ体操をやってるから、おいで〜！」と、つぶやいた。でも、まさかマジに徹夜明けでラジオ体操に来るなんて思ってなかったのね。でも、帰宅したら「近所の小学校を4校走って回ったが、アケピーに会えなかった」という悲壮感漂うつぶやきが……。ASAKIくん、ホントにラジオ体操を捜してくれたんだね、しかも走って（笑）。徹夜明けなのに、ハードなことさせちゃって、ごめん!!

×月×日

都内某所のオシャレなカフェで、THE KIDDIEの撮影&取材。ちょうどお昼時だったので、優しい編集者さんが「ゴハン、注文していいよ」といったら、メンバー全員、目をキラキラきらりん！　超嬉しそうだったよ。注文を済ませてから、とりあえずインタビューを開始。15分ほど取材したところで、メンバーの頼んだ品が運ばれてきた。一旦、テレコを止めて、メンバーが食事をしている間に、マネージャーさんのPCで「smile」のPVを見せてもらうことにする。すごく楽しいPVできゃぁきゃぁいいながら見終わって、「面白いPVだね！」と振り返ったら、メンバー全員のお皿が空になってる。えっ？？　このシングル、4分くらいだよね?? 「もう食べちゃったの？」と聞いたら、声を揃えて「はーい！」と大きな返事。あまりに元気な食べっぷりにはビックリだったけど、そのおかげで取材はスムーズに進んだので、メンバーの早食いに感謝しなくちゃ！だね。

×月×日

DaizyStripperの取材。その数日前の九段会館ワンマン・ライヴで、風弥くんが倒れてライヴが中断してしまうというアクシデントがあっただけに、ちょっと心配してたんだけど、全員揃って元気に取材に来てくれた。風弥くんもすっかり回復してて、よかった、よかった。

取材は8月に2枚同時リリースするアルバムに関してだったんだけど、風弥くんやなおくんをはじめとして、みんな「思い入れが強すぎて、何をしゃべった いいのかわからない」「このアルバムに対する想い 全て語ろうと思ったら、別冊を作らなくちゃダメか です」といってる。取材時間が限られていたので、 の想いの一部分しか聞けなかったけど、メンバーの い気持ちは十分に伝わってきたよ。

九段会館のライヴの話になった時、最後の曲のイ トロで客席に飛んだ銀ロールが、右の頬にぶつか たことを話したのね。二階席のいちばん前だった で、結構、直撃って感じだった。それを聞いたメンバ が、「あれってぶつかったら、痛いんじゃないんで か？」って心配してくれたので、「痛かったけど、 弥ンが心配だったから、痛さを感じなかったよ」とい たら、その瞬間に「そういってもらえて、嬉しいです と、全員が揃ってピョコっと頭を下げてくれた。風 くんだけじゃなくて、みんながお礼をいってくれる ろが、いつも仲がいいDaizy っぽいよね。これから その暖かい気持ちを胸に、頑張ってほしいな。

×月×日

5人になったjealkbのライヴ。このメンバーにな ての初ライヴは、初心に戻ろうという意味で、彼ら 最初にワンマンをやった渋谷のライヴハウス、チェ シーホテルで行われた。わたしが彼らのライヴを初 て見たのも、その時のライヴだったんだよね。ギュ ギュウ詰めで何も見えなかったので、今回はちゃ と取材スペースを確保しようと、開場前に会場に行 あと数分で開場という時間だったのに、準備の済ん メンバーがふつーに客席スペースにいる。「もうす お客さんが、入ってくるよ」といったら、「だって 屋が狭くて、いるとこ、ないんですもん」だって（

すっごい酸欠ライヴだったので、メモる手が何度 止まりそうになったけど、彼らの初心である「楽し 精神が満載のライヴで、楽しかった。これからも武 館への夢を胸に、気持ちがスカッとするライヴを見 てほしいっ！

蝴蝶网
hudie.com

——発売日がちょうど結成3周年に当たる日ですが、制作にあたってそこは意識したところですか。

智：「Hameln」は結構前からあったんですけど、7月7日に出すならということで選びました。記念だし、パーティだし、最初から最後まで明るい曲にしたくて。そこで当てはまるのがこの曲だったんです。でも、アレンジはすごい変わりましたね。もともとはもっとポップだったんで。

——作曲も、そういうイメージで?

Tohya：ポップでしかなかったですね。

智：アニソン、ってぐらいポップでした。

——そこでアレンジをして行って。

Yuh：ギターの音って結構楽曲を左右するじゃないですか。なので、フレーズよりは音で、って感じで攻めて行きました。

海：俺はそれに順応して行った感じです。頭の中で全員で合わせて、この音こうやったらもうちょっとギターが前に出るような感じになって、ロックバンドっぽくなるって、そういうことを頭に入れながら。

Tohya：ただ曲の雰囲気はやたら攻めるような感じではないので、曲の雰囲気を壊さないように。芯のある音で、ロックな感じでパワフルな音を出して、聴いたときにロックな感じが伝わればなって考えながらやりました。

瑠伊：俺も、もともと埋まってるベースの音とかが好きだったんですけど、今回はアタックとか強めに出して。事情があって、レコーディングが最後だったんです。ギター録ってからベース入れたんですけど、そこでいろんな発見がありました。

——今回は、iNAさんがディレクターだったそうですが、何かこれまでと変わった点もありました?

智：人の力でやることにすごいこだわってる人なんで、そこが一番違うところでしたね。歌がちょっとズレてても、ドラムが走ったまんまでも、それを生かしたりだとか。聴いてて気持ちいいんだったらそれでいいみたいな感じだったんで。等身大っていうのを掲げてたんですけど、本当に機械にいじられてないうちらがそこにあると思います。

瑠伊：機械でいじって、カチカチに作る

たね。

Tohya：今までだったら打ち込みに頼りがちだったところを、メロディーを出す音なんだったらギターで弾いてそれを加工したりとか、リズム系の打ち込みだったらドラムで叩いてその音を変えて行ったりとか。それを入れるだけで全然印象が違いましたね。今まで自分達の力でやって来て、次のステップを踏むために何かが必要だと思ってたんですけど、それをすんなり教えてくれたかなって。前回までの音源から1ステップ上がれたのは、iNAさんの力が大きいと思います。

——いいレコーディングになったみたいですね。

海：始めはすごい緊張しましたけどね。

智：うちらからしたら、テレビとかの人ですから。

Yuh：俺はhideさんがすごい好きだったんで、でかいところのライヴとか中学生のときに見てるわけじゃないですか。あの人がそこにいる！　みたいな。初日に携帯番号聞いてもいいですかって、ミーハーになって。でも仕事となるとやっぱり別で。自分の技術とかちゃんとしなきゃいけないところも学べたし、よかったと思います。

——歌に関しても、等身大みたいなところは意識したんですか。

智：ピッチを直すとかも、少ししかやらなくて。そうすることで、感情が直に自分に伝わって来たんですよ、自分の歌から。それが一番感動した部分でした。俺みたいにメッセージを伝えたい人間としては、感情がこもってるほうがもちろんいいから。こういうやり方をすればもっと伝わるんだろうなっていうのが知れたし、これからもそうして行きたいですね。

——歌詞に関しても、自分達自身のことを書いたんですか。3周年を意識して、

智：この業界でやって来て、やっぱり納得いかないこともいろいろ出て来るわけですよね、会社とぶつかったりとか。それを経験した上での自分がそこに反映してます。でも、それでも、たぶん子どもの頃の自分が今の俺達を見たら、すごい希望に溢れて見えてるんだろうなって。オリコンで50位以内に入れて、夢が叶ってるって。だから、決して暗くない現状と未来があるんだなって、最終的には光に向かって歩いて行ってるっていう風に

vistlip

5人の世界に予定調和はない!!
ミクスチャー・ロックの雄　最新シングル『Hameln』リリース

7月7日、結成3周年を迎えるその日に、ニューシングル『Hameln』をリリースするvistlip。
ディレクターにiNAを迎え、新たな試みにもチャレンジしながら制作した、3周年を記念した作品となった。
の雑誌が発売される頃には、ワンマンツアーの真最中。3周年の記念日には、ツアーファイナルとなる渋谷O-EASTに集まって、
一緒にお祝いしたい。そして4年目のスタートを切る彼らを見届けよう。

Interview:MIYUKI MURAYAMA

——このタイトルは、童話から?

智：笛吹きの童話と似てるなと思って。雇われて笛を吹いてねずみを退治したのに、街の人がお金を払わなくて追い出すっていうのが、この業界と似てると思ったんです。それで、そいつが怒って、その子どもを連れ去るわけですけど、その子どもがファンに見えたと言うか。結局会社がどうじゃなくて、うちらがファンを動かしてるのは確かだから。ファンは絶対ついて来るっていう自信ですよね。それがぴったりハマるなと思ってこのタイトルにしました。

——vistterに収録されるミュージッククリップはどんな映像なんですか。

海：プランとしては、最後のサビに行くまでは演奏シーンはなくて。メンバーがバンドの誕生日を祝うっていうのでひとつの家に集まっていろいろやって、楽器弾いたりしてるビデオですね。

——楽器持ってないシーンが多い?

海：そうですね、ピザばっか食ってました。

Tohya：僕はドーナツばっか食ってました（笑）。

海：笑ってる表情はこれまでのビデオクリップにはないですね。ニコニコしてるっていうんじゃなくて、普通に笑ってる絵です。

——カップリングは「想い出CG」。

智：これは、Tohyaに結局ヴィジュアル系が好きだっていう話をして、うちらが聴いて来たヴィジュアル系をやってみたいって言って、Tohyaなりにアレンジしてもらいました。大好きだったヴィジュアル系を、vistlipとしてやってみたらこうなったんです。だからメンバーもこの曲は大好きだし、iNAさんなんかこれをタイトル曲にしろって言ってましたから（笑）。

——ヴィジュアル系っぽいアレンジを意識したわけですか。

海：雰囲気が原曲と一番変わったかもしれないです。

Yuh：レコーディング当日に、ギターをすごい変えたんですよ。

海：皆、大混乱ですよ。

Tohya：デモのときにシンセで作るしょぼいギターみたいな感じを劇的に変えてくれたんで、僕としては、グッジョブ、でした。

海：もっと早くできればいいんですけど、

ずじゃないですか。だから、後先考えずにとりあえずカッコいいほうがいいやって。

——それが後のレコーディングにも影響すると。

瑠伊：行って、あれれ？って（苦笑）。でも、今回リフものなんですけどビ[illegible]とユニゾンしてなくて、新しい[illegible]たね。結構バカっぽく録れました。ぶっ飛んでるようなノリで、楽しんでる感じって言うか。面白いこと出来たと思います。

海：そのたくさんの面白いこととか、カッコいいほうがいいっていうの[illegible]作用して、智は最初聴いたとき[illegible]歌え[illegible]い、って。

智：大変でしたよね。イライラしました。最終的に全然よかったんですけどね。

——lipperのみに収録される「墜落」は、歌もの的な要素の強い曲ですね。

智：最初Tohyaがこれをタイトル曲にしたいって言ってました。

Tohya：でも、ダメでしたね。

一同：（笑）

海：いいじゃん、入ってんだから。

——これは、歌を意識したアレンジで。

智：楽器はシンプルですよね。

海：楽器で邪魔しちゃいけないし。

Tohya：僕も邪魔させるつもりはなかったですね。でも、作曲する上で小節数を操作できたので、ドラムは、自分の美味しいところだけ作っておきました。

瑠伊：サビ前ね（笑）。

——歌はもちろんですが、ギターソロも聴かせてますよね。

Yuh：ソロだけはせめて叙情的にと言うか、そういう想いを出したかったんです。それでそういうちょっと感情的なフレーズにしました。全体的に音はちょっとにごってるような感じにしたかったんで、iNAさんとエンジニアさんと考えて、上手く録れたと思います。

——3周年に相応しい作品になったと思いますが、発売日にはO-EASTでツアーファイナルを迎えますね。ツアーも3周年を意識したものになるんですか。

智：前回はアルバムがコンセプトだったんですけど、今回はただのお祭りなんで、デビューから今までの曲達が満遍なく入って来ると思います。ライヴでベストをやる感覚ですね。

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com
シン

ViViD

PRECIOUS

"神曲だな"って思いまし

7月7日にNEW SINGLE「PRECIOU
(「PECIOUS」・「Bright red garder
「survive」※初回盤B収録・「悪女♂トリ
キー」※通常盤収録)をリリースするViV
今作は、今までには見られなかった彼等の
たな挑戦が随所に見られる、"攻め"の作品
なっている。ここでは、そんな「PRECIOU
の「P・R・E・C・I・O・U・S」頭文字キーワー
アンケートにて、彼等の素顔に迫ってみま
た！

Photography:HIROE YAMAUCHI(PROGRESS-M)
Interview:YUKA SUGIE
Hair&Make-up:SAYAKA
Back:BACKGROUNDS FACTORY

―怜我さん作曲の表題曲、歌心とバンド感が絶妙バランスで良い曲じゃないですか！

零乃：確かに、耳に入ってきやすいメロディなんですよね。

Koki：シンが仮歌を入れてきた段階で、"神曲だな"って思いましたもん。

イヴ：疾走感もあるし、歌詞もいいしね。インパクト大な曲だと思います。

怜我：ただ、正直言うと、最初はあんまり自信なかったんですよ。だから、デモの歌メロもボリューム下げてあったんですけど…それぞれ、ウマいことやってくれて。ベースもすごい、良いし。

―歌ってますよね、ベースライン。

イヴ：ありがとうございます。

怜我：ドラムも、タイトに聴かせながらも美味しいオカズを入れてくれてるし。零乃はやっぱり、ギターソロでやっちゃってくれてるし。自分では思いつかないフレーズですからね。アウトロでは最初2人でハモって、ラストは零乃に弾いてもらったんですけど…さすがだなと。シンの歌と歌詞には、もう言うことなかったですからね。

―確かに、"誓い"の歌詞にもグッときますね。

シン：よく、"ライヴに行けないんですけど、ファンでいてもいいですか？"っていうファンレターをもらうんですけど…たとえライヴに来られなくても、君たちにも届くように歌うからって。「Dear」と同じように、自分の言いたいことをストレートに書けました。

―ちなみに、"分かち合った"という歌詞がありますが…みんなで分かち合っていることを実感するのはいつですか？

零乃：…ふざけてるとき。ふざけモードに入った瞬間、一致団結するよね。

怜我：あと…ツラいときとかね。

Koki：PV収録とか、朝早いし拘束時間が長いから、励まし合うよね。

シン：「PRECIOUS」のPV撮影では…テンション上がりすぎたけどね。

Koki：でも今回、かなり良いよね。

零乃：春夏秋冬の移ろいを背景に、幻想的で壮大な感じになってるんで。あと、1つのカットでは上半身裸なんですよ。各々、セクシーさが出てると思います。

―期待しております！ カップリングの「Bright red garden」はイヴさん…よね。

イヴ：ウチらは何でもできるバンドだと思ってるんで、採り入れようってことで。個人としてもシャッフルの曲を作ったことはなかったけど、挑戦してみました。

―特にリズム隊に関しては、シャッフルって難しいと聞きますけど…実際、やってみての感触はいかがでした？

イヴ：シャッフルの曲は、結構コピーしていたので、プレイ面では苦戦しなかったけど、自分でフレーズを考えるとなると、難しいですね（苦笑）。ディレクターさんが良いジャズベースを持ってて、それを借りたんですけど、全然、音が違うんで。この録りが一番楽しかったです。

Koki：俺は、シャッフルの曲は好きなんで、叩いてても楽しかったですよ。普通の曲って、間の拍が機械的になるんですけど、シャッフルはズラしていいんですよ。そういう楽譜には表わせないプレイが気持ちよくて。気持ちいいハネ具合にできたと思います。

―ギター隊的にも臨み方は違いました？

怜我：今まで出したことのない音作りをしたんですけど、すごく気持ち良くって。全部裏でリズムを感じるパートだったんで、新鮮だったし、成長にもつながったなと。

零乃：俺もシャッフルは初挑戦だったんですけど、洋邦問わずシャッフルの曲をとにかく聴いて、そこから自分なりのアプローチを考えました。音自体は、あまり歪ませていないので、カラっとしてて割と怜我の音に近いんですよ。でも、ギターソロには速弾きも入れて、チョーキングで泣かせてるんで…面白くできたかなって。あと、この曲で自分の得意なフレーズと不得意なフレーズがわかりましたね。

怜我：零乃が初めて、つまづいてましたからね。しかも、一瞬のフレーズだよね。

零乃：聴けば簡単なんですけど、できないフレーズがあって。でも、闘争心に火がついて、逆に頑張れました。

―歌詞は甘美で妖艶な雰囲気ですけど、何かモチーフがあって？

シン：これ、ある都市伝説がモチーフなんですけど、こういう物語調の歌詞っていうのは初挑戦で。書いてても楽しかったし、歌ってても楽しかったですね。

…

シン：あ、初めて気付いてもらいました。ありがとうございますっ。

零乃：良かったじゃん！

シン：これ、柔らかなivoryから入り、妖しいvioletに変わり、そして赤に近づいていくっていう経過なんですよ。完全に自己満なんですけど…気付いてもらえると嬉しいですね、はは。

―そして、初回盤Bに収録される「survive」は、零乃さん作曲ですが…ラップ部分のイカつさと突き抜けるサビのコントラストが、ライヴで映えそうです。

零乃：Aメロはラップにして、ライヴっぽいスピード感のある曲が欲しかったんですよ。で、作り込むよりも、敢えて録り方も粗いほうがロックでカッコイイなと。自分の曲なのにギターソロも入れてないし、スクラッチだけでシンセ系もまったく入れてないですからね。すごくバンドサウンド重視な感じになりました。

―こういう曲だと、録るときのテンションも一際上がっちゃいますか。

Koki：ホント上がりますよ。いつもは、スネアの音を揃えるために同じ高さからスティックを下ろすって決めてるんですけど、この曲はそういうのお構いなしで。バランス変わっても、逆にそれが良いんじゃないかって。即興なんで、好きなフレーズがいっぱい入ってるし。すごく自分らしいと思います。

イヴ：構成は前日に決まったんで、最初に録るリズム隊はフレーズ考える間もなく、レコーディングに入って。フレーズを探りながら弾きましたけどね。

―裏を返せば、そういうムチャブリにも応える能力があるという証ですね。

零乃：しかも、どんどんハードルは上がってるからね。でも、ViViDはたぶん、ムリヤリなほうが合ってるというか。

Koki：確かに、それはそうだね。

―マゾ的な感じもしますけど…。

怜我：ま、ドMバンドだよね。でも、俺的にはすごい好みな曲ですよ。ドラムとベースが録ってるときに、零乃とハモリフレーズを考えたりしたんですけど…良い意味で作り込まれていない、ありのままのノリを出せたと思います。

零乃：ま、これが本来のViViDだよね。

―ところで、ラップは全部シンさん…

―そうなんです、かなりのがなり声との掛け合いなんで、疑問に思いまして。

シン：あれ、俺1人で掛け合ってるんですよ。自分でも、あんな声出ると思わなかったんで…ビックリしましたけど。あと、個人的に得意じゃないシャウトを、3年ぶりにしました。こういう曲なんでいききってしまえと思って。

Koki：あれ、カッコイイよ。これからやっていくみたいです！

シン：まぁ、たまにね。

―それから、通常盤に収録されるイヴさん作曲の「悪女♂トリッキー」がまた、面白い曲で…特に最後の祭り的なノリ、新しいですよね。

イヴ：確かに。元々その部分はなかったんですけど…歌メロが夏っぽい曲だったんで、そういうニュアンスをシンが捉えてくれて、祭りなフレーズを入れてくれたと思うんですけど。

―歌詞にも、遊び心が溢れていますし。

シン：ヴィジュアル系ではあまり見ない言葉を使いたかったし、それをViViDがやったらカッコ良くなるかなって。ただ、結構ノリ一発で書いてるように見えて、タイトルとか6時間ぐらい悩みましたけどね、はは。

―意外なものです。演奏陣の見せ場は、元々イヴさんが考えていたんですか？

イヴ：そうです。これまでギタ[illegible]が掛け合うソロがなかったん[illegible]んですけど…「PRECIOUS」と「[illegible]red garden」にも掛け合いのソロがあって、一気に3曲できちゃ[illegible]した。

―結果、聴き応えのあるシン[illegible]なって良かったです！ さて、[illegible]日には、渋谷AXでのワンマン[illegible]が控えていますが…何か公約[illegible]ますか？

Koki：AXに来て俺にフ[illegible]ターをくれたら、全員に返信します。

イヴ：テンション上がったら脱[illegible]す。

怜我：じゃあ俺、下半裸で。[illegible]ツで臨みますっ…あ、テンシ[illegible]で！

零乃：今までにないぐらい鳥肌が立つライヴをします。

シン：リキッドルームでは感動して泣いちゃったんですけど…今度は来てくれた人を感動させて、逆に泣かせますよっ。

(問) PS COMPANY Co.,Ltd./Indie PSC. 〒168-0064 東京都杉並区永福3-41-9-2 F
http://www.indie-psc.com/vivid/

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

怜我

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

Heart

蛹から蝶へ、今変化の時

3月17日に初のミニアルバム『innocent』をリリースしたTOON-FACTORY。少し暗めな印象を押出した『innocent』からわずか4ヶ月、2ndミニアルバム『Heart』をリリースする。いやはや、このわずか4ヶ月間という期間の中で、彼らに一体どんな変化があったというのか？　目を見張る程の成長を見せた今作『Heart』は、TOON-FACTORYの可能性を存分に感じられる最高作である。

Photography:MASAKAZU KOBAYASHI（SHOXX）
Interview:NAOKO TAKEICHI
Hair&Make-up:NAZU

TOON-FACTORY

でのキャッチーでポップなモノから〝ちょっと暗めなモノに〟という意識的な変化を形にした、ちょっと暗めなアルバムでもあった訳だけど。今回は？

ひかる：今回1番に考えたのは、〝『innocent』からの続きの世界観〟ってとこだったんです。『innocent』で作り上げた世界観を、どういう曲達で、どうやって広げてったらいいのか、すごく悩みましたね。そこで行き着いたのが、ちょっとアダルトな世界観だった訳です。

レガ：すごく艶っぽい大人っぽさが出たんじゃないかなと思いますね。実際に曲作りをしていったのは、雫と夢叶だったんで、その間、俺は何もしてあげられることがなかったんで、妙に落ち着かなくて、ソワソワしながら、電車に乗ってても電車の中を小走りに走っちゃったりしてて。それくらいしか出来ないもんで。

ゆーいち：それくらいしか出来ないって……それ、あんまり必要じゃなかったりするよ……（苦笑）。

レガ：まぁ、そうだよね（笑）。でも、本当に驚くほど楽曲のクオリティが上がっていたんですよ！　2人とも！

ゆーいち：本当に、俺もデモで最初に聴いたときから、〝アダルトな雰囲気を醸し出していこう〟という軸を感じられる楽曲だったんで、感動しました

ですよ。

――そうだね。今回のアルバムの軸が〝アダルトな雰囲気を持つモノ〟だったってことは今初めて聴いたけど、私も音を聴いた瞬間に感じたことだったから。

夢叶：やったぁ〜っ（喜）！

雫：いろいろと頑張ったっす。

レガ：本当にその頑張りは伝わってきましたからね。雫くんって曲作りをし始めると連絡取れなくなるんですよ。でも、今回は、曲が出来る度に送ってくれたりしてて。自信を持って作れてるんだなって感じましたからね。意地を感じたんです。曲で勝負してやろうっていう。

雫：いつもの俺らしさが出たらいいなと思って作った感じだったんですけど、内面の変化が音に出たのかもしんないっす。今回も制作時間がタイトだったんですけど、前よりも急かされた感がなかったから、すごく音にもこだわれたんで、集中出来たかなと。俺が曲作りで大切にしてるモノは、きらめきとゆらめきなんですけど、それが出せたんじゃないかなと。

夢叶：ですね。僕も今回はあんまり急かされずに曲に向き合えたんで、そこは大きかったかな。前はとにかく曲をたくさん出しまくって、そこから選ん

たんです。

雫：芸術と言うモノは急かしてもいいモノは生まれないんですよ。己の中から湧き出てくるモノだから、無理矢理引き出そうとしちゃダメなんす。湧き出てくるのを待つのも大事。ってことが、今回わかったかな（笑）。

――音色へのこだわりもすごく感じたしね。4曲目のアコギ曲の「Last scene」のギターの音色とかとくに。

雫：イントロいいでしょ！　そこに命をかけたと言っても過言では無い。エレアコとパソコンを繋いで、更にそこにマイク立ててダブルで重ねてったんです。インストゥルメンタルの空想的な曲を、ずっとやってみたかったんす。そんな空気感は伝わるんじゃないかな。この曲はアコギも含め、全部でギター10本は重ねてますからね。こだわり抜いた1曲っす。

夢叶：オマケにストリングスも入ってますからね。かなり壮大な1曲に仕上がってます。そういうギター以外の音も自分たちで作って入れてったんで正直すごく大変でしたけどね。

雫：大変だったね。やっぱフィドルとかチェロとかも、一番綺麗に響く音っていう場所があるから、そこをちゃんと見付けて曲に当てはめていくのが本当に難しくて大変っした。

ともあったんで、かなり苦戦しましたけど、結果納得いったんで良かったですね。雫くんからも、ベースフレーズをもっとこうして欲しいっていうリクエストがメールで来るんですけど、そこも、すごくわかりやすく譜面にカンマを付けて、アクセントを付けて欲しい部分を表示してくれてて。そういうとこも、大人になったなって感じましたね。でも、一人で苦しんでいたとき、ゆーいちくんが心配して〝行こうか？〟って言ってくれたんだけど、強がって〝大丈夫〟って言っちゃったんですよ、ゆーいちくんも忙しいかなと思って。

ゆーいち：そうなんですよ。助けに行ってやれば良かったなと。メンバーのそんな強がりに気づけないようじゃ、俺もまだまだですね。今度から〝大丈夫〟って言われても助けに行こうと思います！

夢叶：でも、やっぱり、自分たちの納得いく環境で、スタジオでおもいっきりデカイ音でアンプ鳴らしてレコーディングしたいなって思いましたね。細かいこだわりの部分は追求出来たけど、やっぱり宅録だと自分たちのマインド的なモノは発散されずに終わっちゃうから。だから、今、音源としてはかなり満足出来てますけど、早くライヴがしたくてしかたないんです！

ひかる：そうだね。

――3曲目の「Squall」は、ギターの演奏ではなく、ノイズ的なディティールがとても上手く使われてると思ったしね。

夢叶：キュィーンってやつとかですよね。はいはい。なんか、ちょっと隙間をそういうので繋いでるような感覚というか、そこもこだわりだったりしますね。

――ピアノを中心としたイントロもいい。

夢叶：はい！　アンニュイな感じの曲なのか？　と思わせつつ、ギターもベースもガガガガっていくっていうね。結構激しいです。この曲はギターで作っていったんですけど、まさに、イントロ部分から構築していった曲なんです。サビ前のギターの装飾だったり、ギターソロだったり、ギターは結構派手に出してますね。でも、逆にサビ部分ではギターを控えめにしてるっていう。おとなしいところはおとなしく、激しいところは激しくっていう、そんな静動を大事にしました。

ひかる：「Squall」の歌詞は、海外の街並みが頭に浮かんできて、それをそのまま歌詞にしてった感じでしたね。

が、ある日惨殺されてしまうという……。そんな中でも、希望を捨てずに頑張って生きていこうとする人間の強さを描いてみたんです。個人的に、自分を中心に置いた歌詞はあまり書きたくなくて。自分に起こった出来事を、赤裸々に書いていくのは得意じゃないんで。なので、そういうところじゃない、架空のストーリーの中で、闇と光を表現してみました。

――2曲目の「Winding Road」は、ラップ曲第2弾でもあるけど。

レガ：やっぱ自分の声は恥ずかしいっすね（照）。今回もリリックは自分で書いたんですけど、かなり苦戦しましたね。ちょっとテンポが遅く感じたんですけど、サビはすごく速かったりするんですよね。そこもカッコ良くて。

ゆーいち：でも、苦労しただけのことはあると思いますよ。トゥーンにはいままで無かった色の曲だとも思ったし。男っぽさもあるし。ちょっとザ・マッド・カプセル・マーケッツ的なノリが欲しいなと思って、ドラムはそこを意識して叩きましたね。

ひかる：レガくんのラップは本当にすごく自然でしたよね。でも、今回、自分的には、この「Winding Road」が1番苦戦した曲でした。歌詞を乗せていく時も一番苦労したんです。今回、自分がどういう曲を得意としていて、より自分らしく歌えるのかを知ることが出来たとも思っていて。この曲は今回のミニアルバムの中では明るめな方だと思うので、個人的に、明るめの曲が不得意なんだなって知ったんです。今回は、後半の3曲、「Squall」「憂鬱と雨」「Last scene」は、すごく世界観も掴みやすかったし、入りやすかったですからね。暗めの聴かせる曲の方が好きなんだと思う。1曲目の「Heart」はアルバムタイトルでもあるんですけど、この曲の歌詞は、自分的には、雫くんがトゥーンを結成した初期の頃に作った「夢空Wings」っていう曲に、すごく近いと感じたんですね。そんなことを感じてたら、最終的に、「夢空〜」の歌詞の雰囲気になんとなく近いモノになったんです。僕の中では、「憂鬱と雨」は、『innocent』に入っていた「キミを探して」の世界観に近い感じがしているんです。

ゆーいち：今回の5曲が加わることによって『innocent』の世界観がより濃いモノになると思うから、早くライヴで全曲通してやってみたいですね。いままでのライヴとはまた違った色が出せていくと思うので、楽しみにして欲しいです。

(問)〒160-0023 東京都新宿区西新宿8-5-2 フィヨール西新宿102 http://www.toonfactory.jp/

蝴蝶网 hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

TOON-FACTORY

オリジナルフォト応募者全員サービス!!

オリジナルフォトを応募者全員にサービスしちゃいます。
タイプは５パターン（個人各１点）。
応募券１枚でお好きな１枚をあなたのお手元に!!

A ひかる

B 雫

C 夢叶

D レガ

E ゆーぃち

●応募に必要なもの
・80 円切手２枚（申し込み用の封筒に貼るもとの返信用の封筒に貼るもの）
・20 円分の切手（手数料用）
・定型封筒２枚
・応募券（このページの右下にあり）

【応募方法】
①生写真（９×13cm）が入る大きさの定型封筒（定形外の大きな封筒での応募は無効になります。ご注意下さい）２通と、80 円切手を２枚、手数料の 20 円分の切手を用意します。
②１通の封筒に 80 円切手を貼り、表にあなたの住所、氏名を記入。封筒の裏には希望の生写真のアルファベット（Ａ～Ｅ）のいずれか１つを大きく書いてください。この封筒は、編集部から応募者に写真をお送りする返信用封筒になります。
③②の返信用封筒とも手数料の 20 円分の切手をもう一通の封筒に入れ、あて先のヨコに応募券がはがれないようにしっかり貼って、下記の住所まで送ってください。

【あて先】
〒 104-8228　東京都中央区銀座 6-2-3　ダヴィンチ銀座アネックス５Ｆ
株式会社　音楽専科社　TOON-FACTORY・オリジナルフォトプレゼント●係
※●の中には返信用封筒に書いた希望写真（Ａ～Ｅ）のアルファベットを書いてください。

【締め切り】
2010 年７月 20 日（当日消印有効）

【発送】
2010 年９月中旬からになります。
９月末になっても届かない場合はご連絡ください。
（03-3574-0205 ／月～金　11：00 ～ 18：00）。

【お願い】
・希望のアルファベットが未記入の場合は、ランダムに送らせていただきます。
・応募券のコピーは不可です。コピーの場合は無効になります。
・応募券１枚につき一通のご応募でお願いします。複数お申し込みのお客様はその数分の応募でお願いします。

SHOXX 210
TOON-FACTORY
応募券

TOON-FACTORY

LiveDVD＆2nd MiniAlbum Release

2010年 7月 14日（水）
『Heart』

CD【5songs+1inst】／￥2,625-／TMP-30
収録曲【1.Heart 2.Winding Road 3.Squall 4. 憂鬱と雨
5. Last Scene 6.-FD31D27irstend- (inst)】
※初回生産分：『Heart』限定トレカ 2 枚封入（全 18 種）
発売元：TEMPLE 販売元：WHITE SIDE GROUP
流通：[illegible]株式会社

【INSTORE EVENT】
7/25([illegible]) [illegible]新宿店（18：00～）
8/01(日) 池袋 BlandX（[illegible]：00～）
8/14([illegible]) [illegible]店（15：00～）
8/20([illegible]) [illegible]Littlehearts（16：00～）
8/22([illegible]) [illegible]倶楽部（15：00～）
8/28([illegible]) [illegible]ジソン名古屋店（12:00～）
8/28(土) ライカエジソン大阪店（18:00～）

NOW ON SALE
『Innocent World 2010.4.25』

残僅！ [illegible]D【13songs】／￥3,150-／TMPD-6
20[illegible]月 2[illegible]袋 BlackHole ワンマンライブを収録
※完全限定生産：『Innocentworld』限定トレカ 2 枚封入
発売元：T[illegible]PLE 販売元：WHITE SIDE GROUP
流通：ダイキサウンド株式会社

【EVENT】
7/04 高田馬場 AREA
7/18 渋谷 GUILTY
7/31 高田馬場 AREA
8/06 高田馬場 AREA（TOON-FACTORY 主催）

ONEMAN TOUR

2010年 8月 20日（金）仙台 HooK
『Triangle Heart. in sendai』
OPEN18:00/START18:30 前売￥3,000-/ 当日￥3,500（ドリンク代別）
【チケット先行発売】FC 先行～5/31 ※GET TICKET 6/5～6/27
【チケット一般発売 7/3】※ローソンチケット（L：27134）
※e+ ※little HEARTS.
【問】仙台 HOOK 022-716-8633

2010年 8月 27日（金）名古屋 ell.SIZE
『Triangle Heart. in nagoya』
OPEN18:00/START18:30 前売￥3,000-/ 当日￥3,500-（ドリンク代別）
【チケット先行発売】 ※FC 優先～5/31 ※GET TICKET 6/5～6/27
【チケット一般発売 7/3】※ローソンチケット（L：40956）
※ライカエジソン名古屋店 ※ぴあ（P:108-221）
【問】名古屋 ell.SIZE 052-211-3997

2010年 8月 29日（日）心斎橋 FUN-J
『Triangle Heart. in osaka』
OPEN17:00/START17:30 前売￥3,000-/ 当日￥3,500-（ドリンク代別）
【チケット先行発売】 ※FC 優先 4/26～5/31 ※GET TICKET 6/5～6/27
【チケット一般発売 7/3】※ローソンチケット（L：57427）
※ぴあ（P:108-461）※e+ ※ライカエジソン大阪店 ※DEAD ONE
【問】心斎橋 FAN J 06-6120-6800

2010年 9月 1日（水）高田馬場 AREA
『Innocent Heart.』※重大発表有
OPEN18:30/START19:00 前売￥3,000-/ 当日￥3,500-（ドリンク代別）
【チケット先行発売】 ※FC 優先～5/31 ※GET TICKET 6/5～6/27
【チケット一般発売 7/3】※ローソンチケット（L：73966）
※e+ ※ZEAL LINK 渋谷 ※ライカエジソン新宿店 ※物販
【問】高田馬場 AREA 03-3361-1069

OFFICIAL SITE：toonfactory.jp OFFICIAL FANCLUB：『CLUB a Factory.』※入会方法は OFFICIAL SITE 参照 TOTAL INFORMATION 160-0023 東京都新宿区西新宿 8－5－2 フィヨーレ西新宿 102 WHITE SIDE GROUP『TOON-FACTORY』係

蝴蝶网 hudie.com

てんてん：どうでした？
――いや、正直ここまでやってくれるとは。カッコイイ、純粋に。
子雲：マジっすか？　俺のハイハットの刻みとか、ちゃんと聴いてくれました？（笑）。
――さすがだね、子雲。素晴しいドラミングだった。
てんてん：ですよね。どうしてもメンバーになって欲しくて懇願してた僕の気持ちわかるでしょ？
――そうだね。子雲の前のバンドでは、こういうドラミングを魅せる曲調ではなかったからね。
子雲：そうなんですよね。どっちかっていうと、個人的に好きな楽曲のドラムはこういうテイストだったりするんですよ。だから、自分的には今回のシングルのドラムはしっくりいってる感じですね。でも、準備段階で時間に余裕が無く、バタバタの進行になっちゃったんですけど、その中で、なんとか納得のいくモノにを作れたんじゃないかなと思いますね。1枚目も気に入ってるんですけど、今作は相当気に入ってる感じですね。
てんてん：今回、ギターをツインから一本にしていく作業も加わってしまったんで、そこでもちょっと時間の配分が乱れちゃって、本当にバタバタしましたね。
Joe：まぁ、ギターに関しては、重ねたりしているんですけど、基盤をツインギターにしているか、一本にしているかっていうので、また違いますからね。ちょっとそこのアレンジで苦労しちゃいましたね。
――いや、それにしてもギターも最高。音色もいいよね。「世界を撃った男のテーマ-Artbreaker-」の、ちょっと古さを感じるフレーズとか音色とか最高。
Joe：ありがとうございます（笑）。でも、ホント、ギターソロに関してはかなり王道ですよね。かなりテンポも早いですからね。この速さは、今も僕の体力と筋肉の限界でしたね（苦笑）。
てんてん：「世界を撃った男のテーマ-Artbreaker-」はインストでもあるんで、歌を乗せようかどうしようか迷ったんですけど、どうしてもこだわりたかったんで、レコーディングのギリギリまで悩ん

Gt.Joe/GruNge StRange
Vo.てんてん/ Trick Master

ケミカル・ピクチャーズ

世界を撃った男 case2.ベレッタ

に相談したんですよ。
Jimi：そうですね、歌詞の[illegible]と なる単語は出て来たんで[illegible]レコーディングしながら書き進め[illegible]ったので、より臨場感ある歌詞[illegible]ったんじゃないかなと思いますね。
子雲：俺は個人的に2曲目の[illegible]が気に入ってるんですよね。[illegible]すごく叩きやすいリズム、テン[illegible]ったていうのもあるんですけどね。
――メロとドラムの掛け合い[illegible]混ざり合ってる感じがして[illegible]録ったのかな？って思ったの[illegible]
Joe：あ、でもそうですよ。1曲目と2曲目に関してはスタジオでみんなでジャムりながら作ったんで、そんな感じが出てると思いますね。
子雲：切なさとね、ちょっと心強さなんかもあってね。いい感じの生っぽさもあると思いますね。
――Jimiのベースが相当キテるよね。
てんてん：俺もこの曲のベースめちゃめちゃ好きっすね！　スタジオでJimiがアドリブで弾きだしたとき、〝うわっ！〟ってなったもん！
Jimi：ありがとうございます！　真ん中のブレイク部分のベースは自分でも気に入ってますね。ヘヴィな曲は、ギターに合わせてベースを弾いてる感じなんですけど、この曲ではなんか遊びを入れたかったんです。プログレッシブなロックというか、テクニカルなロックが好きだってこともあって、ちょっと複雑な感じのフレーズを入れたくて考えたんです。
子雲：本当にスタジオでJimiがフッと何気に弾いたのがすごく良くて。いいフックになりましたね。
てんてん：「ベラミー」の歌詞は英詞なんですけど、どうして英語にしたかというと、自分の中に2人の自分が居るというところが書きたかったんです。〝ベラミー〟っていうのは、もう一人の自分に名付けた名前。昔は、自分の自我を通して生き抜くことだけをカッコイイと思っていたけど、だんだん大人になるにつれて、そういうところだけじゃないってわかってくるというか。子供のままじゃいられないっていう、そんな葛藤を書いたんです。日本語にすると、なんかカッコ

蝴蝶网 hudie.com

んです。そこまで直接的じゃなく伝わるように。
Jimi：言葉のままを歌詞にすると、作文みたいな感じなんですけど、てんてんがこの歌詞の中に込めたかった気持ちを優先して、綺麗に整えて英詞にするというよりは、ほぼ直訳しましたね。
てんてん：大人になっても、自分が変わらずにずっと貫き通せる信念を持っていられたらいいなという願望もありますね。
——今作は特に歌詞もいいね。個人的に、「病ム空」「Memento mori」の歌詞には本当に心を掴まれた気がしたよ。
てんてん：マジっすか⁉　めっちゃ嬉しいです！　4曲目の「Memento mori」はね、すごく怖い事が起きたんですよ！　歌詞が、ちょっといつもよりも突っ込んだテーマだったりもして、歌い出しの部分で、〝対立する宗教〟っていう歌詞が出て来るんですけど、レコーディングのとき、この部分になると毎回パツッって電源が落ちるんですよ。
Joe：毎回だったんですよ！　何十回歌っても同じ現象がそこで起きてたんですよ。さすがに偶然じゃないだろってことになって。
てんてん：あまりにも怖かったんで、ローディーの子に横についててもらって歌ったんですけど、なんとか歌えたっていう状態だったんです。
——なんか、すごく魂的なモノを感じるよね。人間の生きる意味や愚かさを歌った歌でもあるからね。「病ム空」の〝死んだらそれで終わり。アンコールなんてない〟っていう歌詞もね、本当に深い。
てんてん：**そうなんですよね。**
子雲：テンポはこの曲も速いですけど、1番メロディアスだったりするのかな。
Joe：そうだね。ちなみに、僕は、「Memento mori」が1番お気に入りだったりしますね。曲自体は、結構古くからあって、てんてんは、ずっとやりたいやりたいって言ってくれてたんですけど、お蔵の中に入っていて。今回、結構味が濃い目の曲が出揃ったので、ここで出そうかということになり、お蔵から引っ張り出してきた感じです（笑）。
——すごくいいバランスになったよね。
Jimi：そうですね。この曲も速かっ

CPSのヘヴィな一面

5月26日にリリースされた『世界を撃った男 Case1 トカレフ』を第1弾とし、5ヶ月連続リリースに挑むケミカルピクチャーズ。初登場であった前回はメンバー5人での登場であったが、インタビュー直後にギターのビリーが脱退。第2弾となる今作からは4人でのスタートを切る。全タイトル『世界を撃った男』で統一されたコンセプト・シングル集の第2弾『世界を撃った男 Case2 ベレッタ』は、重く激しい1枚に仕上がっている。

Interview:NAOKO TAKEICHI

いくんですけど、そこは僕も限界でしたね（苦笑）。
てんてん：そうだね。俺が1番[illegible]なのは「病ム空」かな。このバン[illegible]む前から、ソロでずっとライヴでや[illegible]てた曲なんですよ。だから、特に思[illegible]が強くて。みんなに聴いて欲しく[illegible]回ここに入れたんです。ソロの頃[illegible]たくアレンジが変わっているので。
Joe：結構アレンジは変[illegible]ね。みんなでスタジオでアレンジ[illegible]たんですけど、かなりバンド感の[illegible]アレンジになったと思います。
子雲：これもいい感じのドラム[illegible]モノの絡みを感じてもらえる[illegible]いま[illegible]ね。我々ね、一個でひとつなんで。
Joe：え？　一個で1つ？…？…？
子雲：みんなで1つ。Joyさん、突っ込み激し過ぎ（笑）。
Joe：Joy⁉　JoeですJoe。
子雲：知ってる（笑）。
てんてん：いろいろとスタジオでリクエストしてアレンジしていく感じなんですよ。この曲は個人的にAメロのテンポをすごく速くしたかったんですよね。
子雲：シタシタシタシタシタシタ……って、かなり速いリズムを刻んでるんですよ、1回目のAメロ。でも、2回目のAメロはもっと速くして欲しいって言われて、かなり限界に挑戦しましたからね。ビックリするほど速かったですからね。ライヴでは死んじゃうかもなぁって。
——ライヴで早く聴きたい曲だよね。今回は激しめな曲が多いけど、次作、Case 3はどんな感じになりそう？
てんてん：結構聴かせ曲が多いですね。バラードというか、そんな感じの。
Joe：うん。1番聴きやすいメロウな感じの1枚になると思いますね。
子雲：3枚目は火縄銃でもあるから、なんか、ベレッタとかトカレフとかよりも、威力が柔らかい印象というかね。そんな銃のイメージにもちょっとだけ沿わせてある感じもありますね。
Jimi：6月には韓国でもライヴしてくるので、ライヴでもしっかりと音と熱さを届けられるように頑張ってきたいと思います！

（問）http://chemical-pictures.net/

蝴蝶网
hudie.com

llection
Style スウィートローレイヤー
Color メイプルベージュ
Item no. 5925
¥9,240 (本体¥8800)
耐熱ファイバー使用
cute
ウィッグで変身！
ィッグなら憧れのヘアスタイルも簡単に味わえる！ちょっぴり自分のヘアスタイルに
きちゃったらウィッグでイメチェンしよう。ラパンドアールはみんなのお洒落を応援します。
Lapin d'or
Lapin d'or Homme
Homme
レディースウィッグ
メンズウィッグ
蝴蝶网
hudie.com

Lapin d'or
ラパンドアールウィッグコレクション
Wig C
Before
詳しくは
携帯、PCでアクセス
カタログ請求無
Style レボリューションウルフ
Color ブラック
Item no. 5932
¥6,090 (本体¥5800)
ワックスでアレンジ済み
cool
★カタログ請求 (Mail)
catalog@lapindor.co.jp
ラパンドアール
検索
★商品購入 (Mail) order@lapindor.co.jp ★商品質問 (Mail) info@lapindor.co.jp
★お問い合わせTEL フリーダイヤル 0120-79-5125 (土日・祝日を除く平日9:00~17:30) FAX 048-297-9216

蝴蝶网
hudie.com

ONE MAN TOUR

CD 発売記念公演 2010
全国くいだおれ無料ワンマンツアー

「腹減った！飯をくれ！入場無料にするからさ！」

チケット無料（ドリンク代別）/ 開場 16:00 開演 17:00　※詳細は OFFICIAL HP を御覧下さい!!

当日14:00 より飲食物と引き換えに入場整理券を配布致します。
※生物はなるべくご遠慮ください（笑）
開場時間になり次第、整理番号順の入場となります。

1. 本公演は整理券配布時、飲食物 1 点と引き換えに無料にて入場いただく事ができます。
2. 事前にご予約頂くと当日の入場がスムーズになります。(6.21～予約開始) → info@cindykate.jp
3. 予約規定人数を越え次第、予約打ち切りとなりますのでお早めにご予約ください。

※当日公演終了後、10 月に開催の同会場でのワンマン公演「天狗になるにはまだ早い！（笑）」のチケット（整理番号 1～100/ お一人様 4 枚まで）の先行発売を行います。

9.10（金）岡山 PEPPER LAND [問]PEPPER LAND 086-253-9758
9.12（日）大阪 CLUB ALIVE [問]CLUB ALIVE 06-6213-8585
9.18（土）札幌 COLONY [問]COLONYO 11-532-3329
9.26（土）渋谷 RUIDO-K2 [問]RUIDO-K2 03-3462-5310

「天狗になるには まだ早い！（笑）」

チケット 2,500 円（ドリンク代別）/ 開場 17:00 開演 18:00 ※札幌公演のみ開場 18:00 開演 19:00

チケット先行発売 9 月に開催する同会場講演終了後。
※整理番号 1～100/ お一人様 4 枚まで

10.10（祝）岡山 PEPPER LAND [問]PEPPER LAND 086-253-9758
チケット 9.18より ローソンチケット 0570-084-006 / ぎんざや 086-222-3244
PEPPERLAND 086-253-9758 / バンド予約

10.11（祝）大阪 CLUB ALIVE [問]CLUB ALIVE 06-6213-8585
チケット 9.18より ローソンチケット 0570-084-005 / バンド予約
ライカエジソン大阪店 06-6252-6262（発売日初日は電話予約のみ）

10.15（金）札幌 COLONY [問]COLONYO 11-532-3329
チケット 9.25より ローソンチケット 0570-084-001
イープラス（http://eplus.jp）/ バンド予約

10.30（土）渋谷 RUIDO-K2 [問]RUIDO-K2 03-3462-5310
チケット 10.2より ライカエジソン東京店 03-3369-3708（発売日初日は電話予約のみ）
ローソンチケット 0570-084-003 / バンド予約

●チケットのバンド予約はこちら
お名前、予約枚数、公演日、会場名を必ずご記入の上
info@cindykate.jp までメールをください。
ケータイの方は右の QR コードをご使用ください ▸

2010.8.25 New MAXI SINGLE

「ボクサー」

未発表新曲3曲入
1,680YEN（tax in）
PRODUCED by KISAKI-UNDERCODE PRODUCTION-　完全限定盤

[収録曲] 1. ボクサー　2. ジョージで待ち合わせしましょ?　3. ミラーボールは無責任☆

OFFICIAL HP 通信販売特典　シンディケイト恒例おもしろDVD（発送 8.20～）
「シンディケイト先生の放送小学校」

★ in STORE EVENT
8.27（金）池袋 BRAND X 19:00～
9.04（土）自主盤倶楽部 15:00～ CLUB ... 8585
9.05（日）ライカエジソン東京店 17:0... [問]COLON... 532-3329
9.19（日）札幌マルチスペースエフ 17:... [問]RUIDO-K2 03-3462-5310

2DAYS コンセプト主催 EVENT

「☆かしまつり☆」at 渋谷 CLUB CRAWL
11.20（土）「主ノ宴～誇り高き美の美学！～」
11.21（日）「異ノ宴～歌舞くなら歌舞伎通せ！～」
※詳細は近日発表!!

蝴蝶网
hudie.com

NIGHTMARE

蝴蝶网
hudie.com

a:FANTASIA

2010.6.23 IN STORES

初回生産限定盤A
CD+DVD
¥1,500 (tax in) VPCC-82640

★10周年スペシャルクーポン券付
★3タイプ連動特典 DVD全員プレゼント 応募券封入

CD ▶ 1.a:FANTASIA + 2.Romeo
DVD ▶ a:FANTASIA PV

初回生産限定盤B
CD+DVD
¥1,500 (tax in) VPCC-82641

★10周年スペシャルクーポン券付
★3タイプ連動特典 DVD全員プレゼント 応募券封入

CD ▶ 1.a:FANTASIA + 2.Romeo
DVD ▶ Romeo PV

通常盤
CD ONLY
¥1,500 (tax in) VPCC-82293

★10周年スペシャルクーポン券付
★3タイプ連動特典 DVD全員プレゼント 応募券封入
★初回生産分のみ特製トレカ(1枚封入/計5種)ランダム封入

CD ▶ 1.a:FANTASIA + 2.Romeo + 3.Rover (Bonus Track)

NIGHTMARE 10th ANNIVERSARY SPECIAL ACT VOL.2

re:Start of tell[all]ifm

7.10[sat]
三郷市文化会館大ホール
Open 16:30 / Start 17:00
info.ディスクガレージ 03-5436-9600

7.15[thu]
広島アステールプラザ大ホール
Open 18:00 / Start 18:30
info.キャンディープロモーション 082-249-8334

7.17[sat]
福岡市民会館大ホール
Open 16:30 / Start 17:00
info.キョードー西日本 092-714-0159

7.19[mon]
大阪国際会議場メインホール
Open 16:30 / Start 17:30
info.キョードーインフォメーション 06-7732-8888

7.23[fri]
新潟市民芸術文化会館劇場
Open 18:00 / Start 18:30
info.キョードー北陸チケットセンター 025-245-5100

8.4[wed]
愛知県芸術劇場大ホール
Open 17:30 / Start 18:30
info.サンデーフォークプロモーション 052-320-9100

8.13[fri]
札幌市教育文化会館大ホール
Open 18:00 / Start 18:30
info.WESS 011-614-9999

8.15[sun]
東京エレクトロンホール宮城
Open 16:30 / Start 17:00
info.キョードー東北 022-217-7788

【チケット料金】全席指定：¥5,500(tax in) ※3歳以上有料、3歳未満入場不可【一般発売日】5月22日(土)

TOUR FINAL 8.25[wed] 日本武道館

Open 17:30 / Start 18:30 info.ディスクガレージ 03-5436-9600【チケット料金】全席指定：¥6,300(tax in) ※3歳以上有料、3歳未満入場不可【一般発売日】6月26日(土)

Nightmare Official website[http://www.nightmare-web.com/] Nightmare Official mobilesite[http://m.nightmare-web.com/] http://www.vap.co.jp/ vap

Printed in Japan
雑誌04537-08
特別定価980円
本体933円
株式会社 プロスト
凸版印刷株式会社
4910045370807
00933